

松本市男女共同参画・人権に関する意識調査 調査報告書



令和4年2月

松本市

本書の構成

本調査報告書は、以下の構成としている

- I 松本市男女共同参画・人権市民意識調査
- II 松本市男女共同参画・人権アンケート
- III 資料編（各調査票）

I 松本市男女共同参画・人権市民意識調査

目次

調査の概要	1
調査結果の要約	3
調査結果	9
(1) 回答者属性	9
(2) 家庭生活について	13
(3) 就労について	20
(4) 社会参加について	32
(5) 教育について	38
(6) ドメスティック・バイオレンス（DV、配偶者などからの暴力）等について	42
(7) 基本的人権について	53
(8) 男女共同参画について	67
自由記述まとめ	89
1 男女共同参画について	89
2 人権について	97

調査の概要

1 調査の目的

社会情勢の変化にともなう新たな問題に対する意識及び実態等の把握、分析を行い、男女共同参画計画の策定及び人権教育や啓発活動の資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

一般：松本市在住の満 18 歳以上の 1,500 人を無作為抽出

3 調査期間

令和 3 年 11 月 24 日から令和 3 年 12 月 13 日

4 調査方法

郵送による配布・回収

インターネットによる回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
一般	1,500 通	657 通	43.8%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が 1 桁の場合、回答件数による表記としています。

調査結果の要約

1 家庭生活について

(1) 家事担当者（問1）

日常の家事（『食事の支度』『食事の後片付け』『掃除』『洗濯』『買物（日用品）』『家計の管理』）の6項目については、女性が担当している割合は6割強から7割強である。平成28年度と比較すると、僅かではあるが、男女ともに「あなたと配偶者・パートナーが同じくらいに」の割合が高くなっており、男性の家事への協力が増えてきていることがうかがわれる。

『子どもの世話やしつけ』や『高齢者や病人の介護』については、該当者がいる世帯では、依然として、主に女性が担当している状況である。

『自治会などの地域活動』については、女性の2割強、男性の3割半ばが「主にあなた」と回答しており、前回調査から減少している。

(2) 家事従事時間（問2）

家事に従事している時間については、女性は、平日で約5割、休日で6割弱が「2時間以上」と回答しているのに対し、男性は、平日で「30分以内」、休日で「30分以内」「1時間」が高くなっている。

2 就労について

(1) 女性の働き方（問3）

女性自身の『実際』の働き方は、「結婚や出産にかかわらず、就労」が最も高く、次いで、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで就労」「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで就労」となっている。

男性に聞いた妻の働き方についても女性自身の『実際』の働き方同様、「結婚や出産にかかわらず、就労」が最も高く、次いで、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで就労」「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで就労」となっている。

女性が考える理想的な働き方としては、「結婚や出産にかかわらず、就労」が最も高く、次いで、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで就労」「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで就労」となっている。これは、実際の働き方の割合と大きな差がみられない。

男性が理想とする妻の働き方も、「結婚や出産にかかわらず、就労」が最も高く、次いで、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで就労」「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで就労」となっている。

(2) 行政や企業がすべき女性就労支援策（問4）

行政や企業がすべき、女性が働き続けるために必要な支援としては、「企業の育児休業や介護休業を取得しやすい環境づくりを支援する」が最も高くなっている。次いで、「在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度の導入を促進する」「保育サービスを充実する」「育児休業・介護休業中の賃金その他の経済的保障を充実させる」「セクシュアル／マタニティ・ハラスメント等のない職場環境づくりを推進する」「育児等のために退職した人の再雇用制度の導入を促進

する」「介護サービスを充実する」「企業等における給与や時間外労働等の男女格差の実態を把握し、廃止にむけて働きかける」が続く。子育て中の就労や介護に対する支援策などが必要との回答が、いずれも40%を超えており、特に女性で顕著な傾向にある。

「企業等における給与や時間外労働等の男女格差の実態を把握し、廃止にむけて働きかける」「女性の昇進等の機会が男性と平等になるよう企業へ働きかける」など、女性の社会進出を促す項目は、男性の方が高くなっている。

(3) 男性の家事、子育て、介護参加に必要なこと (問5)

今後、男性が家事や子育て、介護に積極的に参加していくために必要なことは、「夫婦や家族間で家事分担や育児・介護について頻繁に話し合うこと」が最も高くなっている。

次に「労働時間短縮や育児・介護休暇制度の普及」と回答した割合が高くなっていて、企業など社会の協力や理解も必要であると考えられていることが分かる。

(4) 無就労者の就労意向 (問6・問6-1)

無就労者の今後の就労意向状況は、「働ける状況にない」が約4割となっている。「働きたい」は3割近く、「働きたくない」が約2割となっている。

就労希望者が興味のある「キャリア・アップ、自己啓発のための講座・能力取得」は、「自分自身の適性へのアドバイス」が最も高くなっている。

「パソコン操作の技能習得」「パソコン等の専門的な資格等の取得」「マネジメント能力向上にむけた講座」などは、女性の割合が高く、「語学等に関する専門的な資格等の取得」「ビジネスマナーやコミュニケーション能力等の習得」「法律等に関する専門的な資格等の取得」「会計等に関する専門的な資格等の取得」などは、男性の割合が高くなっている。

3 社会参加について

(1) 社会参加経験と参加意向 (問7)

過去1年間における社会参加経験は、「自治会や町内会、商店街等の地域活動」が最も高く、次いで、「趣味やスポーツの活動」となっている。

今後の社会参加意向は、「趣味やスポーツの活動」が最も高く、次いで、「地域の仲間が集まって行う勉強会や研究会」となっている。

また、社会参加経験も参加意向も「どれにも参加していない・参加したいとは思わない」の割合が高くなっている。

(2) 女性の社会参画が低い理由 (問8)

女性の社会参画が低い傾向にある理由は、「自治会などの団体の代表者は、男性が担うことが慣習やしきたりになっているから」が最も高く、次いで、「役員決定をはじめとして、男性主体の組織運営がされているから」「女性自身が責任ある役職に就くことに消極的であるから」となっている。

性別でみると、「家族の支援、協力が得られないから」は女性の方が高く、「役員決定をはじめとして、男性主体の組織運営がされているから」「自治会などの団体の代表者は、男性が担うことが慣習やしきたりになっているから」「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少な

いから」は男性の割合が高くなっている。慣習などの社会の問題もあるが、女性の意識の問題もあることがうかがえる。

4 教育について

(1) 家庭と学校での教育 (問9)

『性教育』と『いのちの大切さや人権の尊重』における家庭と学校の教育の比重については、「どちらかという」とも含めると、『性教育』で「学校で行うべき」という意見が7割半ば、『いのちの大切さや人権の尊重』で5割強となっている。

(2) 男女間における関心ごと (問10)

男女間における関心ごとは、「出産後、子育て後の再就職先の見つけ方」「女性の視点を踏まえた防災体制の整備」「仕事と家庭を両立させる方法」などは女性の関心が高くなっている。一方、「いまどきの結婚事情」「男女の協力関係の成功の秘訣」などは、男性の関心が高くなっている。

5 ドメスティック・バイオレンス (DV、配偶者などからの暴力) 等

(1) DV認識状況 (問11)

「暴力 (DV)」については、「どのような理由があっても、絶対してはいけない」との回答が約9割ある。

(2) DV意識 (問12)

夫婦や恋人との間のどのような行為が暴力にあたるかについて、「どんな場合でも暴力にあたる」と思う行為は、『身体に対して暴行を加える』で約9割を占め、最も高くなっている。次いで、『性的な行為を無理じいする』が約8割、『言葉や態度での攻撃をする』は7割近くとなっている。

「暴力にあたる場合とそうでない場合がある」行為は、『言葉や態度での攻撃をする』が3割近く、『性的な行為を無理じいする』が1割半ばとなっている。

(3) DV被害・加害経験 (問13)

DV被害経験、加害経験ともに、『大声でどなる行為』の精神的暴力が男女とも最も多い。次いで男女のDV被害経験、加害経験では男女ともに、『何を言っても長時間無視』の精神的暴力が多い。

男性の『大声でどなる行為』の加害経験は、「何度もあった」「1、2度あった」を合わせると3割強となり、3人に1人が経験している。加害内容を性別で比較したところ、男性では『大声でどなる行為』が多いという特徴があった。

また、女性の『命の危険を感じるほどの暴行』『医師の治療が必要となるほどの暴行』の被害経験は、「何度も受けた」「1、2度受けた」を合わせると、10人に1人が経験している。

(4) DV相談 (問13-1・13-2・13-3)

DVを受けた時の相談については、女性の約4割が「相談した」と回答したのに対し、男性は

1割強であった。一方、「相談しようとは思わなかった」は、女性でも約4割の回答であったが、男性では8割強となっている。その理由としては、「相談するほどのことではないと思ったから」「自分にも悪いところがあると思ったから」「相談してもむだだと思ったから」「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」などとなっている。

DV被害の相談先は、ほとんどが「家族・親せき」「友人・知人」の身近な人である。

(5) DV相談機関の認知状況 (問14)

DVについて相談できる機関で知っているのは、「市の相談窓口」が最も高く、次いで、「いのちの電話相談」「松本児童相談所」となっている。男性の「どれも知らない」は約3割となっており、男性の認知率の方が低い。

6 基本的人権について

(1) 自身の人権侵害経験 (問15・問15-1・問15-2・問15-3)

自身の人権侵害経験の有無は、「ある」が約3割、「ない」が約7割となっている。

どのような関係の人から人権侵害を受けたかについては、男女とも「職場・仕事関係」が最も高い。その他の関係の人では、女性は、「学校関係」「家族・親族」「夫婦・恋人間」から被害を受けることが多く、男性は、「学校関係」などから被害を受けることが多い結果となっている。

インターネットを通しての人権侵害・誹謗中傷経験の有無は、「ある」が1割強、「ない」が約9割となっている。

どのような内容の人権侵害・誹謗中傷を受けたかについては、「真実でないこと(デマ)」の割合が約6割と最も高くなっている。

(2) 「松本市の人権尊重社会」意識 (問16)

『松本市は、基本的な人権が尊重された市政が運営されている』については、約7割が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しており、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」は3割近くとなっている。

(3) 基本的人権にかかわる問題 (問17・問17-1・問17-2・問17-3)

『関心のある人権問題』については、「インターネットを利用した誹謗中傷などの人権に関わる問題」が最も高く、平成28年度の調査との比較では8ポイント高くなっている。次いで、「学校でのいじめや児童虐待など子どもの人権に関する問題」「職場でのパワーハラスメントなどの人権に関わる問題」「障害者への差別や偏見などの問題」「男女差別や女性に対する暴力などの問題」となっている。

『まだ差別や偏見があると感じている問題』は、「男女差別や女性に対する暴力などの問題」「障がい者への差別や偏見などの問題」「刑を終えて出所した人への差別や偏見などの問題」の順となっている。

『松本市において重点的に取り組んだほうが良いと思う問題』は、「学校でのいじめや児童虐待など子どもの人権に関する問題」が最も高く、次いで、「インターネットを利用した誹謗中傷などの人権に関わる問題」「障がい者への差別や偏見などの問題」「職場でのパワーハラスメントなどの人権に関わる問題」の順となっている。

(4) 「部落差別問題」意識 (問 18)

部落差別問題が「今でもある」「まだある(少なくない)」、「だいぶ解消されてきているが、少しはある」の合計)と回答している人は4割近くとなっている。

18～19歳代～40歳代で「わからない」「ない」という回答の割合が高く、部落差別問題への意識が薄くなっていることがうかがわれる。

どのような場合に「部落差別問題」があると思うかは、「結婚」が圧倒的に高かった。次いで、「近所づきあい」「就職」となっている。

(5) 差別や人権問題を家庭等で話し合った経験 (問 19)

差別や人権問題を家庭等で話した経験については、「話し合った経験がある」「時間をとって話し合ったことがある」「食事やお茶などのとき、時折話し合う」の合計)は3割強である。「話し合ったことはない」は約5割、「話し合ったことがあるかどうか記憶がない」は1割半ばとなっている。

7 男女共同参画について

(1) 男女平等意識 (問 20)

『学校で』では、「男女の地位は平等になっている」の回答割合が最も高かった。『社会通念・慣習などで』『社会全体で』においては、「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた“男性優遇”が8割近くと高い割合になっている。

また、『職場で』『地域で』『法律や制度で』でも“男性優遇”が5割を超えている。

一方「女性の方が優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の回答割合は、すべての分野で、合わせても1割に満たない。

(2) 男女の家事・仕事分担意識 (問 21)

家庭内での家事・仕事分担の意識は、『家庭での育児や介護は夫婦で協力するほうがよい』『夫婦で家族を養うほうがよい』『家事全般は夫婦で協力するほうがよい』は「そう思う」が高く、性別役割分担意識の解消傾向がみられる。また、それを裏づける結果として、『「男は仕事、女は家庭」と役割を分けたほうがよい』については、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせるとほぼ8割となっている。

『女性の能力が正當に評価されないから女性の役職(管理職)が増えない』については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答と合わせると7割近くとなっている。

『女性が役職(管理職)に就くことに消極的だから役職(管理職)が増えない』は、「そう思う」が1割半ば、「どちらかといえばそう思う」が4割強となっている。

『結婚したら夫婦の姓は一緒にするほうがよい』は、「そう思う」が約3割、「どちらかといえばそう思う」が3割半ばとなっている。

(3) メディアにおける性・暴力表現 (問 22)

メディアにおける性・暴力表現について感じることは、「ドラマやアニメなどで暴力シーンを流すことは犯罪を助長するおそれがある」が最も高く、次いで「成人向けの風俗情報が目に付き

やすい場所にあふれている」が高い。「ドラマやアニメなどで暴力シーンを流すことは犯罪を助長するおそれがある」では、女性の割合が男性より 11.5 ポイント高い。

また、「特に上記のようなことは感じない」は 3 割近くとなっている。

(4) 男女共同参画推進施策の認知状況 (問 23)

男女共同参画推進施策の認知状況は、「男女雇用機会均等法」が最も高くなっている。次いで、「育児・介護休業法」「配偶者などからの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律 (通称：DV 防止法)」となっている。また、「どれも知らない」はほぼ 2 割である。

(5) 男女共同参画推進のための希望重点推進施策 (問 24)

男女共同参画推進のために、松本市で重点的に進めるべき施策は、「子育て支援の充実」が最も高く、約 5 割であった。次いで、「高齢者施策の充実」「学校教育における男女共同参画の推進」となっている。

(6) 『女性センター』や『トライあい・松本』を活かした取組み (問 25)

『女性センター』や『トライあい・松本』の施設機能を活かした取組みとして充実してほしいものは、「女性の再就職や起業を支援する講座」が最も高く、次いで、「生き方や悩みなどの相談事業」「女性も男性も気軽に参加できる講演会やシンポジウムの開催」「男性が生活や意識を見直し、変えていくための講座」となっている。

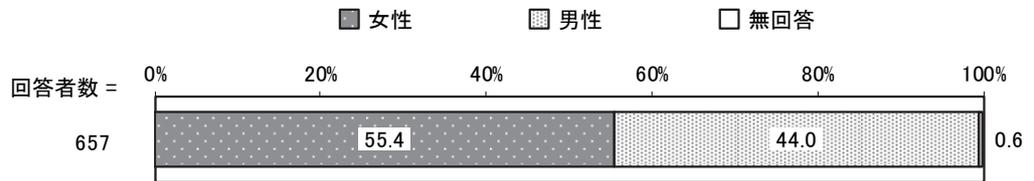
性別で見ると、「女性の再就職や起業を支援する講座」「生き方や悩みなどの相談事業」などは、女性の回答割合の方が高く、より実務的な取組みが求められているといえる。

調査結果

(1) 回答者属性

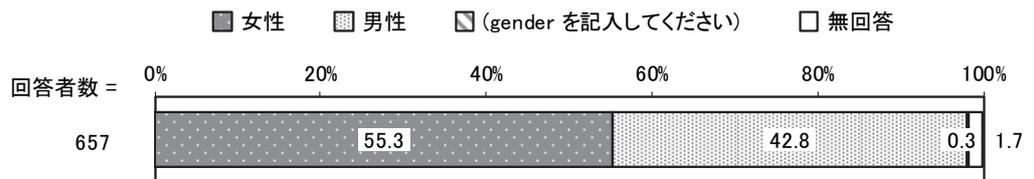
F 1-1 あなたの出生時の性(sex)は何ですか

「女性」の割合が55.4%、「男性」の割合が44.0%となっています。



F 1-2 あなた自身が認識する自分の性 (gender) は何ですか。(回答は任意です。)

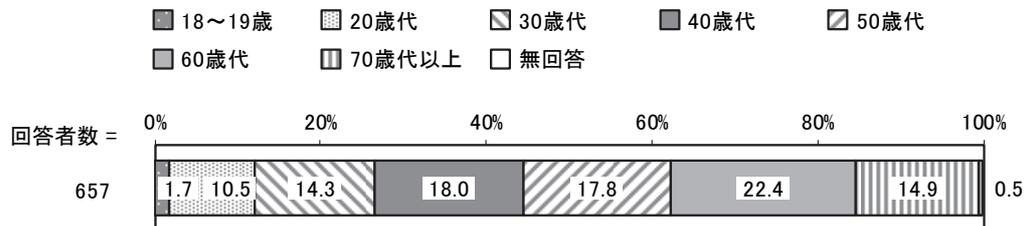
「女性」の割合が55.3%と最も高く、次いで「男性」の割合が42.8%となっています。



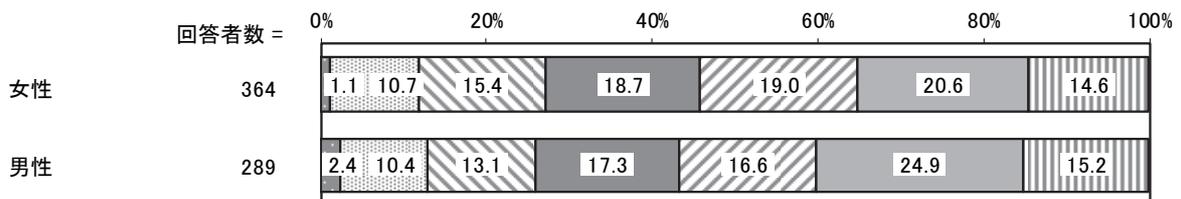
< 「gender」の主な内容 >

- ・男性と思っていたが、最近迷っている
- ・男女どちらでもない

F 2 あなたの年齢は。(○は1つ)

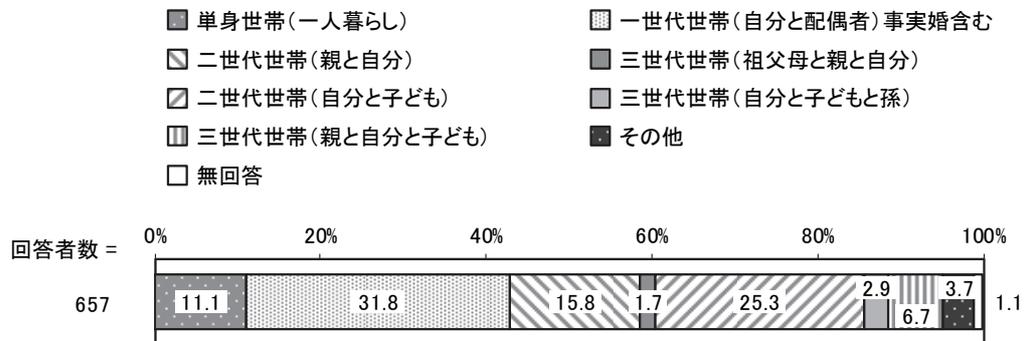


【性別】



F 3 現在、何世代で同居されていますか。家族構成についてお答えください。
(〇は1つ)

「一世代世帯（自分と配偶者）事実婚含む」の割合が31.8%と最も高く、次いで「二世帯世帯（自分と子ども）」の割合が25.3%、「二世帯世帯（親と自分）」の割合が15.8%となっています。

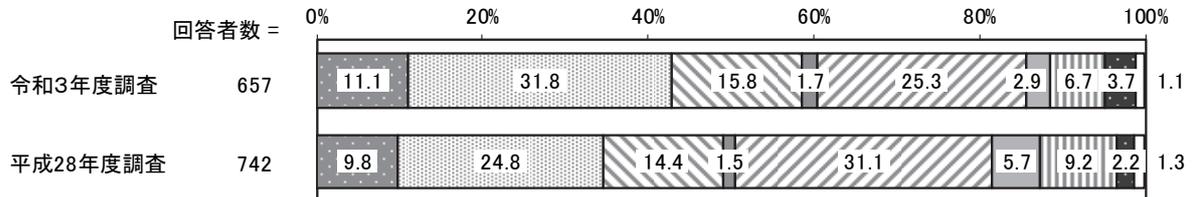


＜「その他」の主な内容＞

- ・自分と孫
- ・四世代世帯
- ・兄弟姉妹

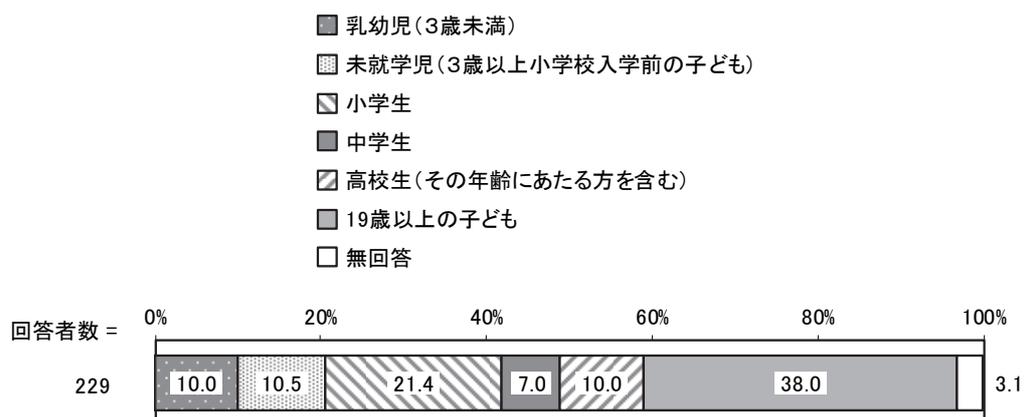
【前回調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、「一世代世帯（自分と配偶者）事実婚含む」の割合が増加しています。一方、「二世帯世帯（自分と子ども）」の割合が減少しています。



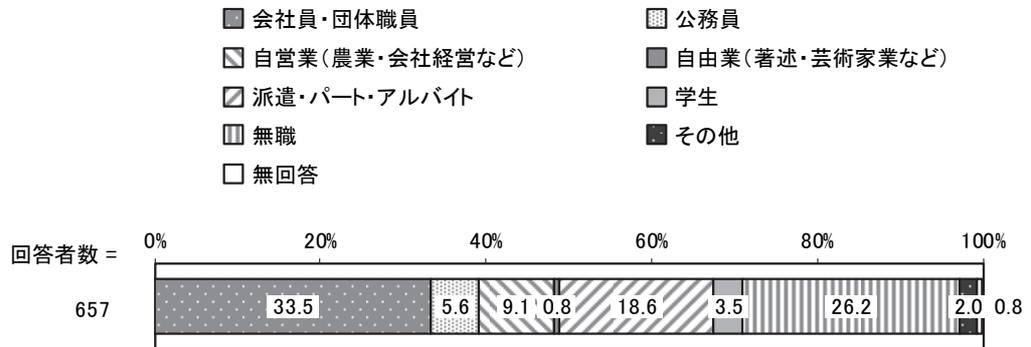
F 3-1 現在同居している（あなたの）一番下のお子さんはどれに当てはまりますか。
(お孫さんは含みません) (〇は1つ)

「19歳以上の子ども」の割合が38.0%と最も高く、次いで「小学生」の割合が21.4%、「未就学児（3歳以上小学校入学前の子ども）」の割合が10.5%となっています。



F 4 あなたの職業は何ですか。(〇は1つ)

「会社員・団体職員」の割合が33.5%と最も高く、次いで「無職」の割合が26.2%、「派遣・パート・アルバイト」の割合が18.6%となっています。

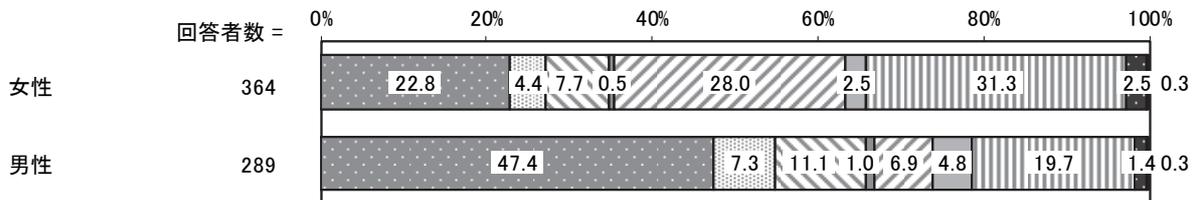


<「その他」の主な内容>

- ・専業主婦
- ・個人事業主

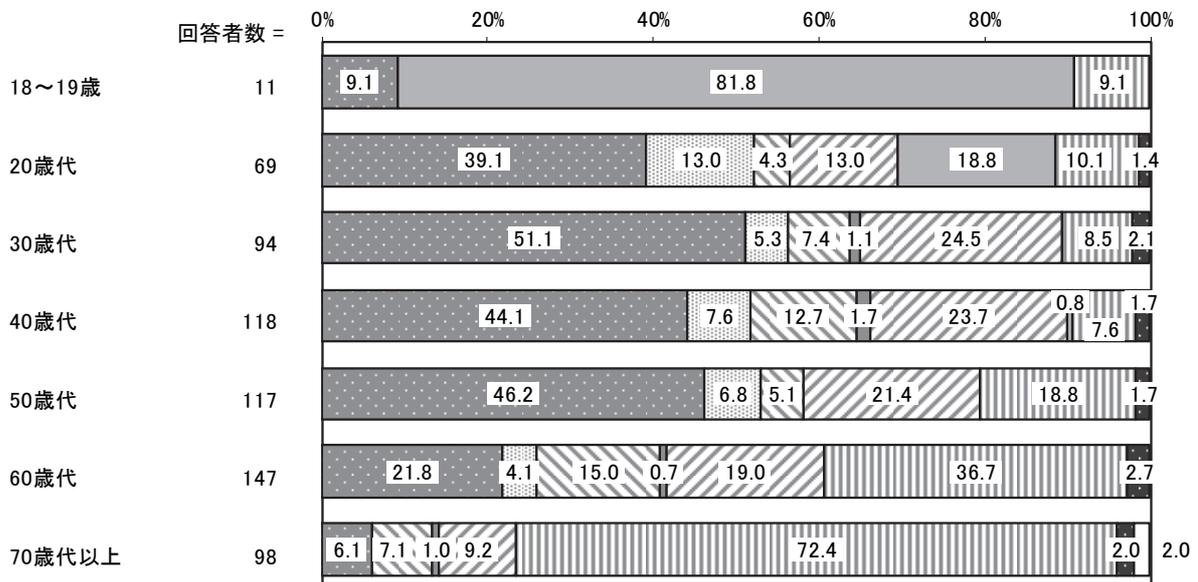
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「派遣・パート・アルバイト」「無職」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「会社員・団体職員」の割合が高くなっています。



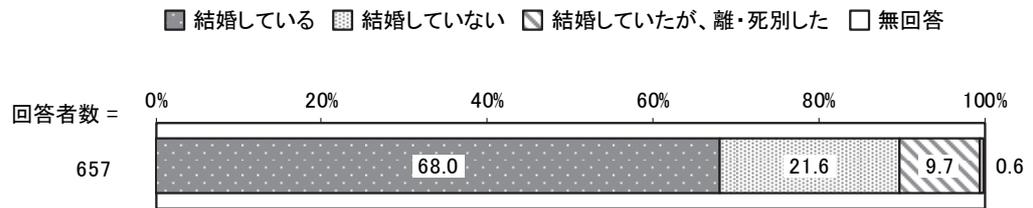
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「会社員・団体職員」の割合が高くなっています。また、60歳代以降で「無職」の割合が高くなる傾向がみられます。

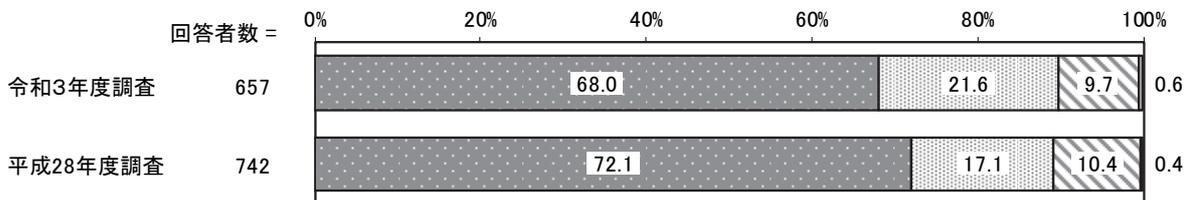


F 5 あなたは結婚されていますか（事実婚を含む）。（〇は1つ）

「結婚している」の割合が68.0%と最も高く、次いで「結婚していない」の割合が21.6%となっています。

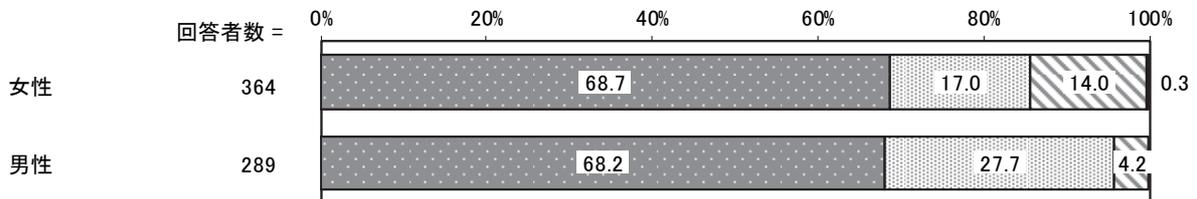


【前回調査との比較】



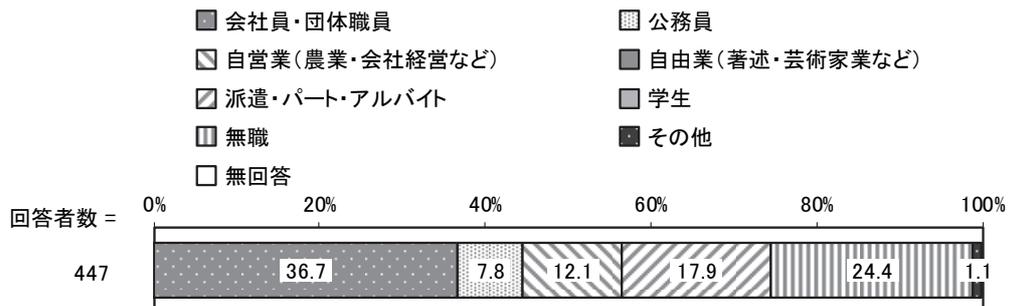
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「結婚していたが、離・死別した」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「結婚していない」の割合が高くなっています。



F 5-1 あなたの配偶者・パートナーの職業は何ですか。（〇は1つ）

「会社員・団体職員」の割合が36.7%と最も高く、次いで「無職」の割合が24.4%、「派遣・パート・アルバイト」の割合が17.9%となっています。



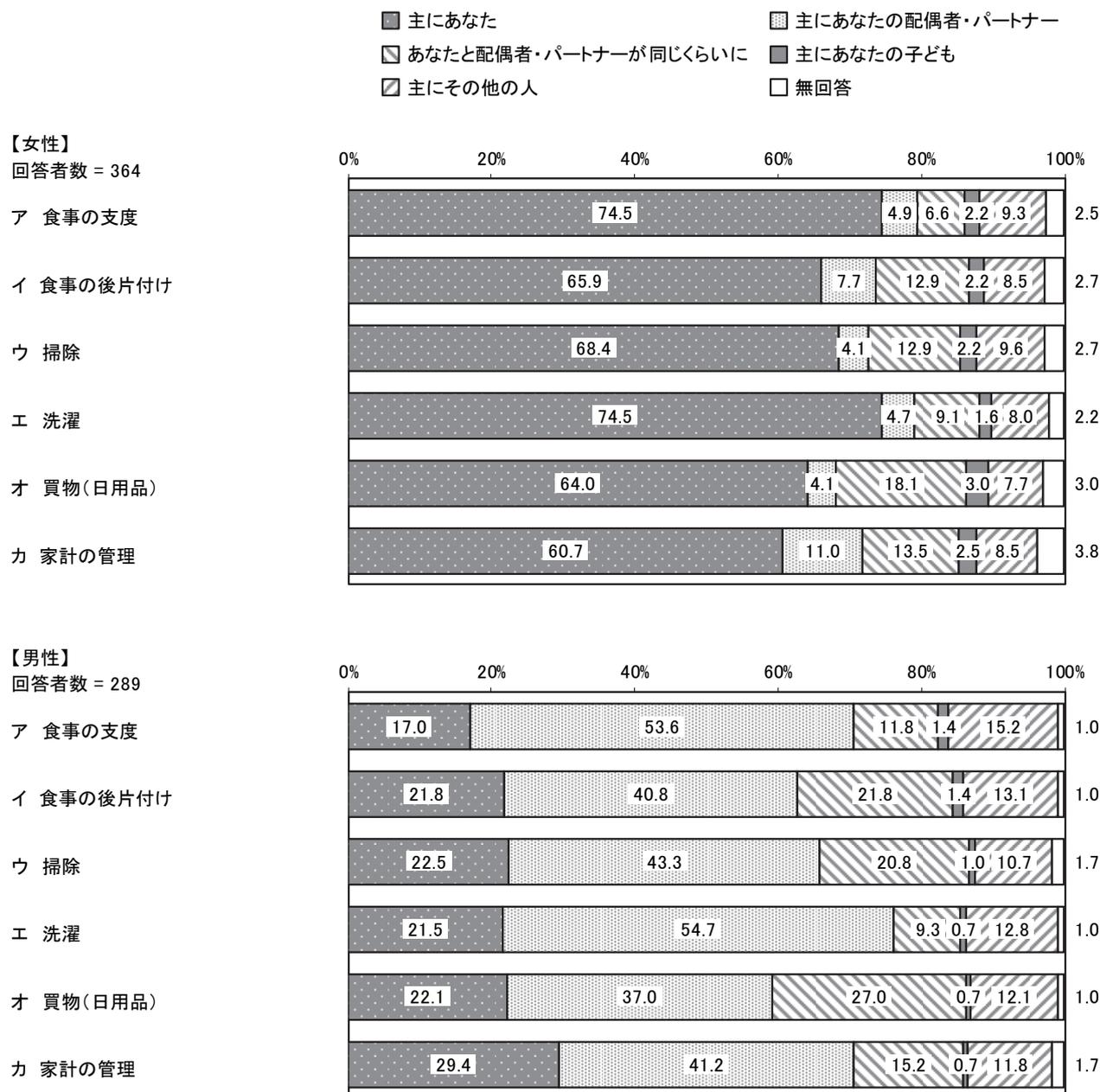
<「その他」の主な内容>

- ・主婦
- ・不動産賃貸業

(2) 家庭生活について

問1 あなたの家庭では、次にあげるようなことは、現在どなたが担当されていますか。
「該当しない」は、家族に高齢者や病気の人がないなど、記入できないときに
○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

すべての項目において女性では6割以上が「主にあなた」が担当しているのに対し、男性は、約2割が「主にあなた」が担当し、男性の割合が未だ低くなっています。



『キ 子どもの世話やしつけ』で、男性に比べ、女性で「主にあなた」の割合が高くなっています。

また、『ケ 自治会などの地域活動』で、女性に比べ、男性で「主にあなた」の割合が高くなっています。

- 主にあなた
- あなたと配偶者・パートナーが同じくらいに
- 主にあなたの子ども
- 主にあなたの子どもの配偶者・パートナー
- 主にその他人
- 該当しない
- 無回答

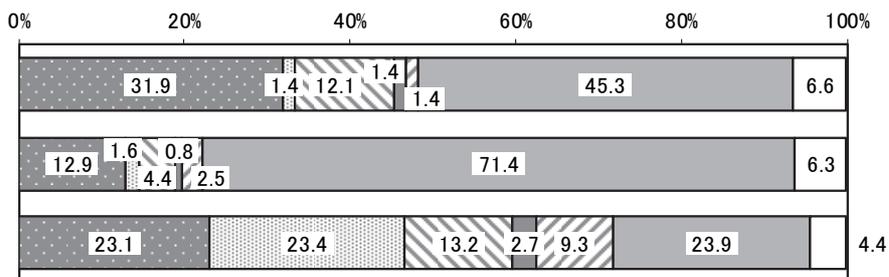
【女性】

回答者数 = 364

キ 子どもの世話やしつけ

ク 高齢者や病人の介護

ケ 自治会などの地域活動



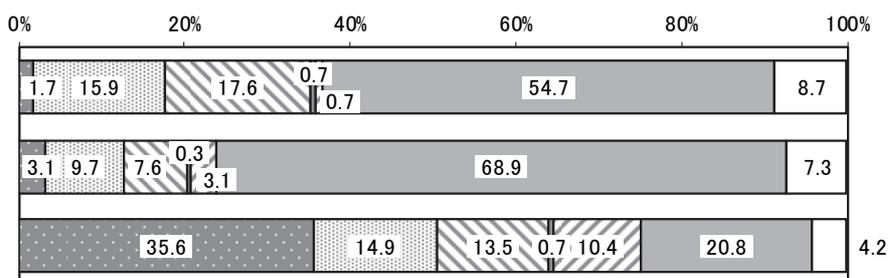
【男性】

回答者数 = 289

キ 子どもの世話やしつけ

ク 高齢者や病人の介護

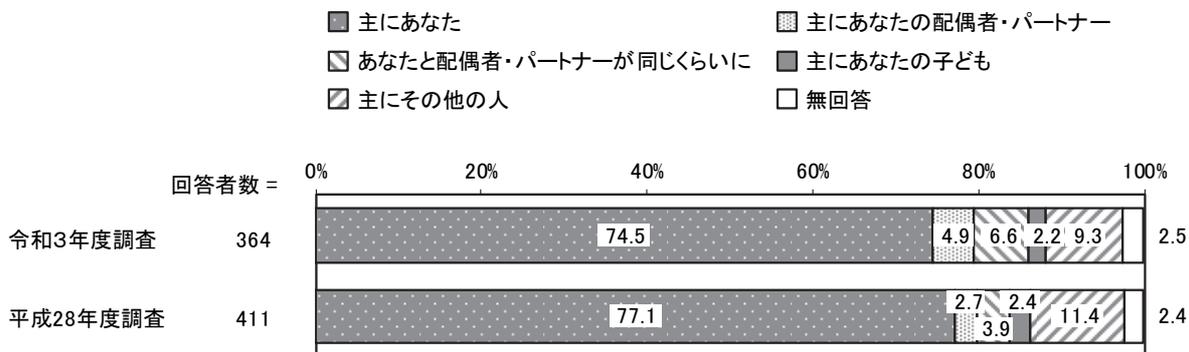
ケ 自治会などの地域活動



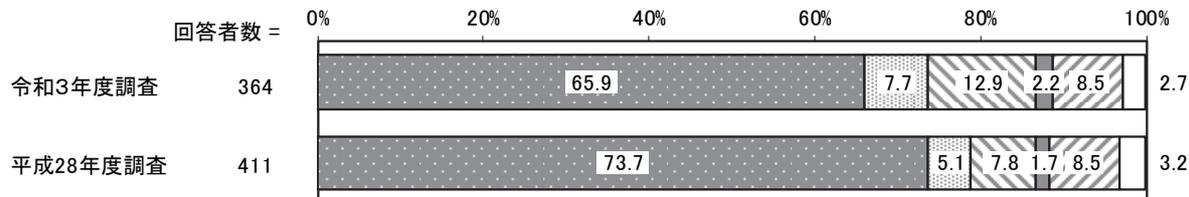
【前回調査との比較】

《女性》

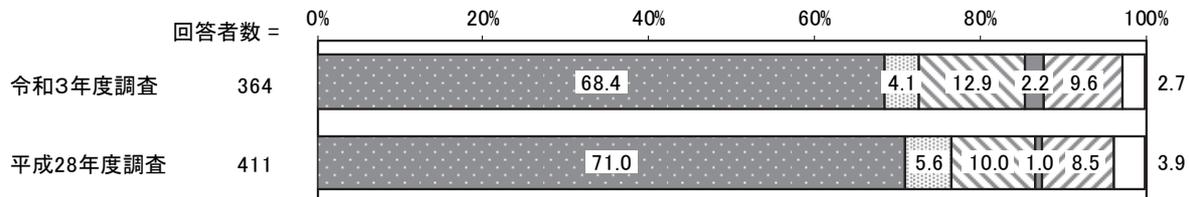
ア 食事の支度



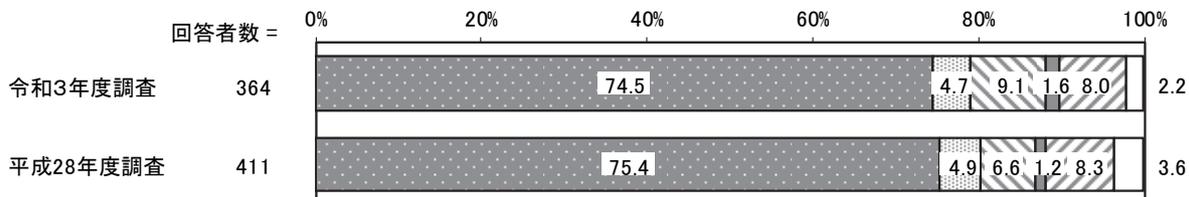
イ 食事の後片付け



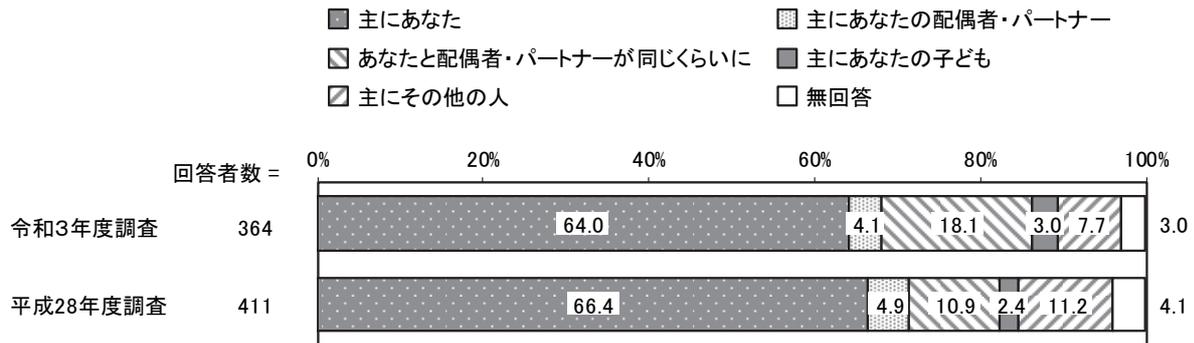
ウ 掃除



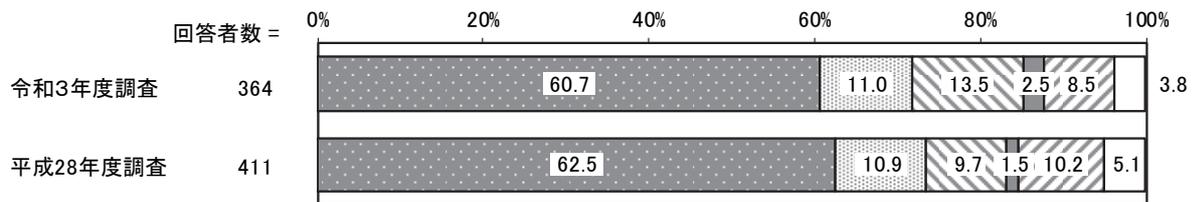
エ 洗濯



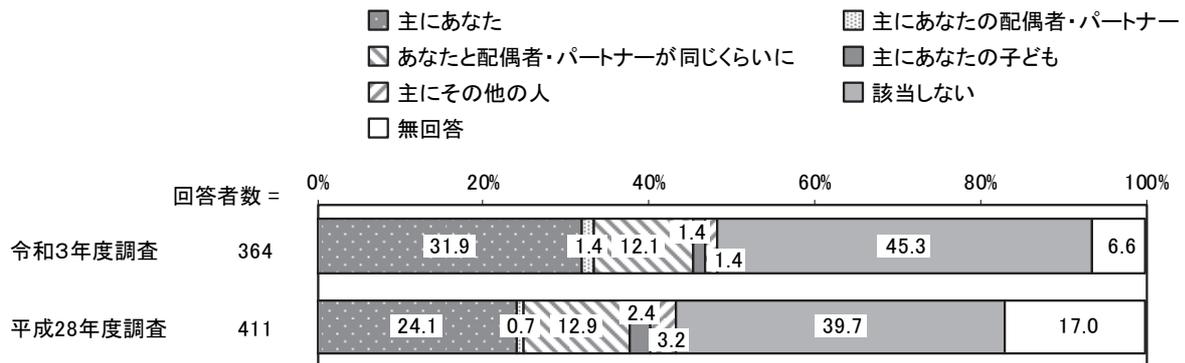
オ 買物



カ 家計の管理



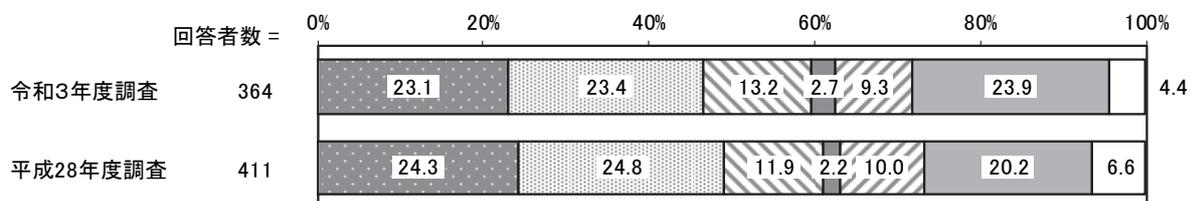
キ 子どもの世話やしつけ



ク 高齢者や病人の介護

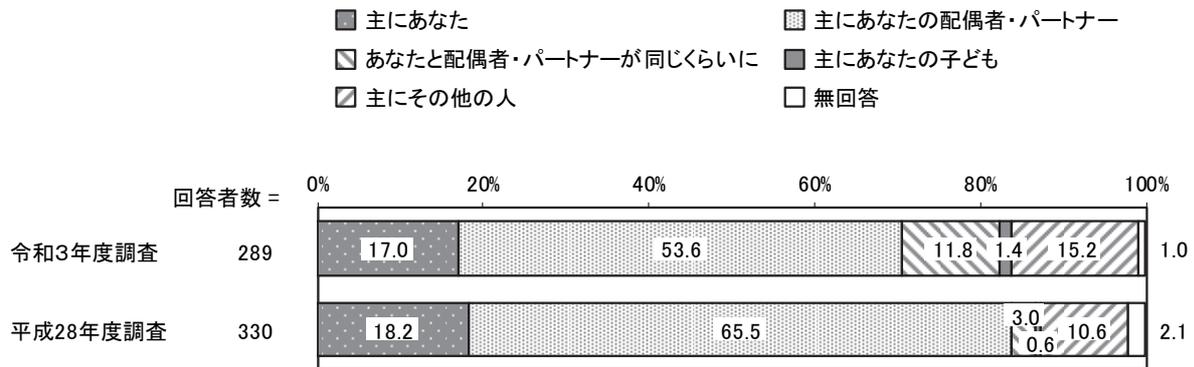


ケ 自治会などの地域活動

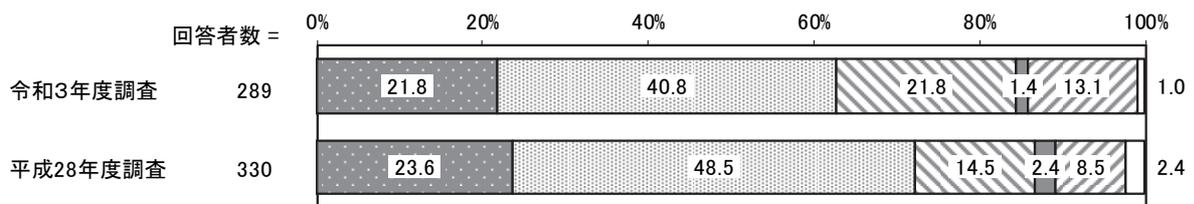


《男性》

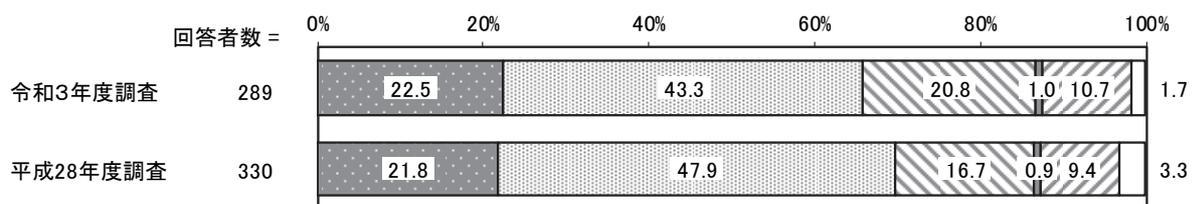
ア 食事の支度



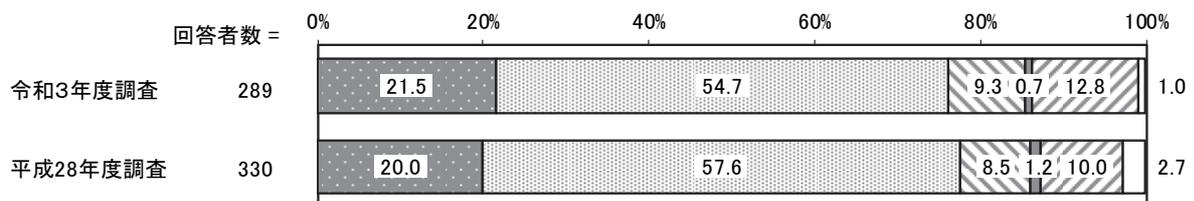
イ 食事の後片付け



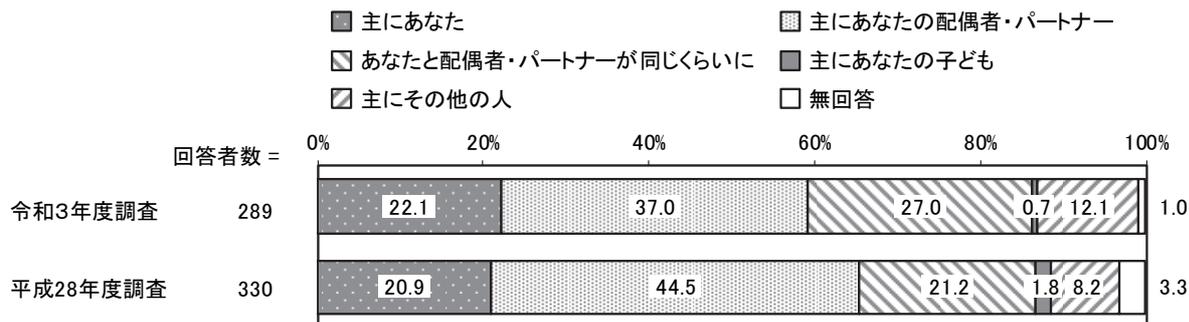
ウ 掃除



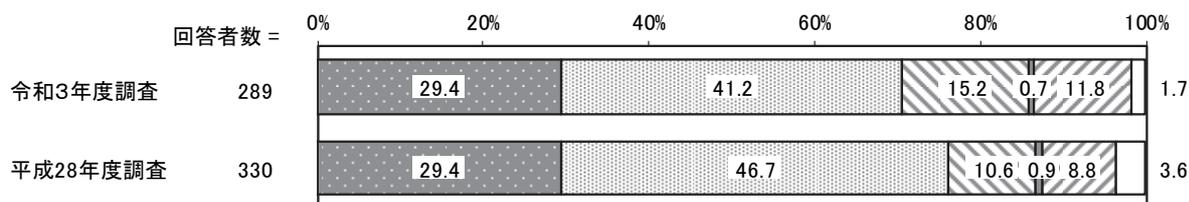
エ 洗濯



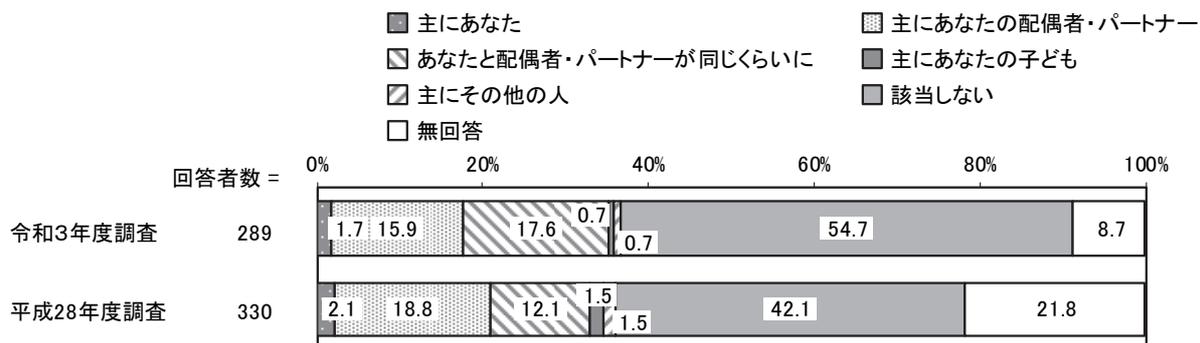
オ 買物（日用品）



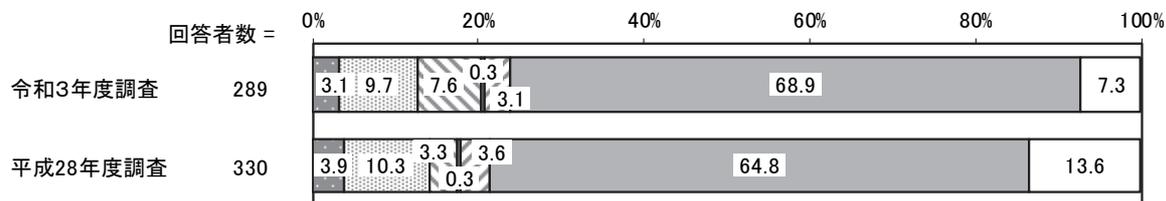
カ 家計の管理



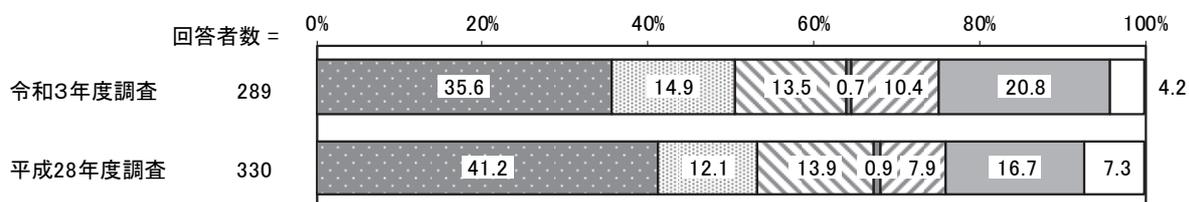
キ 子どもの世話やしつけ



ク 高齢者や病人の介護



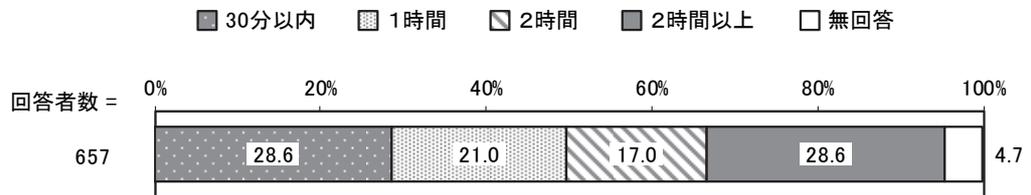
ケ 自治会などの地域活動



問2 あなたが平日や休日に、家事（子育てや介護も含む）にかかわる時間はどのくらいですか。おおよその時間に○をつけてください（○は平日・休日1つずつ）

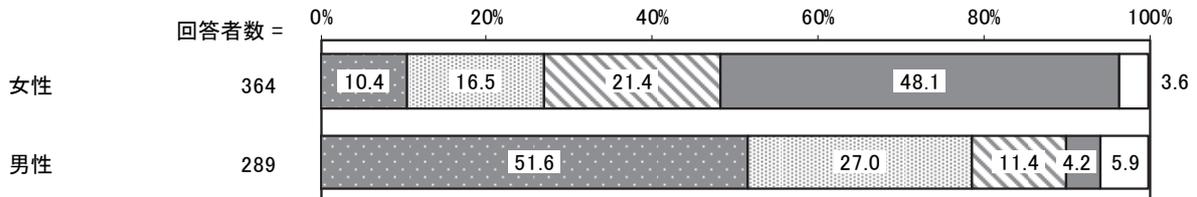
①平日

「30分以内」、「2時間以上」の割合が28.6%と最も高く、次いで「1時間」の割合が21.0%となっています。



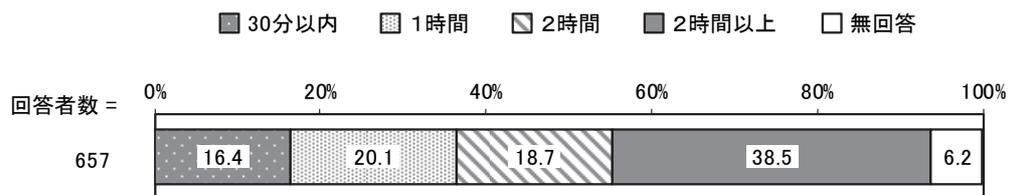
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「2時間」「2時間以上」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「30分以内」の割合が高くなっています。



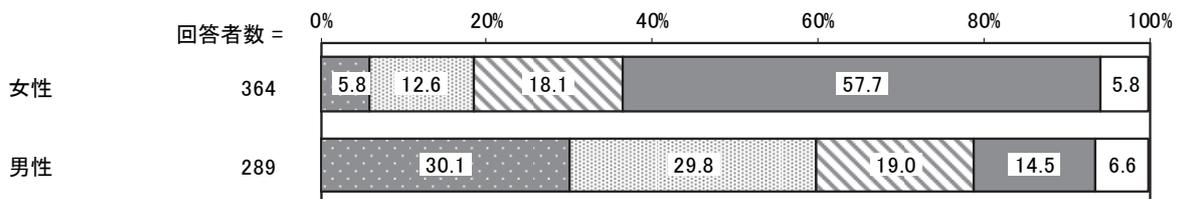
②休日

「2時間以上」の割合が38.5%と最も高く、次いで「1時間」の割合が20.1%、「2時間」の割合が18.7%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「2時間以上」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「30分以内」「1時間」の割合が高くなっています。

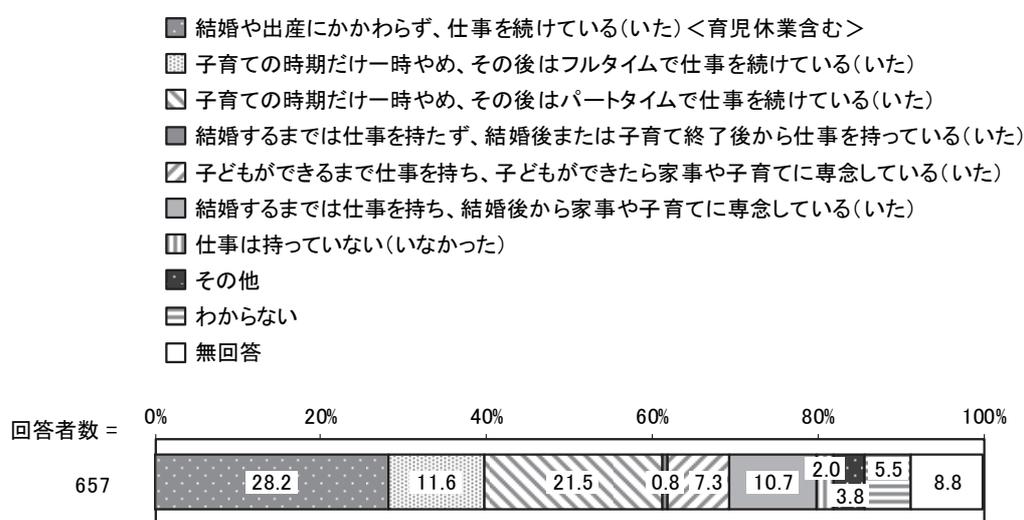


(3) 就労について

問3 女性の働き方についておたずねします。

問3-1 女性の方はあなた自身の、男性の方はあなたの妻の実際の働き方についてそれぞれ、次の頁の選択肢の中から最もあてはまるものを1つずつ選び、回答欄に番号を記入してください。
(未婚の方は結婚したと仮定してお答えください。)

「結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている(いた)〈育児休業含む〉」の割合が28.2%と最も高く、次いで「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている(いた)」の割合が21.5%、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている(いた)」の割合が11.6%となっています。

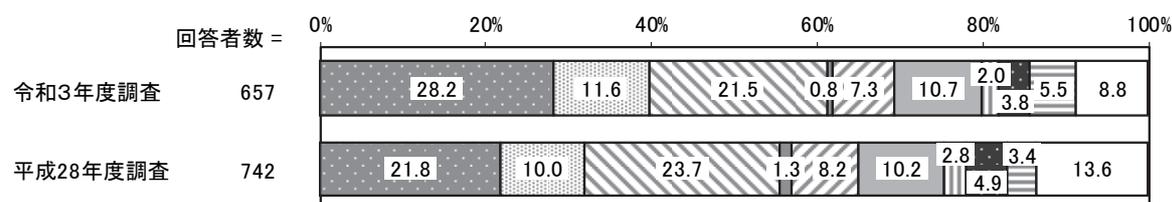


＜「その他」の主な内容＞

- ・その人の置かれた状況でさまざまな就労の形がある
- ・(正社員)で子どもが小学3年生までは時短で働く(10時～16時)
- ・子育ての状況に応じて、子の年齢に限らず就労時間をフレキシブルに短縮・延長したり、就労時間帯を調整できる
- ・出産前は会社員、出産で退職、出産後子育てしながら専門職の資格、取得

【前回調査との比較】

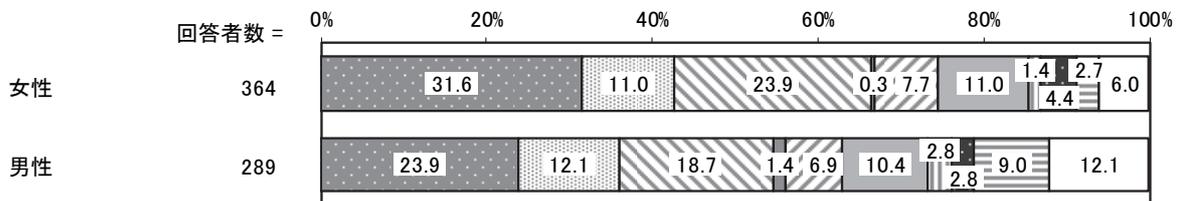
平成28年度調査と比較すると、「結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている(いた)〈育児休業含む〉」の割合が増加しています。



【性別】

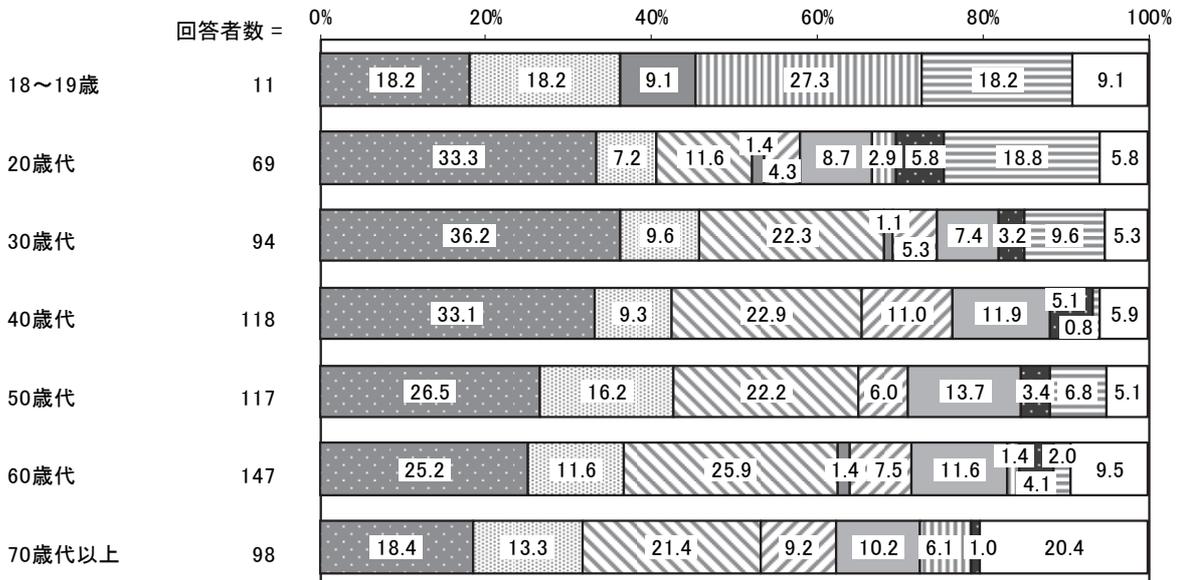
性別でみると、女性自身の『実際』の働き方が、「結婚や出産・子育て後も仕事を続けている」割合が66.5%と高くなっています。

- 結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている(いた) <育児休業含む>
- ▨ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている(いた)
- ▧ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている(いた)
- 結婚するまでは仕事を持たず、結婚後または子育て終了後から仕事を持っている(いた)
- ▨ 子どもができるまで仕事をもち、子どもができたらか家事や子育てに専念している(いた)
- ▧ 結婚するまでは仕事をもち、結婚後から家事や子育てに専念している(いた)
- 仕事は持っていない(いなかった)
- その他
- ▨ わからない
- 無回答



【年齢別】

年齢別でみると、30歳代から60歳代で「結婚や出産・子育て後も仕事を続けている」割合が高くなっています。

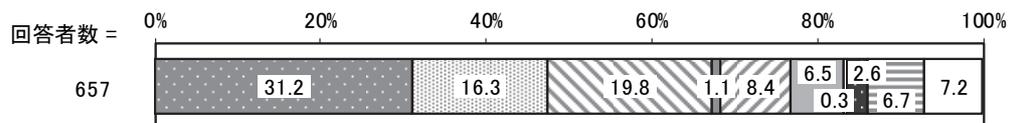


問3 女性の働き方についておたずねします。

問3-2 あなたが望ましいと思う女性の働き方について
 それぞれ、次の頁の選択肢の中から最もあてはまるものを1つずつ選び、回答欄に番号を記入してください。
 (未婚の方は結婚したと仮定してお答えください。)

「結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている(いた) <育児休業含む>」の割合が31.2%と最も高く、次いで「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている(いた)」の割合が19.8%、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている(いた)」の割合が16.3%となっています。

- 結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている(いた) <育児休業含む>
- ▨ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている(いた)
- ▩ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている(いた)
- 結婚するまでは仕事を持たず、結婚後または子育て終了後から仕事を持っている(いた)
- ▨ 子どもができるまで仕事をもち、子どもができたら家事や子育てに専念している(いた)
- ▩ 結婚するまでは仕事をもち、結婚後から家事や子育てに専念している(いた)
- 仕事を持っていない(いなかった)
- その他
- ▨ わからない
- 無回答

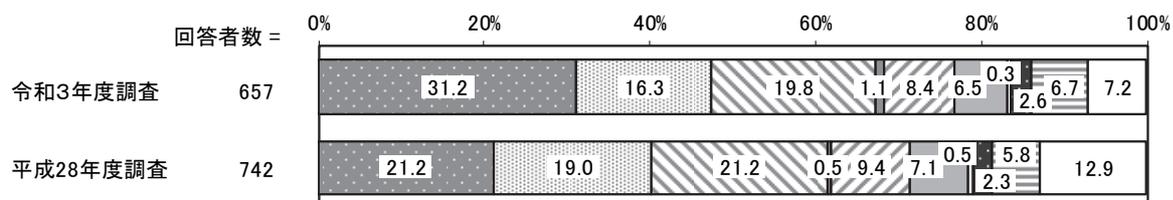


<「その他」の主な内容>

- ・本人の望むようにできればどんな形でもよい
- ・“結婚”“出産”など、世間一般でいわれるイベントをすべての女性に当てはめてライフスタイルを評価することには不快であり疑問を持つ

【前回調査との比較】

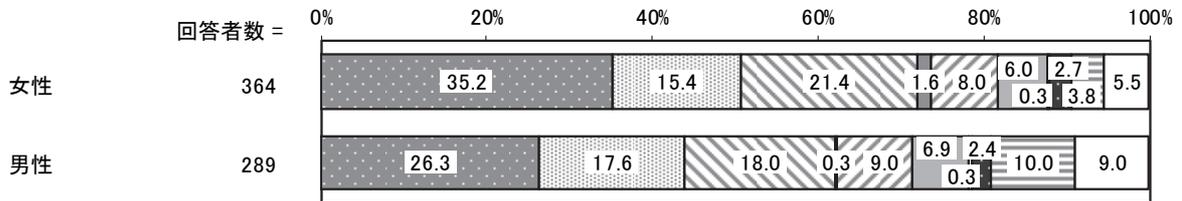
平成28年度調査と比較すると、「結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている(いた) <育児休業含む>」の割合が増加しています。



【性別】

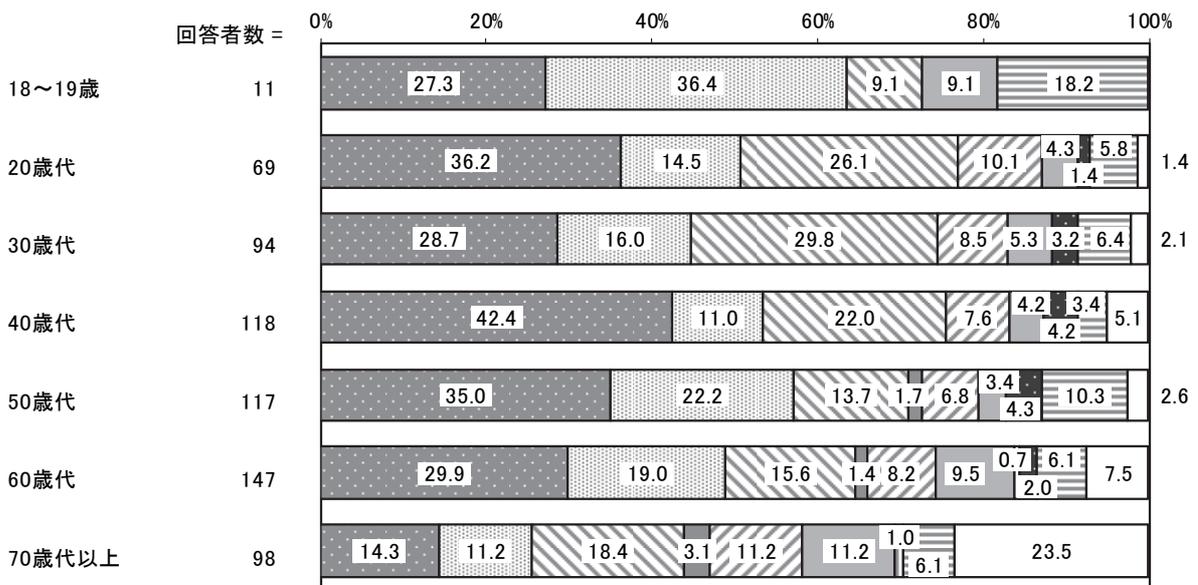
性別で見ると、女性自身の『理想』の働き方は、結婚や出産・子育て後も仕事を続けている場合が 72.0%と高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「わからない」の割合が 10.0%と高くなっています。

- 結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている(いた) <育児休業含む>
- ▨ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている(いた)
- ▧ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている(いた)
- 結婚するまでは仕事を持たず、結婚後または子育て終了後から仕事を持っている(いた)
- ▨ 子どもができるまで仕事をもち、子どもができたら家事や子育てに専念している(いた)
- ▧ 結婚するまでは仕事をもち、結婚後から家事や子育てに専念している(いた)
- ▨ 仕事は持っていない(いなかった)
- その他
- わからない
- 無回答



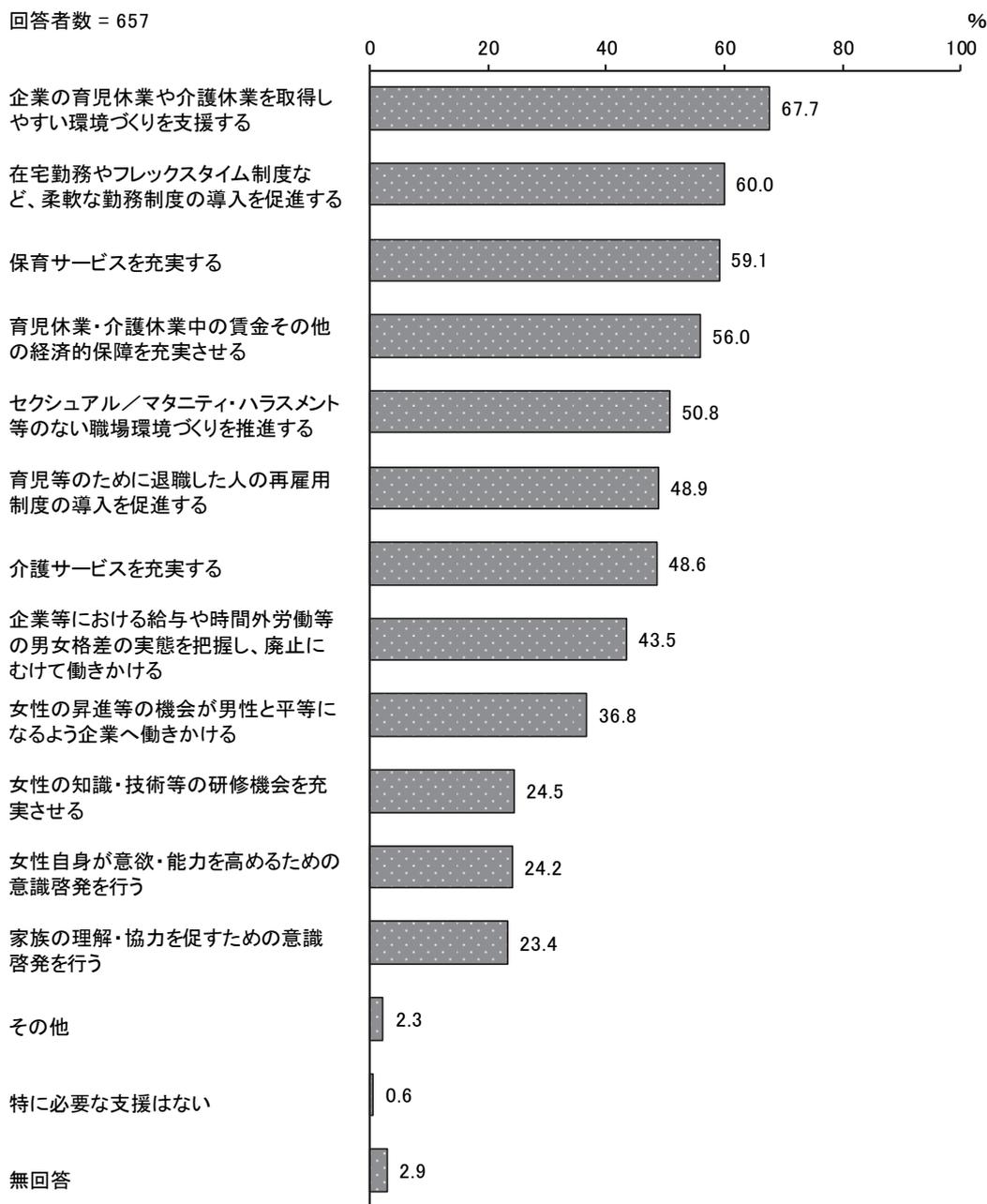
【年齢別】

年齢別で見ると、結婚や出産・子育て後も仕事を続けたいと考える女性の割合が、18～19歳代から50歳代までは、7割を超えています。



問4 一般的に、行政や企業がすべき、女性が働き続けるために必要な支援は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「企業の育児休業や介護休業を取得しやすい環境づくりを支援する」の割合が67.7%と最も高く、次いで「在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度の導入を促進する」の割合が60.0%、「保育サービスを充実する」の割合が59.1%となっています。

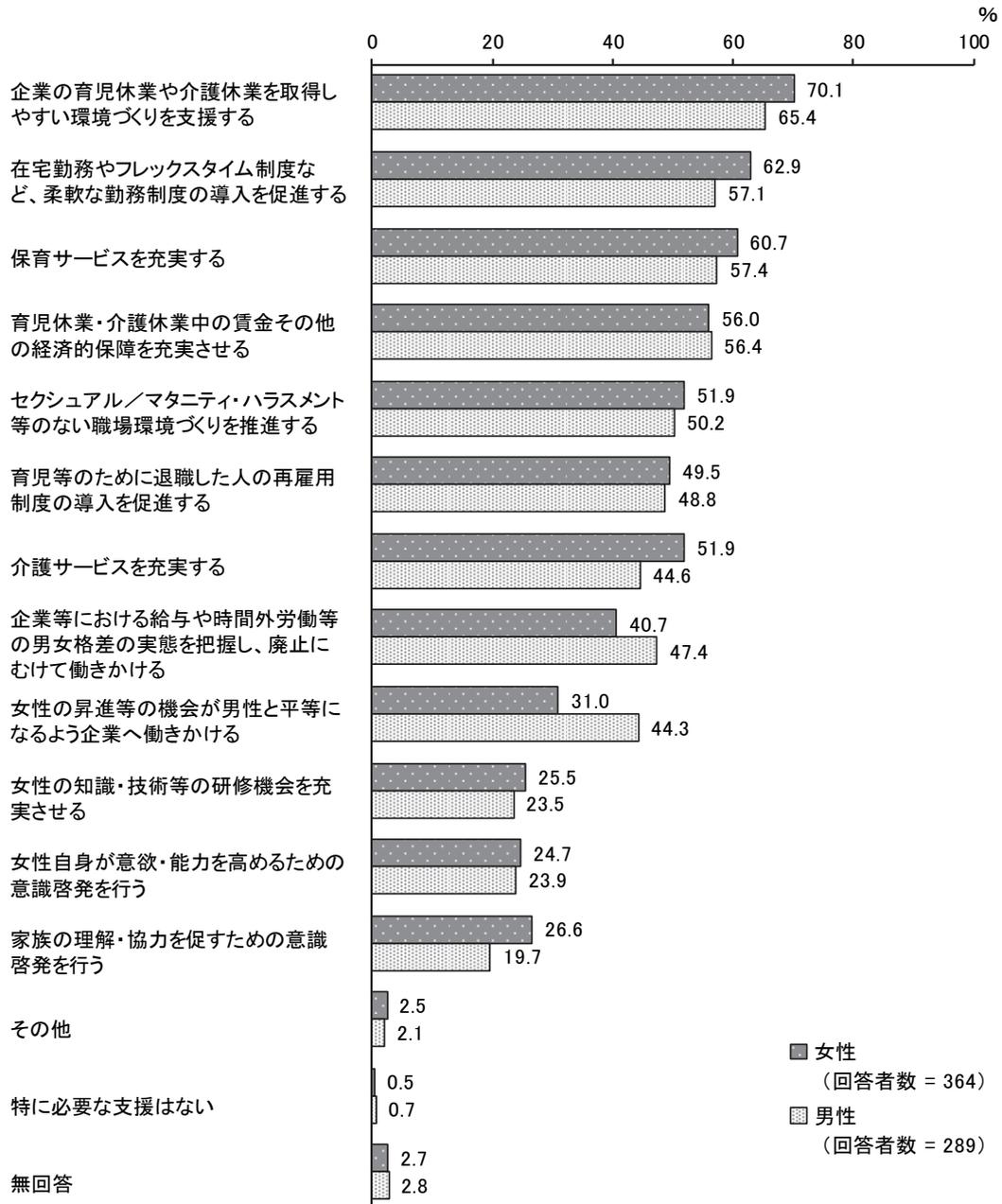


<「その他」の主な内容>

- ・意識改革の場や機会
- ・働きたいのか、働かざるを得ないのか、気楽な相談できる場が必要
- ・家事支援サービスの充実
- ・育児・介護のための急な休み、早退、遅刻がしやすい環境づくり
- ・保育や介護でも在宅ワークできる環境
- ・ワーキングスペースと保育の無償提供
- ・男性が家事都合で休暇を取っても、収入が減らない手当て
- ・育休など取得時の事業所に対しての保障

【性別】

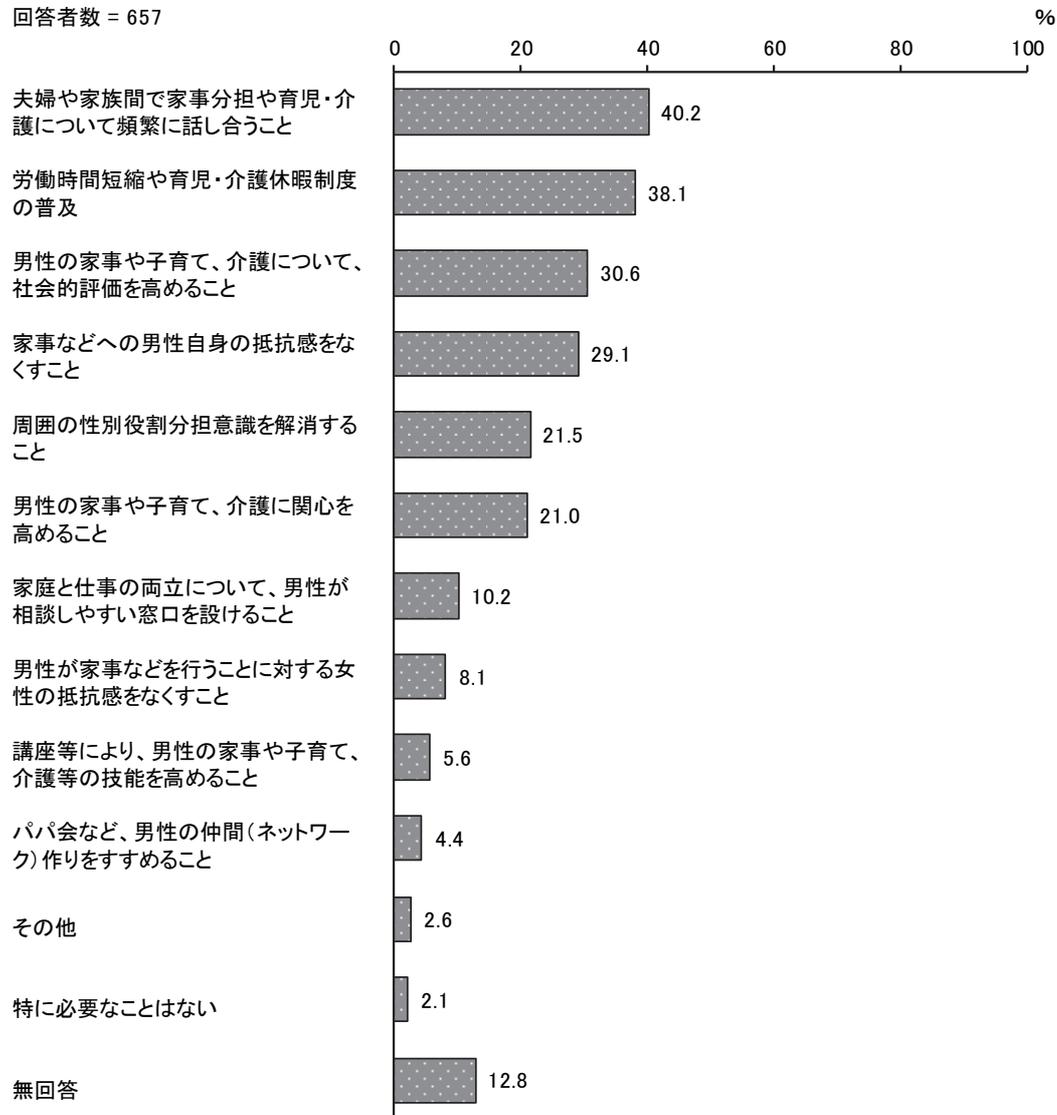
性別で見ると、男性に比べ、女性で「介護サービスを充実する」「家族の理解・協力を促すための意識啓発を行う」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「企業等における給与や時間外労働等の男女格差の実態を把握し、廃止にむけて働きかける」「女性の昇進等の機会が男性と平等になるよう企業へ働きかける」の割合が高くなっています。



問5 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの3つまで○）

「夫婦や家族間で家事分担や育児・介護について頻繁に話し合うこと」の割合が40.2%と最も高く、次いで「労働時間短縮や育児・介護休暇制度の普及」の割合が38.1%、「男性の家事や子育て、介護について、社会的評価を高めること」の割合が30.6%となっています。

回答者数 = 657

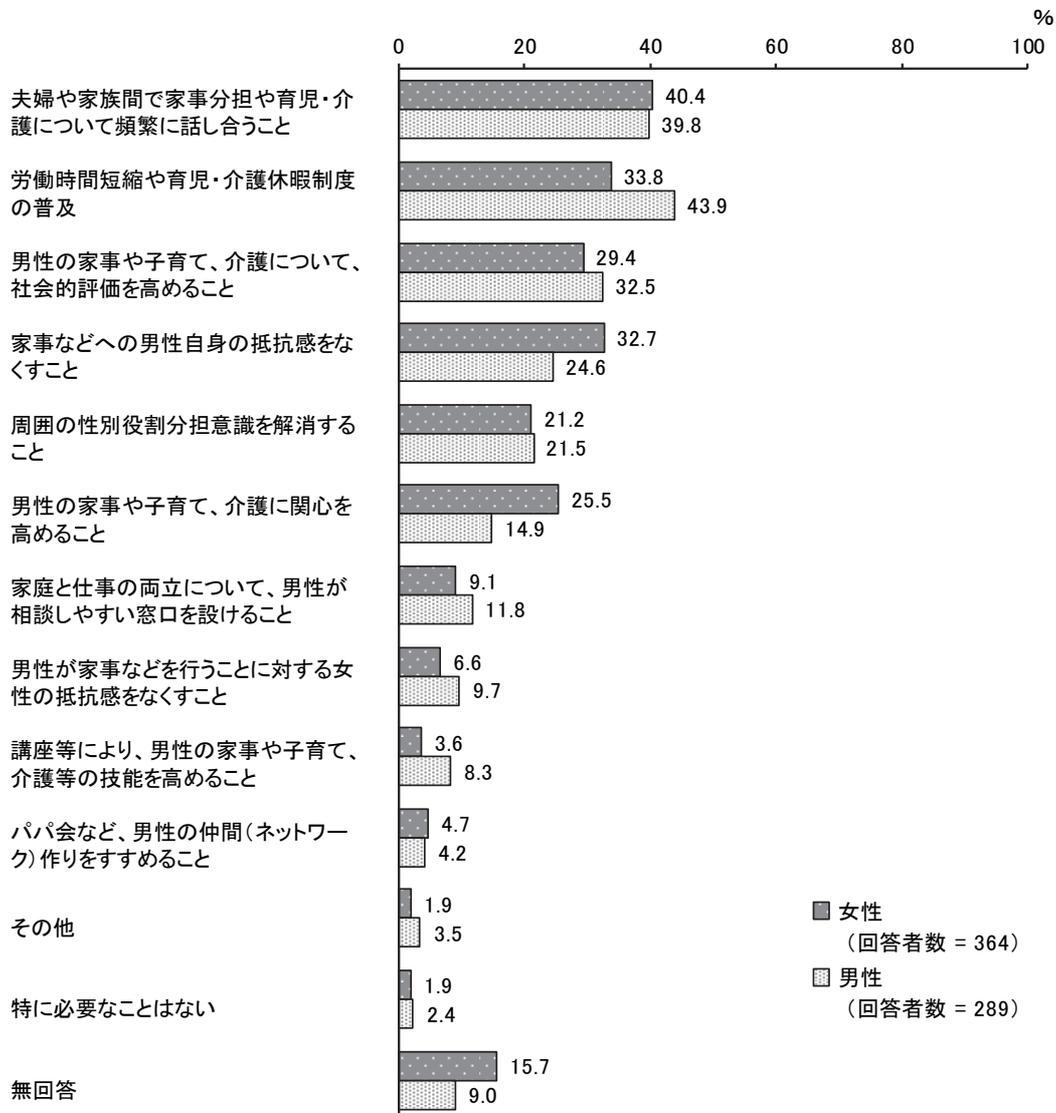


<「その他」の主な内容>

- ・ 本人の問題 (3件)
- ・ 政府や企業の労働意識改革 (3件)
- ・ 仕事にする
- ・ 男性がもっと育児休業を取りやすくする (2件)
- ・ 子どもの頃から、自分のことは自分でできるよう、男女区別なく教育する (2件)
- ・ 会社、同僚の理解
- ・ 自分は男性 (一応) ではあるが、抵抗感はまったくくない
- ・ 家事能力の向上
- ・ 時間休を月に何度でも取れるようにする
- ・ 生まれたばかりの子どもの哺乳への主体的な参加を促す
- ・ やり方が少々違っていても、男性にやらせる (気に入らないことがあっても)
- ・ 家族なのだから協力するのは当たり前
- ・ 選択したもの以外は個人の意識の問題であるから、行政のしごとではない

【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家事などへの男性自身の抵抗感をなくすこと」「男性の家事や子育て、介護に関心を高めること」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「労働時間短縮や育児・介護休暇制度の普及」の割合が高くなっています。



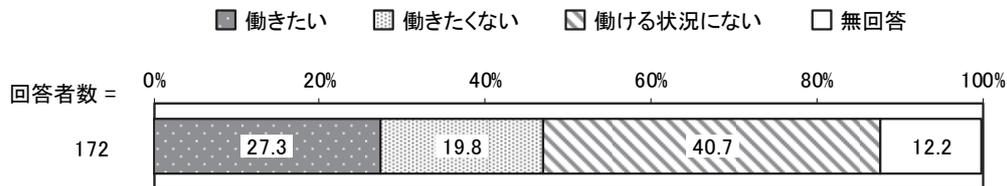
【性・年齢別 上位回答（1～3位）】

女性	1位	2位	3位
18～19歳	夫婦や家族間で家事分担や育児・介護について頻繁に話し合うこと /労働時間短縮や育児・介護休暇制度の普及	家事などへの男性自身の抵抗感をなくすこと/男性が家事などを行うことに対する女性の抵抗感をなくすこと/周囲の性別役割分担意識を解消すること/男性の家事や子育て、介護について、社会的評価を高めること	
回答者数 = 4	(50.0%)	(25.0%)	
20歳代	労働時間短縮や育児・介護休暇制度の普及	家事などへの男性自身の抵抗感をなくすこと	夫婦や家族間で家事分担や育児・介護について頻繁に話し合うこと
回答者数 = 39	(43.6%)	(38.5%)	(35.9%)
30歳代	夫婦や家族間で家事分担や育児・介護について頻繁に話し合うこと	男性の家事や子育て、介護について、社会的評価を高めること	労働時間短縮や育児・介護休暇制度の普及
回答者数 = 56	(44.6%)	(39.3%)	(33.9%)
40歳代	夫婦や家族間で家事分担や育児・介護について頻繁に話し合うこと	家事などへの男性自身の抵抗感をなくすこと	男性の家事や子育て、介護について、社会的評価を高めること/労働時間短縮や育児・介護休暇制度の普及
回答者数 = 68	(39.7%)	(36.8%)	(27.9%)
50歳代	労働時間短縮や育児・介護休暇制度の普及	夫婦や家族間で家事分担や育児・介護について頻繁に話し合うこと	男性の家事や子育て、介護について、社会的評価を高めること
回答者数 = 69	(37.7%)	(33.3%)	(30.4%)
60歳代	夫婦や家族間で家事分担や育児・介護について頻繁に話し合うこと	家事などへの男性自身の抵抗感をなくすこと	労働時間短縮や育児・介護休暇制度の普及
回答者数 = 75	(44.0%)	(36.0%)	(34.7%)
70歳代以上	夫婦や家族間で家事分担や育児・介護について頻繁に話し合うこと	男性の家事や子育て、介護に関心を高めること	家事などへの男性自身の抵抗感をなくすこと
回答者数 = 53	(43.4%)	(35.8%)	(32.1%)

男性	1位	2位	3位
18～19歳	家事などへの男性自身の抵抗感をなくすこと/夫婦や家族間で家事分担や育児・介護について頻繁に話し合うこと/労働時間短縮や育児・介護休暇制度の普及	周囲の性別役割分担意識を解消すること/男性の家事や子育て、介護に関心を高めること	
回答者数 = 7	(42.9%)	(14.3%)	
20歳代	労働時間短縮や育児・介護休暇制度の普及	夫婦や家族間で家事分担や育児・介護について頻繁に話し合うこと	家事などへの男性自身の抵抗感をなくすこと
回答者数 = 30	(63.3%)	(43.3%)	(36.7%)
30歳代	夫婦や家族間で家事分担や育児・介護について頻繁に話し合うこと	男性の家事や子育て、介護について、社会的評価を高めること	労働時間短縮や育児・介護休暇制度の普及
回答者数 = 38	(39.5%)	(31.6%)	(28.9%)
40歳代	労働時間短縮や育児・介護休暇制度の普及	夫婦や家族間で家事分担や育児・介護について頻繁に話し合うこと	男性の家事や子育て、介護について、社会的評価を高めること
回答者数 = 50	(50.0%)	(40.0%)	(38.0%)
50歳代	労働時間短縮や育児・介護休暇制度の普及	夫婦や家族間で家事分担や育児・介護について頻繁に話し合うこと/男性の家事や子育て、介護について、社会的評価を高めること	男性の家事や子育て、介護に関心を高めること
回答者数 = 48	(47.9%)	(41.7%)	(20.8%)
60歳代	夫婦や家族間で家事分担や育児・介護について頻繁に話し合うこと/労働時間短縮や育児・介護休暇制度の普及	家事などへの男性自身の抵抗感をなくすこと	男性の家事や子育て、介護について、社会的評価を高めること
回答者数 = 72	(43.1%)	(31.9%)	(29.2%)
70歳代以上	労働時間短縮や育児・介護休暇制度の普及	男性の家事や子育て、介護について、社会的評価を高めること	夫婦や家族間で家事分担や育児・介護について頻繁に話し合うこと
回答者数 = 44	(34.1%)	(31.8%)	(29.5%)

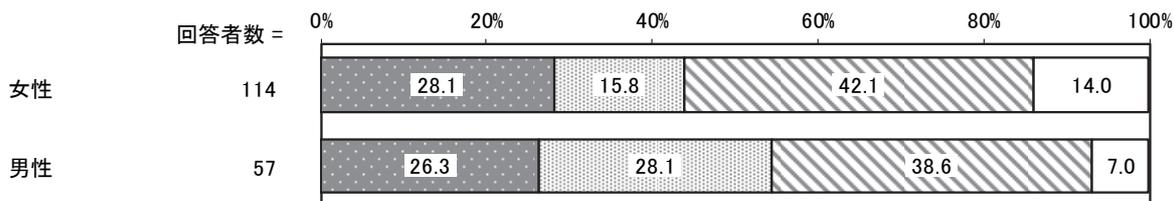
問6 あなたは、今後働きたいと思いますか。(〇は1つ)
【「無職」と回答した方への質問】

「働ける状況にない」の割合が40.7%と最も高く、次いで「働きたい」の割合が27.3%、「働きたくない」の割合が19.8%となっています。



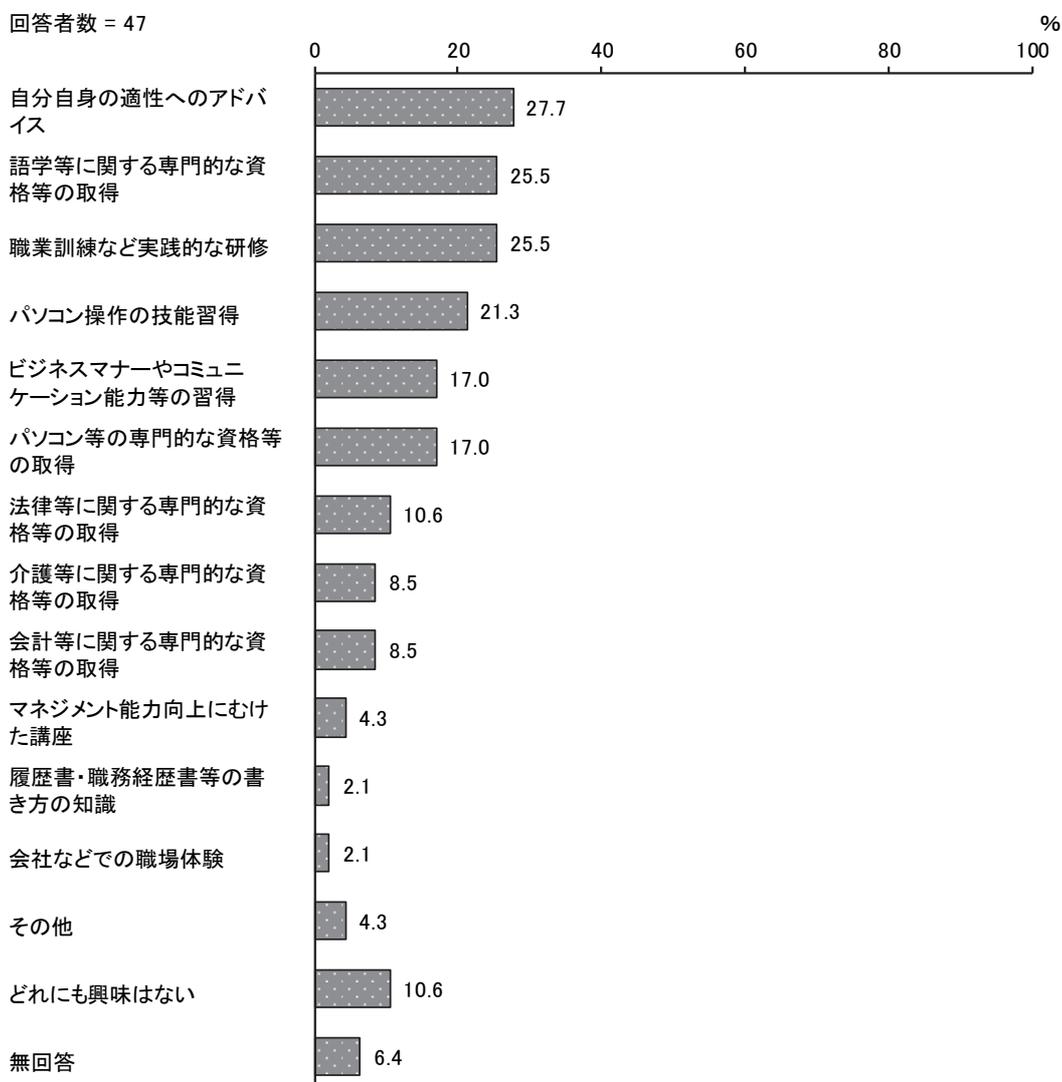
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「働きたくない」の割合が高くなっています。



問6-1 あなたは、キャリア・アップや自己啓発などのために、どのような講座・能力取得に興味がありますか。(あてはまるもの3つまで○)

「自分自身の適性へのアドバイス」の割合が27.7%と最も高く、次いで「語学等に関する専門的な資格等の取得」、「職業訓練など実践的な研修」の割合が25.5%となっています。

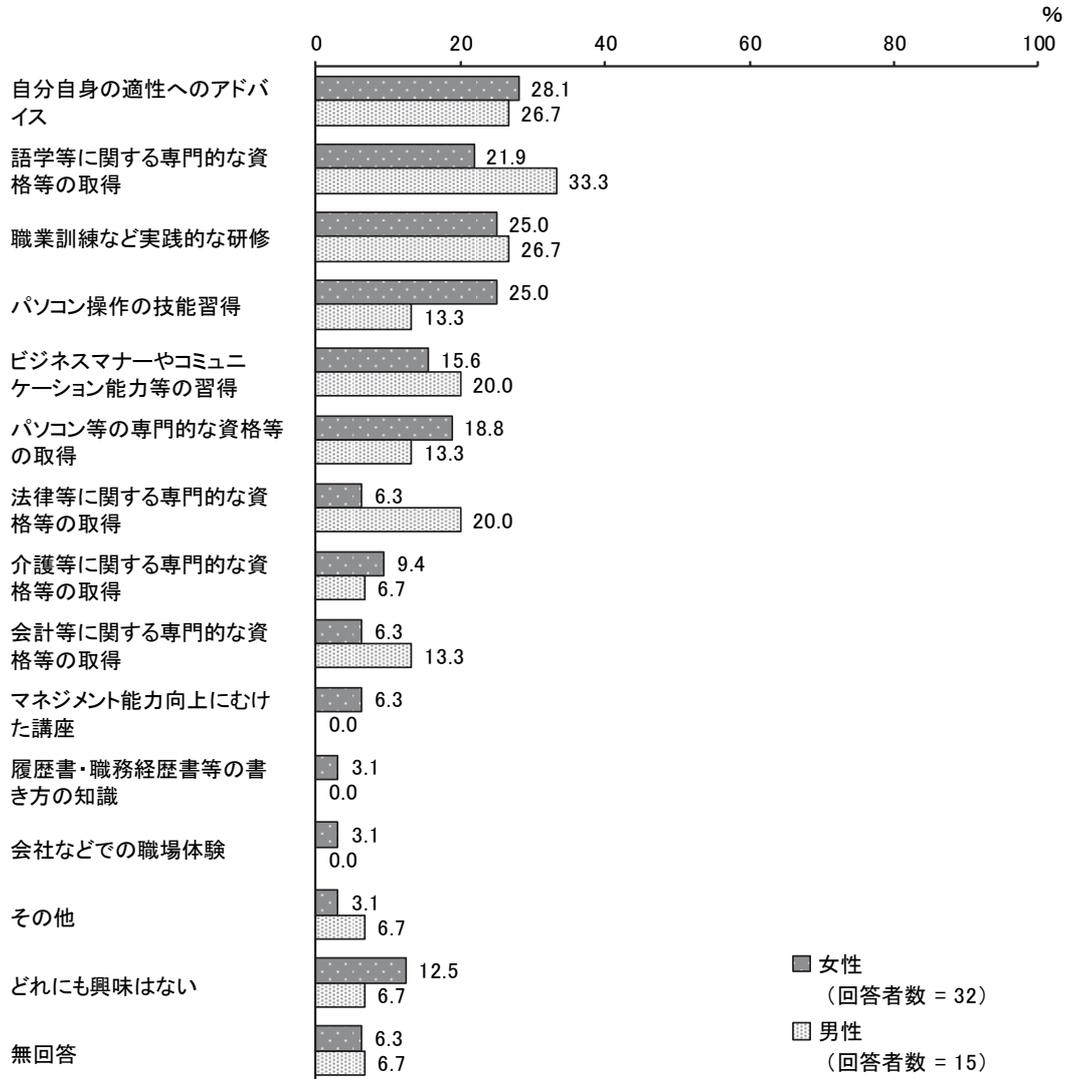


<「その他」の主な内容>

- ・ 全体の資格の取得
- ・ 趣味を活かすもの
- ・ 保育・教育に関すること
- ・ 自分は体力的に無理

【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「パソコン操作の技能習得」「パソコン等の専門的な資格等の取得」「マネジメント能力向上にむけた講座」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「語学等に関する専門的な資格等の取得」「法律等に関する専門的な資格等の取得」「会計等に関する専門的な資格等の取得」の割合が高くなっています。

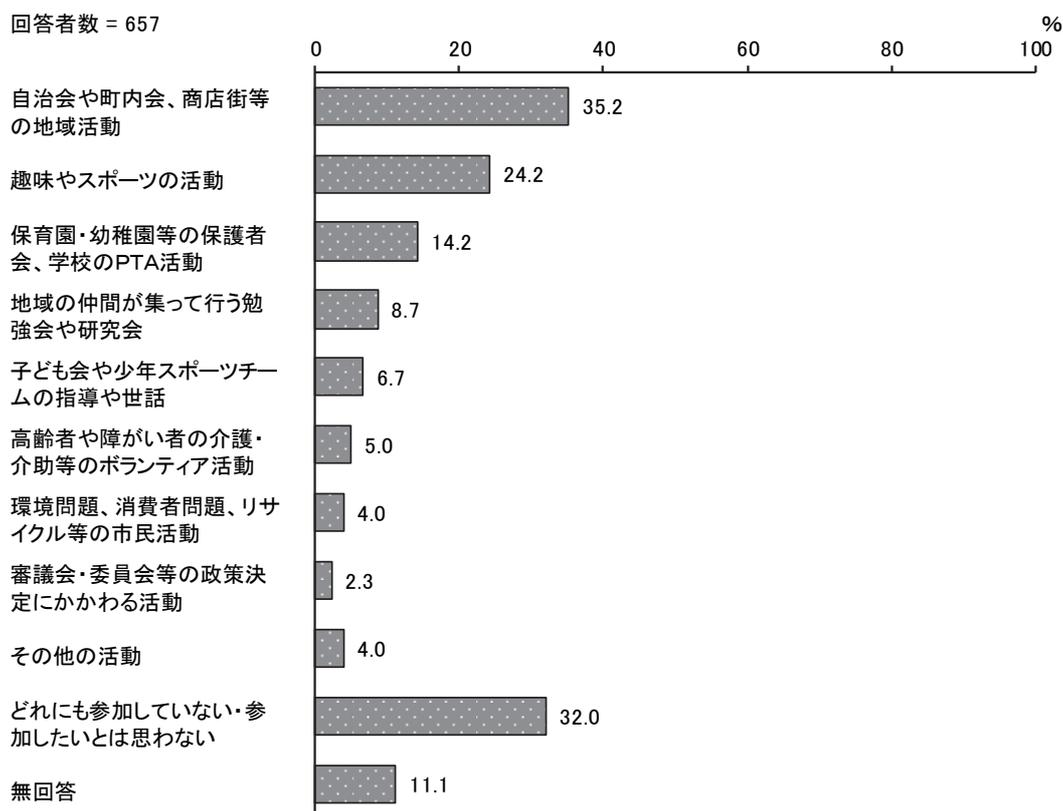


(4) 社会参加について

問7 あなたは、過去1年間に次のような活動に参加したことがありますか。また、今後参加してみたいですか。(それぞれあてはまるものすべてに○)

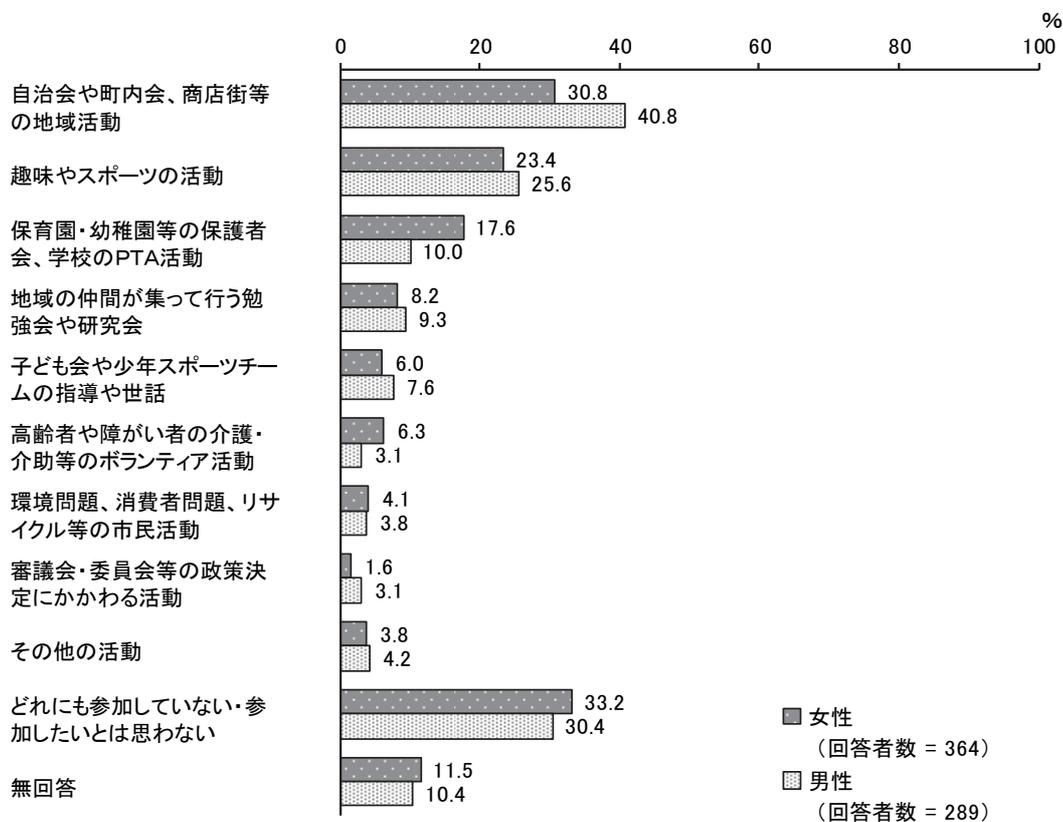
過去1年間参加した

「自治会や町内会、商店街等の地域活動」の割合が35.2%と最も高く、次いで「どれにも参加していない・参加したいとは思わない」の割合が32.0%、「趣味やスポーツの活動」の割合が24.2%となっています。



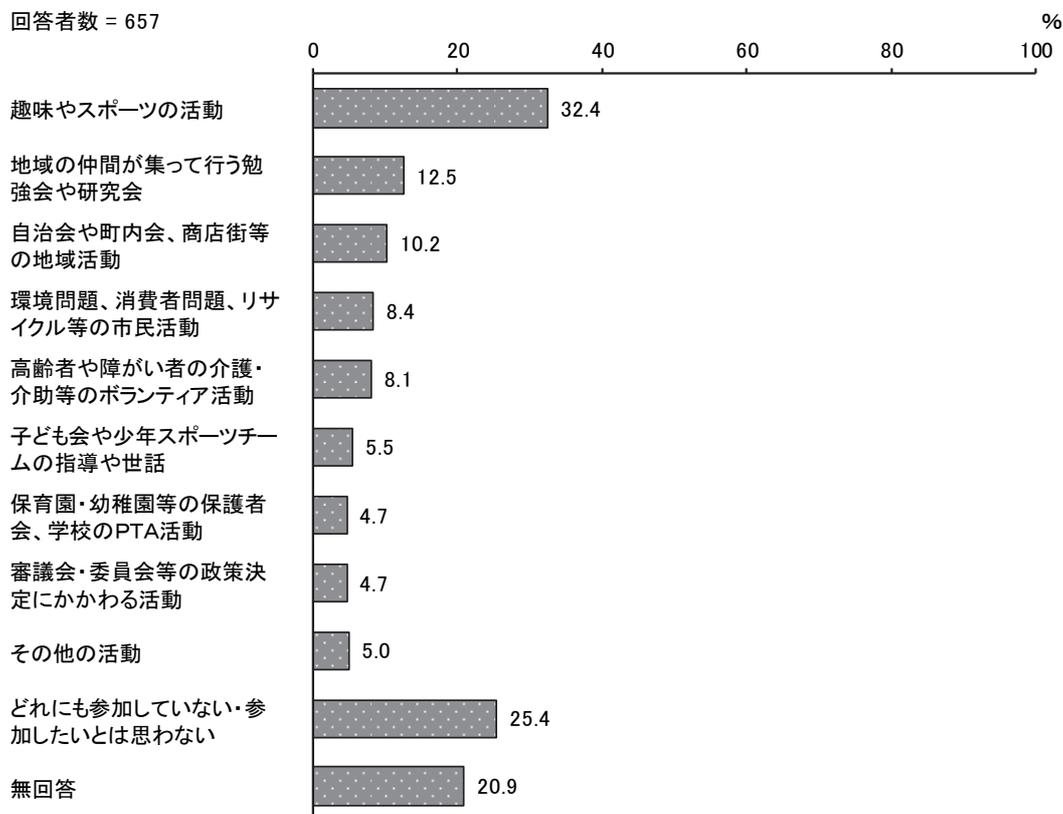
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「保育園・幼稚園等の保護者会、学校のPTA活動」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「自治会や町内会、商店街等の地域活動」の割合が高くなっています。



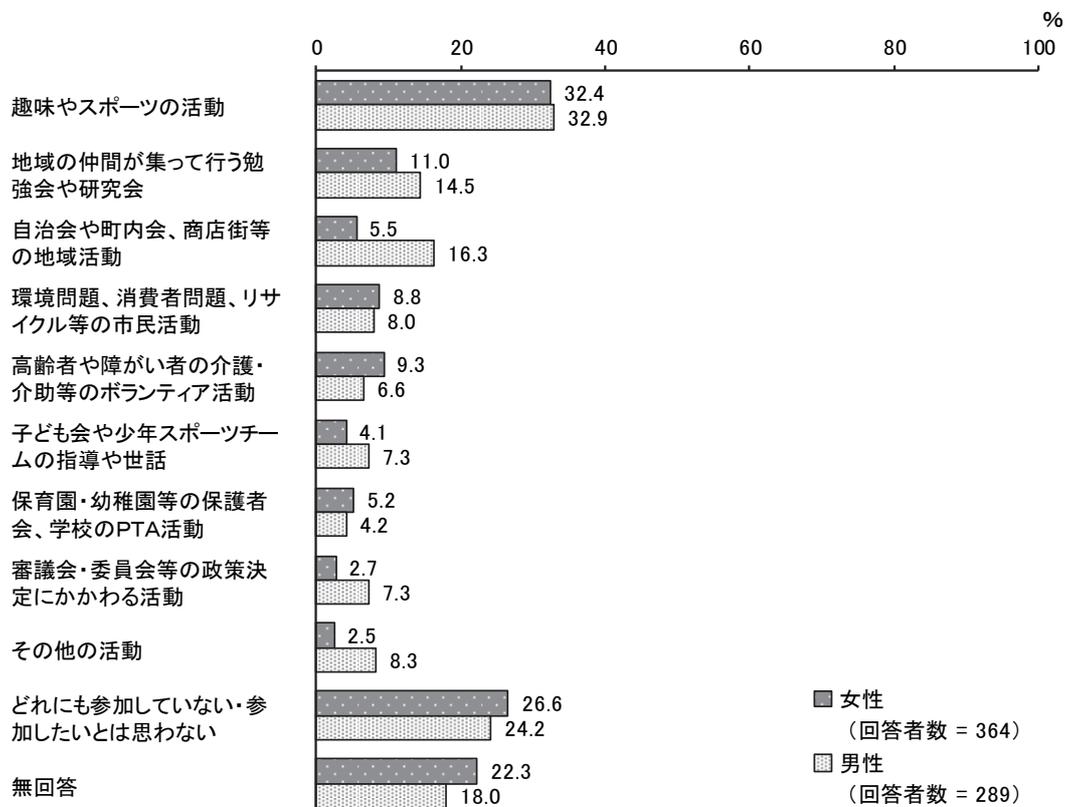
今後参加してみたい

「趣味やスポーツの活動」の割合が32.4%と最も高く、次いで「どれにも参加していない・参加したいとは思わない」の割合が25.4%、「地域の仲間が集って行う勉強会や研究会」の割合が12.5%となっています。



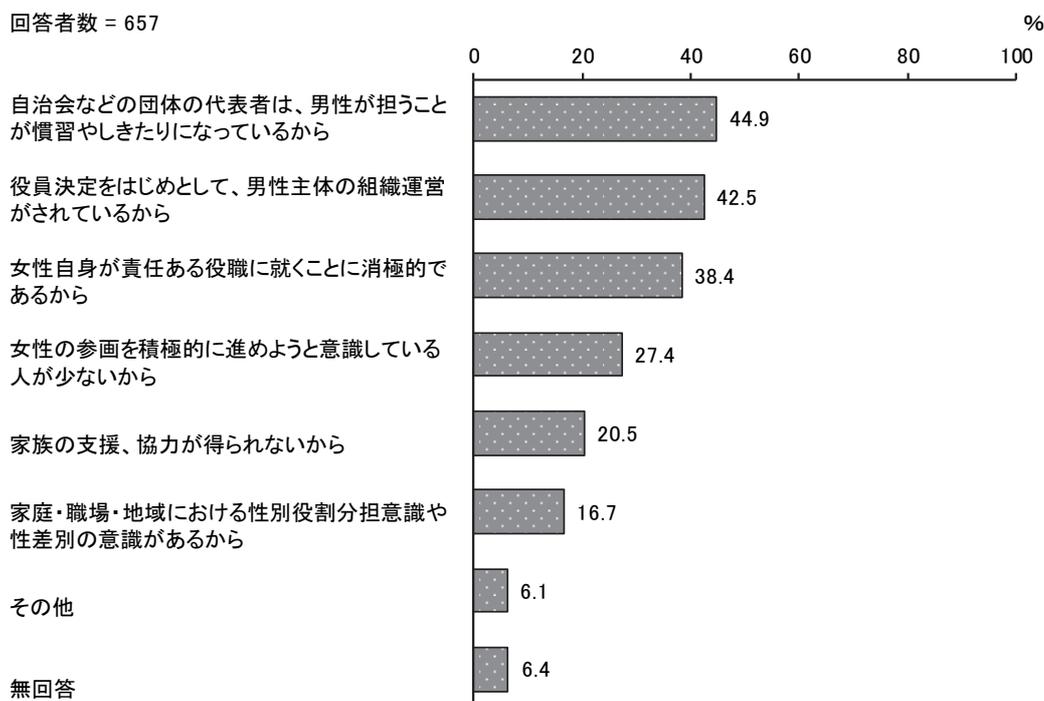
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「自治会や町内会、商店街等の地域活動」「その他の活動」の割合が高くなっています。



問8 現在、自治会や町内会、PTA（会長）などの役職、議員や行政委員における女性の参画が低い傾向にあります。その理由は何だと思えますか。（あてはまるもの3つまで○）

「自治会などの団体の代表者は、男性が担うことが慣習やしきたりになっているから」の割合が44.9%と最も高く、次いで「役員決定をはじめとして、男性主体の組織運営がされているから」の割合が42.5%、「女性自身が責任ある役職に就くことに消極的であるから」の割合が38.4%となっています。

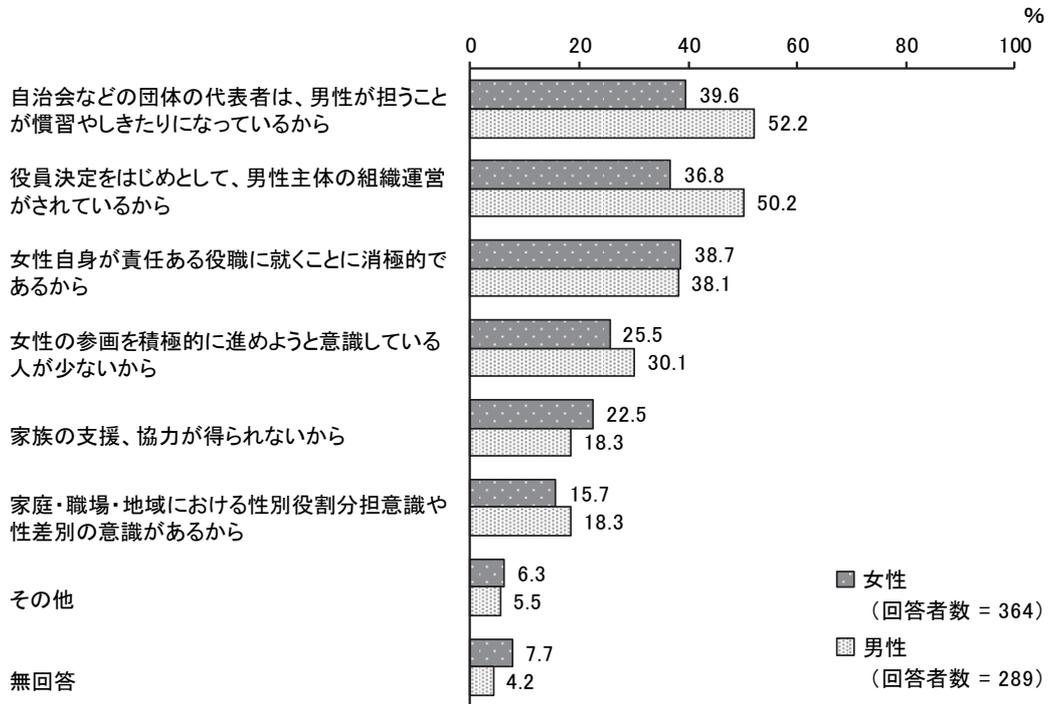


<「その他」の主な内容>

- ・女性自身が仕事・家事などで多忙だから、参加する余裕がない（13件）
- ・上記の自治体や町内会、PTA(会長)などの役職は誰もやりたがらない（3件）
- ・役職の内容の負荷が重く、女性の生活との両立が難しい（2件）
- ・自治活動など無償のものに参加したくない（2件）
- ・人間関係が煩わしい
- ・地域性もある
- ・職場の支援・協力が得られない
- ・女性の性質上、難しい
- ・仕方なくやらされている
- ・女が強くて男は行かされている
- ・実際に活動しているのは女性であったり、相互が協力し合って出席したりすることもあるので、女性の参画が低いとは思わない
- ・自治会・町内会は、高齢男性が仕切っていて、女性の活躍の場がない
- ・公民館などで行う行事で台所仕事をやらされるから
- ・性別関係なく自治会や町内会、PTAがそもそも不要と考える
- ・社会経験から、会議の進行や意見の内容が男性の方が常に働いている分、優れている
- ・一生懸命になりすぎて、精神的な負担が大きくなり、周りギャップができてしまう
- ・町会の活動は、男性にとって奥さんの負担を減らすための手伝いだと思う

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「自治会などの団体の代表者は、男性が担うことが慣習やしきたりになっているから」「役員決定をはじめとして、男性主体の組織運営がされているから」の割合が高くなっています。

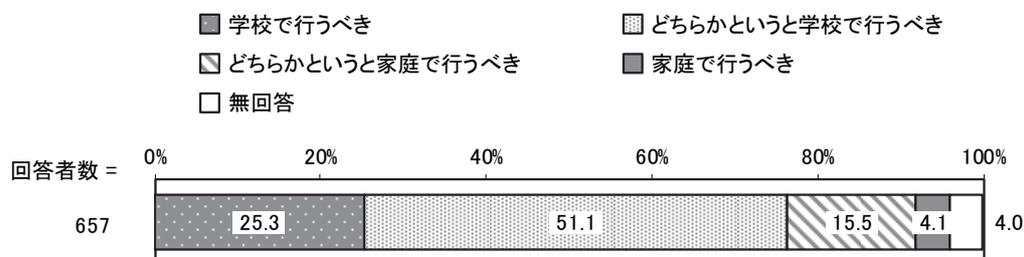


(5) 教育について

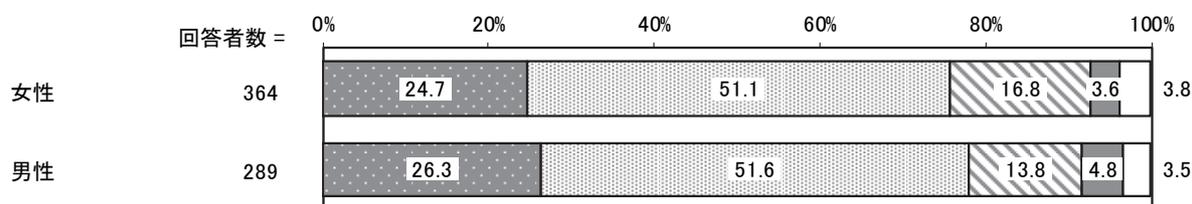
問9 あなたは以下の意見のうち、どちらの考えに近いですか。(〇はそれぞれ1つ)

性教育について

「どちらかという和学校で行うべき」の割合が51.1%と最も高く、次いで「学校で行うべき」の割合が25.3%、「どちらかというと家庭で行うべき」の割合が15.5%となっています。

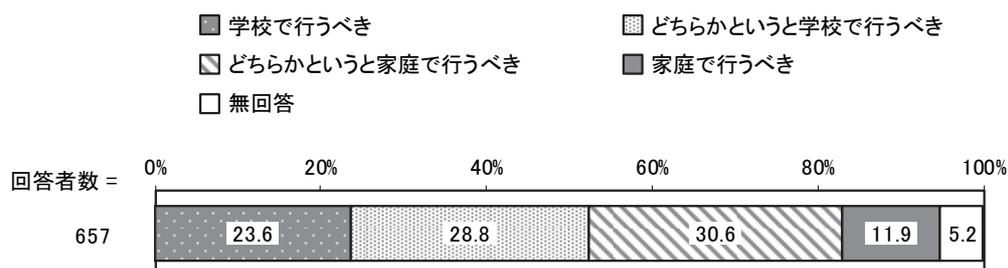


【性別】



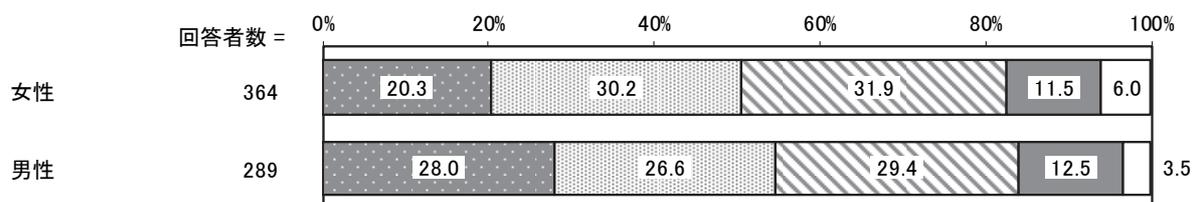
いのちの大切さや人権の尊重について

「どちらかというと家庭で行うべき」の割合が30.6%と最も高くなっていますが、「どちらかという和学校で行うべき」の28.8%と「学校で行うべき」の23.6%を合わせると52.4%と「学校で行うべき」と考える割合が5割を超えています。



【性別】

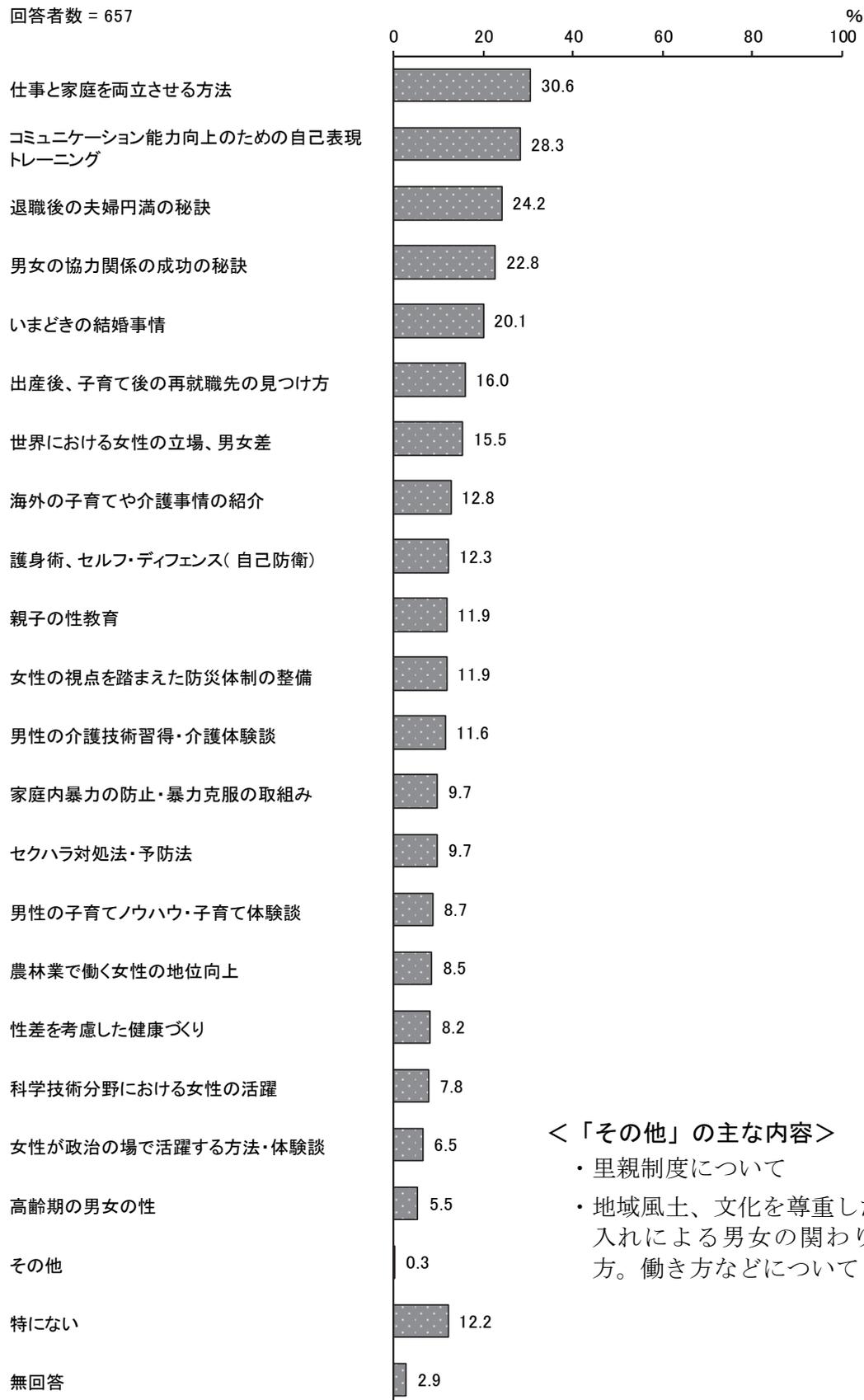
性別でみると、女性に比べ、男性で「学校で行うべき」の割合が高くなっています。



問10 以下の男女に関する事柄のうち、あなたが関心のあるものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

「仕事と家庭を両立させる方法」の割合が30.6%と最も高く、次いで「コミュニケーション能力向上のための自己表現トレーニング」の割合が28.3%、「退職後の夫婦円満の秘訣」の割合が24.2%となっています。

回答者数 = 657



<「その他」の主な内容>

- ・ 里親制度について
- ・ 地域風土、文化を尊重した移住と受け入れによる男女の関わり方。暮らし方。働き方などについて

【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「仕事と家庭、両立させる方法」「女性の視点を踏まえた防災体制の整備」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「男女の協力関係の成功の秘訣」「高齢期の男女の性」の割合が高くなっています。



【性・年齢別 上位回答（1～5位）】

女性	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳	いまどきの結婚事情／世界における女性の立場、男女差		男女の協力関係の成功の秘訣／コミュニケーション能力向上のための自己表現トレーニング／家庭内暴力の防止・暴力克服の取組み／護身術、セルフ・ディフェンス(自己防衛)／出産後、子育て後の再就職先の見つけ方／仕事と家庭を両立させる方法／農林業で働く女性の地位向上／女性の視点を踏まえた防災体制の整備		
回答者数 = 4	(50.0%)		(25.0%)		
20歳代	仕事と家庭を両立させる方法	出産後、子育て後の再就職先の見つけ方	いまどきの結婚事情	親子の性教育	コミュニケーション能力向上のための自己表現トレーニング
回答者数 = 39	(56.4%)	(41.0%)	(38.5%)	(33.3%)	(28.2%)
30歳代	仕事と家庭を両立させる方法	コミュニケーション能力向上のための自己表現トレーニング／出産後、子育て後の再就職先の見つけ方		男女の協力関係の成功の秘訣／海外の子育てや介護事情の紹介	
回答者数 = 56	(53.6%)	(30.4%)		(28.6%)	
40歳代	仕事と家庭を両立させる方法	コミュニケーション能力向上のための自己表現トレーニング	退職後の夫婦円満の秘訣	出産後、子育て後の再就職先の見つけ方	男女の協力関係の成功の秘訣／親子の性教育／農林業で働く女性の地位向上
回答者数 = 68	(38.2%)	(30.9%)	(22.1%)	(20.6%)	(16.2%)
50歳代	コミュニケーション能力向上のための自己表現トレーニング	退職後の夫婦円満の秘訣	世界における女性の立場、男女差	護身術、セルフ・ディフェンス(自己防衛)	男女の協力関係の成功の秘訣／海外の子育てや介護事情の紹介／仕事と家庭を両立させる方法
回答者数 = 69	(39.1%)	(24.6%)	(21.7%)	(18.8%)	(17.4%)
60歳代	コミュニケーション能力向上のための自己表現トレーニング	退職後の夫婦円満の秘訣／仕事と家庭を両立させる方法		いまどきの結婚事情／男女の協力関係の成功の秘訣	
回答者数 = 75	(33.3%)	(25.3%)		(21.3%)	
70歳代以上	退職後の夫婦円満の秘訣	いまどきの結婚事情／仕事と家庭を両立させる方法	男性の介護技術習得・介護体験談	男女の協力関係の成功の秘訣	
回答者数 = 53	(34.0%)	(22.6%)	(20.8%)	(17.0%)	

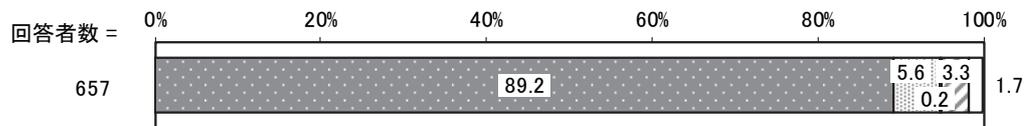
男性	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳	いまどきの結婚事情／男女の協力関係の成功の秘訣／コミュニケーション能力向上のための自己表現トレーニング／護身術、セルフ・ディフェンス(自己防衛)／仕事と家庭を両立させる方法				
回答者数 = 7	(42.9%)				
20歳代	いまどきの結婚事情／コミュニケーション能力向上のための自己表現トレーニング	男女の協力関係の成功の秘訣／仕事と家庭を両立させる方法		出産後、子育て後の再就職先の見つけ方	
回答者数 = 30	(50.0%)	(33.3%)		(30.0%)	
30歳代	仕事と家庭を両立させる方法	男女の協力関係の成功の秘訣	男性の子育てノウハウ・子育て体験談／親子の性教育／出産後、子育て後の再就職先の見つけ方		
回答者数 = 38	(39.5%)	(31.6%)	(23.7%)		
40歳代	コミュニケーション能力向上のための自己表現トレーニング	仕事と家庭を両立させる方法	男女の協力関係の成功の秘訣	退職後の夫婦円満の秘訣／出産後、子育て後の再就職先の見つけ方	
回答者数 = 50	(38.0%)	(36.0%)	(26.0%)	(22.0%)	
50歳代	退職後の夫婦円満の秘訣	男女の協力関係の成功の秘訣／コミュニケーション能力向上のための自己表現トレーニング		海外の子育てや介護事情の紹介／男性の介護技術習得・介護体験談／仕事と家庭を両立させる方法／世界における女性の立場、男女差	
回答者数 = 48	(25.0%)	(22.9%)		(14.6%)	
60歳代	退職後の夫婦円満の秘訣	男女の協力関係の成功の秘訣	いまどきの結婚事情	コミュニケーション能力向上のための自己表現トレーニング	仕事と家庭を両立させる方法
回答者数 = 72	(34.7%)	(20.8%)	(19.4%)	(18.1%)	(16.7%)
70歳代以上	仕事と家庭を両立させる方法	いまどきの結婚事情	男女の協力関係の成功の秘訣／退職後の夫婦円満の秘訣／農林業で働く女性の地位向上		
回答者数 = 44	(31.8%)	(25.0%)	(22.7%)		

(6) ドメスティック・バイオレンス（DV、配偶者などからの暴力）等について

問11 あなたは、「暴力」についてどう思いますか。（○は1つ）

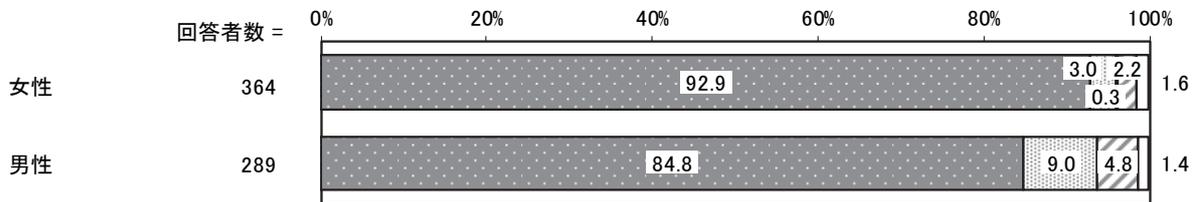
「どのような理由があっても、絶対してはいけない」の割合が89.2%と最も高くなっています。

- どのような理由があっても、絶対してはいけない
- ▨ 言ってもわからない相手に、わかってもらうためには必要なこともある
- ▧ 相手に自分の言うことを聞かせるためならしてもよい
- 人にわからないようにすれば、少しぐらいしてもよい
- ▨ わからない
- 無回答



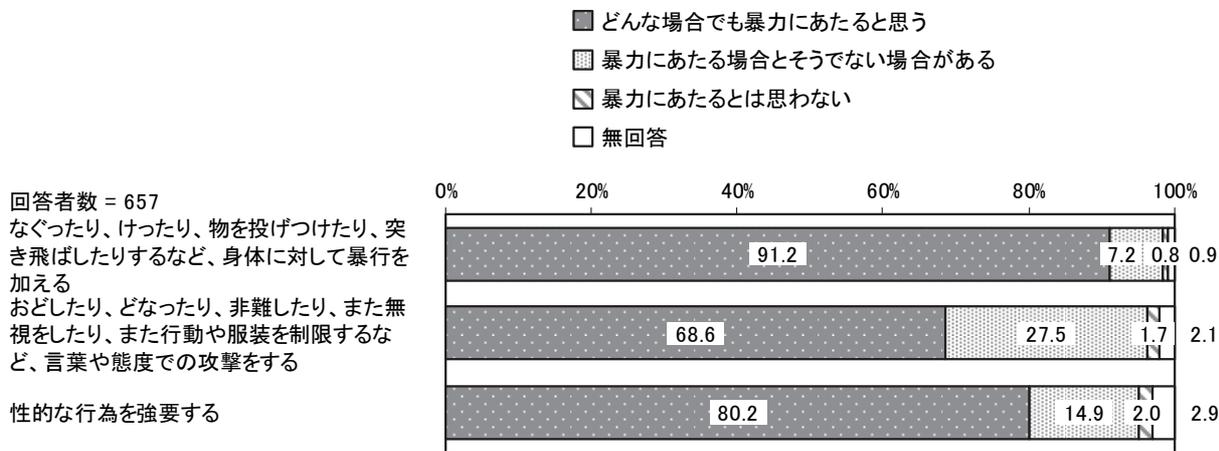
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「どのような理由があっても、絶対してはいけない」の割合が低くなっています。



問 12 あなたは、次のようなことが夫婦や恋人の間で行われた場合、それが暴力にあたると思いませんか。（○はそれぞれ1つ）

『なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなど、身体に対して暴行を加える』で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が高くなっています。



【性別】

男女ともに同様の傾向がみられ、『なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなど、身体に対して暴行を加える』で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が高くなっています。

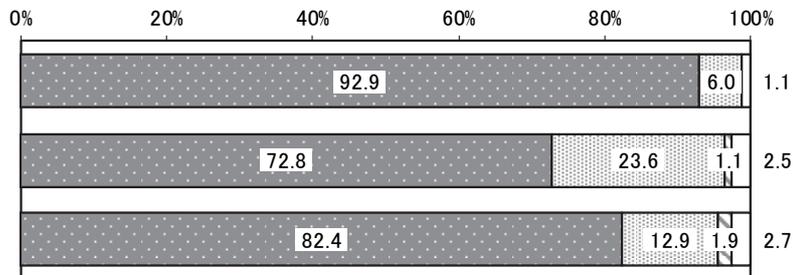
【女性】

回答者数 = 364

なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなど、身体に対して暴行を加える

おどしたり、どなったり、非難したり、また無視をしたり、また行動や服装を制限するなど、言葉や態度での攻撃をする

性的な行為を強要する



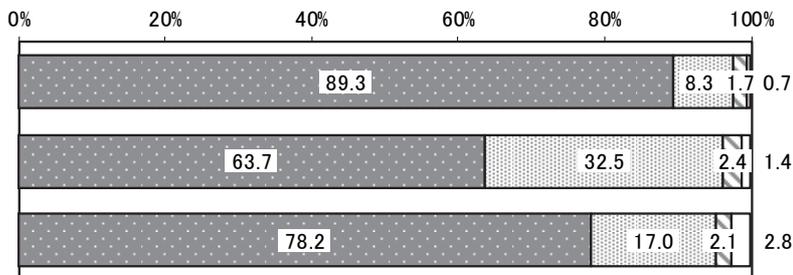
【男性】

回答者数 = 289

なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなど、身体に対して暴行を加える

おどしたり、どなったり、非難したり、また無視をしたり、また行動や服装を制限するなど、言葉や態度での攻撃をする

性的な行為を強要する



問 13 これまでに、配偶者・パートナーや恋人に以下のようなことをされたこと、あなたがしたことがありますか。(事実婚、別居中、離婚後や元恋人からも含みます)
(○は各項目で、されたこと/したこと、それぞれ1つずつ)

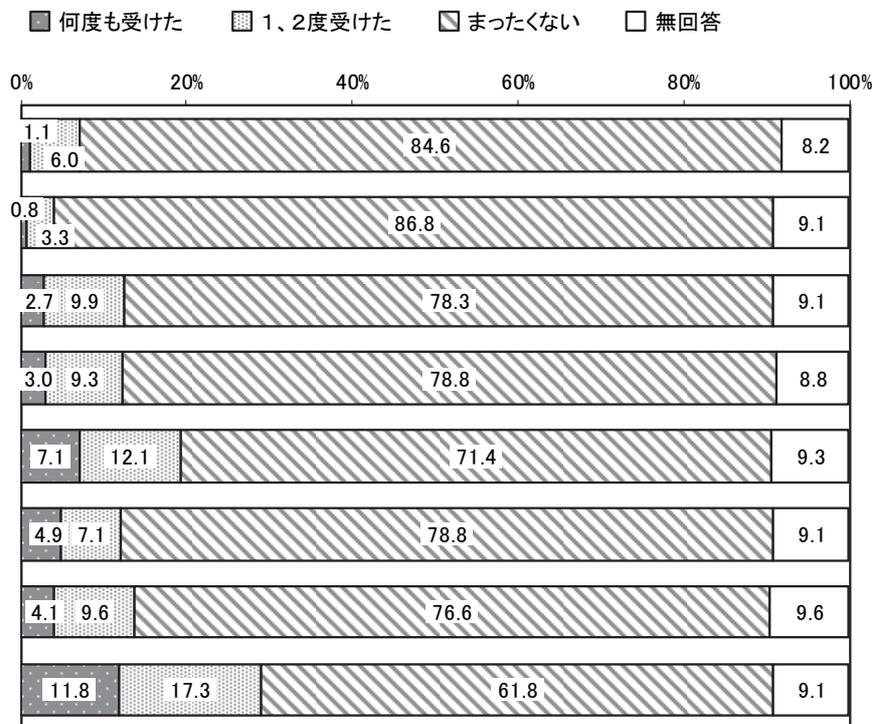
あなたがされたこと

男女ともに『大声でどなる行為』で「1、2度受けた」の割合が高くなっています。

【女性】

回答者数 = 364

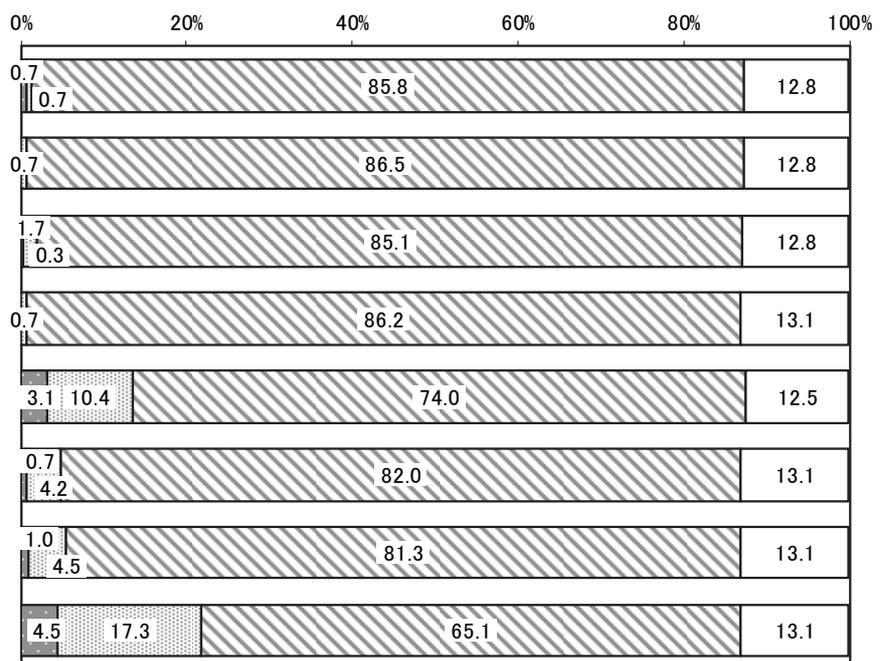
- 命の危険を感じるほどの暴行
- 医師の治療が必要となるほどの暴行
- あなたもしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫
- いやがっているのに性的な行為を強要
- 何を言っても長時間無視
- 交友関係や電話を細かく監視
- 「誰のおかげで、生活できるんだ」とか「かいしようなし」などと言う行為
- 大声でどなる行為



【男性】

回答者数 = 289

- 命の危険を感じるほどの暴行
- 医師の治療が必要となるほどの暴行
- あなたもしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫
- いやがっているのに性的な行為を強要
- 何を言っても長時間無視
- 交友関係や電話を細かく監視
- 「誰のおかげで、生活できるんだ」とか「かいしようなし」などと言う行為
- 大声でどなる行為



あなたがしたこと

男女ともに『大声でどなる行為』で「1、2度あった」の割合が高くなっています。

■ 何度もあった ▨ 1、2度あった ▩ まったくない □ 無回答

【女性】

回答者数 = 364

命の危険を感じるほどの暴行



医師の治療が必要となるほどの暴行

あなたもしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと

いやがっているのに性的な行為を強要

何を言っても長時間無視

交友関係や電話を細かく監視

「誰のおかげで、生活できるんだ」とか「かいしようなし」などと

大声でどなる行為

【男性】

回答者数 = 289

命の危険を感じるほどの暴行



医師の治療が必要となるほどの暴行

あなたもしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと

いやがっているのに性的な行為を強要

何を言っても長時間無視

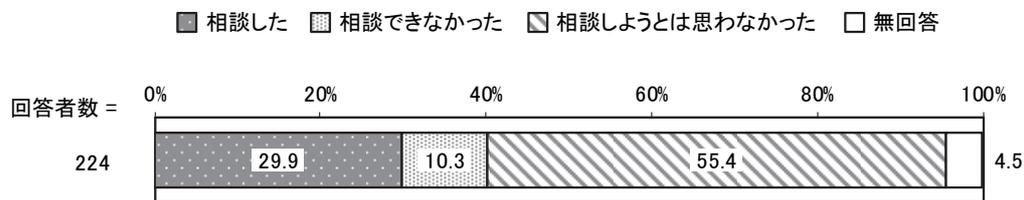
交友関係や電話を細かく監視

「誰のおかげで、生活できるんだ」とか「かいしようなし」などと

大声でどなる行為

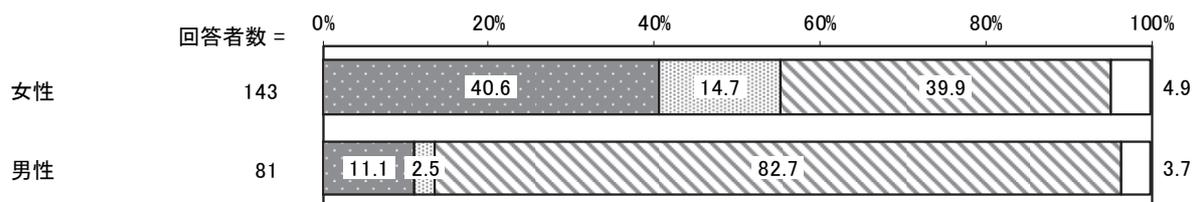
問 13-1 あなたは問 13 の「あなたがされたこと」で 1 か 2 に○を付けたことについて、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。(○は 1 つ)

「相談しようとは思わなかった」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「相談した」の割合が 29.9%、「相談できなかった」の割合が 10.3%となっています。



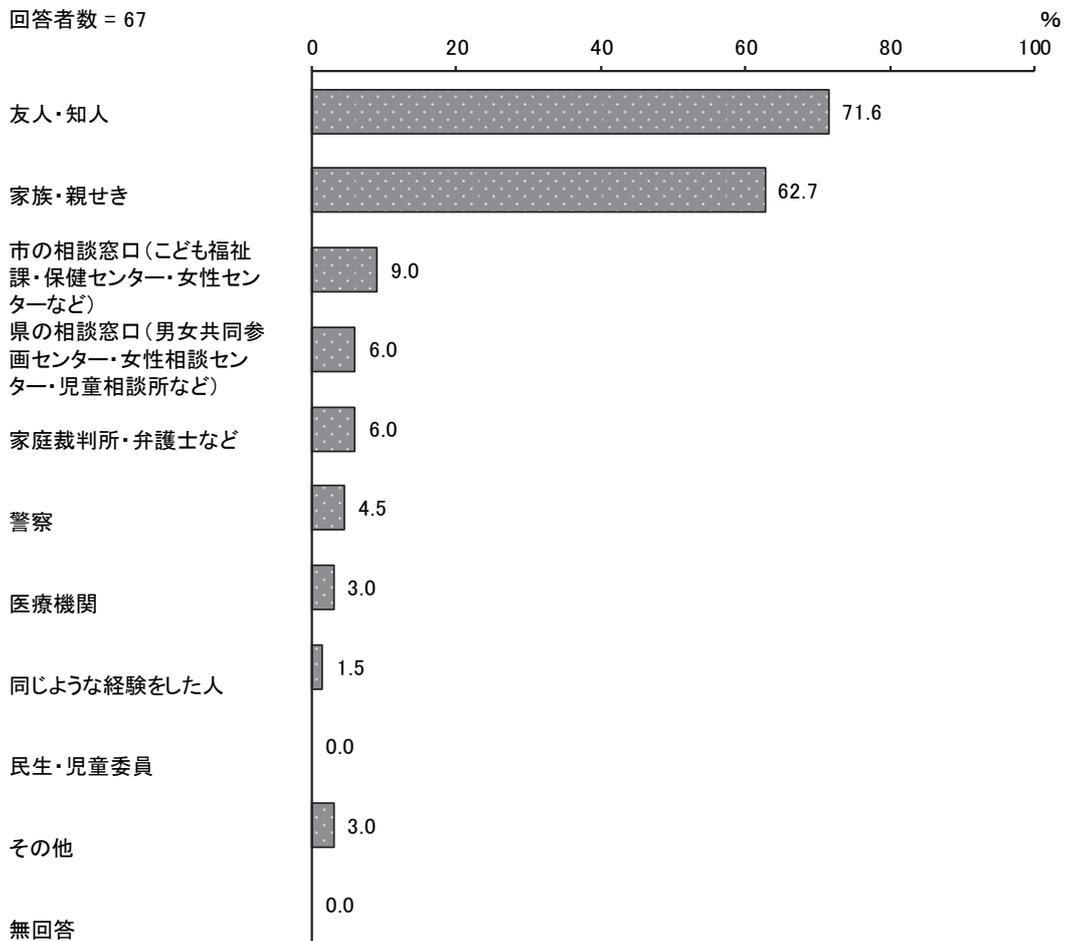
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「相談した」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「相談しようとは思わなかった」の割合が高くなっています。



問 13-2 実際に誰（どこ）に相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）

「友人・知人」の割合が71.6%と最も高く、次いで「家族・親せき」の割合が62.7%となっています。

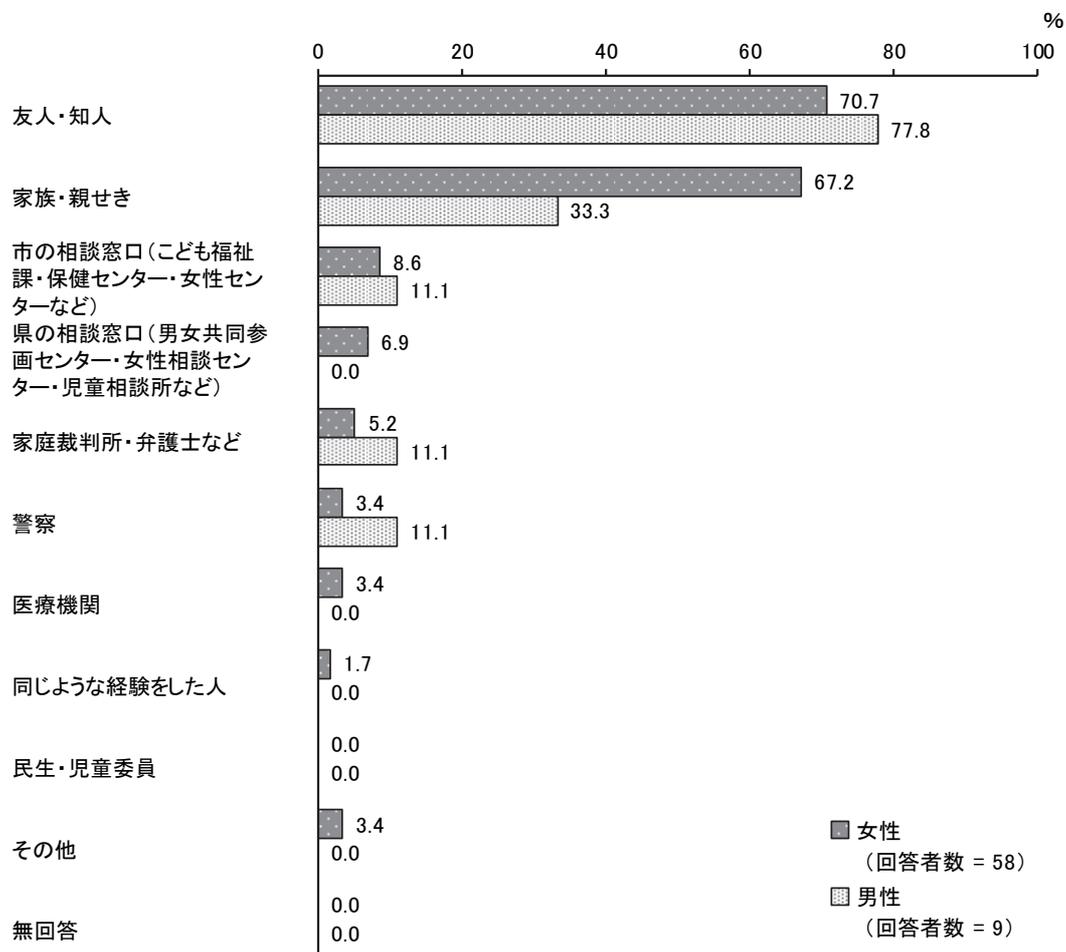


<「その他」の主な内容>

- ・ 職場の相談部署

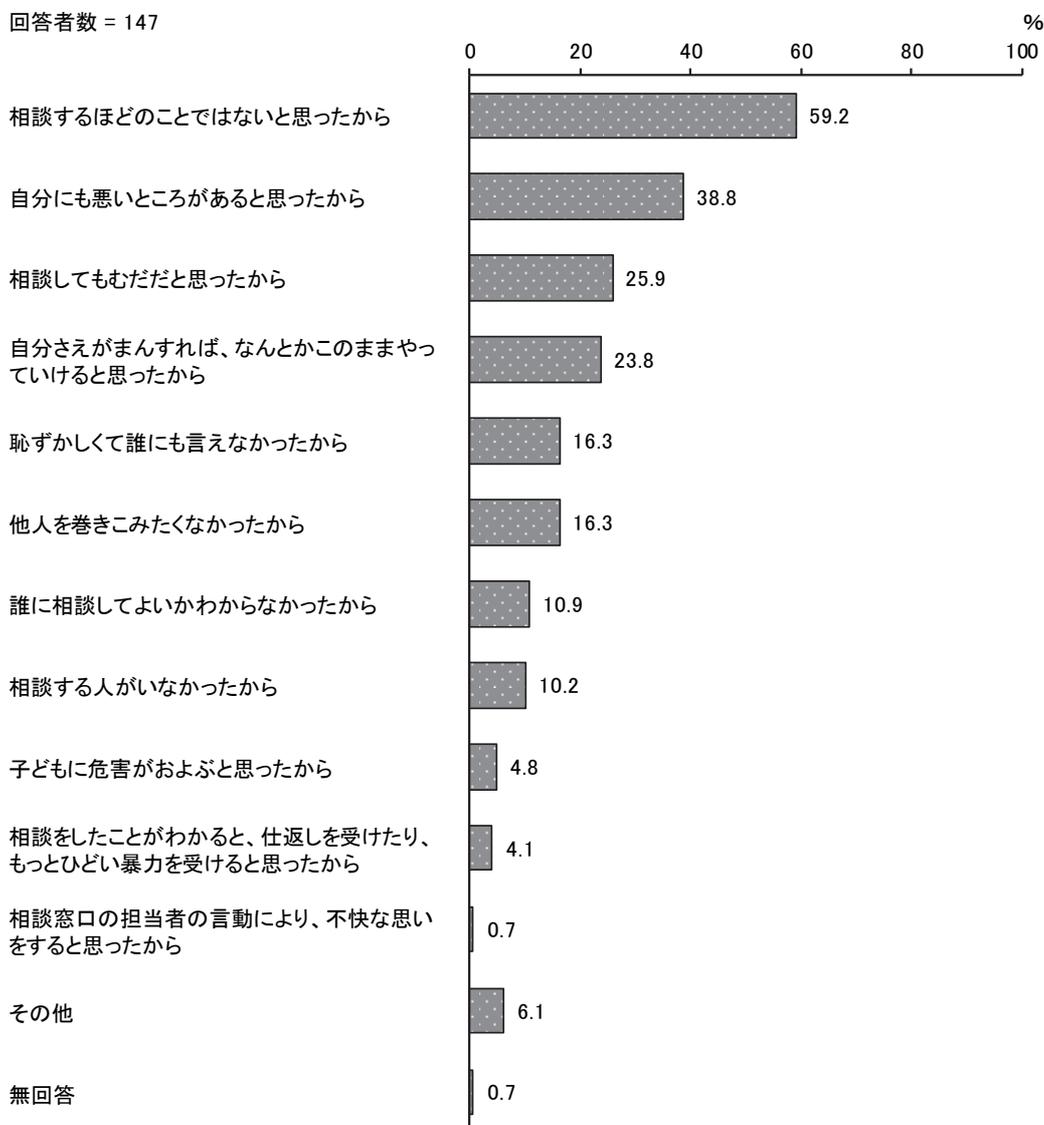
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家族・親せき」「県の相談窓口（男女共同参画センター・女性相談センター・児童相談所など）」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「友人・知人」「家庭裁判所・弁護士など」「警察」の割合が高くなっています。



問 13-3 誰（どこ）にも相談しなかったのはなぜですか。
（あてはまるものすべてに○）

「相談するほどのことではないと思ったから」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」の割合が 38.8%、「相談してもむだだと思ったから」の割合が 25.9%となっています。

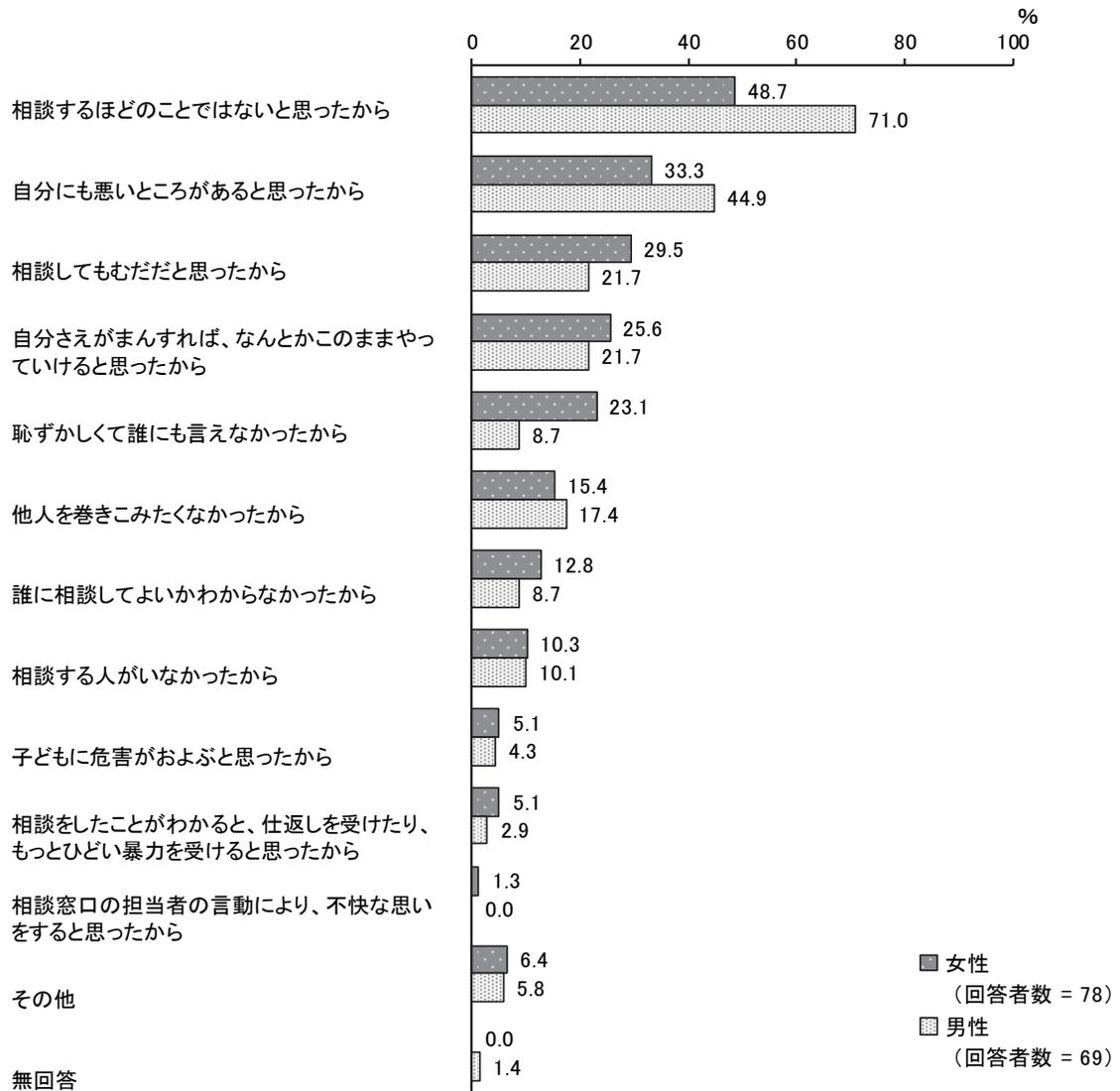


< 「その他」の主な内容 >

- ・お互い話し合えばわかるから（3件）
- ・夫婦喧嘩の範ちゅう（2件）
- ・別れた、離れた
- ・すべてが止まって考えも及ばなかった
- ・本心ではなかったから
- ・お互いを理解し合う場として必要なことだと思うから

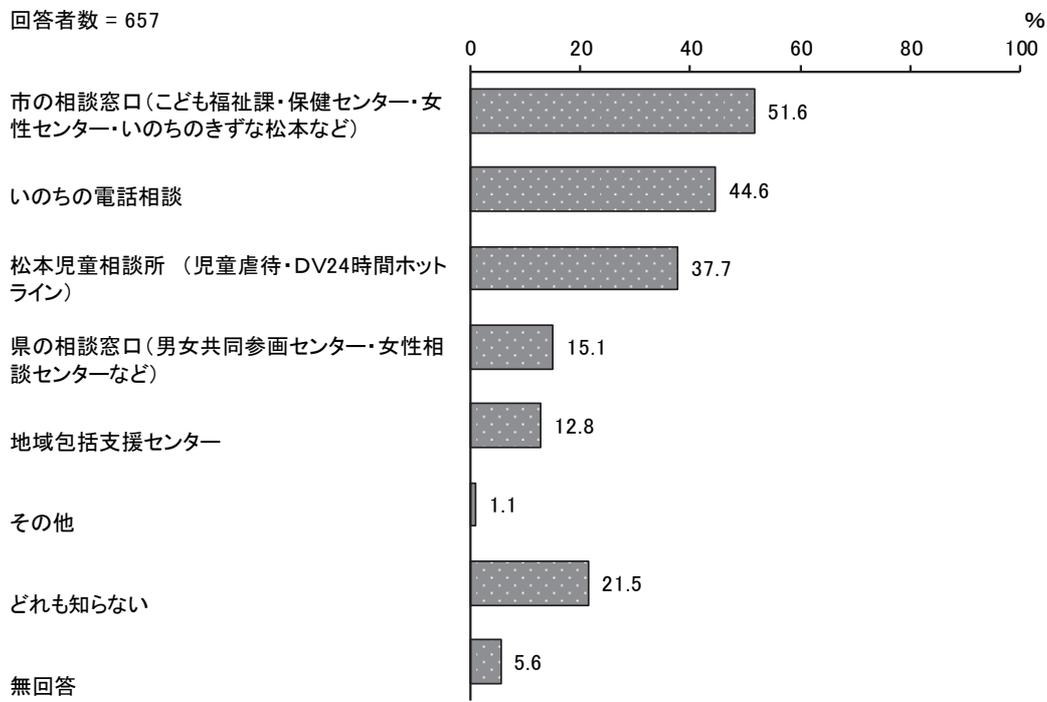
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「相談してもむだだと思ったから」「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「相談するほどのことではないと思ったから」「自分にも悪いところがあると思ったから」の割合が高くなっています。



問 14 あなたは、家族の中での虐待や暴力などについての悩みを相談できる機関があることを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「市の相談窓口（こども福祉課・保健センター・女性センター・いのちのきずな松本など）」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「いのちの電話相談」の割合が 44.6%、「松本児童相談所（児童虐待・DV24 時間ホットライン）」の割合が 37.7%となっています。

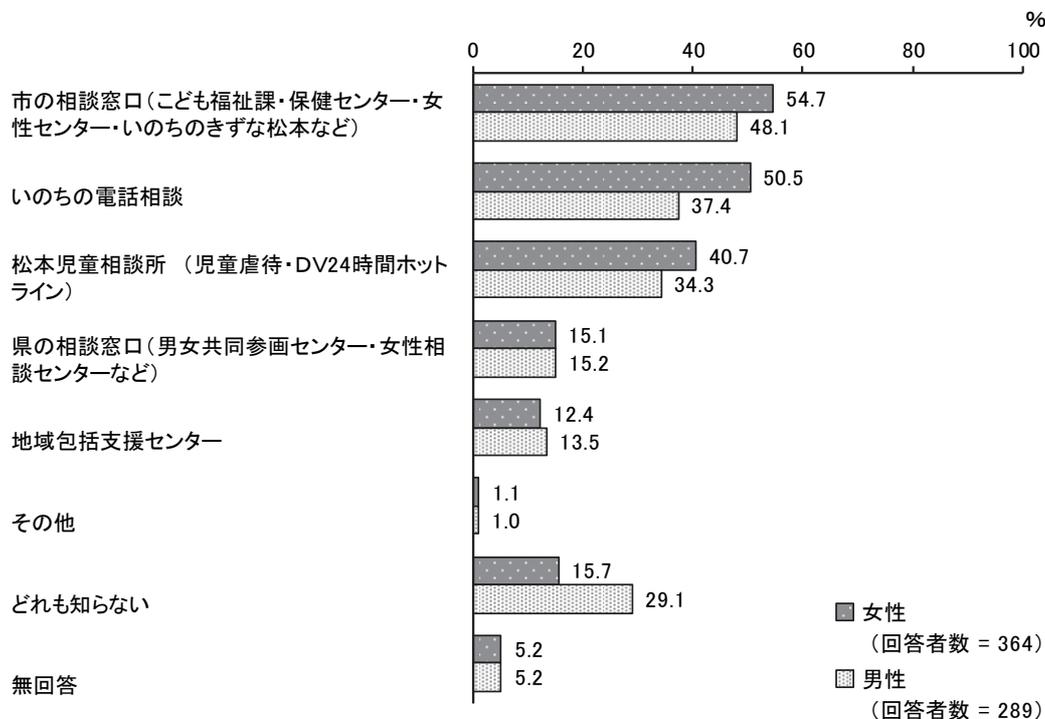


< 「その他」 の主な内容 >

- ・ 189 番（子どもに関して）
- ・ 健康保険組合の相談窓口
- ・ 学校から配布されるもの
- ・ 暴力を受けた昔は知らなかった
- ・ いろいろな窓口があることは知っているが、具体的には知らない
- ・ 大きな経験がないので知ろうとしない

【性別】

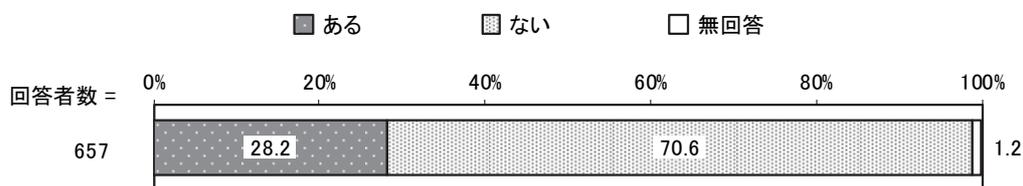
性別でみると、男性に比べ、女性で「市の相談窓口（こども福祉課・保健センター・女性センター・いのちのきずな松本など）」「いのちの電話相談」「松本児童相談所（児童虐待・DV24時間ホットライン）」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「どれも知らない」の割合が高くなっています。



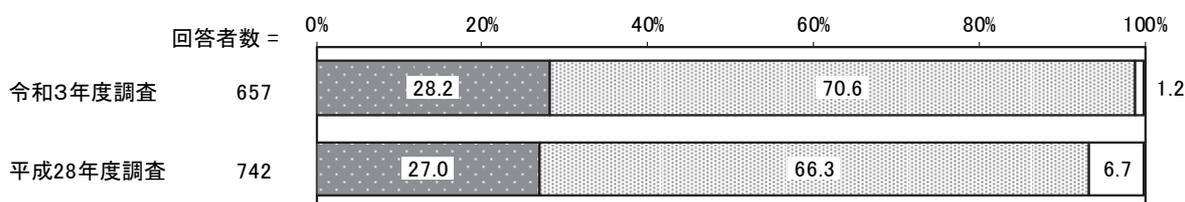
(7) 基本的人権について

問 15 あなたは今までに、ご自分の人権が侵害され、または誹謗(ひぼう)中傷を受けたことがありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が28.2%、「ない」の割合が70.6%となっています。

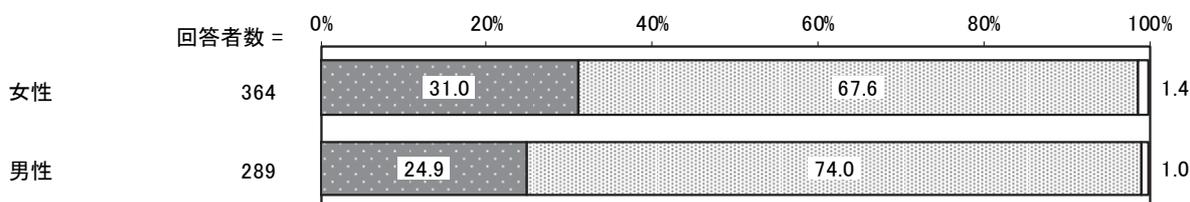


【前回調査との比較】



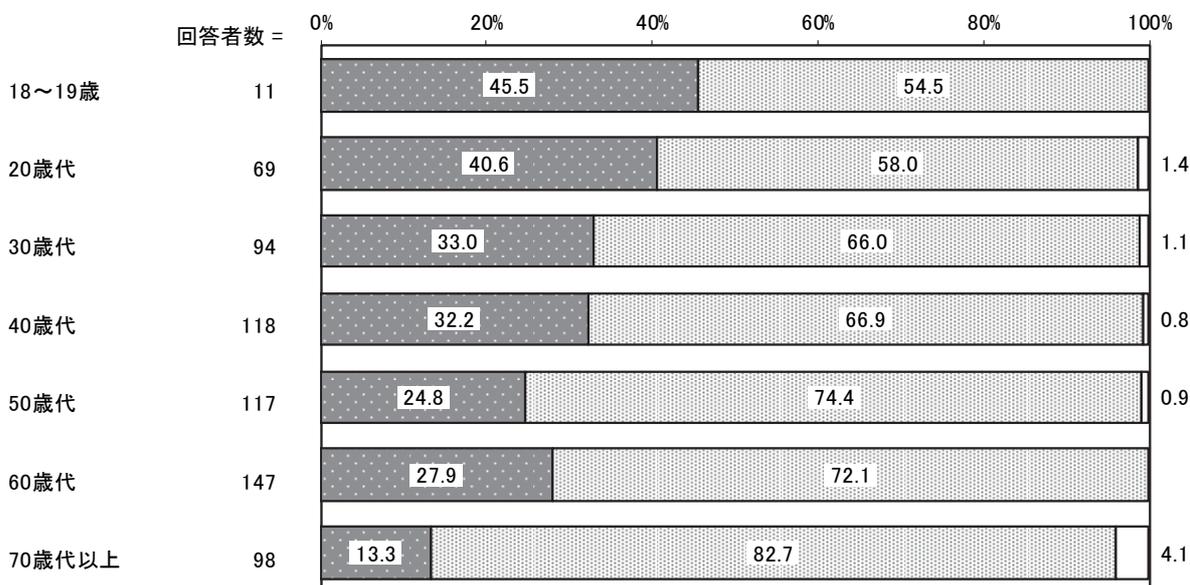
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「ある」の割合が高くなっています。



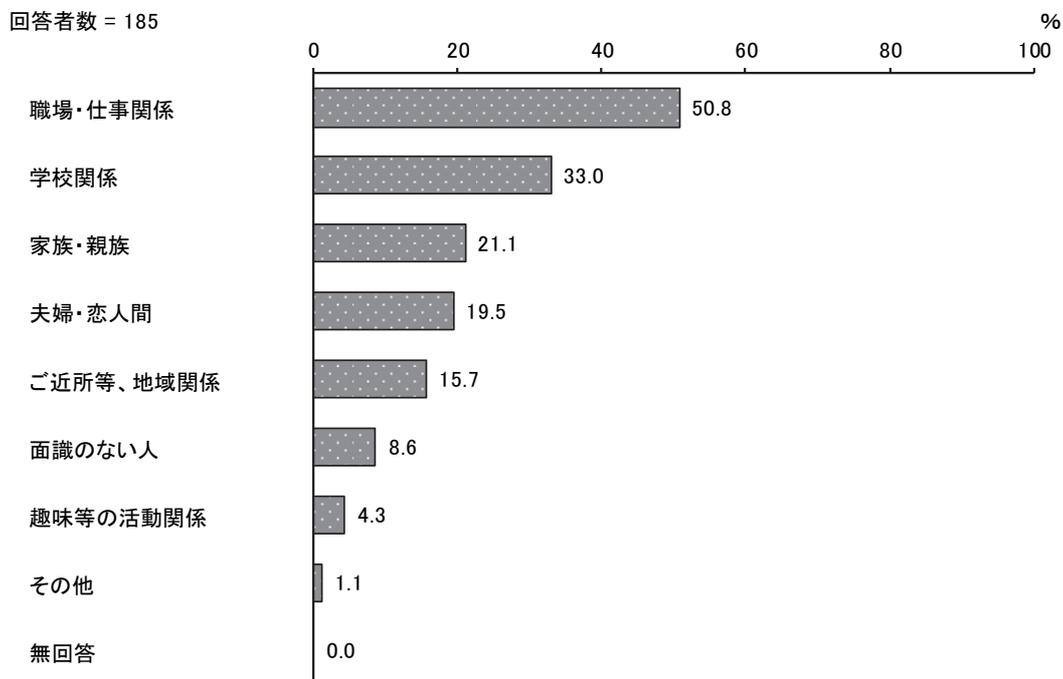
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、18～19歳で「ある」の割合が高くなっています。



問 15-1 どのような関係の中で、人権侵害をされ、または誹謗中傷を受けたと思われましたか。(あてはまるものすべてに○)

「職場・仕事関係」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「学校関係」の割合が 33.0%、「家族・親族」の割合が 21.1%となっています。



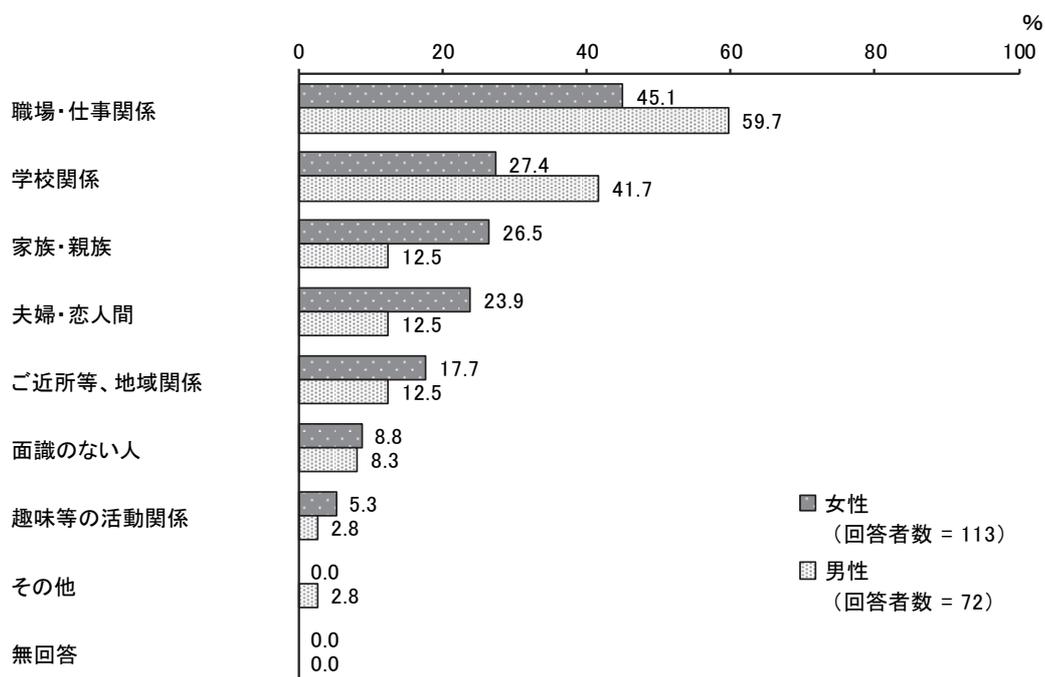
<「その他」の主な内容>

・我が家の裏の家の人から

・インターネット

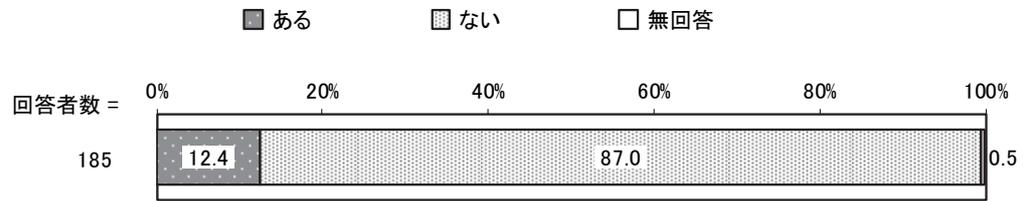
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家族・親族」「夫婦・恋人間」「ご近所等、地域関係」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「職場・仕事関係」「学校関係」の割合が高くなっています。



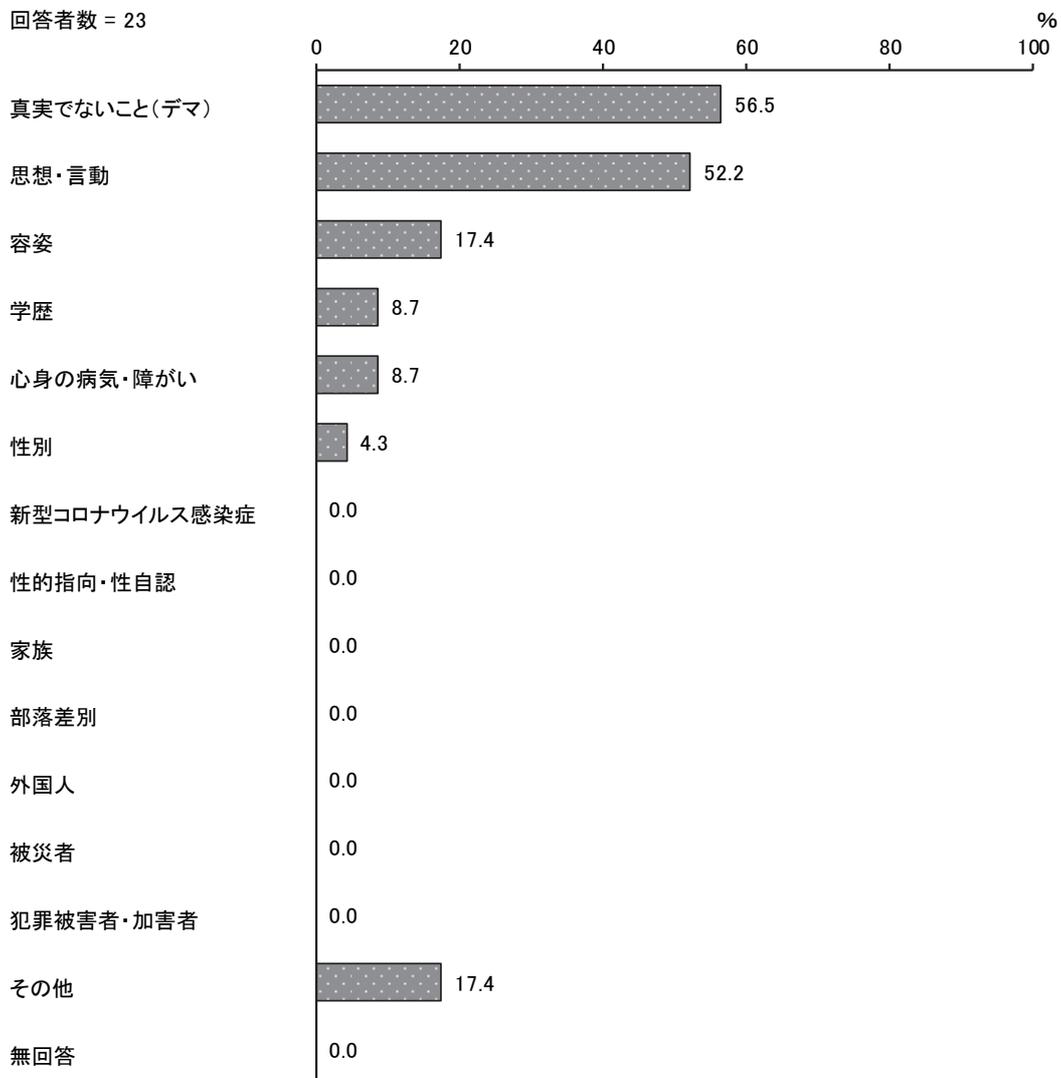
問 15-2 あなたは、インターネット（SNS（LINE、Twitter、YouTube等）を通して、人権侵害をされ、または誹謗中傷を受けたと聞いたことがありますか。（○は1つ）

「ある」の割合が12.4%、「ない」の割合が87.0%となっています。



問 15-3 どのような内容で、インターネットを通して、人権侵害をされ、または誹謗中傷を受けたと聞いたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

「真実でないこと(デマ)」の割合が56.5%と最も高く、次いで「思想・言動」の割合が52.2%、「容姿」の割合が17.4%となっています。

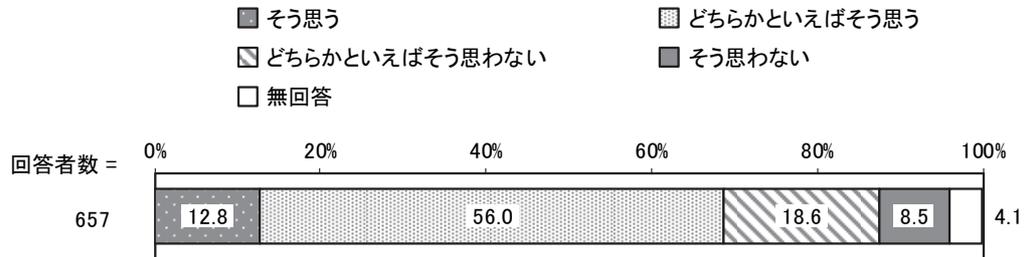


<「その他」の主な内容>

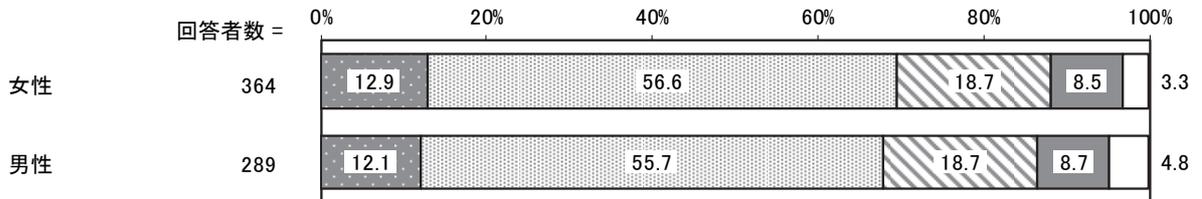
- ・ 名前
- ・ 趣味嗜好
- ・ DMの内容について
- ・ 新聞に掲載された業務上の行為について

問 16 『松本市は、基本的な人権が尊重された市政が運営されている』について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が 68.8%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合が 27.1%となっています。



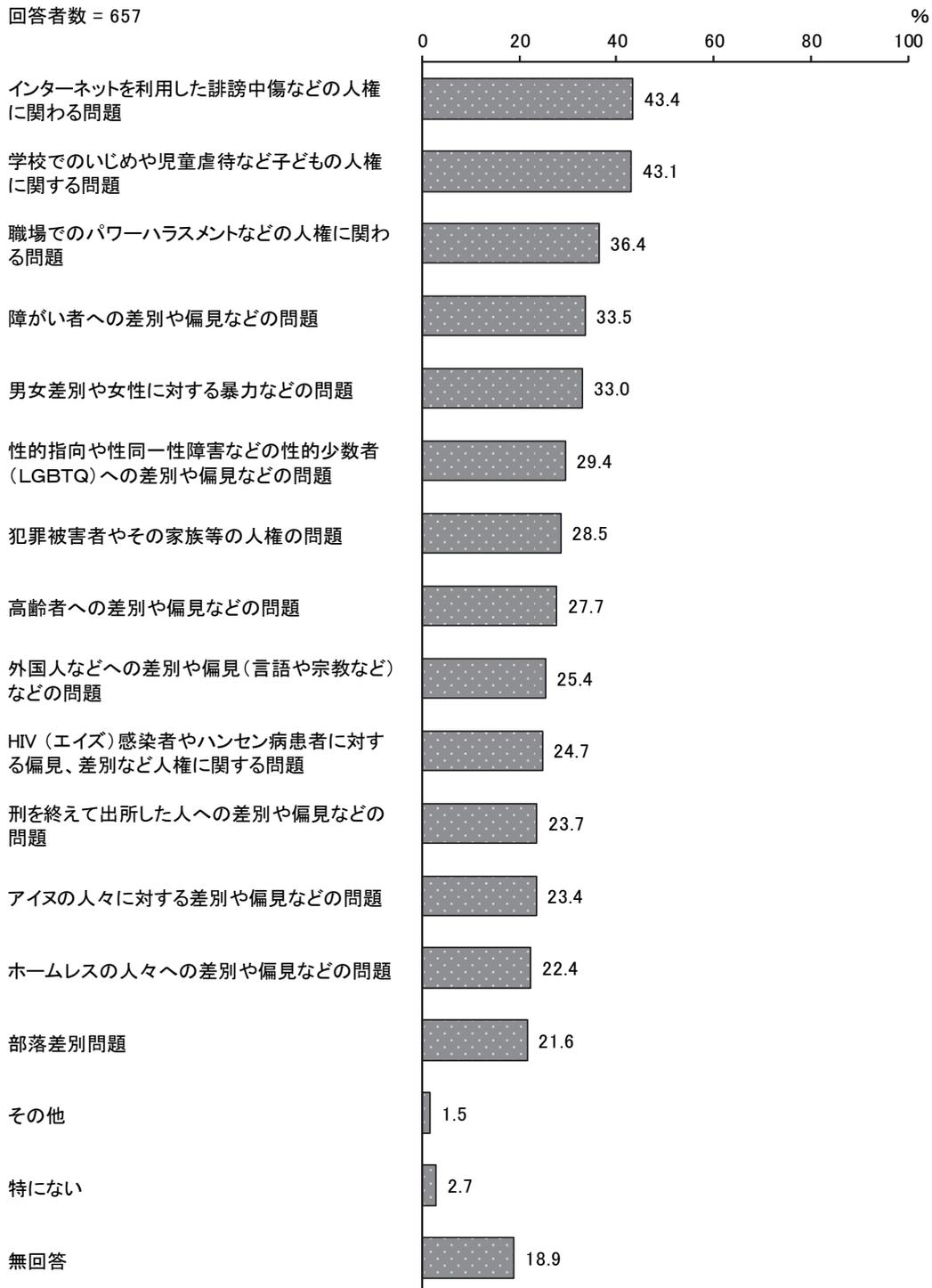
【性別】



問 17 基本的人権にかかわるいろいろな問題についておたずねします。問 17-1 から問 17-3 について、選択肢の中からあてはまる番号をすべて選び、番号に○をしてください。

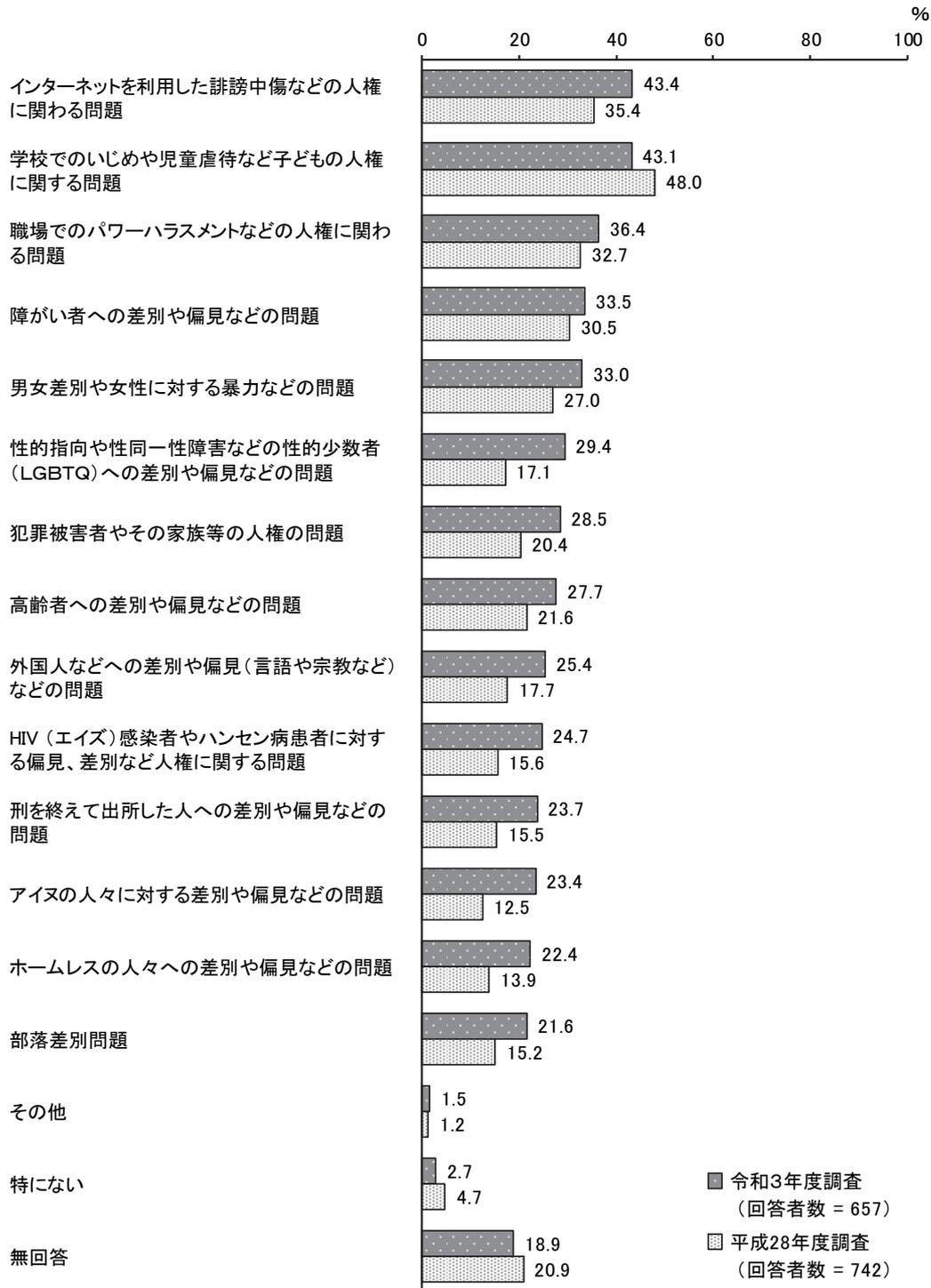
問 17-1 関心がある人権問題

「インターネットを利用した誹謗中傷などの人権に関わる問題」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「学校でのいじめや児童虐待など子どもの人権に関する問題」の割合が 43.1%、「職場でのパワーハラスメントなどの人権に関わる問題」の割合が 36.4%となっています。



【前回調査との比較】

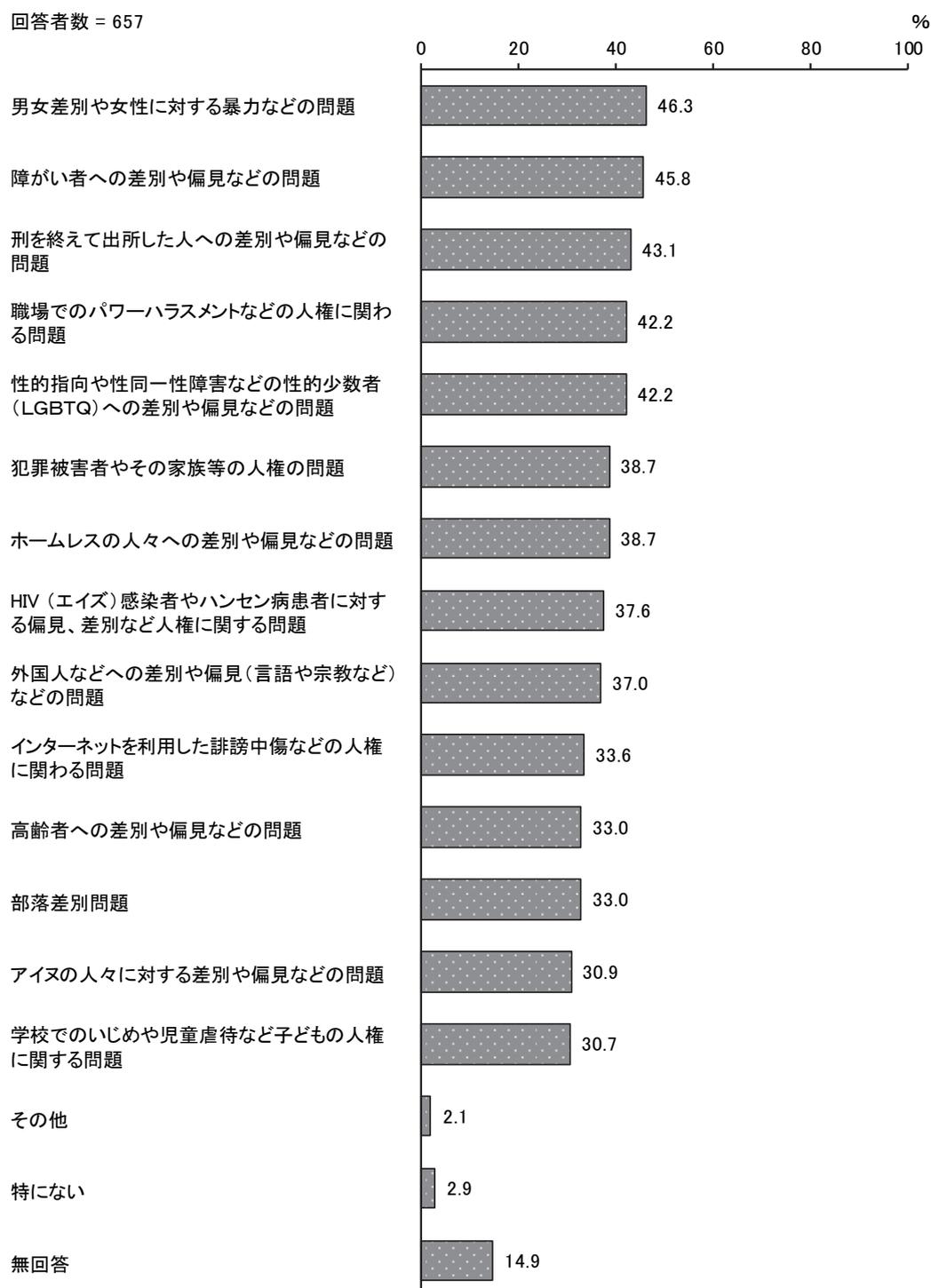
平成28年度調査と比較すると、「インターネットを利用した誹謗中傷などの人権に関わる問題」をはじめ、ほとんどの問題の割合が増加しています。



問 17-2 まだ差別や偏見があると感じている問題

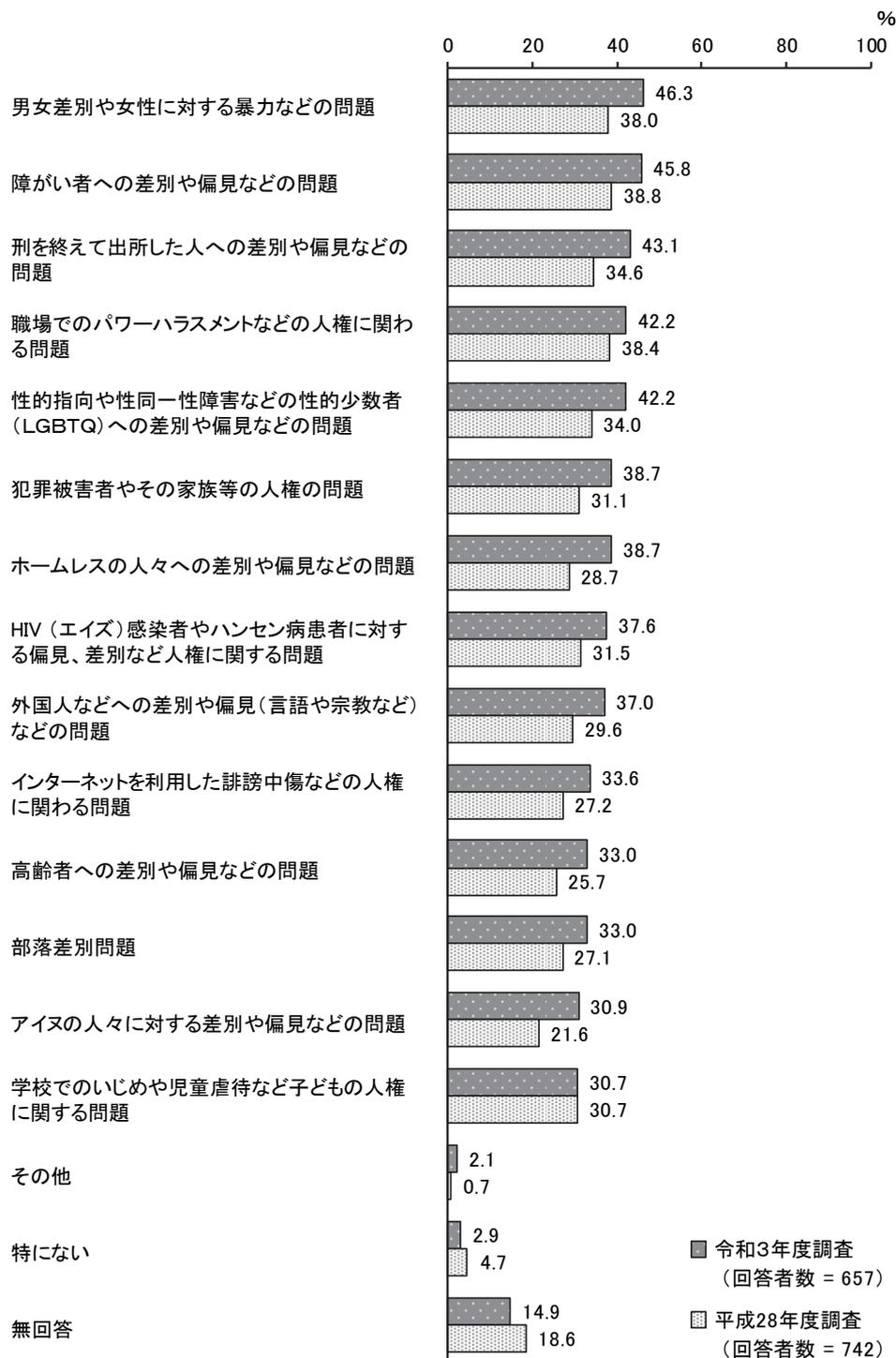
「男女差別や女性に対する暴力などの問題」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「障がい者への差別や偏見などの問題」の割合が 45.8%、「刑を終えて出所した人への差別や偏見などの問題」の割合が 43.1%となっています。

回答者数 = 657



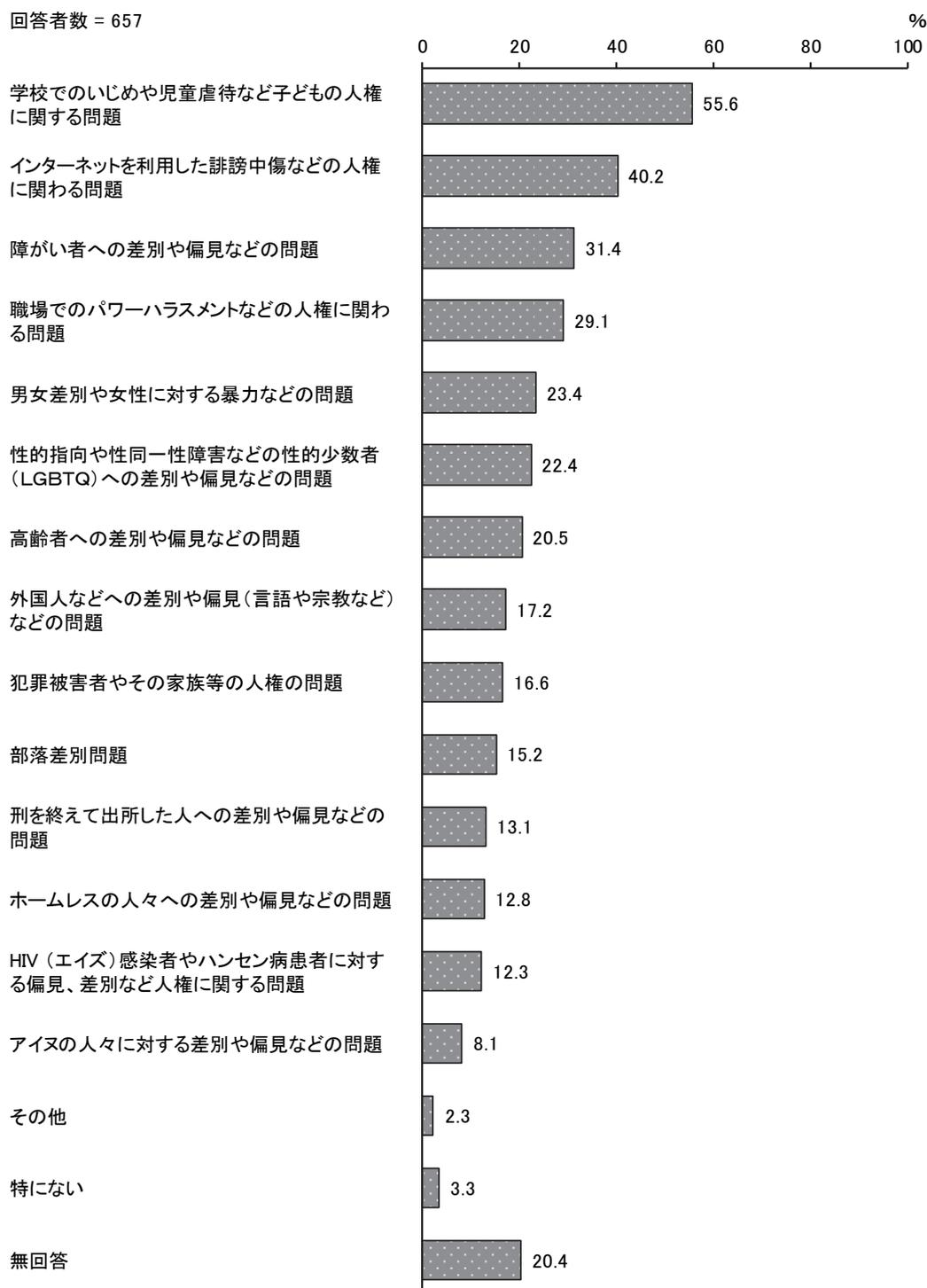
【前回調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、「男女差別や女性に対する暴力などの問題」をはじめ、ほぼすべての問題において割合が増加しています。



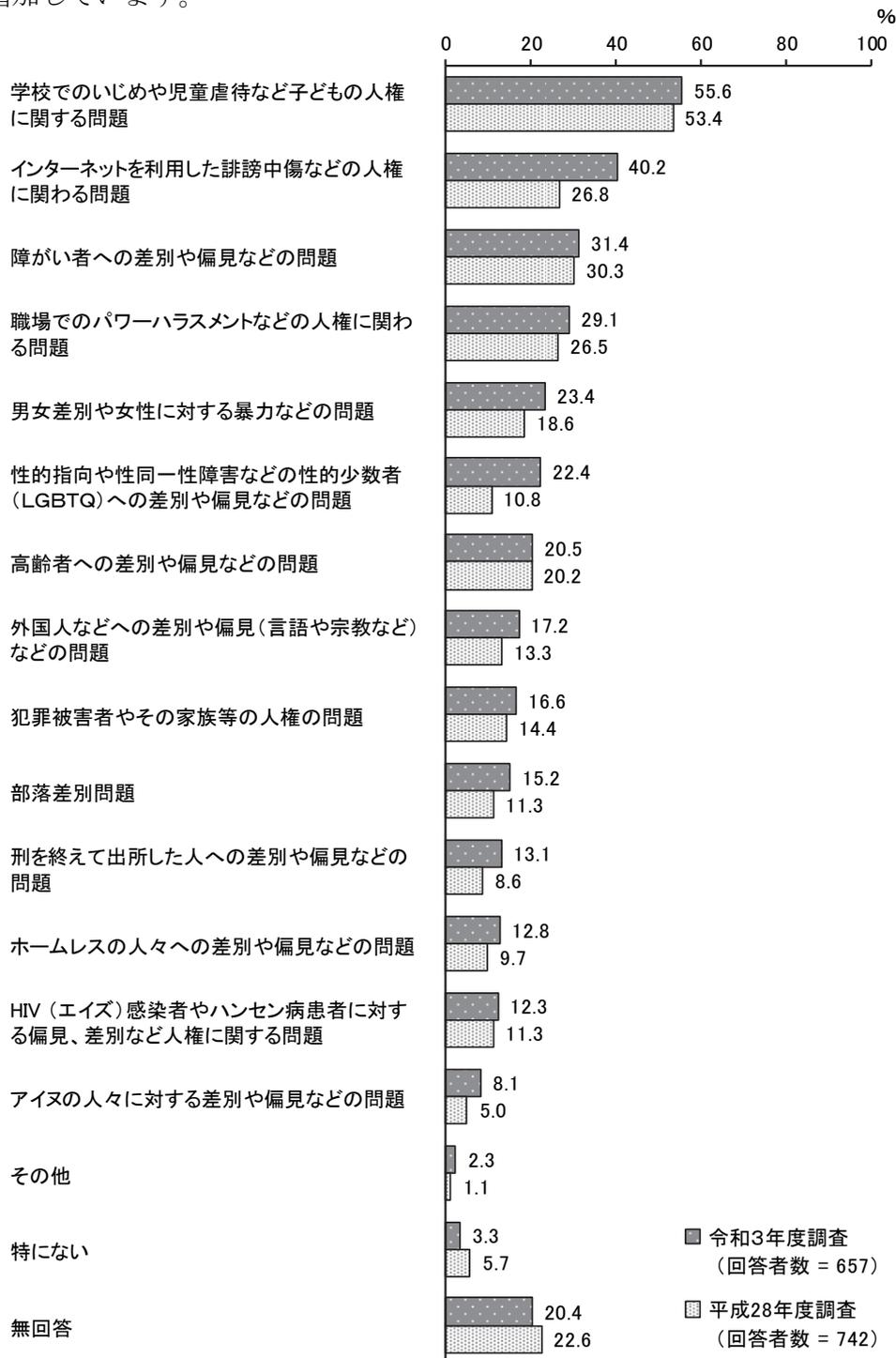
問 17-3 松本市において、重点的に取り組んだ方が良いと思う問題

「学校でのいじめや児童虐待など子どもの人権に関する問題」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「インターネットを利用した誹謗中傷などの人権に関わる問題」の割合が 40.2%、「障がい者への差別や偏見などの問題」の割合が 31.4%となっています。



【前回調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、「インターネットを利用した誹謗中傷などの人権に関わる問題」「性的指向や性同一性障害などの性的少数者（LGBTQ）への差別や偏見などの問題」の割合が特に増加しています。

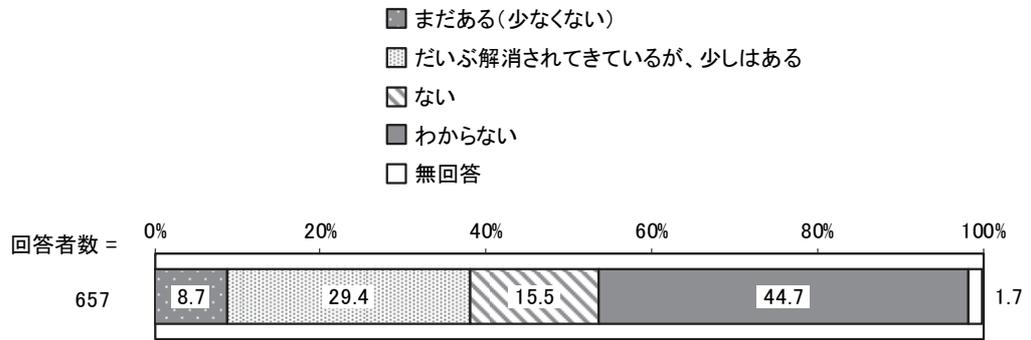


＜問 17 の「その他」の主な内容＞

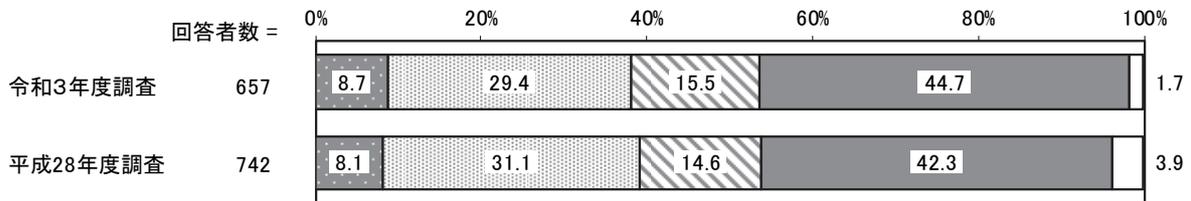
- ・ 自己肯定感の形成促進
- ・ 町内会活動における「顔役」の存在
- ・ 県外から来た人に対する偏見
- ・ 同性婚
- ・ 交通弱者（バスがない）
- ・ ゴルフ練習場での男性グループから女性に対しての否定的な言葉
- ・ コロナワクチンを接種するかしないか、したかどうか

問 18 あなたは、今でも部落差別問題があると思いますか。(〇は1つ)

「わからない」の割合が44.7%と最も高く、次いで「だいぶ解消されてきているが、少しはある」の割合が29.4%、「ない」の割合が15.5%となっています。

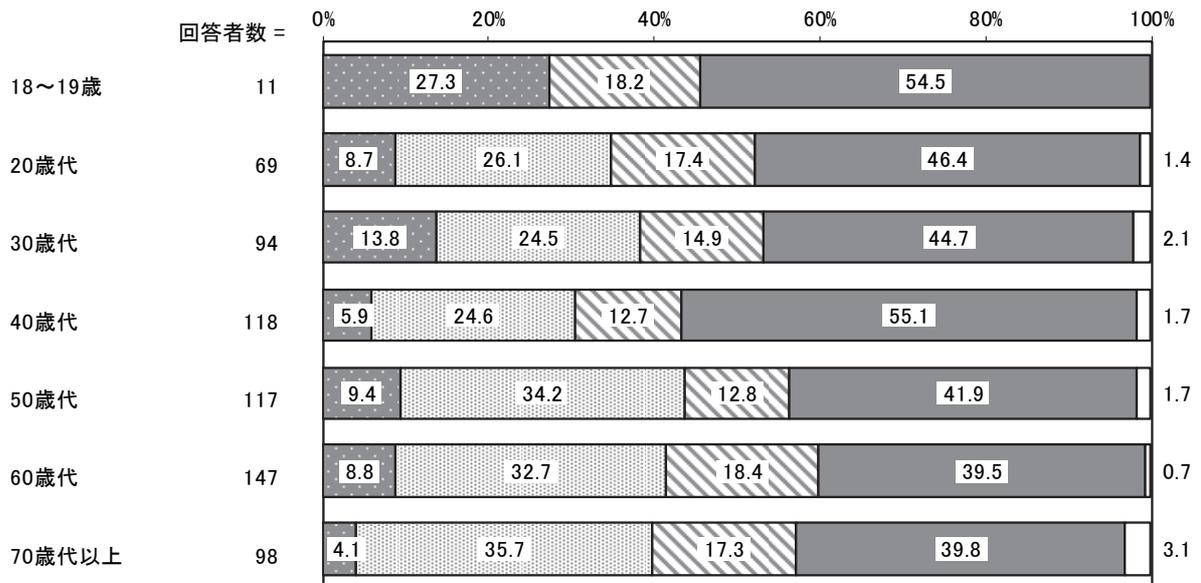


【前回調査との比較】



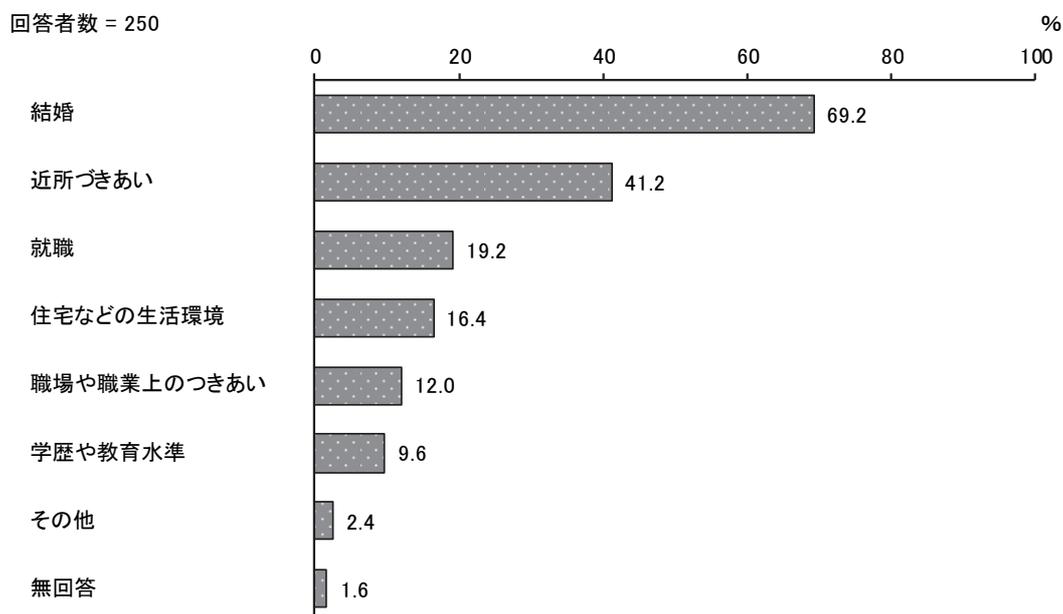
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18～19歳で「まだある(少なくない)」の割合が高くなっています。



問 18-1 どのような場合にあると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「結婚」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「近所づきあい」の割合が 41.2%、「就職」の割合が 19.2%となっています。

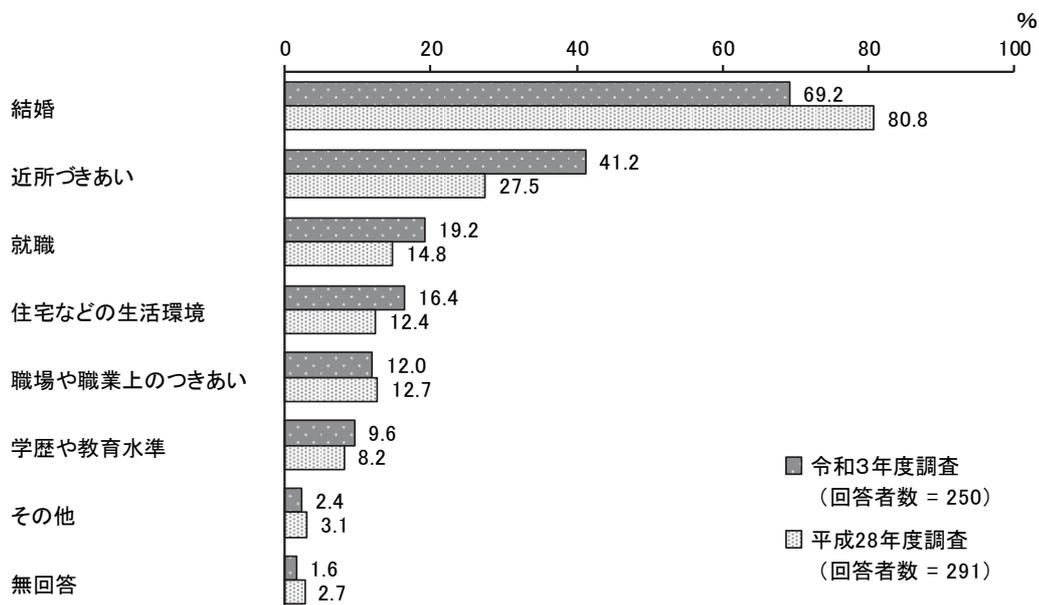


<「その他」の主な内容>

- ・うわさで耳にする時
- ・名字
- ・若い世代には全くないが、出身地等を聞いた時に高齢者が反応する事がある
- ・友だち
- ・自分の中の過去の体験

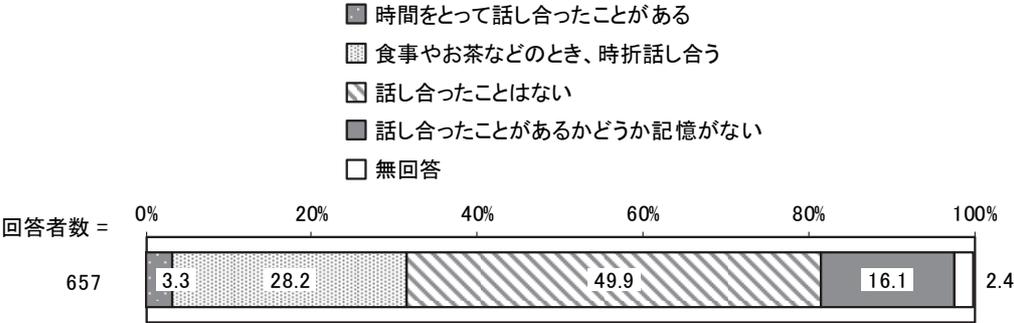
【前回調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「近所づきあい」の割合が増加しています。一方、「結婚」の割合が減少しています。

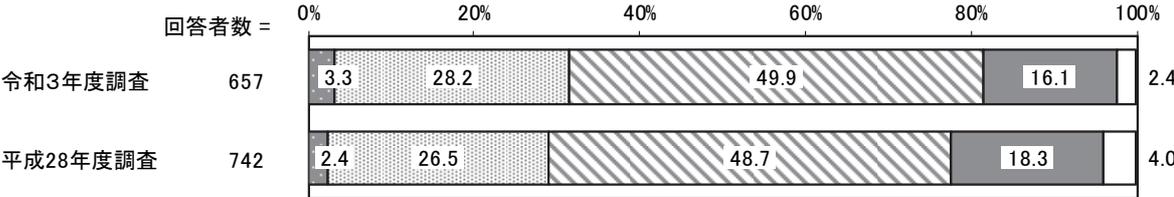


問 19 あなたは、過去1年間に差別の問題や人権問題について、家庭等で話し合ったことがありますか。(○は1つ)

「話し合ったことはない」の割合が49.9%と最も高く、次いで「食事やお茶などのとき、時折話し合う」の割合が28.2%、「話し合ったことがあるかどうか記憶がない」の割合が16.1%となっています。



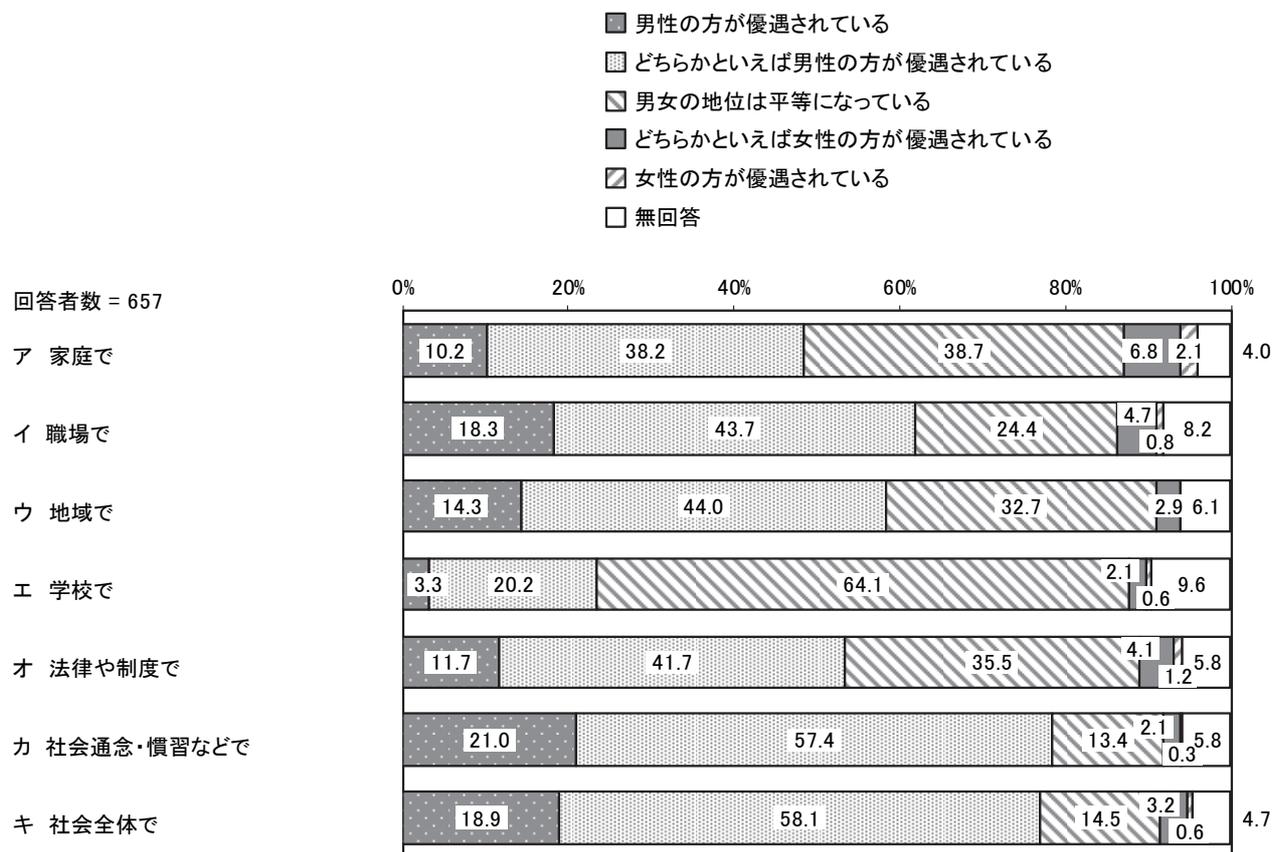
【前回調査との比較】



(8) 男女共同参画について

問 20 あなたは、以下のア～キの分野で男女は平等な立場になっていると思いますか。

『カ 社会通念・慣習などで』『キ 社会全体で』で「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた“男性優遇”の割合が高くなっています。また、『エ 学校で』で「男女の地位は平等になっている」の割合が高くなっています。

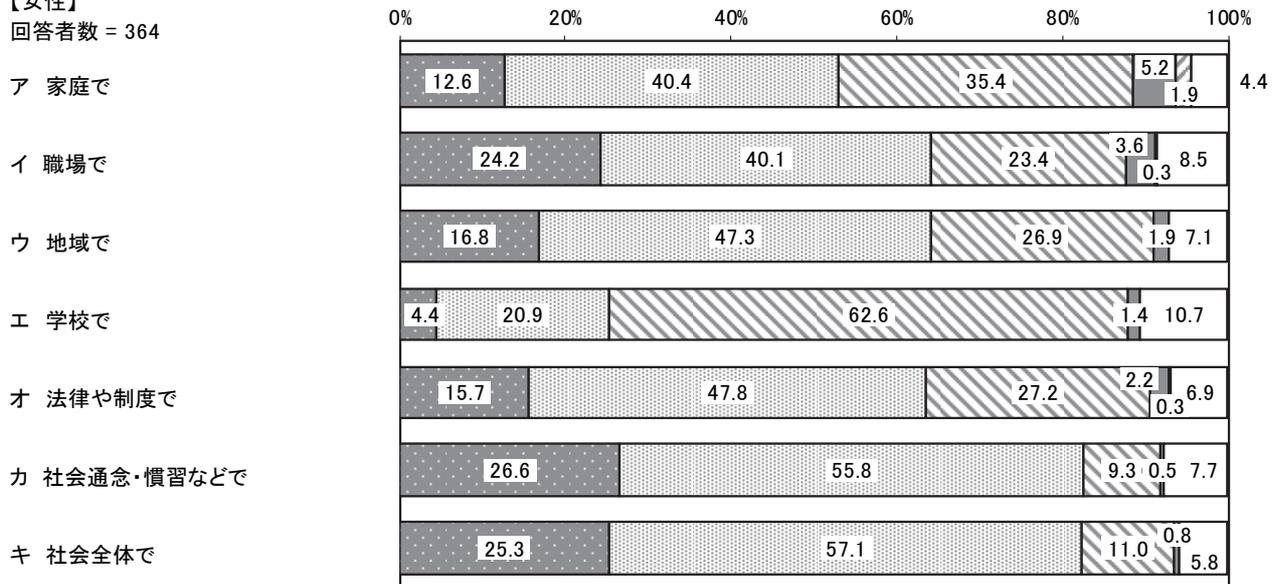


【性別】

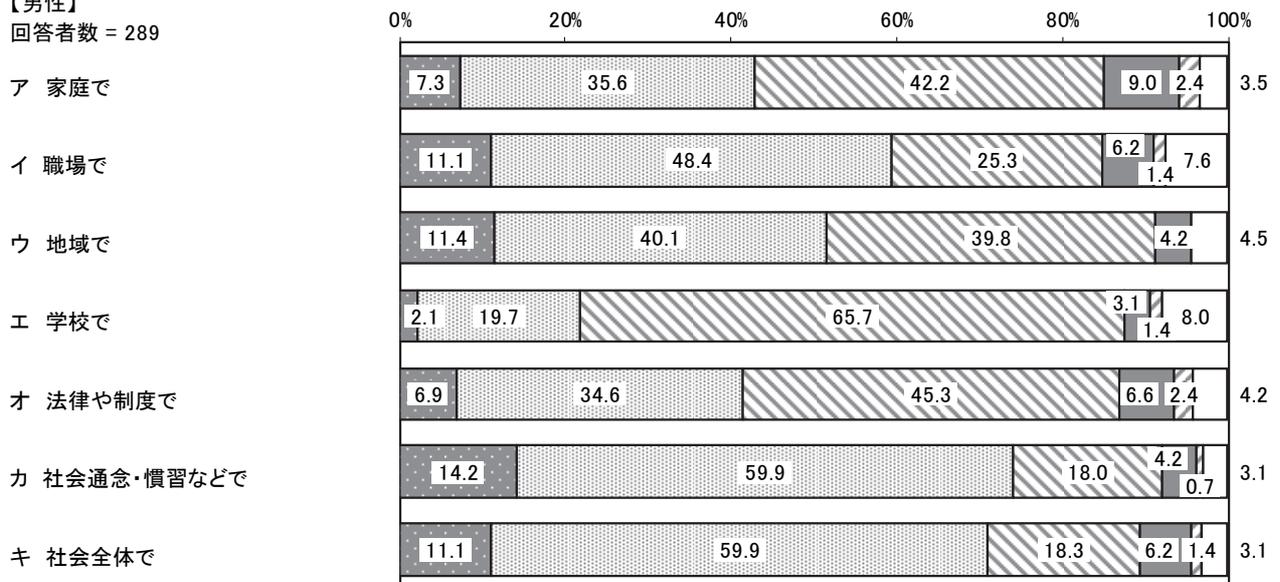
男女ともに『カ 社会通念・慣習などで』『キ 社会全体で』で“男性優遇”の割合が高くなっています。また、男女ともに『エ 学校で』、男性では『オ 法律や制度で』で「男女の地位は平等になっている」の割合が高くなっています。

- 男性の方が優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▩ 男女の地位は平等になっている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▩ 女性の方が優遇されている
- 無回答

【女性】
回答者数 = 364

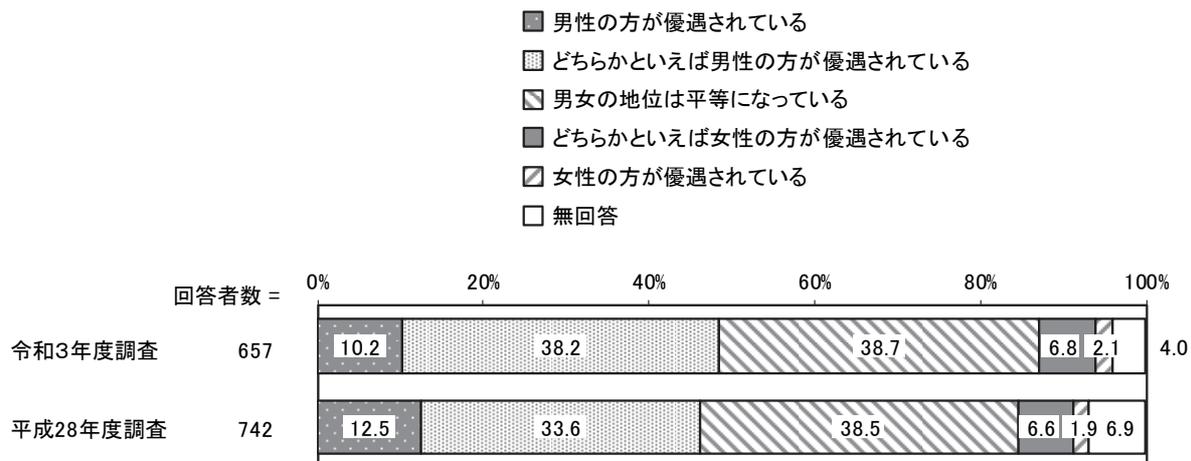


【男性】
回答者数 = 289

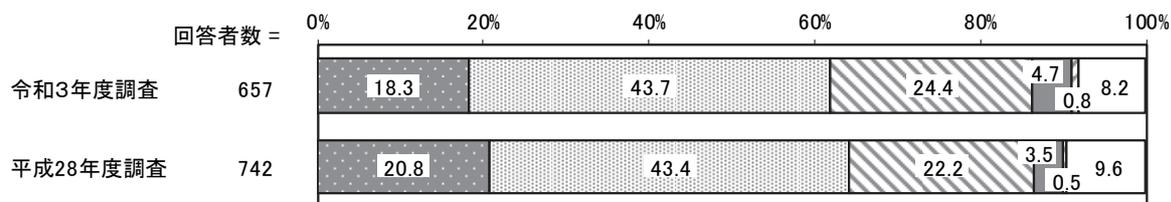


【前回調査との比較】

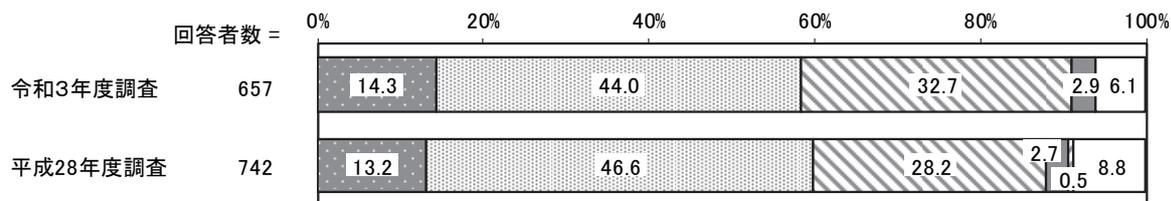
ア 家庭で



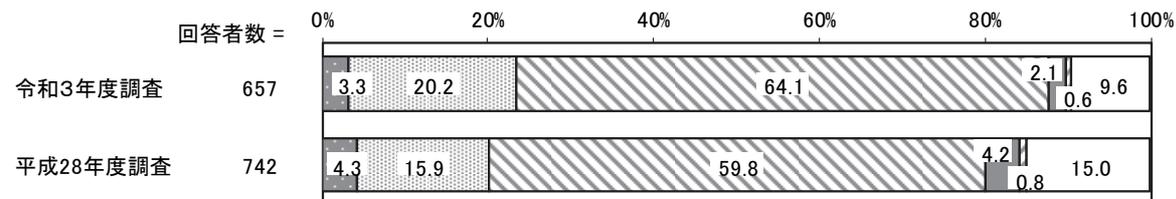
イ 職場で



ウ 地域で

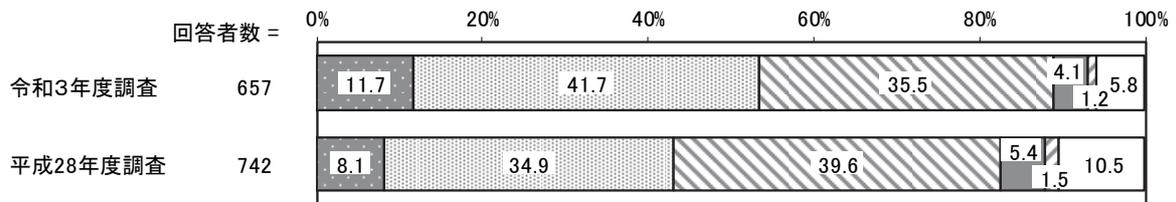


エ 学校で

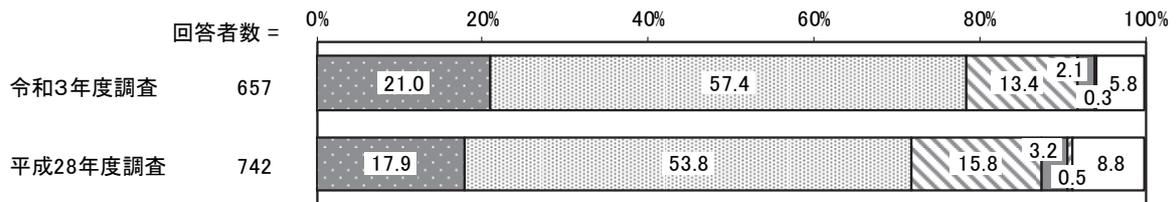


オ 法律や制度で

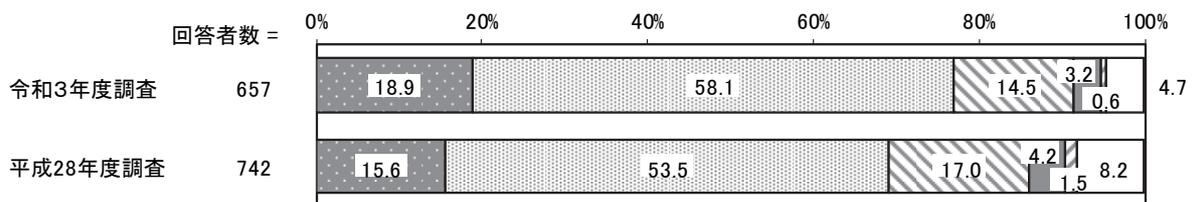
- 男性の方が優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▧ 男女の地位は平等になっている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▩ 女性の方が優遇されている
- 無回答



カ 社会通念・慣習などで

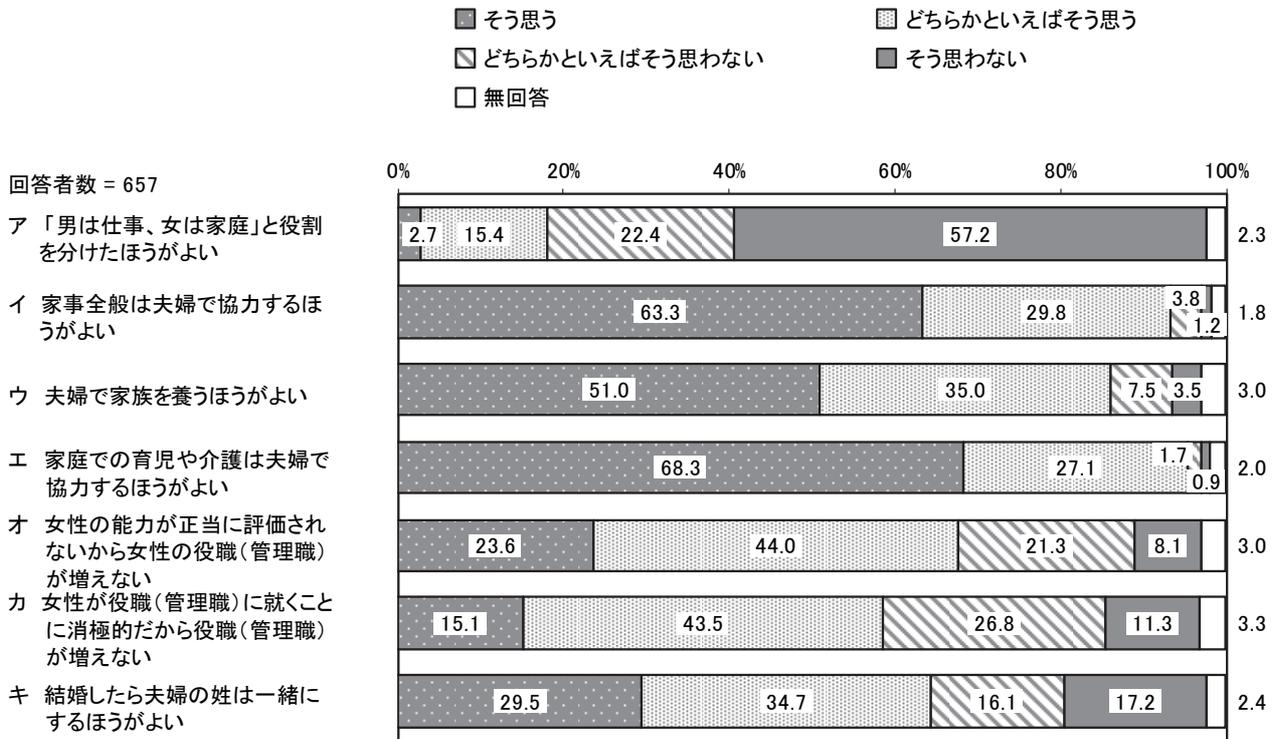


キ 社会全体で



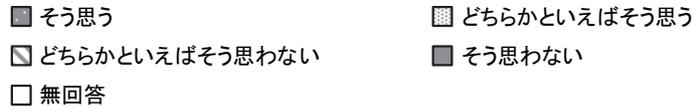
問 21 あなたは、以下のア～キの考え方についてどう思いますか。

『エ 家庭での育児や介護は夫婦で協力するほうがよい』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が高くなっています。また、『ア 「男は仕事、女は家庭」と役割を分けたほうがよい』で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合が高くなっています。



【性別】

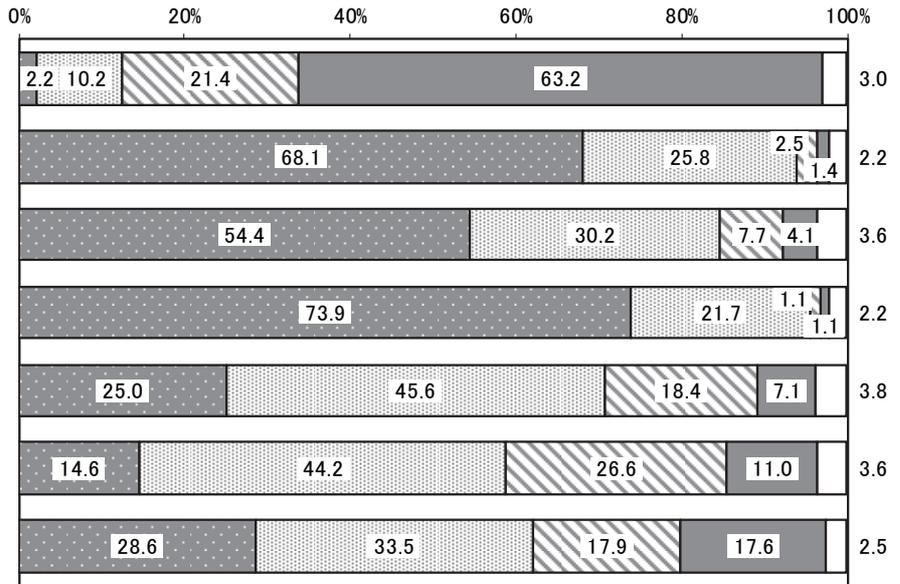
性別でみると、男女ともに『エ 家庭での育児や介護は夫婦で協力するほうがよい』で“思う”の割合が高くなっています。また、男女ともに『ア 「男は仕事、女は家庭」と役割を分けたほうがよい』で“思わない”の割合が高くなっています。



【女性】

回答者数 = 364

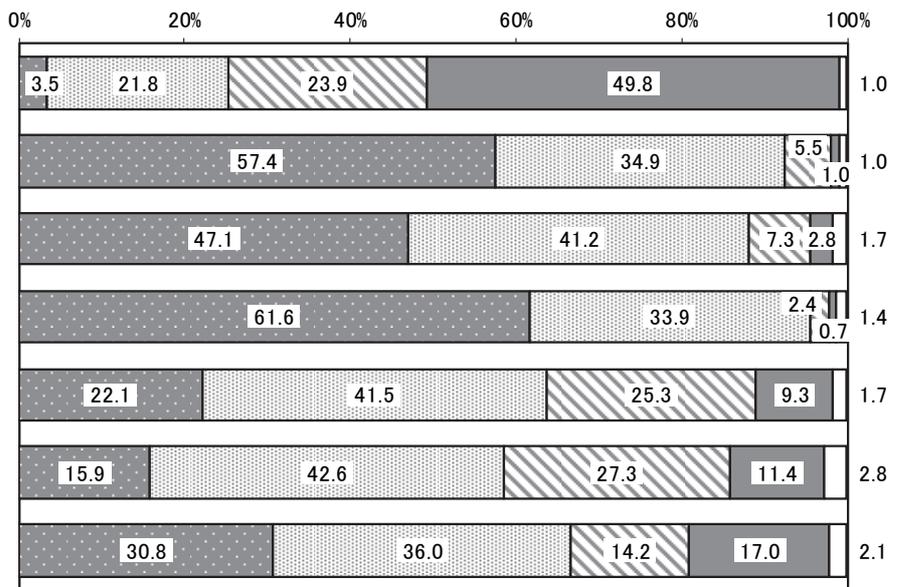
- ア 「男は仕事、女は家庭」と役割を分けたほうがよい
- イ 家事全般は夫婦で協力するほうがよい
- ウ 夫婦で家族を養うほうがよい
- エ 家庭での育児や介護は夫婦で協力するほうがよい
- オ 女性の能力が正に評価されないから女性の役職(管理職)が増えない
- カ 女性が役職(管理職)に就くことに消極的だから役職(管理職)が増えない
- キ 結婚したら夫婦の姓は一緒にするほうがよい



【男性】

回答者数 = 289

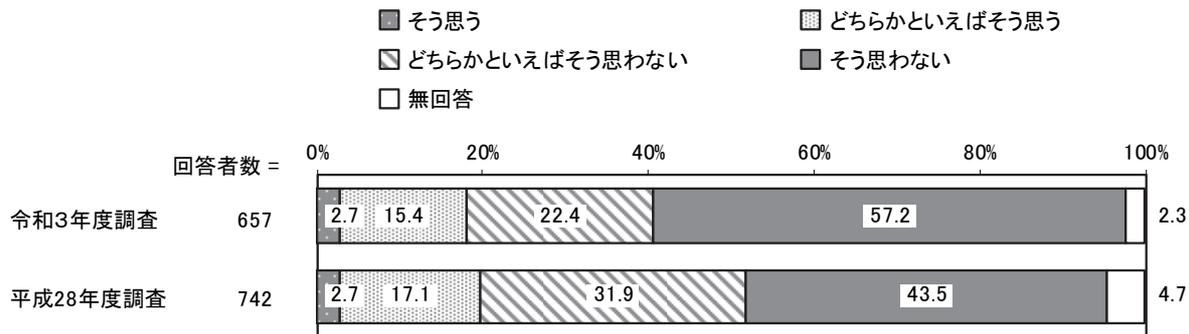
- ア 「男は仕事、女は家庭」と役割を分けたほうがよい
- イ 家事全般は夫婦で協力するほうがよい
- ウ 夫婦で家族を養うほうがよい
- エ 家庭での育児や介護は夫婦で協力するほうがよい
- オ 女性の能力が正に評価されないから女性の役職(管理職)が増えない
- カ 女性が役職(管理職)に就くことに消極的だから役職(管理職)が増えない
- キ 結婚したら夫婦の姓は一緒にするほうがよい



ア 「男は仕事、女は家庭」と役割を分けたほうがよい

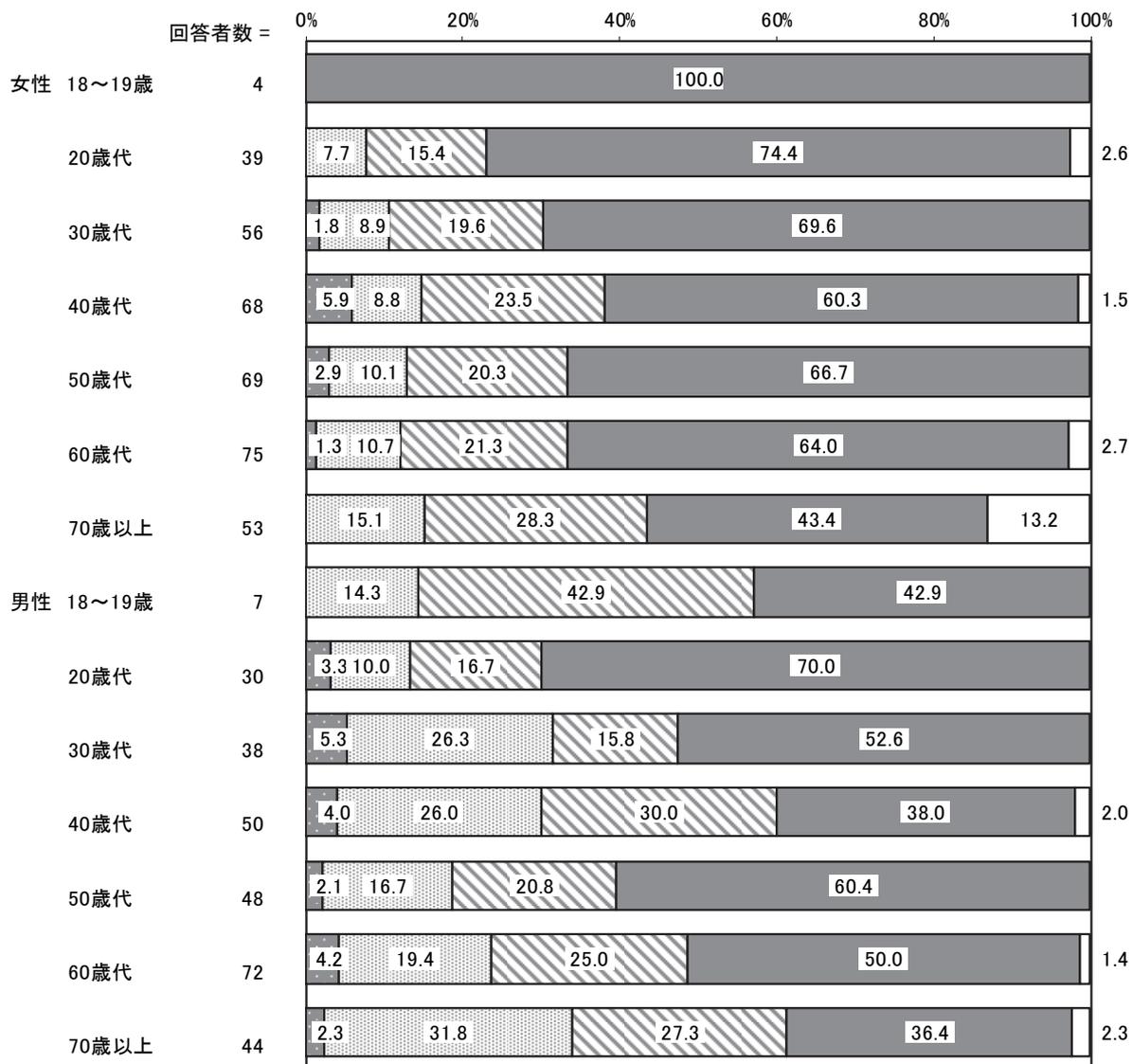
【前回調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が増加しています。



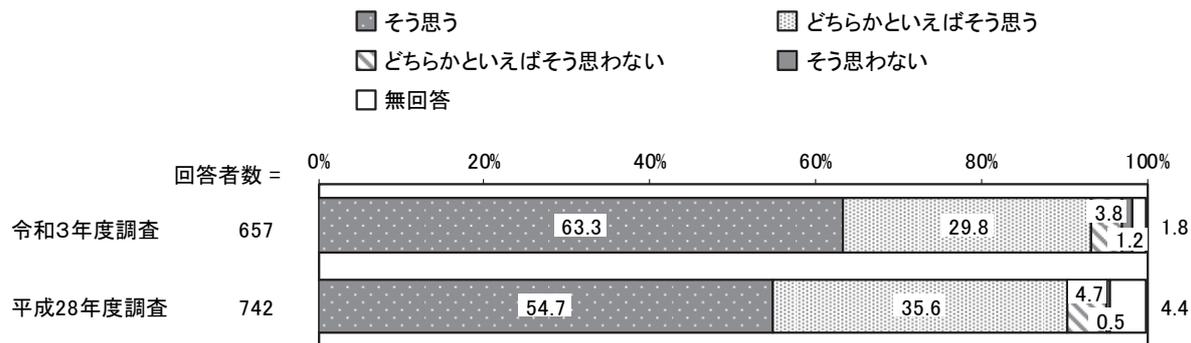
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、男性の30歳代、40歳代、70歳代以上で“思う”の割合が高くなっています。



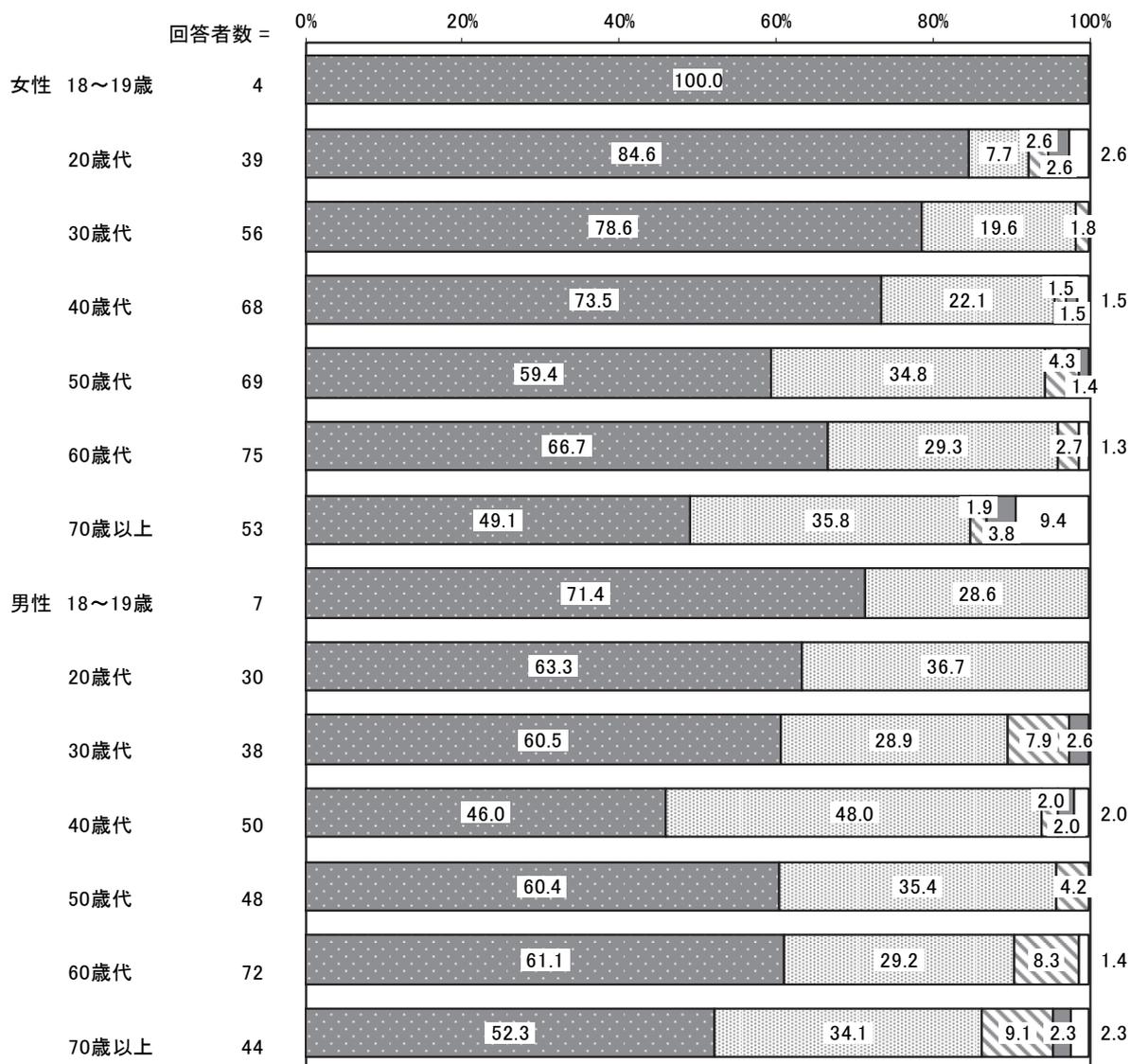
イ 家事全般は夫婦で協力するほうがよい

【前回調査との比較】



【性・年齢別】

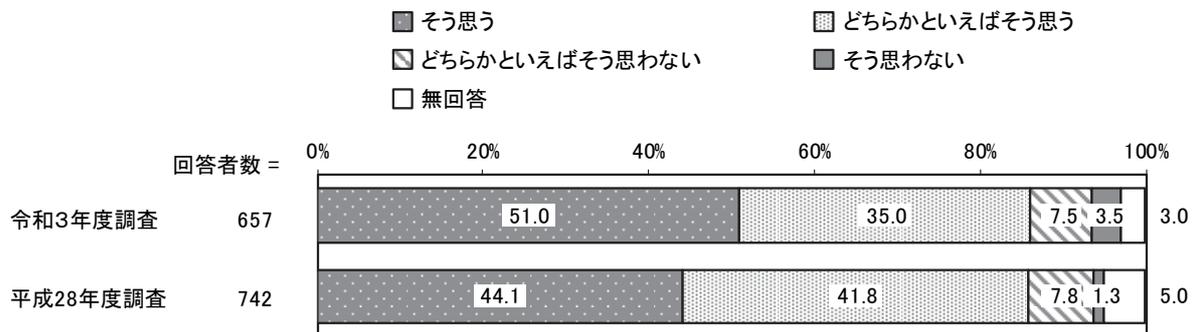
性・年齢別でみると、他に比べ、女性の70歳以上、男性の40歳代、70歳代以上で「そう思う」の割合が低くなっています。



ウ 夫婦で家族を養うほうがよい

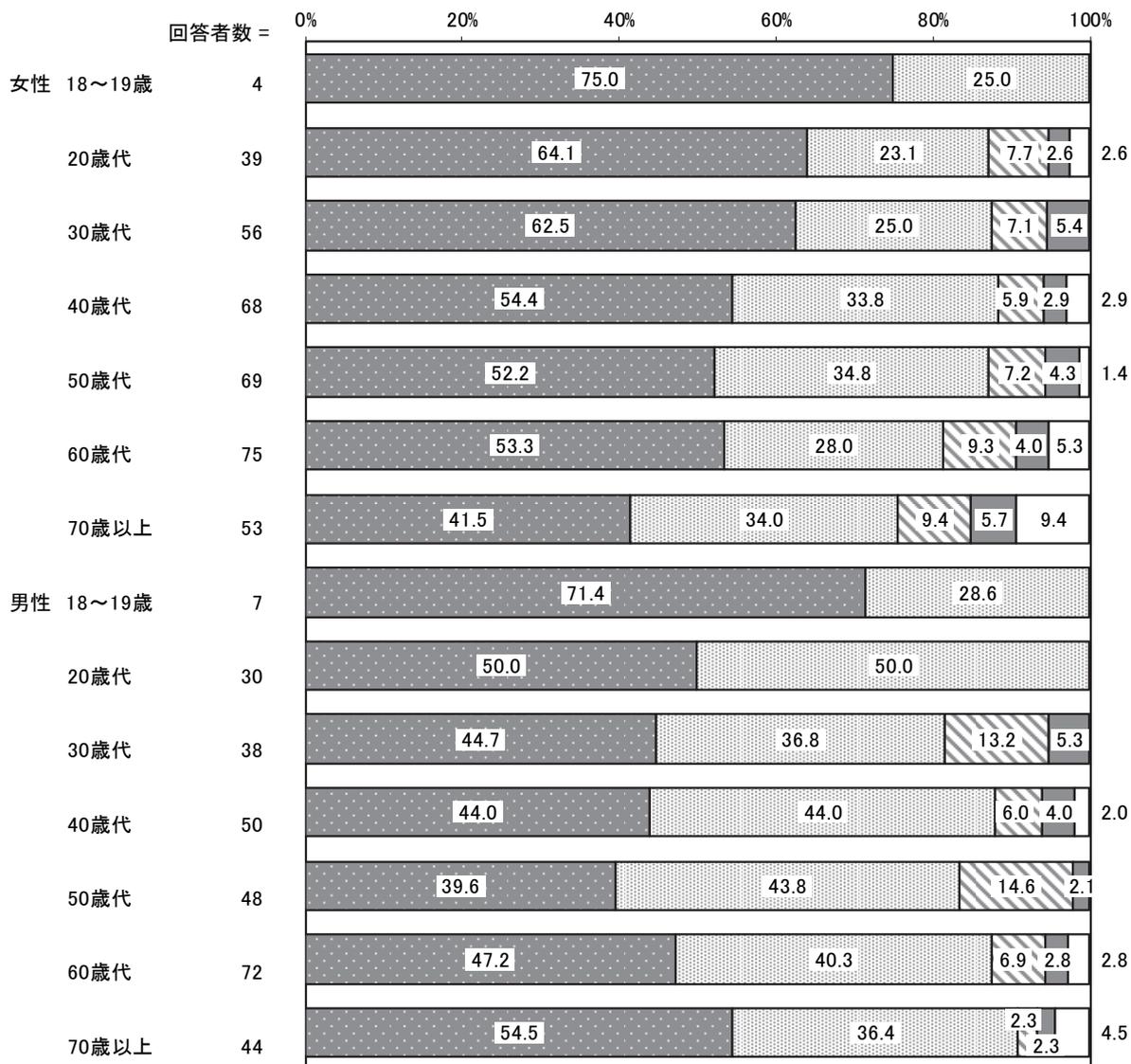
【前回調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。



【性・年齢別】

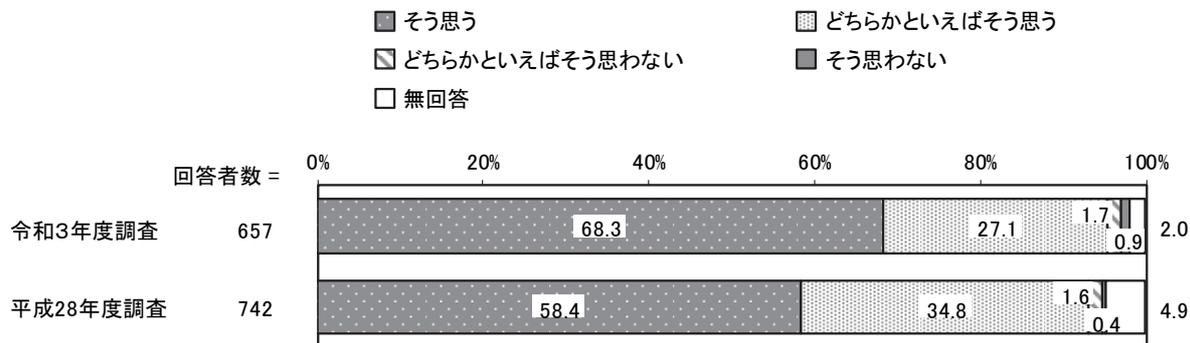
性・年齢別で見ると、他に比べ、男女ともに 18～19 歳と男性 20 歳代で“思う”の割合が高くなっています。



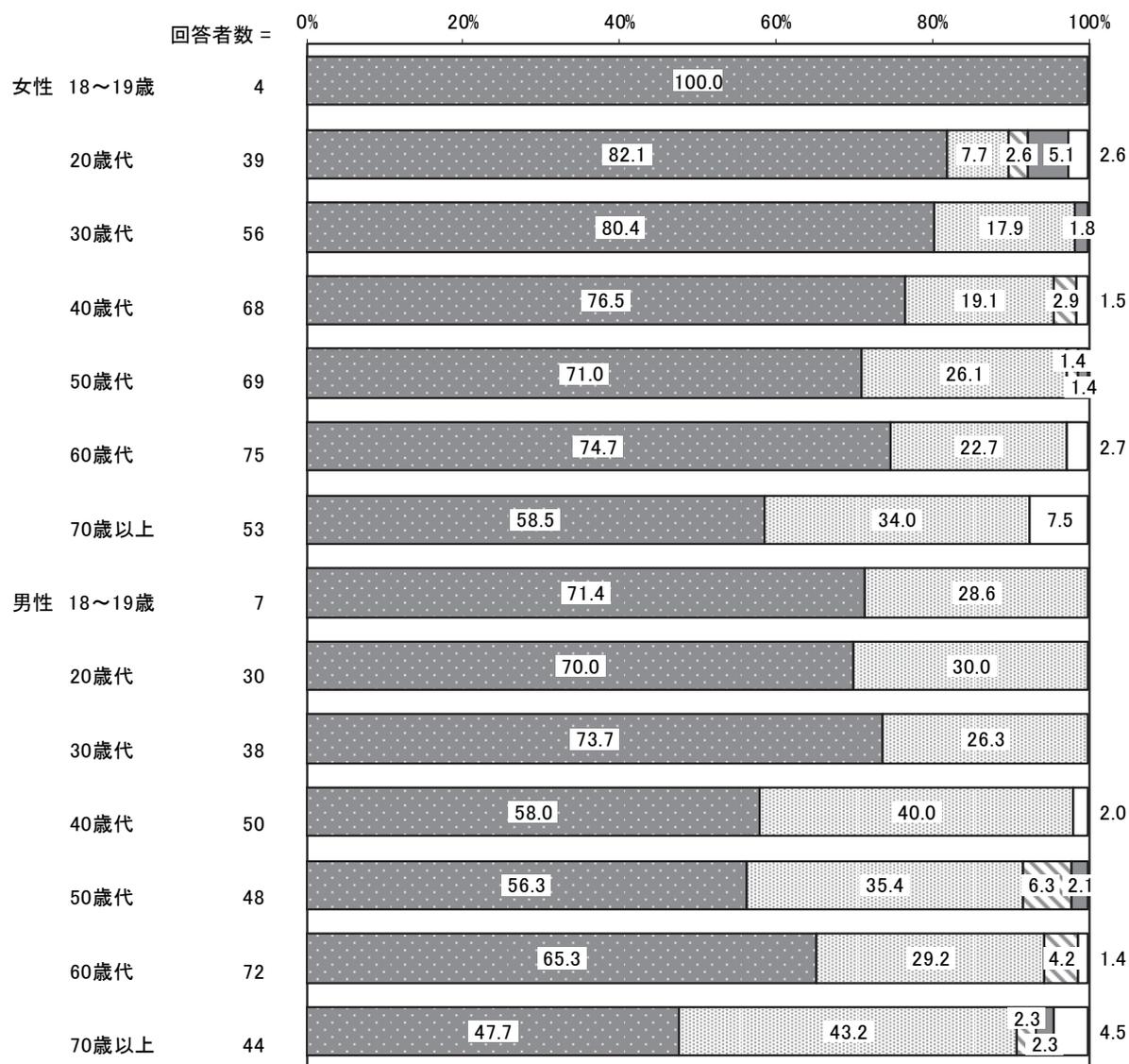
エ 家庭での育児や介護は夫婦で協力するほうがよい

【前回調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。

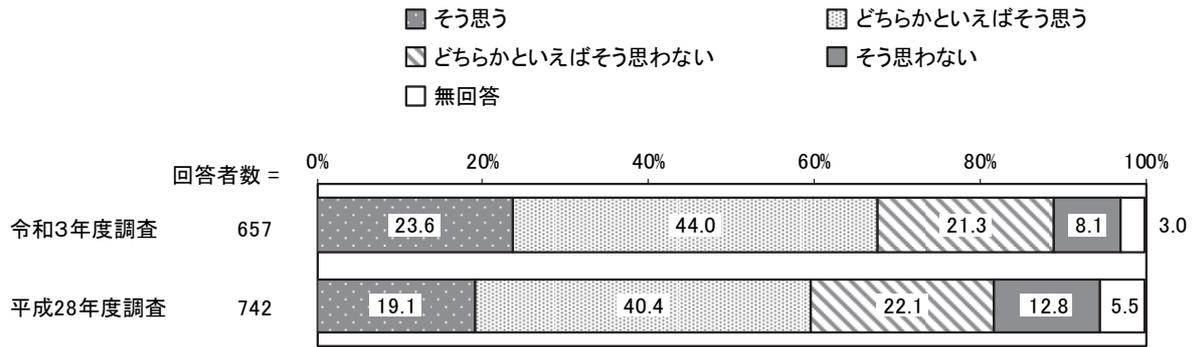


【性・年齢別】



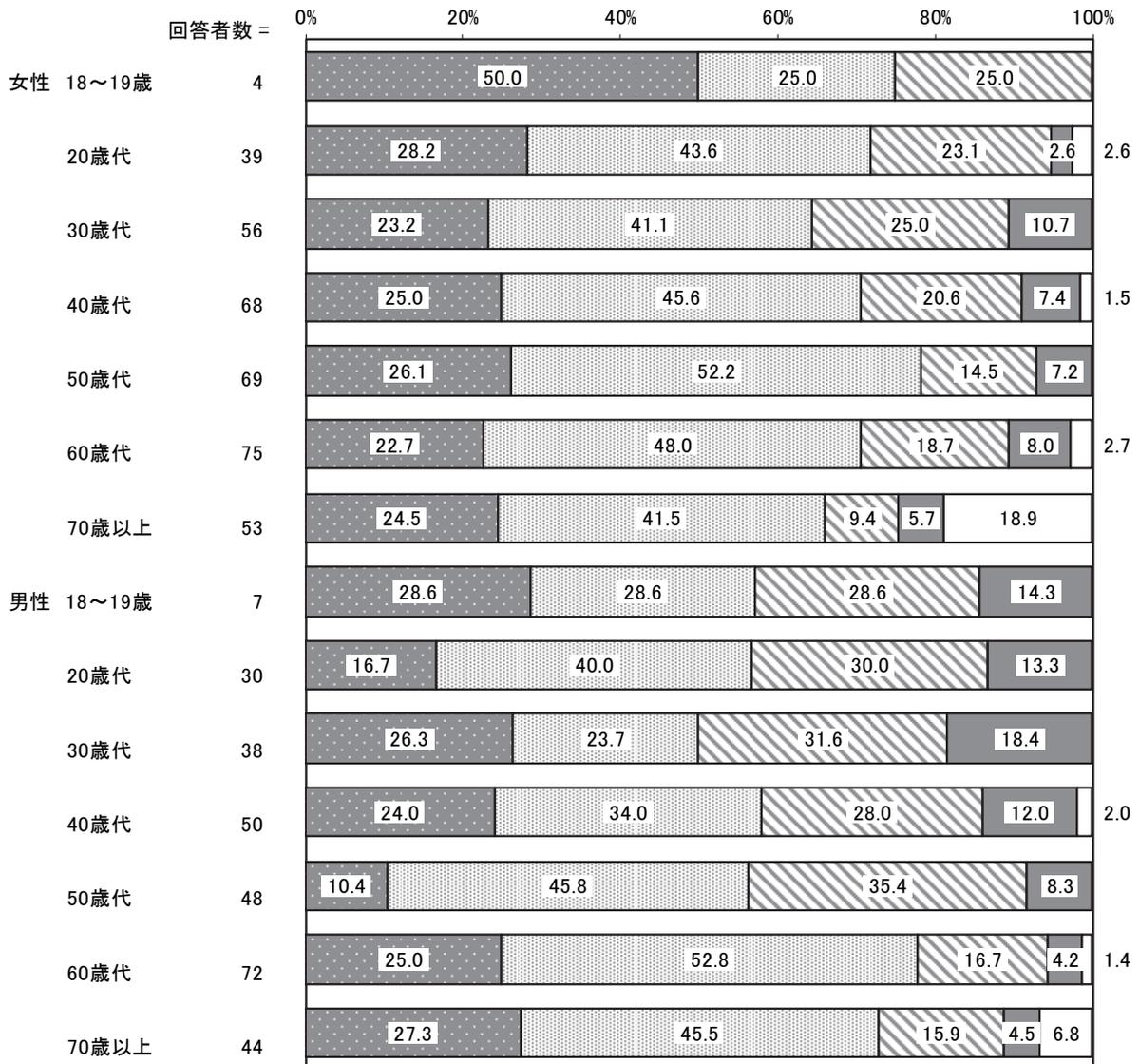
オ 女性の能力が正當に評価されないから女性の役職（管理職）が増えない

【前回調査との比較】



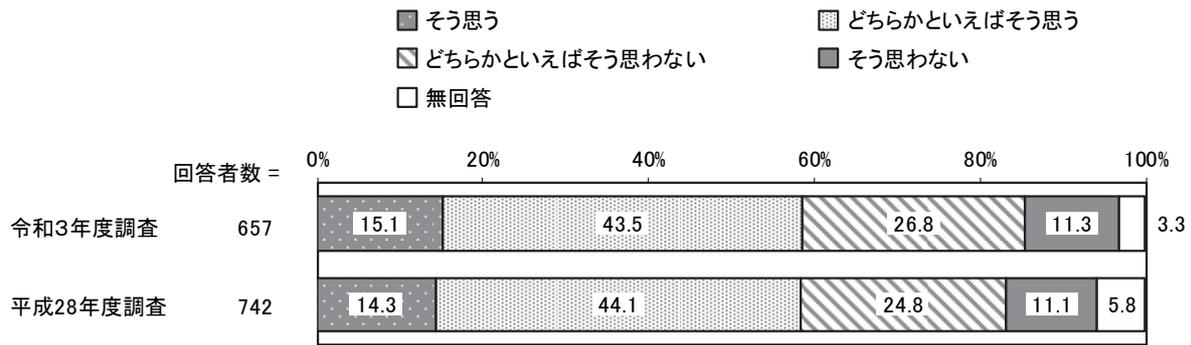
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、他に比べ、女性の50歳代、男性の60歳代で“思う”の割合が高くなっています。



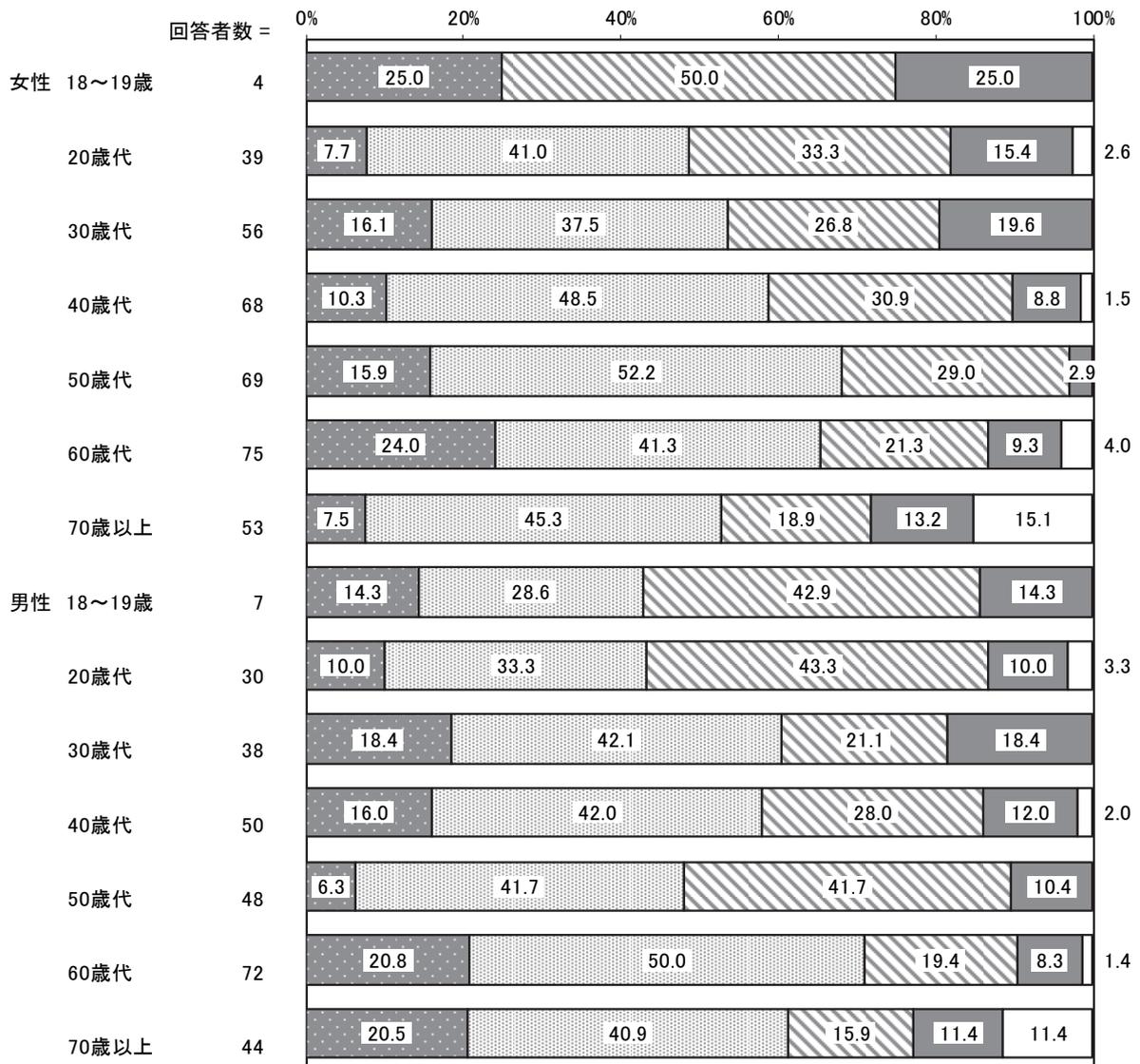
カ 女性が役職（管理職）に就くことに消極的だから役職（管理職）が増えない

【前回調査との比較】



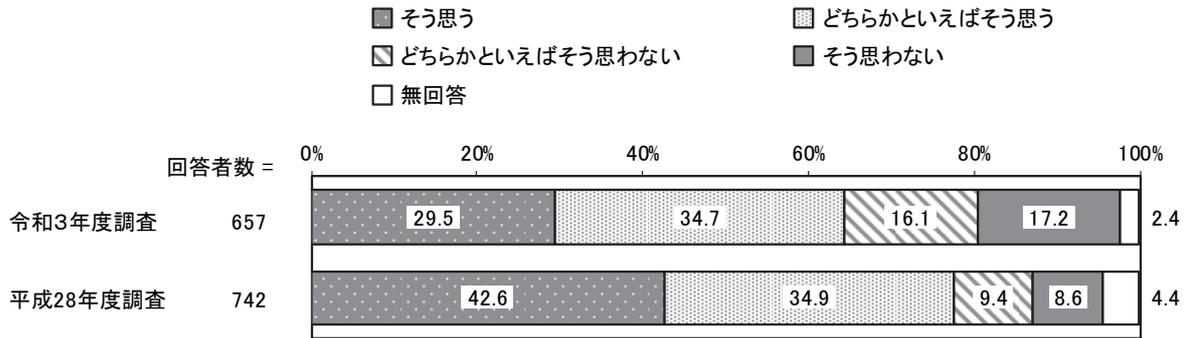
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、女性は年齢が低くなるにつれ“思わない”の割合が高くなる傾向がみられます。



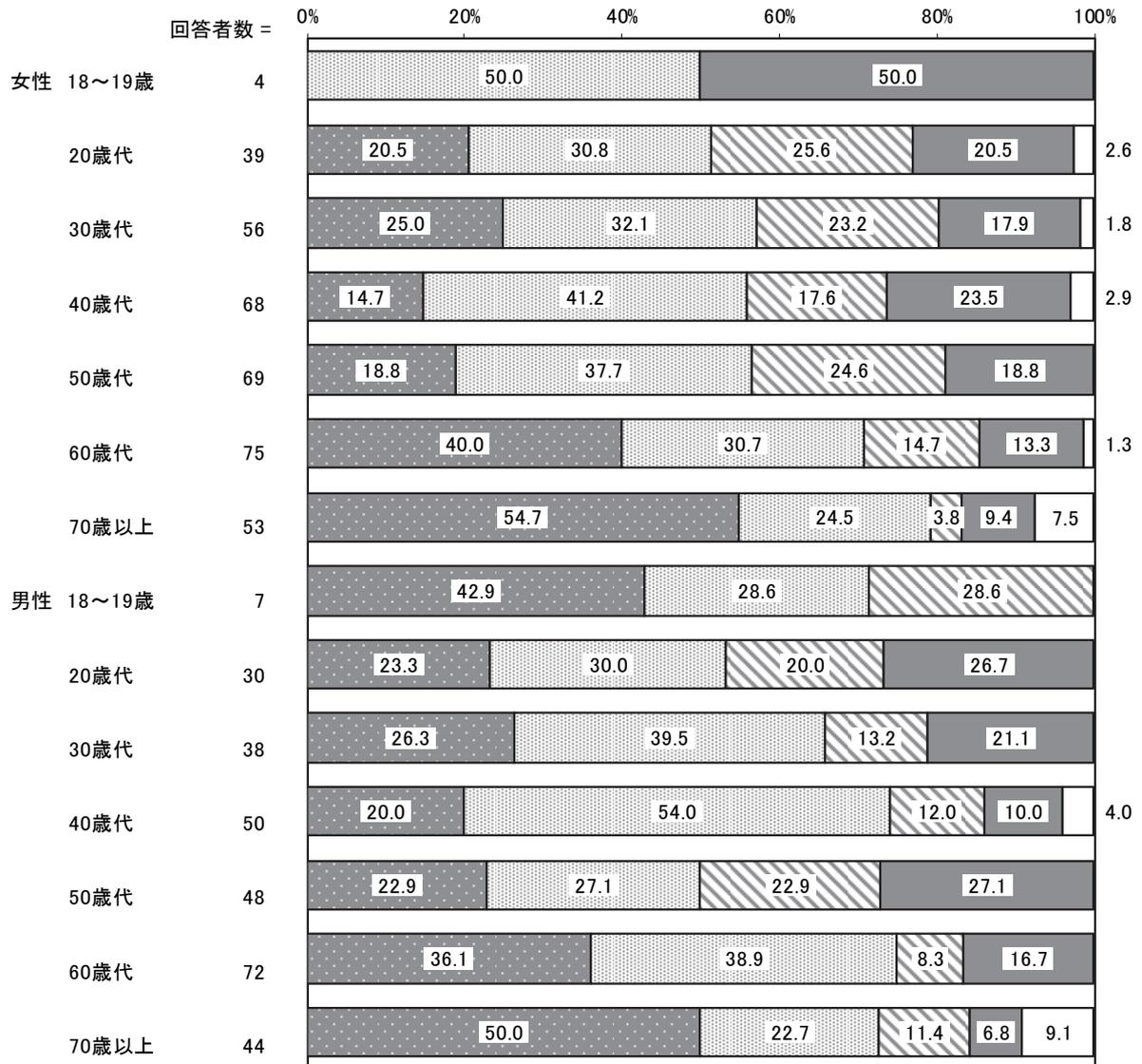
キ 結婚したら夫婦の姓は一緒にするほうがよい

【前回調査との比較】



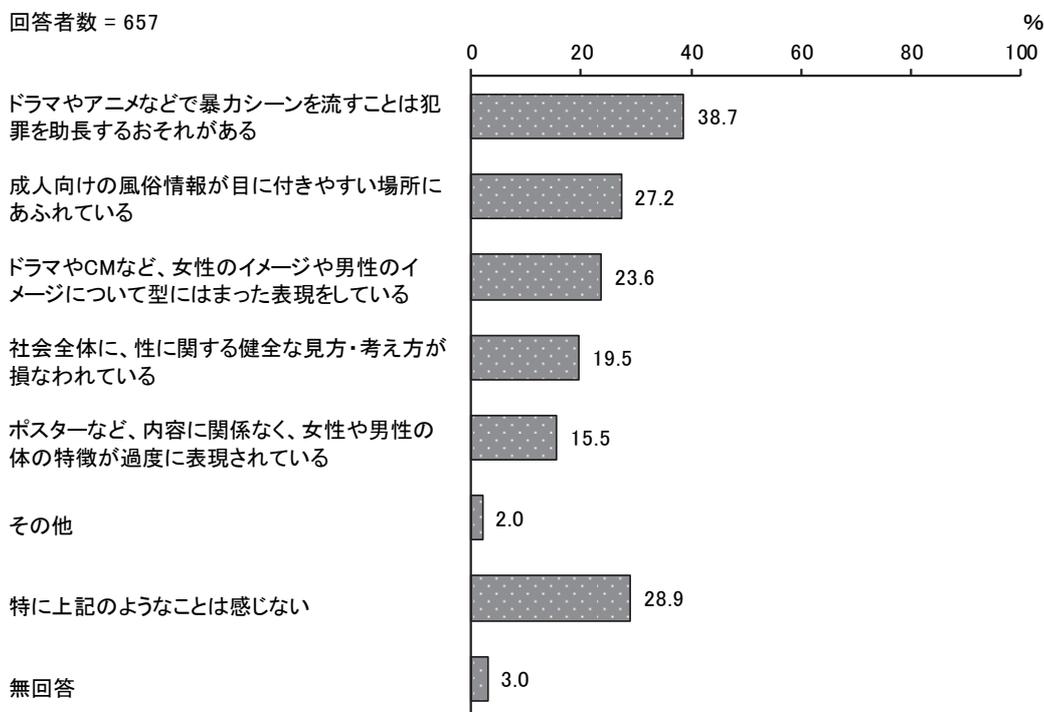
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男女とも60歳代～70歳代以上は、“思う”の割合が高くなっています。



問 22 メディア（新聞・テレビ・インターネットなど）における性・暴力表現について、あなたはどのように感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

「ドラマやアニメなどで暴力シーンを流すことは犯罪を助長するおそれがある」の割合が38.7%と最も高く、次いで「特に上記のようなことは感じない」の割合が28.9%、「成人向けの風俗情報が目に付きやすい場所にあふれている」の割合が27.2%となっています。

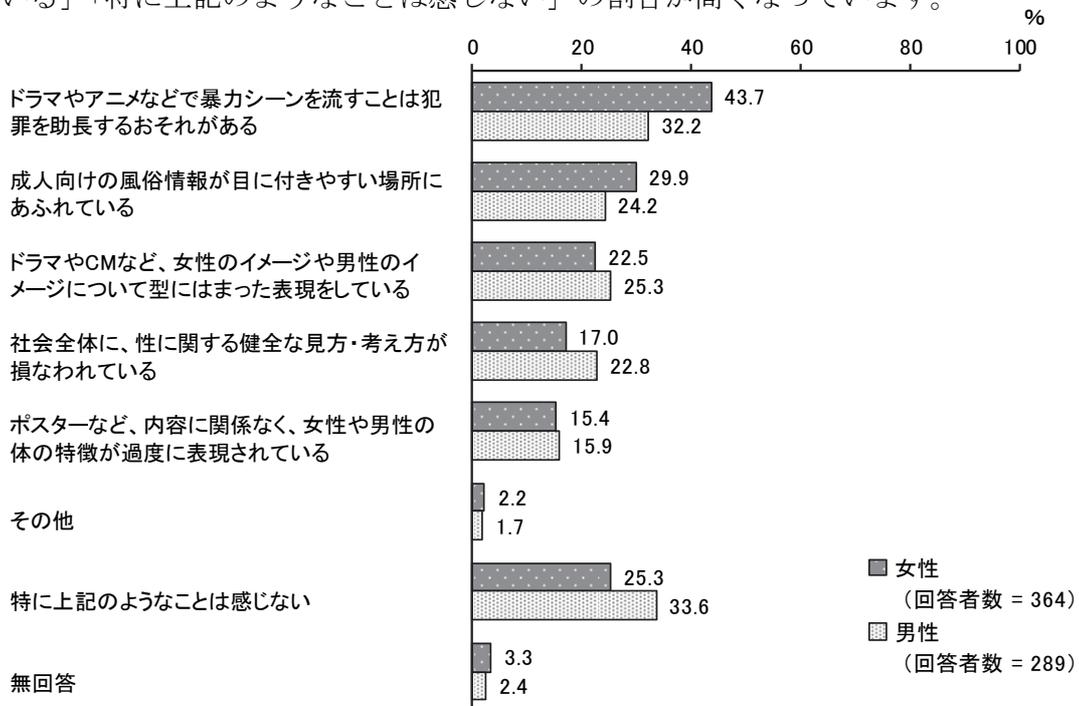


<「その他」の主な内容>

- ・ヤフーの検索画面やヒット先に、性的な広告があふれている（3件）
- ・ドラマやアニメだけではなく、オンラインゲームでも同様
- ・メディアにおける性、暴力表現について感じることを、きちんと話し合う場がない
- ・アダルト動画が子どもでも簡単に見られることに不安を感じている
- ・アニメは、子どもが見るものに関しては暴力シーンを控えてほしい
- ・アニメが性的向上心を招く画が多い胸を大きく見せる、ミニスカートなど
- ・風俗トラックへの規制を強化すべき
- ・メディアの意向によって表現が左右されていると感じ、危惧している
- ・過度に反応しすぎの気がするが、他人がどう考えているかわからず、何とも言えない
- ・CMを手掛ける広告会社の利益のためにやっている表現で、過度な干渉は利益を損なう責任が発生するため、あらかじめのガイドラインは要らないと思う

【性別】

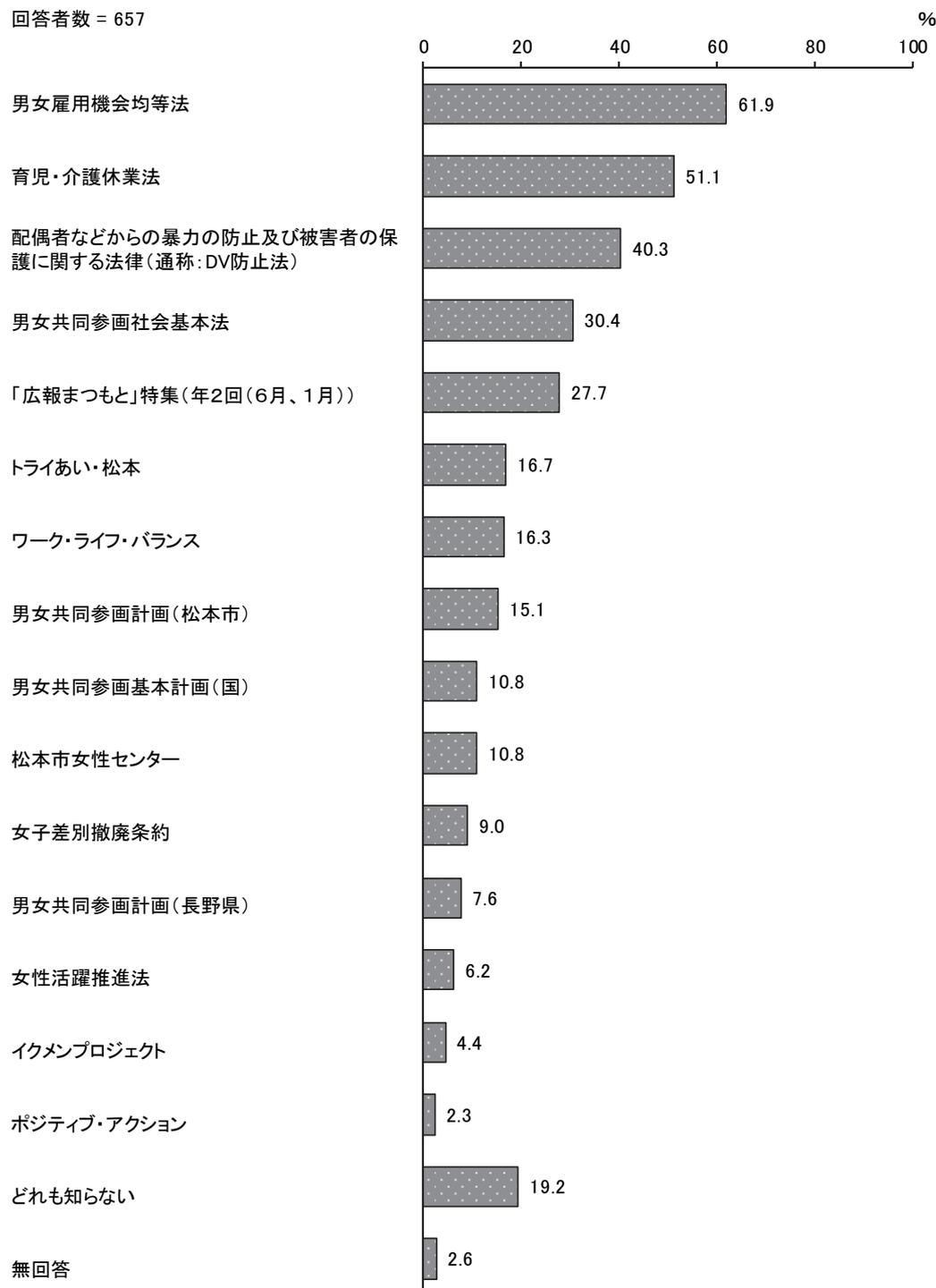
性別でみると、男性に比べ、女性で「ドラマやアニメなどで暴力シーンを流すことは犯罪を助長するおそれがある」「成人向けの風俗情報が目に付きやすい場所にあふれている」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「社会全体に、性に関する健全な見方・考え方が損なわれている」「特に上記のようなことは感じない」の割合が高くなっています。



問 23 男女共同参画の推進に向けて行われている以下の事柄等を知っていますか。ご存知のものをすべてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

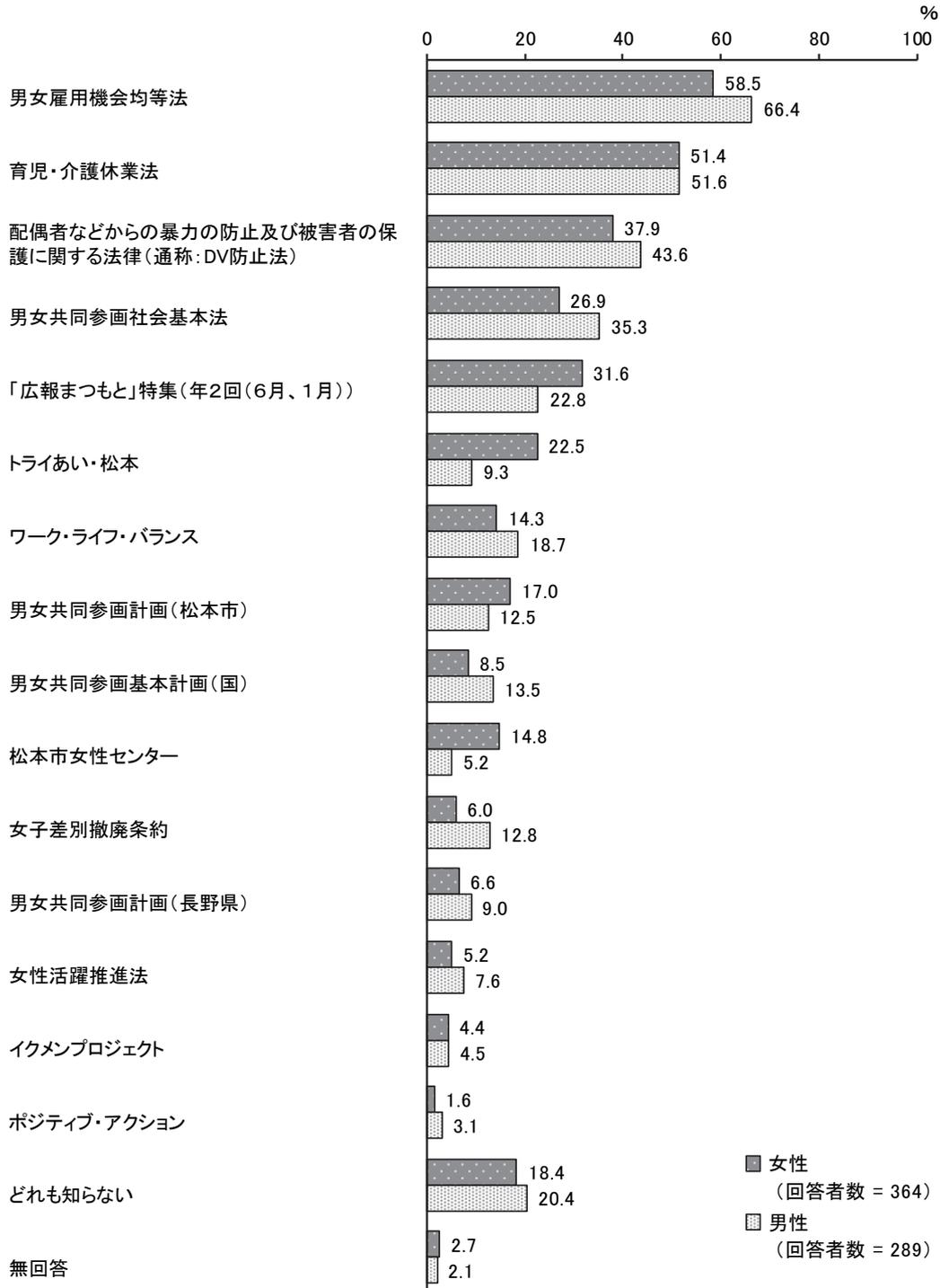
「男女雇用機会均等法」の割合が 61.9%と最も高く、次いで「育児・介護休業法」の割合が 51.1%、「配偶者などからの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（通称：DV 防止法）」の割合が 40.3%となっています。

回答者数 = 657



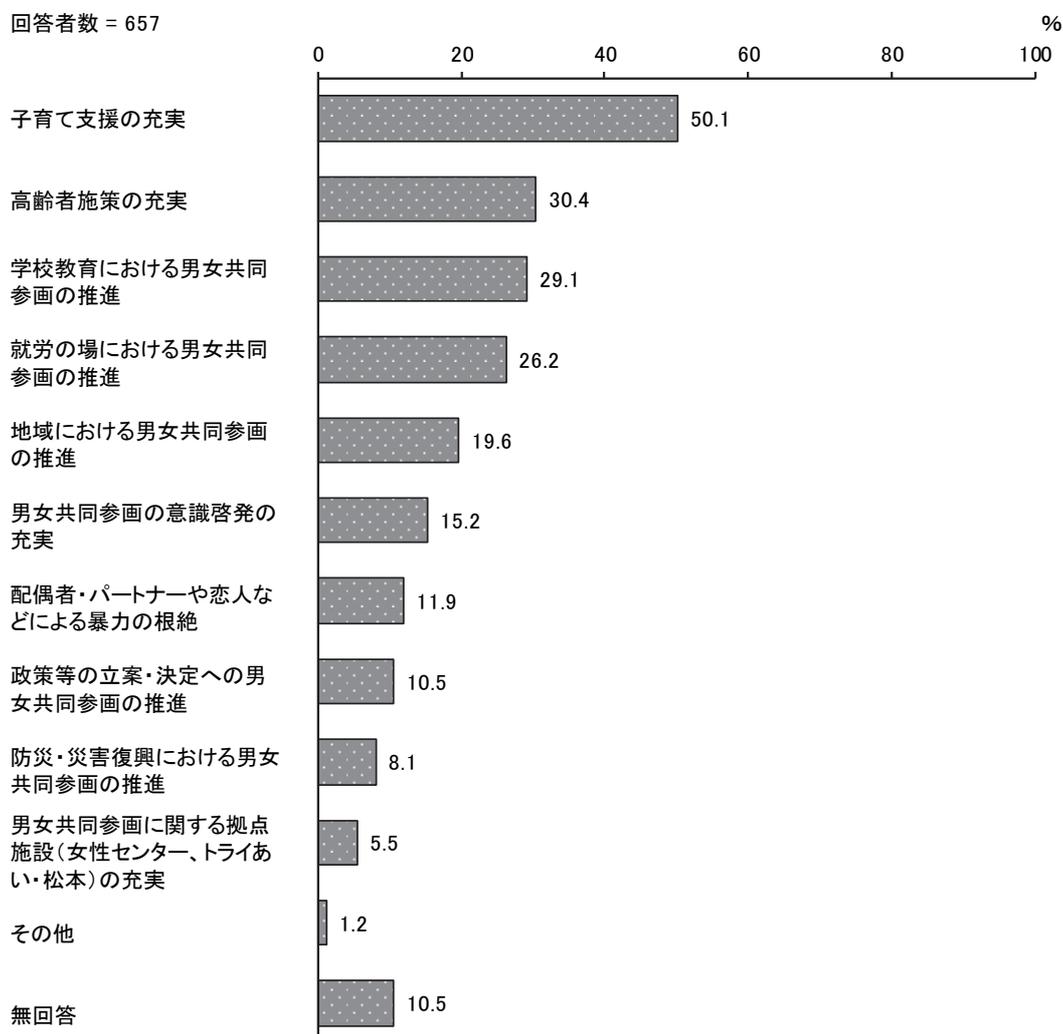
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「「広報まつもと」特集（年2回（6月、1月））」「トライあい・松本」「松本市女性センター」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「男女雇用機会均等法」「配偶者などからの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（通称：DV防止法）」「男女共同参画社会基本法」「男女共同参画基本計画（国）」「女子差別撤廃条約」の割合が高くなっています。



問 24 男女共同参画を進めるために、松本市ではどのような施策を重点的に進めたらよいと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)

「子育て支援の充実」の割合が50.1%と最も高く、次いで「高齢者施策の充実」の割合が30.4%、「学校教育における男女共同参画の推進」の割合が29.1%となっています。

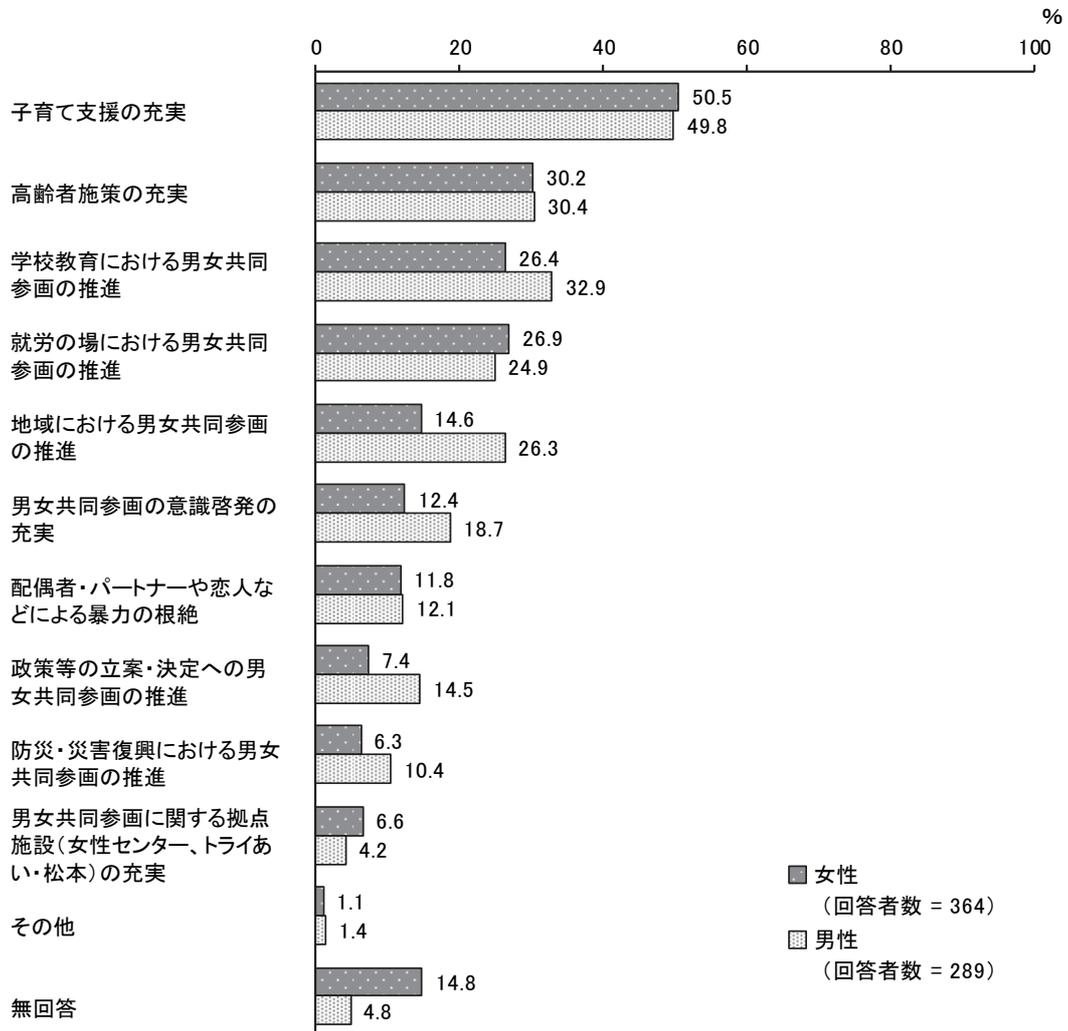


< 「その他」の主な内容 >

- ・上に立つ者から行う
- ・民間企業への有休取得推進
- ・コロナ禍における生活支援
- ・高齢者の固定観念(男尊女卑・長子尊重)の撤廃活動
- ・男性の権利を根本的に見直す
- ・所得税率をシンガポールと同じくらいにする

【性別】

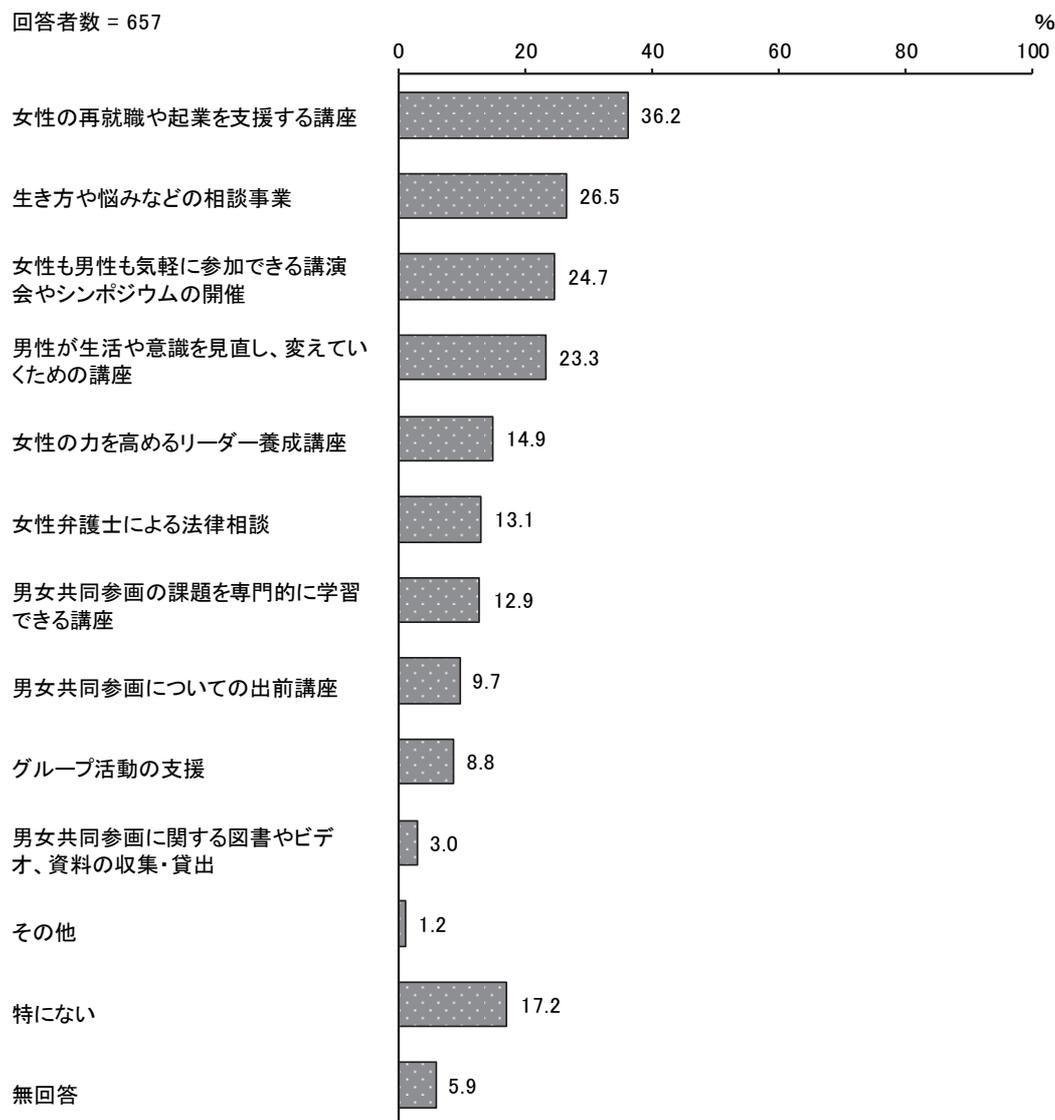
性別でみると、女性に比べ、男性で「学校教育における男女共同参画の推進」「地域における男女共同参画の推進」「男女共同参画の意識啓発の充実」「政策等の立案・決定への男女共同参画の推進」の割合が高くなっています。



問 25 松本市では、男女共同参画を進めるために、「女性センター（Mウイング3階）」と「トライあい・松本（松本勤労者福祉センター南）」を開設し、さまざまな事業を実施しています。この施設機能を活かした取組みとして充実してほしいものはどれですか。（あてはまるもの3つまで○）

「女性の再就職や起業を支援する講座」の割合が36.2%と最も高く、次いで「生き方や悩みなどの相談事業」の割合が26.5%、「女性も男性も気軽に参加できる講演会やシンポジウムの開催」の割合が24.7%となっています。

回答者数 = 657

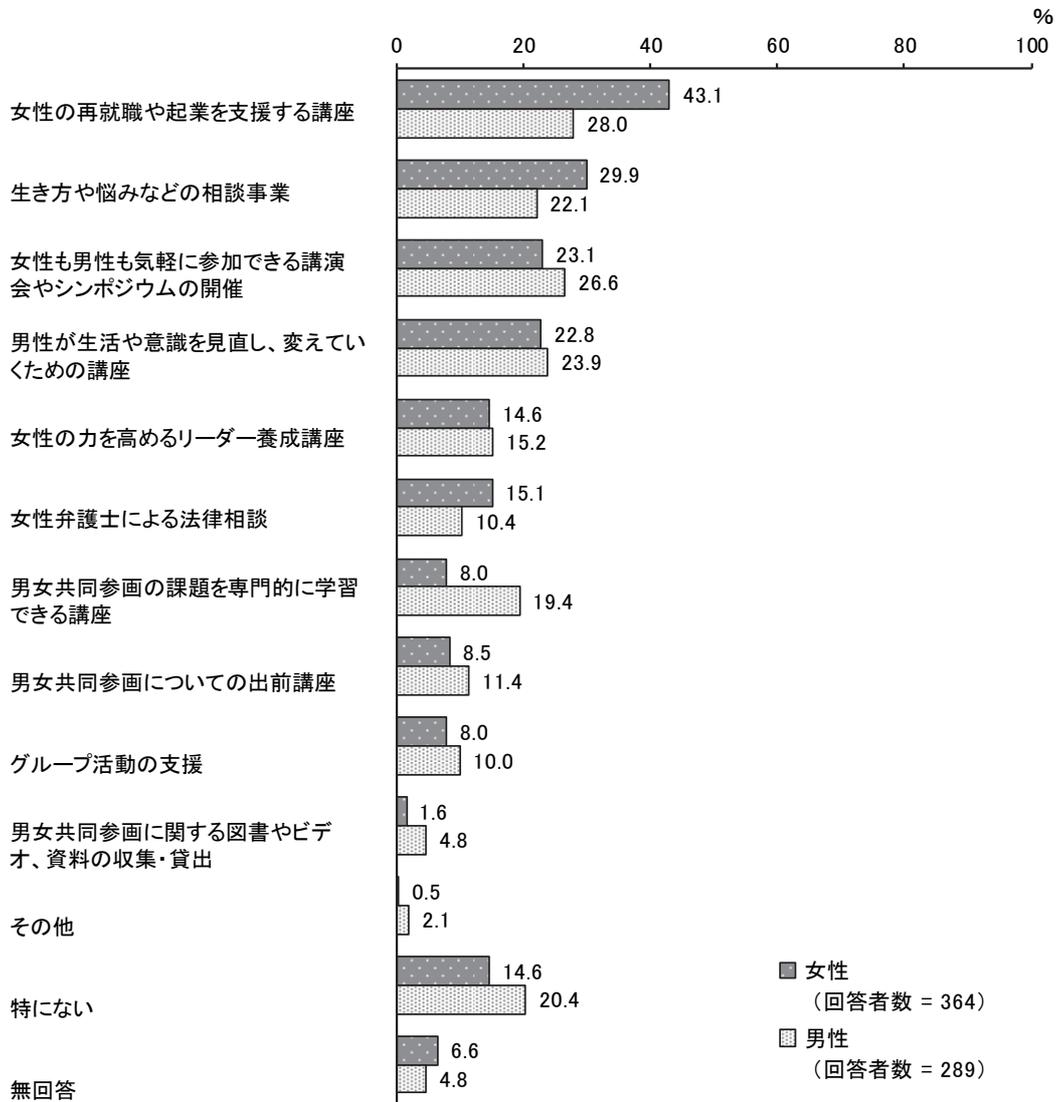


<「その他」の主な内容>

- ・男性のための相談支援（現在女性のみ手厚すぎる）
- ・必要ない

【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「女性の再就職や起業を支援する講座」「生き方や悩みなどの相談事業」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「男女共同参画の課題を専門的に学習できる講座」の割合が高くなっています。



自由記述まとめ

1 男女共同参画について

分類回答	件数
1 男女平等に関する意識について	19
2 家庭生活について	1
3 就業について	9
4 社会参画について	5
5 配偶者などからの暴力について	1
6 性について	6
7 市の男女共同参画の推進に関する施策について	23
8 アンケートについて	6
9 その他	12
回答者数	82

※ 自由記述については、調査票に記載された原文のまま掲載

(1) 男女平等に関する意識について

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> 職場でも家庭でも、平等・協力しているので、特に不満がない。 	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 問 20 でも書きました通り、必ずしも男女が平等になる必要はないと思っています。それよりも、個々の人間の能力の方が重要だと思っています。個性を生かせる仕事につけることの方が重要かと思います。そのため男女平等策ということでしたらぜひおこなっていただきたいですが、現状では、男女差別よりも好きな職につくことの方が偏見があるように感じます。 	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 難しく考えずに、例えば女性が一人でラーメン店に入ると、他のお客さんは「あの人、友だちいないの」「あの人、彼氏いないの」のようなことを思ったり、言う人がいるとするならば、松本市民はまだまだと言える。それをどうするか。そのようなことを考えることの方がおかしいことを伝え続ける、続けることしかないのかもしれない。人はどうしても、男・女がいないと子どもが生まれません。そのことだけは、どうしようもないことは頭の隅に置いておく必要があるのかもしれない。 	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 実際にどんな事例（問題）がどのように改善されたのか感じられるように、紹介（発表や公表）して意識づけをしていく必要があると思う。 	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 普段の生活の中で、松本市の男女共同参画について、身近に感じることはなかったのですが、今回のアンケートで、活動されていることを知りました。地方の年輩の男性は、男の方がえらいと思っている方も多いと思うので、若い方の考えが徐々に変わっていったらと思います。 	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 人間は皆平等です。特に男、女は、ジェンダーは関係なく、その人自身ができること、やりたいこと、興味のあることを伸ばしていくことが重要だと思う。性別、年齢関係なく、LGBTQ も関係なく、人に思いやりと優しさを持って生きていけば、男女差別、共同参画など問題なくなると思う。 	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 女性だから守らなければならないや、女性だから管理職にしなければならないなど、行き過ぎる傾向にある。性別に関係なく、フラットに能力や意欲を精査されなければならない。 	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 中高年の意識を変えるような施策が必要だと思う。古い考えの人が教え込み、若い人の中にも昔ながらの考え方をしている人がいると思われる。 	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 参画についてというか、どうしても、男には出産ができない。乳も出ない。こればかりは、どうしようもないが、でもね、出産を盾にして、夜遅くまで仕事して帰った男性に、家事を強要するのは、男性差別にはならないのか？私から言わせれば、私が男性だからなのかもしれないが、女性が差別されていると感じることはない。むしろ、男性感謝デーがなかったり、女性は会社でもアクセサリーや香水やオシャレが認められていたり、女性が優位な立場にあるようにも思うのは、これも知識がない差別発言なのだろうか？ 	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 分ける必要な事はあると思いますが、男性だから女性だから、と分けていることが問題だと思います。 	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 町会の必要性をあまり感じない。男女差別はまず町会から感じる。老害が多すぎる。 	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 「男女共同参画」の名前自体が、すでに男女を区別している気がする。 	男性	50 歳代

<ul style="list-style-type: none"> なかなか難しい問題ですね。男性、女性それぞれの力や、男性だからできること、女性だからできることがあり、求める側として公平に評価ができるかどうか。女性が、男性が、というより、その人その人個人によって違います。仕事にがんばれる人、個人の問題な気がします。ただし、環境づくりの土壌づくりは必要です。 	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 長い歴史のある日本社会での男女差が根本的になっており、教育、家庭の中での意識変革をどう位置付けてレベルをあげることができるかで、女性の参画アップにつながると思います。 	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 学校教育で男女共同参画意識を教えることが必要と思う。ある年齢までは女子がリーダーシップをとっている。成人になるまでのその後の教育が必要に思う。 	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 性別を意識した活動を減らしていくべきと思う。 	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> まだ男性主導の世の中だと思う、国会議員等がそうである。 	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ほとんど無関心だったので、調査記入もとまどいを感じた。あまり男女意識がなかった。 	男性	70 歳代以上
<ul style="list-style-type: none"> 男女平等、男女共生等を論じ合う時、一部のばかげた人が、「男らしさ」「女らしさ」の表現を差別の原点のように言う。それはまったくばかげた論理で、男女がお互いに求めあう時、それが基準になるのは当然のことであると考えます。問題は、「男らしさ」「女らしさ」をお互いに発揮できるような、お互いを認め大切に思う共生の心の醸成が大事である。人間は、この地球上に生きとし生けるものの一つであり、地球上の動物の一種類であり、決して優れているものでなく、どんな生き物ともまったく同等であるという原点に戻るべきであり、おごりを捨て、原点に戻るべきである。 	男性	70 歳代以上

(2) 家庭生活について

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> 子育てについて、男性も積極的に参加できるように、出産後の女性のケアだったり、おむつ交換・ミルクのあげ方など指導できる場をもっとつくってほしいです。少しでも夫が協力することで、夫婦協力した育児へとつなげることができると思います。よろしくお願いします。 	男性	30 歳代

(3) 就業について

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> 職場でのセクハラ、マタハラ、モラハラが根絶するように取り組んでほしい。今の状況だと、なかなか働きにくい。人権についても同じことが言えます。 	女性	20 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 職場における男女でも就業内容や給与の差があり、苦しい。 	女性	20 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 社内において、女性の意志反映が少なく、立場が弱いと感じている。行政でも、女性が働き甲斐を持って仕事ができるよう、指導していただけたら、女性の就労や女性管理職の登用が進むと思います。 	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> いろいろな取り組みはありますが、結局のところ、出産して復職しても、女性が常勤（正職）からパートなどに勤務形態を変更し、子が病気の際は女性が休まざるを得ない状態が多い。病児保育をどんな時でもスムーズに利用できれば（今は受診後診断書をもらわないと利用できない）、常勤のまま働け、キャリアダウンせずにすむのではないかと思う。 	女性	30 歳代

<ul style="list-style-type: none"> 働きたくても、子どもが体調を崩した時に、当日の朝申し込める病児保育が身近にないから、働き始めようと思えない。新潟県長岡市の子育ての駅のように、子どもの一時預かり（1時間300円）で、土曜・日曜・祝日もやっていたのはありがたかった。そのため、短期的なアルバイトもしやすかった。 	女性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> 私は、子育てに集中したいと思っているが、家計を考えて仕方なく働いています。でも、労働時間が長く、休日も家族と合いません。やりたい仕事をしているので、辞めたくないのですが、主婦（子育て中の者）には、休日を子どもと合わせられるように、夜の勤務を減らすように企業に通達していただき、可能な時間のみ、やりたい仕事を存分にできるような会社（社会）になってほしい。男性と同じ条件をつきつけられても困ります。でも、やりたい仕事は手放したくない、という葛藤の中日々戦っています。 	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> 男性の立場ですが、女性の生理、生理前の時期は大変そう。生理休暇をもっと取りやすくした方がよいと思います。病院勤めで多くの看護師がいますが、誰一人として生理休暇を取っていません（取れる雰囲気ではありません）。 	男性	20歳代
<ul style="list-style-type: none"> 男が、女が、とかいう問題以前に、上に行きたいと思っている人は勝手に出てくる。女性も、管理職等になるのを嫌がる人も多いので、「男がやればよい」という人も多い。男だってやりたくてやっているわけじゃない。 	男性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> ”慣例的”に”男性”ばかりになっている役職・組織が多いと感じる。特に町内会などの地域組織。内容も”慣例的”で、女性が中心になれない”慣例的”な雰囲気がある。いまだに、女性がお茶くみをするのが当たり前だと思っている古い男が多い。 	男性	50歳代

(4) 社会参画について

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画はとてもよいことだと感じますが、現実まだまだ女性の負担が多く、社会でがんばりたいと思っても難しいことが多いと感じます。これからの世代への教育を推進していき、家庭のこと、家族のこと、会社、すべてを、一人ひとりがみんなのために生きていけるような「男女」ではなく「一人の人間」として尊重される世の中になったらよいと思います。 	女性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> 男性と女性はそもそも体のつくりが異なり、いくら男女平等といっても、それぞれの役割があると思う。もし女性が社会で活躍できるとすれば、相当な援助（子どもを産む、育てる、家事など）。根本から見直すことができるのでしょうか。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> 男性、女性、共に助け合えること、お互いの力を出し合える、そんな社会を期待します。女性の考え方、生き方、優しさが、もっと有効に活用出来たらと思います。いろいろな場で、男性だけの意見ではなく、女性の意見も守られる世の中になってほしい。子どもたちがのびのび生活できる社会を期待したい。 	女性	70歳代以上

<ul style="list-style-type: none"> 男女、というよりは、各個人が持てる得意な分野（能力、技術等）で活躍できる形が望ましいのでは、と思う。社会にある、男であるから、女であるから、の意識の見直しは大事だが、行き過ぎると男女共同参画の理念があるから、こうしなければいけない、といった逆の圧力が生じる気もする。何かを成すのに、100 必要としたら、性差や世代差等にとらわれず、それぞれの個人が得意な分野で力を発揮し、全体で 100 を成せばよいと思うのだが。競争社会、というのもネックである気はする。松本市として、難しい。 	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 地域の役員については、女性より圧倒的に男性が多い。これは、家庭内で、役員となると主人が出ることとどの家族の中でも思われている。この意識を変えていかなければ、女性が社会、地域での活動を高めることはできないと感じている。 	男性	60 歳代

(5) 配偶者などからの暴力について

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> 保育園や幼稚園、看護師、学校の先生や介護技術習得をしてきた人たちが、テレビ、新聞などで暴行などの話を聞くと、とても悲しい。自分になりたいととった資格を大事にしてほしいと願います。 	女性	60 歳代

(6) 性について

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> LGBT や性同一性障害などについて、もっと理解してほしい。 	女性	20 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 義務教育時代、学校でも家庭でも、特に性差を意識することはありませんでしたが、社会人になってから、性差を周りから受けるようになりました（女の子だけにお菓子をあげる、女の子が花の世話をする、男性が運んだりする）。企業に対する働きかけが重要になると思います。 	女性	20 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 育児は女性のものとの固定概念をなくす取り組み。なぜ固定概念を生むのか、要因分析から行うべき。そもそも、そこから、女性は家庭に入る、家庭に入っているから介護対応するもの、と負の連鎖が生まれるのだと思う。参画を促す前に、参画を阻害する要因をしっかりと把握して取り除くことが先決。 	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 私の場合、男性だからという理由で、仕事量が多いので、女性だからとか、男性だからではなく、能力で仕事が振られる社会になればよいと思う。気が強い女性を周りの男性が受け止めていることもある現実を知ってほしい。女性ばかりが地位が低く、しいたげられているわけでもない。男女、能力があるないで上下が決められてはたまらない。それぞれのケースがあると思う。 	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 学校 PTA の場では、まだまだ「父親」の顔が少ない。普段の仕事の中で、男性であっても子育てに参画しやすい観念の啓発も必要だと思う。女性だけという一方向でなく、男性としても、これまでの「女性に」という場で活躍できる方向性も考える必要があると思う。 	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同という表現が時代遅れ、ジェンターレスに向けたより新しいビジョンが必要。 	男性	50 歳代

(7) 市の男女共同参画の推進に関する施策について

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> 問 23、問 25 について、まったく知りませんでした。20 代～30 代の若い人に知ってもらうために、CM や SNS、テレビなどで、楽しくわかりやすく告知すれば、もっと相談したい人とか興味を持ってくれる若者も増えると思います。 	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 家庭にのみいると（子育て中なので）、そんなに感じないことでも、職場に戻るといろいろ感じることもあるのかなと思います。困った時や相談したい時に対応してくれる場があると知れたのでよかったです。 	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> まだまだ周知されていない年代に対しての対策をがんばってほしい。文章などでは伝わりにくい、子どもたちにポスターでも描いてもらって、とか。孫や自分の子が取り組むことなら、興味を持つかも。 	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 根気強い啓蒙活動により意識改革と、幼少時からの教育が要になると思います。 	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 学校や地域の PTA 活動は女性が基本になっている。夫や祖父祖母も参加してもおかしくないような雰囲気にしてほしい。女性が仕事をして、家事育児は女性がするという男性、祖父祖母の感覚を変えてほしい。自分の親が県外で近くにいないので、子育てや悩みを気軽にできるようにしてほしい。仕事につこうと思っても厳しい。また、主婦が気軽に仕事復帰できる相談窓口を身近においてほしい。 	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> はずかしながら新聞等を見ないので、市の取り組みが身に染みてわかりません。 	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> PR 不足。 	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 市として共同参画を推進していくことは、とてもよいことだと思いました。いろいろな人がいて当たり前、それぞれが尊重し合える松本市になっていくとよいです。男性女性、歳、思考すべてにおいて尊重し合える社会。自分も、市民の一人として参加していきたいと思います。 	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 社会がまだまだ男性主体で作られた状態であり、その中で改革をしようとしていると思います。既存からの改革は引き継ぎつつも全く新しい考え方も取り入れた取り組みが必要な時期、時代になっているのではないのでしょうか。松本、長野県の文化、風土から考えた男女参画、人権への独自改革も必要であると考えます。 	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 市民の関心の低さをカバーするために、気軽に参加できるイベントがあると良いと思います。 	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画ということがまだまだ浸透されていないと感じます。出前講座等もう少し身近でお話を聞きたいと思います。 	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> いろいろな組織や場所をつくってくださっているようですが、今ひとつ、どこへ行けばどんなことができるのか、何を聞いてくださるのか、具体的な活動がわかりません。もっと PR を。 	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> もっと、取り組んでいることを市民に広めたり、知らせたりした方がよいと思う。知らなかったし、知らない人が多いと思う。 	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 声高に男女共同参画と言っているが、その効果を見たことがないと言えるほど感じない。松本市は保守的。 	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 市や市議会において、男女共同参画についてももう少し話し合いの機会があればと思う。 	女性	70 歳代以上

<ul style="list-style-type: none"> 悩んでいる方々はまだ大勢います。具体例をあげ、その都度啓発していくべきではないのでしょうか。親から子、子から孫へ、ゆがんだ伝わり方をしている例もあります。 	女性	70 歳代以上
<ul style="list-style-type: none"> 正直なところ、市が取り組んでいることが市民に浸透していないと思う。まだまだ市として取り組む必要があると思う。 	男性	20 歳代
<ul style="list-style-type: none"> こういった企画や計画などを立てても、若い人には目に入りにくいし、働いている人は時間がなくて講習など開いても参加できない。何かもっと情報を上げられるいい方法がないか、工夫が必要だと思うが難しいのも分かるので頑張ってほしい。 	男性	20 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 今までの設問からも傾向が見えますが、結婚をしている夫婦という段階までたどり着かない未婚の若者男女に対する視点が欠けてると思います。男女共同参画という考えははっきりいって結婚が容易だった昭和の時代の考えの発展形であり、令和になると男性の給与水準が下がり妻子を養えなくなったため婚活に難儀し、まずパートナーとのマッチングが成立しません。年収が安い男性とは結婚したくない女性は理想の年収の男性を求めて都会に出てしまい、東京では女性余りの状態になっているとニュースでやっていました。それでも東京で結婚できず少子化に進んでいるのが現状です。男女が社会に平等に参加するという意識は、まずカップルが成立するということが入り口ですし、そのためには男性の年収がまず上がらないと絶対にカップルは成立しません。女性が男性を経済的な面で養うということが婚活市場で 100%相手にされない概念ですので、まずは男性の正規雇用を広めるよう企業に市からも積極的に働きかけて頂きたいです。 	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 広報での特集だけでなく、テレビの広報番組などで市の男女共同参画について詳しく取り上げるなどの努力をしてもらいたい。市はもう少し、男女共同参画について市民に伝えるべきだと思う。 	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 松本市において、どのような施策を行っているのかあまりわからない。もっと市長が前面に出て、メディア等により何をおこなっているのか、何をしようとしているのか、をわかりやすく市民にアピールする必要があると思う。 	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 子育て、特に教育政策の拡充ができれば、もっと女性の目線が外に向くと思います。具体的には、公立学校の授業だけで東大に入れる学力をつけられるようになること。学都として全国一の教育環境の整備が、女性参画の促進策だと思います。 	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> まったく情報が無く唐突感がある。 	男性	60 歳代

(8) アンケートについて

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画や人権に関する取り組みについて調査を行うことには賛成しますが、いきなり結構な量のアンケートを送ってきて回答してくれという形は今後やめていただきたい。やるならもっと大勢に協力してもらい、アンケートの量が多いので余裕のある締切期間を設けた方がいいかと思います。あと WEB 上の入力画面について、【その他：自由に入力】みたいな入力フォームの縦幅が 1 行分しかなく狭すぎて、指で操作するスマホからは非常に使いにくかったです。今後はもっと入力フォームの幅を広げた方がいいと思います。(このページの入力フォームは縦幅が広がっているので使いやすいです) 	女性	20 歳代

・ 松本市が具体的に何に力を入れていきたいのかわからないが、アンケートを生かして、よりよい松本・社会になっていくとよいなと思う。	女性	30 歳代
・ 内容の理解ができていないので、簡単にわかりやすく解説等していくとよいと考える。	女性	50 歳代
・ アンケートをしても無駄だと思います。	女性	60 歳代
・ 同性愛者につき実感の持てない質問が多かった。	男性	30 歳代
・ この調査は正しく結果を導けない。独身の私に配偶者の質問など。分析能力のない松本市かと。	男性	60 歳代

(9) その他

意見	性別	年齢
・ 具体的にどんなことをしているのか、まったく知りません。仕事・育児中の人は参加しにくそうなものが多そうですね。	女性	30 歳代
・ 男女共同参画の意味がわかりません。反対とか賛成ではなく、わかりやすい言葉で、共感できる言葉の表現を希望します。	女性	40 歳代
・ なんでもかんでも学校教育に頼るのはどうかと思います。	女性	50 歳代
・ ぜひ充実させてください。	女性	60 歳代
・ 女性活躍。すばらしい計画ですね。	女性	70 歳代以上
・ よいことだと思います。	女性	70 歳代以上
・ 高齢者の方々に凝り固まった考えが根強く残っているように感じます。そのような高齢者の方々が上にたってやっている政治ではだめだと感じております。	男性	30 歳代
・ しっかり取り組んでいただきたい。実際の現場に則した取り組みでないと、一部の人のみによるものになってしまうので、そうならないように考えていただきたい。	男性	40 歳代
・ 子育て支援の充実、高齢者施策の充実が男女共同参画にとって必要不可欠だと思います。	男性	40 歳代
・ 裏家に住みつかれて、夜の 9～11 時にボイラーの音を鳴らされたことです。今は 18 時前から 18 時過ぎになっています。うちの裏の人に、お風呂のボイラーの音で、ノイローゼ・ストレスなどにされて、自分が病気にされてしまって、慰謝料をもらいたいぐらい許せない気持ちになっていて、自分は 18 時に寝ているところを起こされてしまって、命かけてでも許せないです。自分は疲れてくたくたになって寝ているところを、邪魔をしたりすることで寝不足状態になって、朝は早いので、疲れが取れない気持ちになってしまいます (完全ないじめです)。	男性	50 歳代
・ 人間も動物、その能力・個性もそれぞれ。	男性	60 歳代
・ 本当の意味での取り組みならば、市民全員でやらなければ進展がないのでは、と思います。	男性	70 歳代以上

2 人権について

分類回答	件数
1 女性・男性の人権問題	5
2 子どもの人権問題	4
3 高齢者の人権問題	3
4 外国人の人権問題	2
5 インターネットによる人権侵害	1
6 セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の人権問題	3
7 セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントの人権問題	2
8 ホームレスの人権問題	1
9 人権教育・人権啓発について	16
10 アンケートについて	2
11 その他	29
回答者数	68

※ 自由記述については、調査票に記載された原文のまま掲載

(1) 女性・男性の人権問題

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> 50代の上司が「仕事ができない奴に限って、育休を権利だと言って主張しやがる」と言っていたのを朝礼で聞かされたことがある。50代男性にはくどいくらい、育児や出産に対する理解をたたきこんでほしい。 	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> たとえ親族で親しい仲であっても、人と人との関わり合いの最低限のいたわり合い（モラル）を守るべきと思う。男性が大声を出すだけでも、女性は本当に震え上がる。子どもの頃からの育て方、生き方が一生を左右するので、子育ては大事だ。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> 欧米の「個人を大切にし、尊重する」という考え方と、日本の「皆一緒に同じ」という考え方の違いを棚に上げ、上辺や言葉だけ、世界基準に合わせることは無理である。「人は皆平等で、他人を認め合う」心を家庭のしつけや学校教育で育ててほしい。そういう心を皆が持てれば、「男女共同参画」という言葉はいらなくなるだろう。昔ながらの「男尊女卑」の日本の思考がなくなるのはいつになるのだろう。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> 女尊男卑が20代～40代で広がっているように思う。特に、子育て世代の夫婦間において、男性が虐げられている。男性はフルタイムの仕事と家事育児半分に対し、女性は専業主婦として家事育児半分が当たり前。これは平等とはいえない。男性の人権（父親の人権）は軽視されがちである。 	男性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> 地域の自治会などの役員について、女性の参画を進めることは必要ではないか。 	男性	70歳代以上

(2) 子どもの人権問題

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの学習障害について、もっと気楽に相談できる場があるとよいと思う。私は子どもはいませんが、身近に「そうかもしれないけれど認めたくない」が原因で、適切なケアが受けられない、というか受け方がわからずにいる人もいます。学校も大変だとは思いますが、学習が遅れがちの子、不登校気味の子をケアできるものが市としてあれば、助かる親御さんも子どももたくさんいると思います。 	女性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> 人権とは何か、とても難しいことだと思います。自分らしく生きることは、皆あこがれるが、それにはとても努力も必要であり、時には人から白い目で見られることも我慢しなければならないと思う。ただ、赤ちゃん、子どものように、まだ一人では生きていけない方々を守るには、育てる人を守らねばならない。育てる人を守ることは、お金もそうだし、ベビーカーを持っているお母さんに、そっと「持ちますよ」と声を掛けられる人をたくさんつくらなければならない。 	女性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> いじめから子どもたちを徹底的に守ってください。学校から後ろ指さされることなく、本人も引け目を感じることなく、一時避難できるような政策的な対処法をつくってください。子どもの頃のいじめや家庭内の虐待は、その子の人生を破壊します。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが豊かな心で育ててほしい。未来は大丈夫と思う世の中になってほしい。子どもたちが期待し夢を持てる、そのような社会になってほしい。 	女性	70歳代以上

(3) 高齢者の人権問題

意見	性別	年齢
・ 部落差別、アイヌの人々、エイズ感染者に対しての偏見があるのは年齢の高い人達だけだと思う。実際にそんな偏見を今まで感じたこともないし、そんな偏見があるのを中学の授業の時に初めて知った。	女性	18～19歳
・ 若い方より、年を重ねている方々の人権感覚を見直して欲しい。	女性	60歳代
・ 一人暮らしの高齢者への援助。一人ではできない（わからない）申請書があると思います（助成金等）。	男性	60歳代

(4) 外国人の人権問題

意見	性別	年齢
・ 外国出身の私には、たまに高齢な方から変な発言を受けたことがあった。聞き流せるレベルなので、特に問題視をしていません。	女性	30歳代
・ 最近、人権について、きちんとした議論がなされていないような気がしてならない。たとえば「外国人に対する差別」「障害者に対する差別や偏見」「学校内でのいじめや虐待」「高齢者に対する差別や偏見」に対して、何の対策も出ていないような気がする。松本市には、もっと真剣になってこうした問題にしっかり向き合って議論してもらいたい。	男性	40歳代

(5) インターネットによる人権侵害

意見	性別	年齢
・ スマホが小学生にも普及しはじめていて、それに伴う SNS でのいじめについて、学校から早い学年の内から指導すること。家庭でスマホの使い方を親が子にきちんと教えられるような働きかけを今後していく必要（すでにやっているかもしれませんが、もっと重点的に）があると感じます。	女性	40歳代

(6) セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の人権問題

意見	性別	年齢
・ 同性婚を認めるべき。 コロナ感染者に対する差別を無くす	女性	20歳代
・ LGBTQ の問題は、過去にはなかなか言い出せない問題だったが、表出できる世間になってきている。そんな中で、差別的な見方やおかしいと言って理解してもらいにくい面も出ている。生きづらいと感じる人もその分増えている気がするため、いろいろな考え方があることを全体で承認していくことができ、生きづらいと感じる人が少しでも減っていくような世の中になってほしいと思う。	女性	40歳代
・ 気軽に相談できる、知識が得られる場所があればよいと思う。ハンセン病や、ジェンダーレスについて。	男性	40歳代

(7) セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントの人権問題

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> 学校間、会社（職場間）の問題ではなく、社会全体の問題と捉え、社会全体でいじめやパワハラを許さない風土をつくっていきけるような取り組みを、行政にはお願いしたいです。 	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> どんなときに暴力になるのか、またはパワハラになるのか具体例を交えて広く広報していくことが必要だと思います。 	男性	30 歳代

(8) ホームレスの人権問題

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> ホームレスのままでよいと思っている人は、私も差別の目で見えてしまいますが、仕事をしたいと本当に思っている方の家や仕事を一緒に探し提供することはやってほしいです。生活保護を見直してほしいです（働けるのに働かない人）。 	女性	40 歳代

(9) 人権教育・人権啓発について

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> 学校等教育の場で人権について考える機会が増えたらよいと思う。また、講義といった一方向性のものでなく、参加者と双方向のものが増えたらよいと思う。 	女性	20 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 人は皆幸せになるために生まれてきたという意識づけ。幸せになってよいんだと皆が思える社会でありたい。自分が幸せになるのと同じくらいに、他の人が幸せになることを喜べるような社会づくり。幸せの在り方は千差万別であり、他人への過度な干渉を防ぐ取り組み。 	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> いろいろな性質や性格があり、そういう人たちが集まって社会ができているので、お互いに認め合えるような関係づくりができることが理想。その人はその人とわかって付き合えるような人格づくりが幼少期から大切である。 	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 人と違う=悪やマイナスではなく、個性の一つとして皆が受け入れられる社会になるとよいです。 	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 閉鎖的な自然環境から成り立つ文化を理解してグローバルな人権の動きに納得できる場や機会を作って欲しいと思います。現在まで行われている講演等を DX と絡めて発信して、多くの市民を巻き込んで欲しいです。 	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 守られるべき者が守られない社会は生きづらく、自殺者が多くなってしまっていると思います。 	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> すべての人間は平等である。人からされて嫌なことをしないようにして、思いやり、優しさを持って接して生きていけば、人権は守られると思う。難しく考える前に、自分の周りの世界から優しくしていけば、人権につながる。 	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 「皆が平等に」というのはなかなか難しい。偏見をなくす、人の考え方を変えるのはものすごく大変。 	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 学校現場においてさらに人権教育を強化するなど基本的人権の尊重について市がリードしていく必要があると思う。 	男性	20 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 若いときからしっかりやっておくべき！！授業で、やっても学校の先生たちも理解できていない節が見られる。 	男性	20 歳代

<ul style="list-style-type: none"> 弱者を救うのは当然ですが昨今、逆に弱者だけ優遇するのが正解であるという流れがある。これではまた差別が生まれる。声の大きい弱者が優遇されて声を上げない多数が虐げられることがない本当の意味での平等な社会を望みます 	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 弱者を強者から守るのは当然ですが、本当に攻撃を加えているかの判断は重要。間違った行政の介入で、強者だと思われていた人が心的外傷を抱えることもある。その場合の人権が侵害された時の保障やケアも考える必要がある。 	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 学校だけでなく、家庭でも教育することが大切だと思います。また、そのための動画配信などがあればよいと思います。 	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 学校教育で道徳の時間が無くなってしまった。ゆとり世代には入社してから指導しなければならなくなってしまった。人権や平等を教え込む以前の問題 	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 人をどのように比べて見るかによってまったく違ってくると思います。小さな子ども～老人に至るまで、人とは自分ひとりでは世の中は動かず、関わりのある人間関係を豊かにする方法などを理解することが大切だと思いますが、まず自分の生活が安定していることで、いろいろな次のことが考えられると思います。その生活の安定性が欠けていることが、日本全体の課題だと思います。 	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> どのようなことでも差別はよくないと思う。人に思いやりの心で接していけば、世の中は生きて楽しいと思うことが多くなり、弱っている人を助けたい気持ちはいつでもあります。 	不明	不明

(10) アンケートについて

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> まったく情報が無く唐突感がある。 	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 貧富の人権格差について述べられていないのが非常に残念です。 	男性	60 歳代

(11) その他

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> 小学校の放課後支援のセンターでは、親の迎えが来る夜7時過ぎまで空腹に耐えているので、センターで弁当でも注文できたら、子どもたちはお腹がすかずに済むと思う。 	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりがよりよく生きたいように生きていける社会、生きやすい松本・地域であってほしいと思う。 	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 結婚をして松本に住むようになりました。核家族なので、家族に何か（病気や病院へ行く）あっても、誰かにお願いすることも難しく、仕事復帰も考えてしまいます。主婦と無職の同じくくりも、とても嫌な感じます。 	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 転勤でいろいろなところで生活したが、塩尻・松本は特に保守的で、外から来た人、自分と違う人を排除する傾向がある。同じような仲間を集めて、集団での悪口は特に目につきます。中にはよい人もいるのですが、私は8年住んでいて、まだ出会ったのは数名です。スーパーでもどこでも高校生のようないじめを目にします。学都とはまったく思えません。残念です。同じ長野県の中でも違いはあります。住みづらいです。 	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画と同じ。 	女性	40 歳代

<ul style="list-style-type: none"> ・ 嫁や長男という昔の意識が祖父母世帯に強く残りすぎている。また育児方法も古い習慣から抜け出せていない。嫁や長男の人権を大事にしてほしい。高齢世帯に、知識を与えてほしい。 	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権保護と知る権利、プライバシーの問題等どこまで踏み込めるか難しい世の中だと感じます。 	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人暮らしの人に対し、子育てなどが優遇されていますが、買い物、住宅などの面でもっとやってほしい。 	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ 松本市民一人ひとりがお互いを思いやることができればよいかと思いますが、人それぞれなので難しいでしょうか。人にも、動物にも、優しい松本市になってほしいと思います。 	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ 差別や暴力を見かけても、どこに相談したらよいかわからない。手遅れになる前に、簡単に通報できる窓口（インターネット含む）をわかりやすい場所に開設してほしい。 	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ どんな形であれ侵害されてはいけない事だと思う。 	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権とは、個々に感じ方が違うと思います。男性でも女性でも、仕事をしていれば、皆、われは、となってしまうことが多いこの時代、若者の中でも、違った意味で、私は、僕は、と主張し合い、それが家族を巻き込み人権問題になることも多いでしょう。または友だちを巻き込み、人権問題につながるでしょう。それぞれが考え、感じられることを見て、聞いて、考える場所があったらよいですね。 	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ 他人に優しい世の中にしていきたいですね。 	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ より向上を望みます。 	女性	70 歳代以上
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の購買でお弁当を買って温めるだけで大笑いしてバカにしてくるような人はいらないと思う。というよりも、同じ人間だと思いたくない。 	男性	18～19 歳
<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月に市内の高校でコロナが出た際に個人が特定される様な表現で発表した。これほど配慮に欠ける人物はどうかと思う。なりたくてコロナになったわけでは無いのにあの一言で特定されてしまった。それも人権侵害の一種であると思う 	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ ある意味当事者の為、パートナーシップに関する政策については評価している。 	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ 根本的に人は皆不平等、何一つとして同じ、ということはない。その上で、他人のことをすべて（理想かな）許容できるか否かだと思う。その、生まれ、性別、環境、性格、職業等。その上で、自分は他者ではなく、同じ樹に成る実なのか、かつての自分か、これからの自分か、そんな意識でないと他者の権利に思い至れないのでは、と感じる。自分自身についてもだが。ただ、根本的に他人は「違う」ので、考え方、思考、思想も含めてどこまでお互い歩み寄れるか、とも思う。松本市として何ができるのか。ある程度的人数（10人、多くても20人弱位かな）で何かを強制的にでも成さねばならない状況、皆がその得意を發揮しクリアしなければならぬ状況、イベント、があればよい気もするが、そこで何か生まれる気はする。昔のように、共同体が一蓮托生でなく多様な生活や考え方になっている今の状況では難しいかもしれないが。あまり参考にならないようなことを好き勝手に書きまして申し訳ない。ありがとうございました。 	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ 差別が無くなることを望みます。 	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ 老若男女全ての人々が住みやすい街づくりを目指すべく行政の運営をいただきたいと思います。 	男性	40 歳代

<ul style="list-style-type: none"> ・ 町会の掃除とか役員選出とか、ある意味プライバシーを侵害している。 	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ 松本市におられるかわからないけれど、戸籍の無い方がいるかもしれない。全国で 840 人～1 万人ぐらいいると言われている。この人たちをどうにかしてあげてください。 	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ 何のための「人権」なのか、大きな目標としての位置づけがあまりわかっていない気がする。ひとりひとりのわがままを通すことと、「多様性」を認め合うことは、その先にある目標に向かう方向性が違うと思う。 	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ お互いに尊重しあえる関係作りが大切 	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ 差別はよくない。 	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪者（殺人）は家族の責任も追及すべきである。 	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在までは関心が低かったので、人権がなかったということは特になし。 	男性	70 歳代以上
<ul style="list-style-type: none"> ・ 法律条例等の統制に基づく公職務めの方が、あまりにも世間の実情がわかってない。もしくは、決められたことだけをやる、自分たちには関係がなく遠いこと等と捉えられる。18 歳以下の子どもに対するの支援策 10 万円の給付にしても、960 万円以上の所得者を対象外とした。この地方に、子育て中の 960 万円の給与所得者がどれほどいるか。また、960 万円の給与所得者が、10 万円の支援が本当に必要か、疑問ばかりである。あまりにも偏りすぎている。裕福な者、強者になる差別の根元となるだけである。差別をなくすためにも、もっと本当の意味の弱者、困窮者の実情をより把握し、救いの力になる成果の伴う企画を進めていただきたい。 	男性	70 歳代以上
<ul style="list-style-type: none"> ・ この地球上に生きとし生けるものはすべて同じ、平等である。その地球を我が物顔で破壊してきたことを猛省し、すべてのものを大切に生きることである。 	男性	70 歳代以上

Ⅱ 松本市男女共同参画・人権アンケート

目次

調査の概要	105
調査結果	107
(1) 回答者属性	107
(2) 家庭生活について	110
(3) 学校生活と学校で学習したことについて	119
(4) 働くことについて	136
(5) 人権について	141
(6) 男女共同参画について	158
自由記述まとめ	173
1 男女共同参画について	173

調査の概要

1 調査の目的

社会情勢の変化にともなう新たな問題に対する意識及び実態等の把握、分析を行い、男女共同参画計画の策定及び人権教育や啓発活動の資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

中高校生：松本市内に通学する中学生、高校生 2,200 人

3 調査期間

令和3年11月15日から令和3年12月6日

4 調査方法

インターネットによる回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
中高生	2,200 通	1,365 通	62.0%

6 調査結果の表示方法

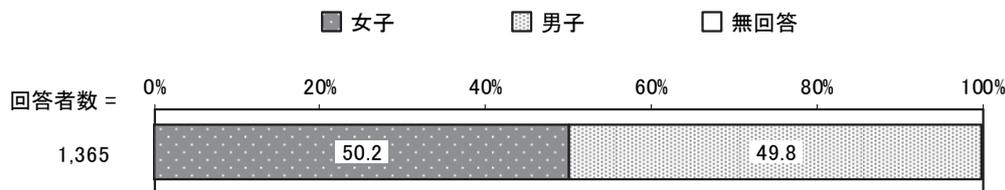
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。
- ・調査票では性別を「女性」「男性」と表記していますが、調査結果では「男子」「女子」と表記しています。

調査結果

(1) 回答者属性

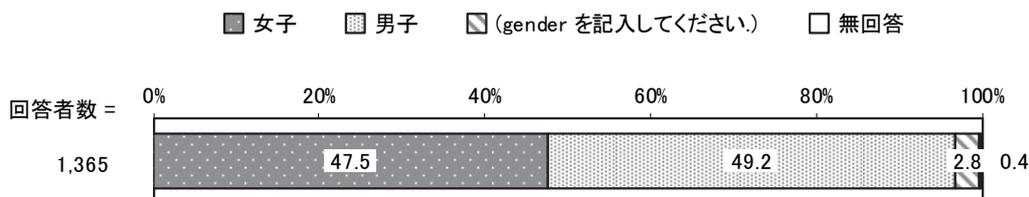
F 1-1 あなたの出生時の性(sex)は何ですか。

「女子」の割合が50.2%、「男子」の割合が49.8%となっています。



F 1-2 あなた自身が認識する自分の性 (gender)は何ですか。(回答は任意です。)

「女子」の割合が47.5%、「男子」の割合が49.2%となっています。

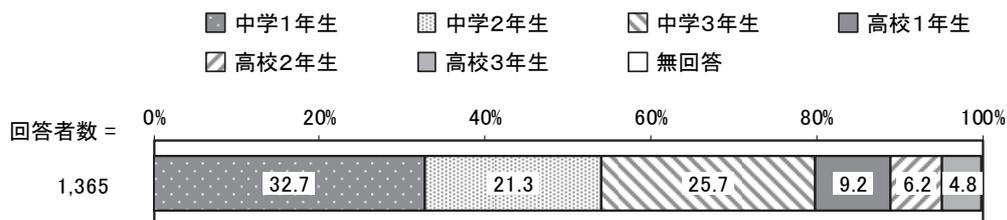


< 「gender」の主な内容 >

- ・わからない (6件)
- ・どちらでもない (8件)
- ・中性 (2件)
- ・どっちでもいい
- ・たまに男性でいたいときがある
- ・中性と男性の間
- ・不定性 X ジェンダー
- ・信じられるもの
- ・女性だとは思うけど、はっきり言えない
- ・ちゃんと男性だが、可愛くなりたいと思う時がある時もある

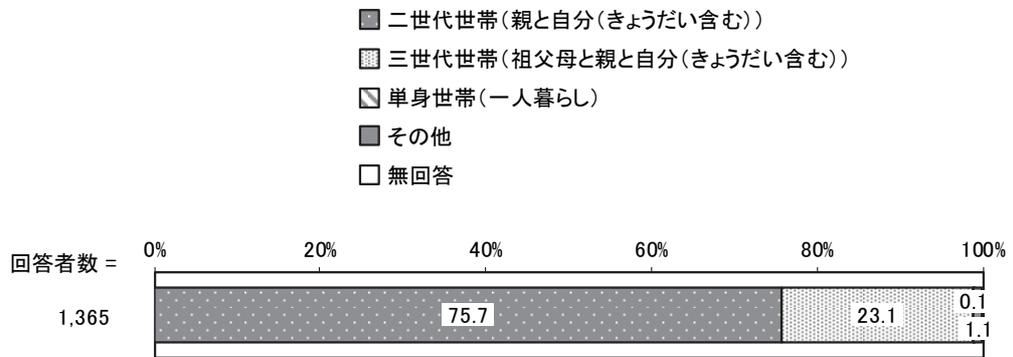
F 2 あなたの学年は。(○は1つ)

「中学1年生」の割合が32.7%と最も高く、次いで「中学3年生」の割合が25.7%、「中学2年生」の割合が21.3%となっています。



F 3 あなたの家族構成は。(現在同居されているご家族についてお答えください。)
 (〇は1つ)(※ふだん「寮生活」をされている方は、ご自宅(実家)での状況をお答えください。)

「二世帯世帯(親と自分(きょうだい含む))」の割合が75.7%と最も高く、次いで「三世帯世帯(祖父母と親と自分(きょうだい含む))」の割合が23.1%となっています。

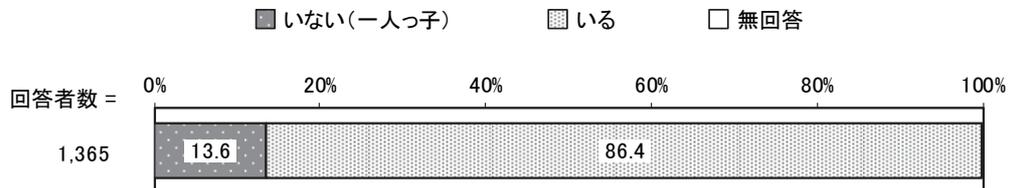


＜「その他」の主な内容＞

- ・四世代世帯 (3件)
- ・四世代世帯 (1件)
- ・いない
- ・祖父母と自分 (2件)
- ・祖父母と親と伯母と自分

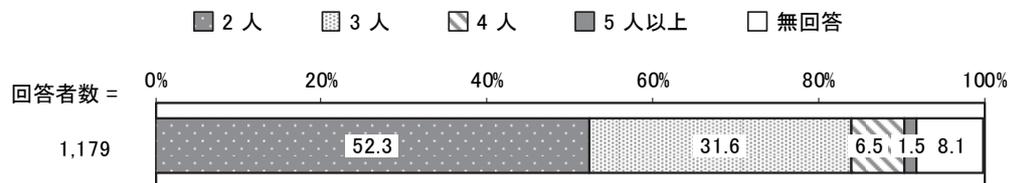
F 4 あなたはきょうだいがいますか。(〇は1つ)

「いない(一人っ子)」の割合が13.6%、「いる」の割合が86.4%となっています。

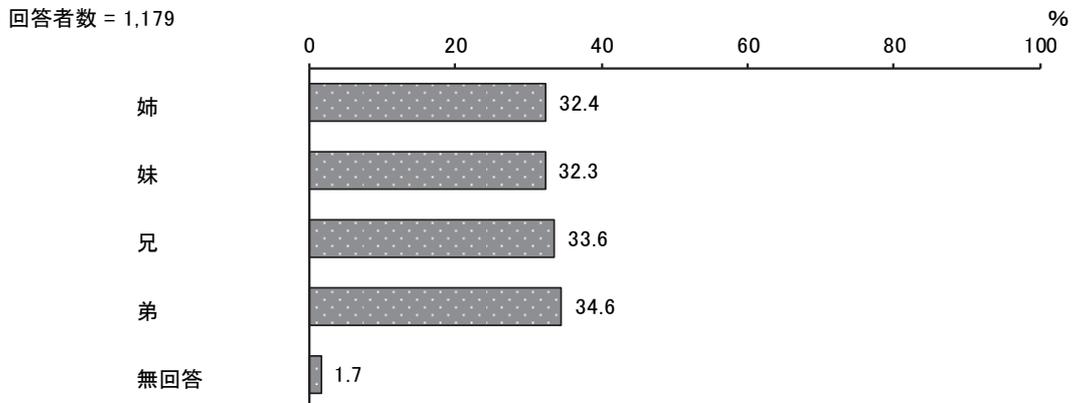


きょうだいの人数

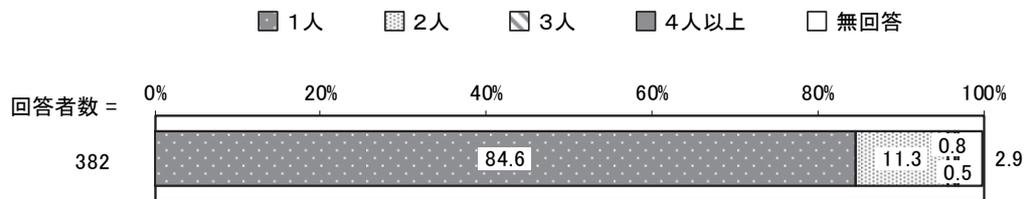
「2人」の割合が52.3%と最も高く、次いで「3人」の割合が31.6%となっています。



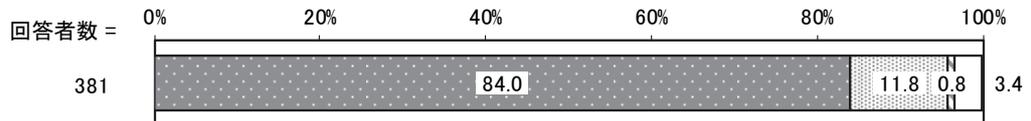
F 4-1 きょうだいがいる場合は、あてはまる番号に○をつけ、その人数を教えてください。



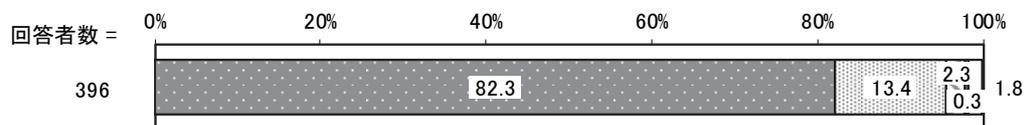
姉の人数



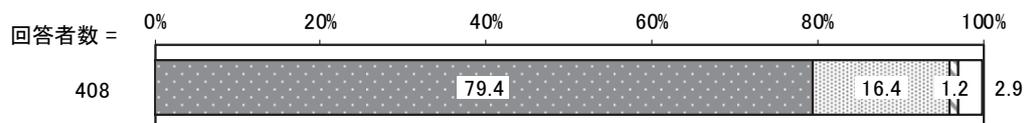
妹の人数



兄の人数



弟の人数

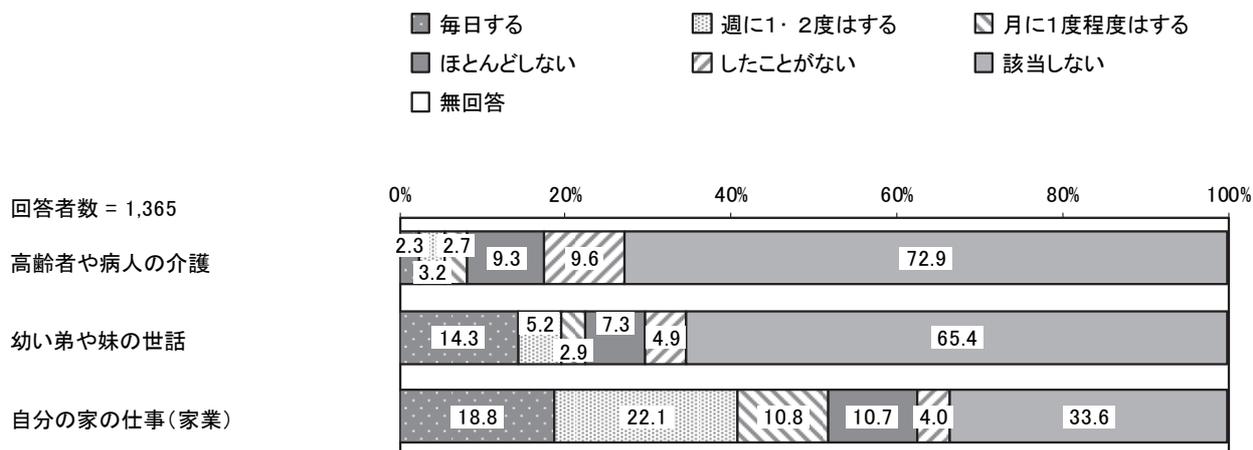
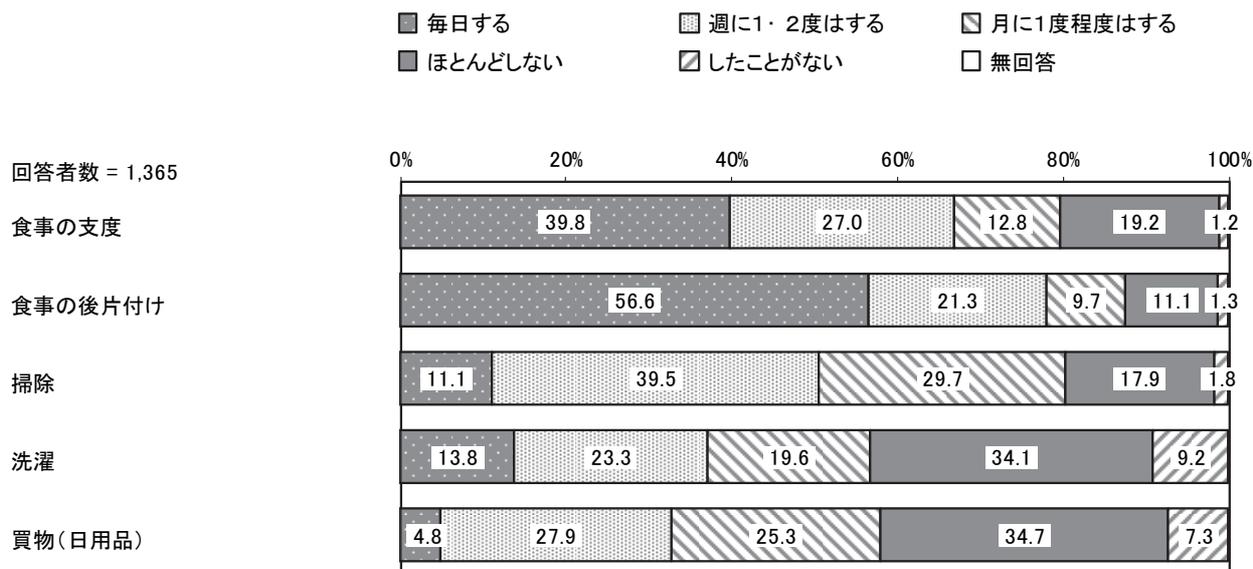


(2) 家庭生活について

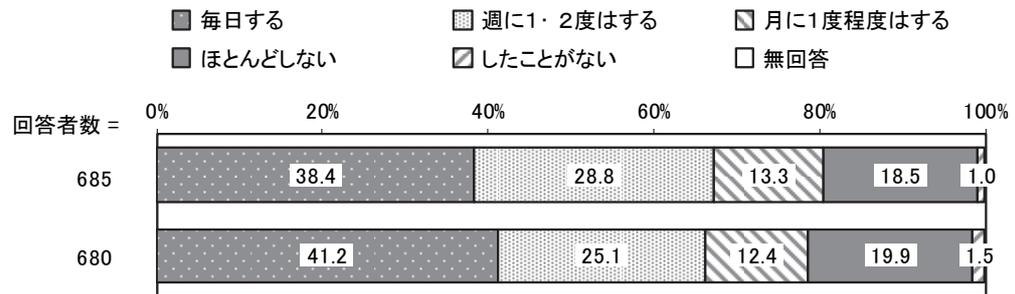
問1 あなたは、あなたの家庭で、次にあげるようなことにどの程度協力していますか。「該当しない」は、家族に高齢者や病気の人がないなど、当てはまるものがないときに○をつけてください。

家庭での家事等の手伝いで「毎日する」という回答割合が高いのは、『食事の後片付け』が56.6%、次いで『食事の支度』で39.8%となっています。

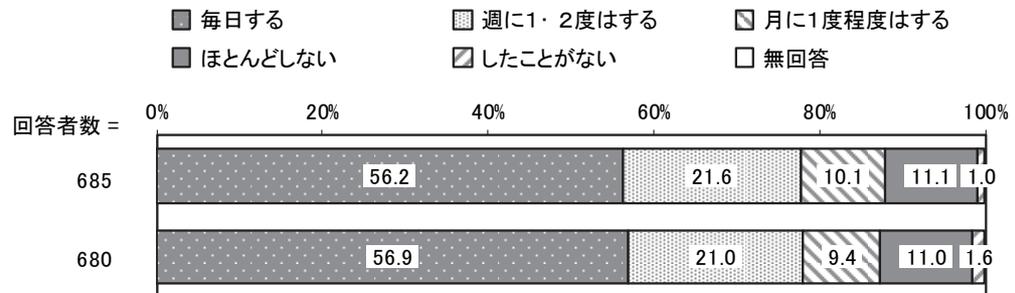
また、『自分の家の仕事(家業)』や『若い弟や妹の世話』を「毎日する」の割合が、『掃除』や『洗濯』をする割合よりも多くなっています。



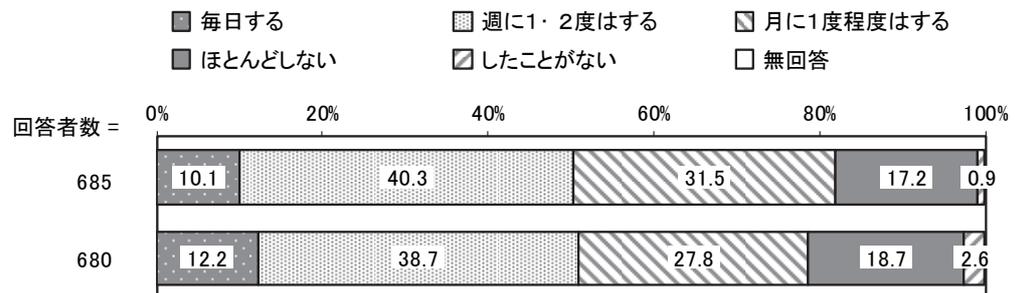
食事の支度
【性別】



食事の後片付け
【性別】

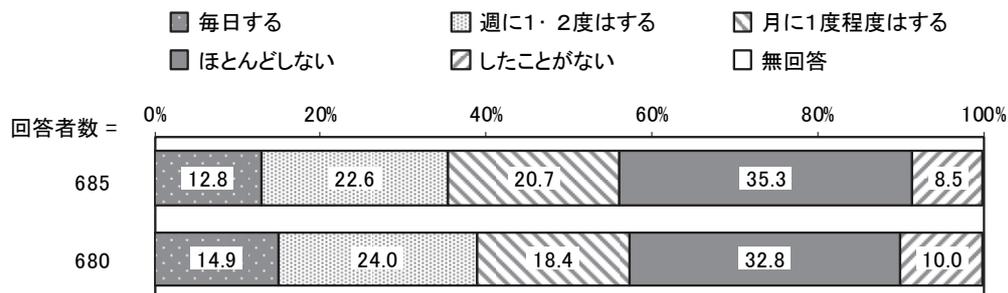


掃除
【性別】



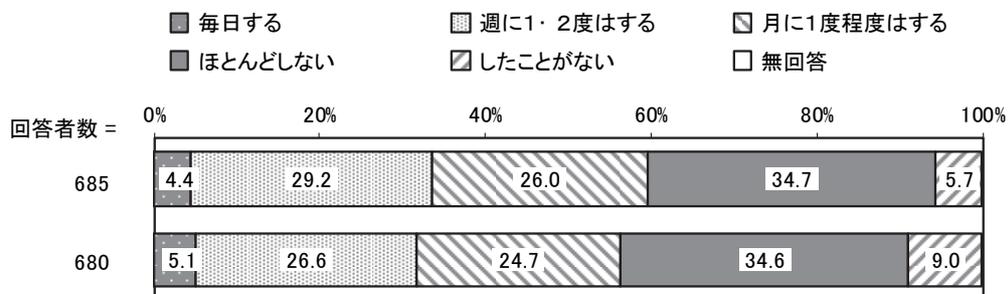
洗濯

【性別】



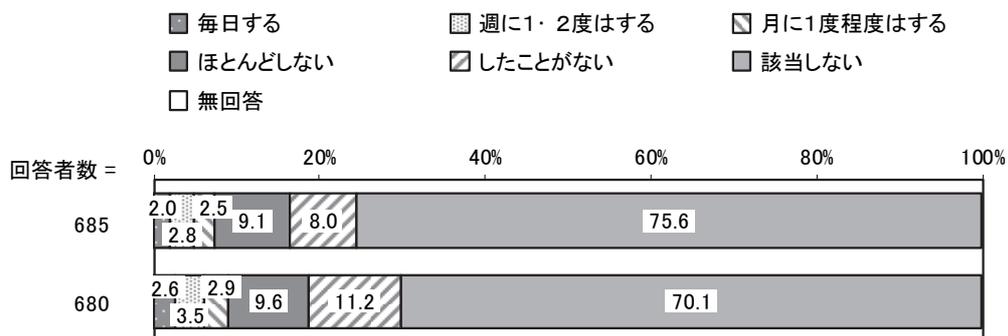
買物（日用品）

【性別】



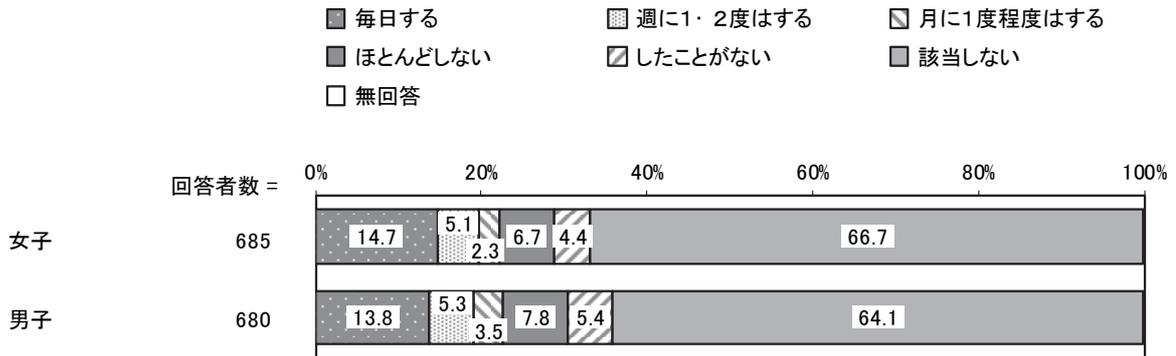
高齢者や病人の介護

【性別】



幼い弟や妹の世話

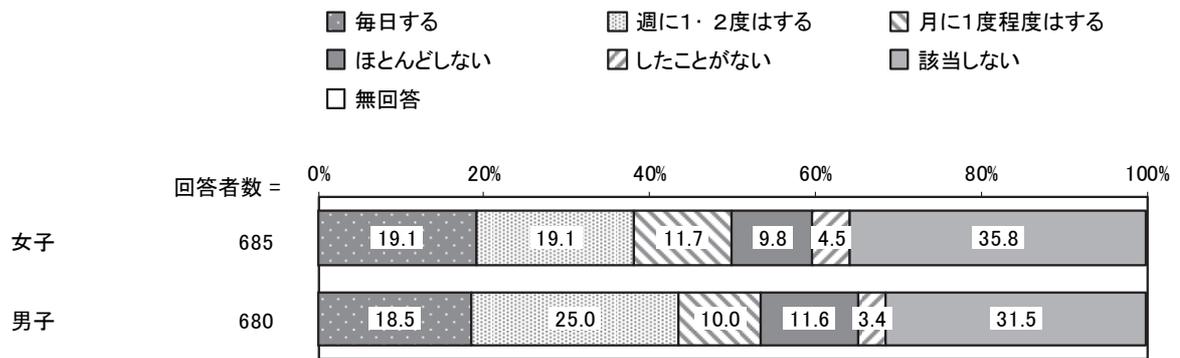
【性別】



自分の家の仕事（家業）

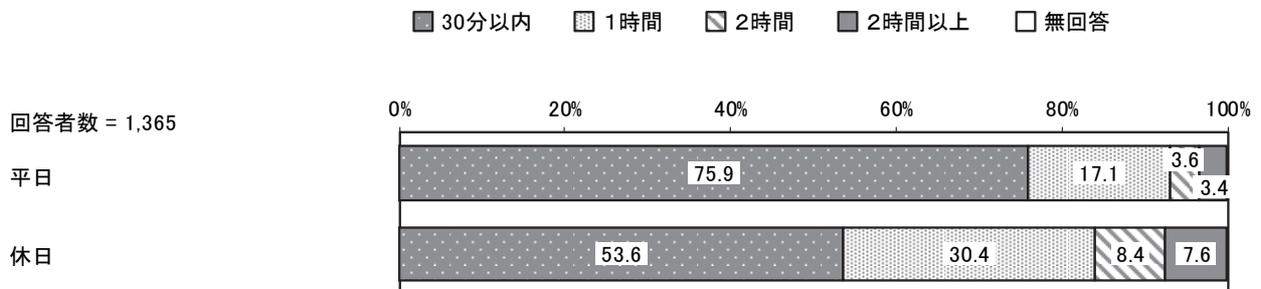
【性別】

性別でみると、女子に比べ、男子で「週に1・2度はする」の割合が高くなっています。



問2 あなたが平日や休日に、家事（弟や妹の世話や介護も含む）を手伝う時間はどのくらいですか。おおよその時間に○をつけてください。（○は平日・休日1つずつ）

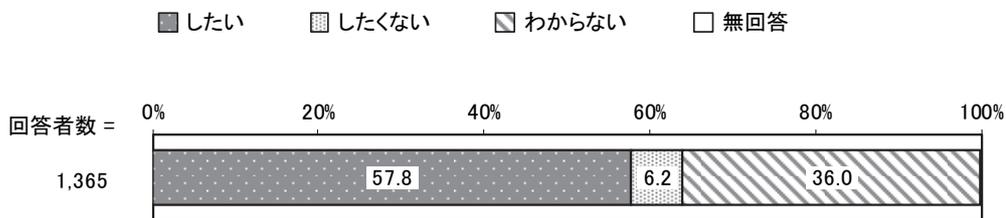
平日で「30分以内」の割合が75.9%となっています。



問3 あなたは将来、自分が結婚や子どもを持つこと、親が歳をとった時の介護についてどのように考えますか。(〇はそれぞれ1つ)

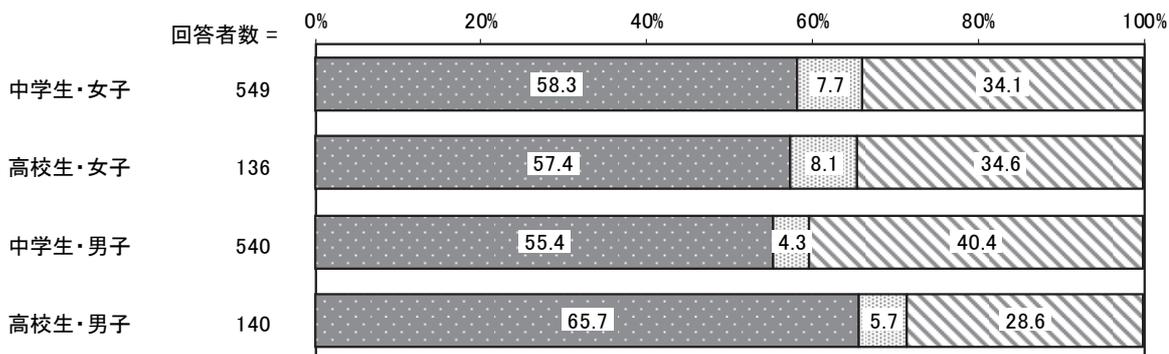
結婚

「したい」の割合が57.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が36.0%となっています。



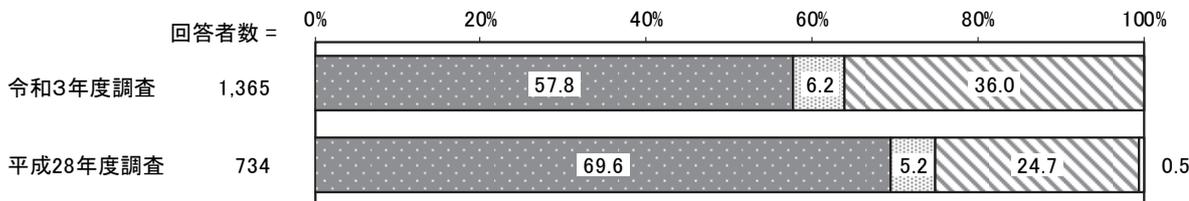
【性・中高生別】

性・中高生別で見ると、他に比べ、高校生・男子で「したい」の割合が、中学生・男子で「わからない」の割合が高くなっています。



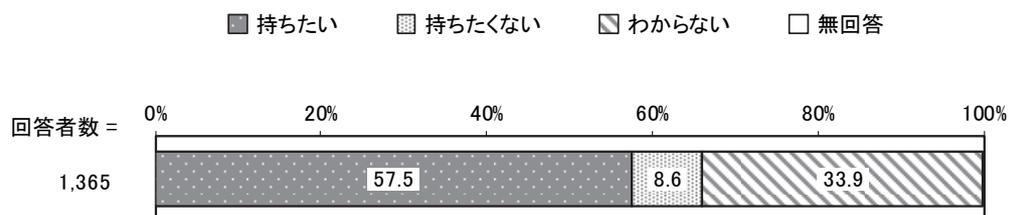
【前回調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。一方、「したい」の割合が減少しています。



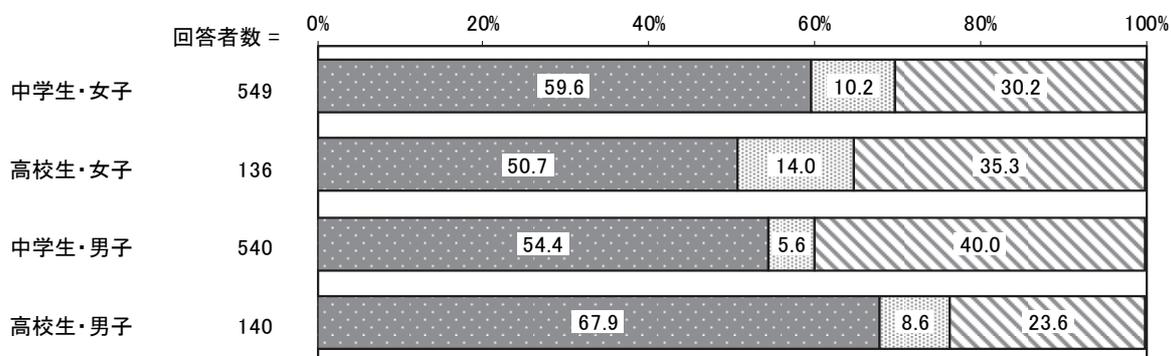
子ども

「持ちたい」の割合が57.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が33.9%となっています。



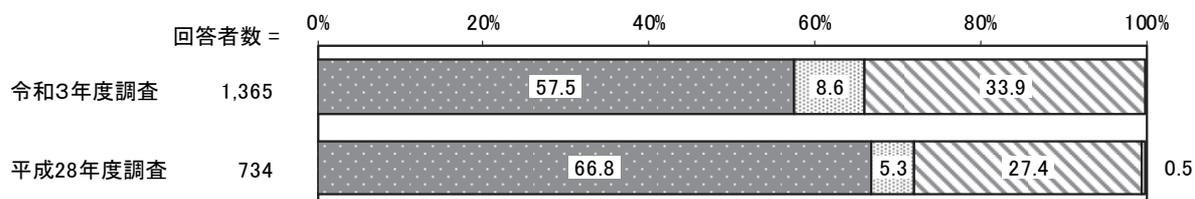
【性・中高生別】

性・中高生別で見ると、他に比べ、高校生・男子で「持ちたい」の割合が高くなっています。また、高校生・女子で「持ちたくない」の割合が高くなっています。



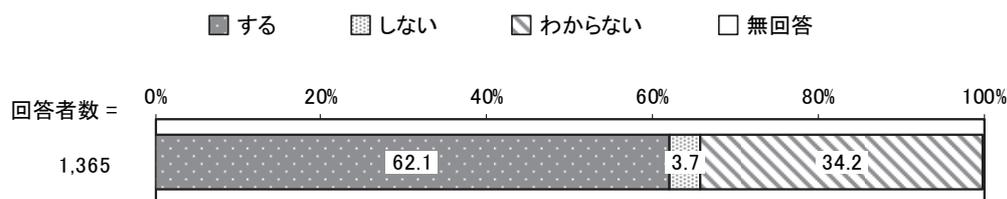
【前回調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。一方、「持ちたい」の割合が減少しています。



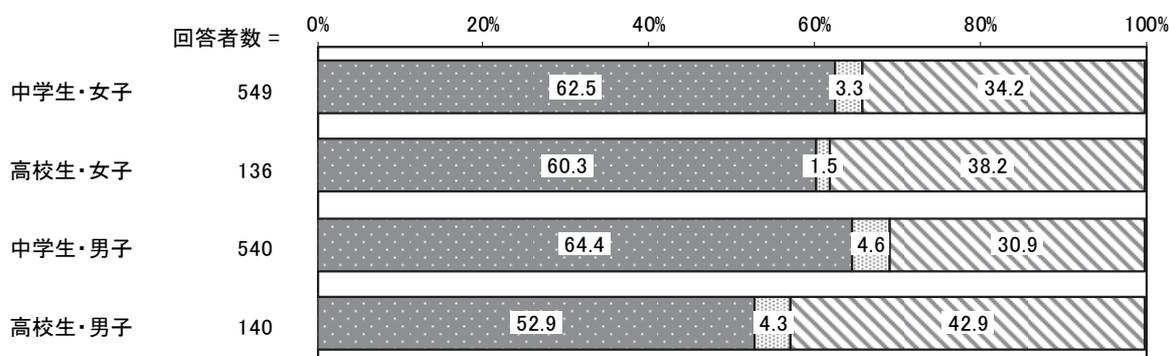
親の介護

「する」の割合が62.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が34.2%となっています。



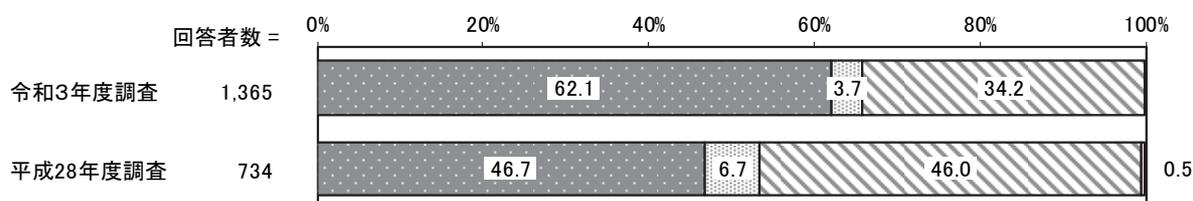
【性・中高生別】

性・中高生別でみると、他に比べ、中学生・男子で「する」の割合が高くなっています。また、高校生・男子で「わからない」の割合が高くなっています。



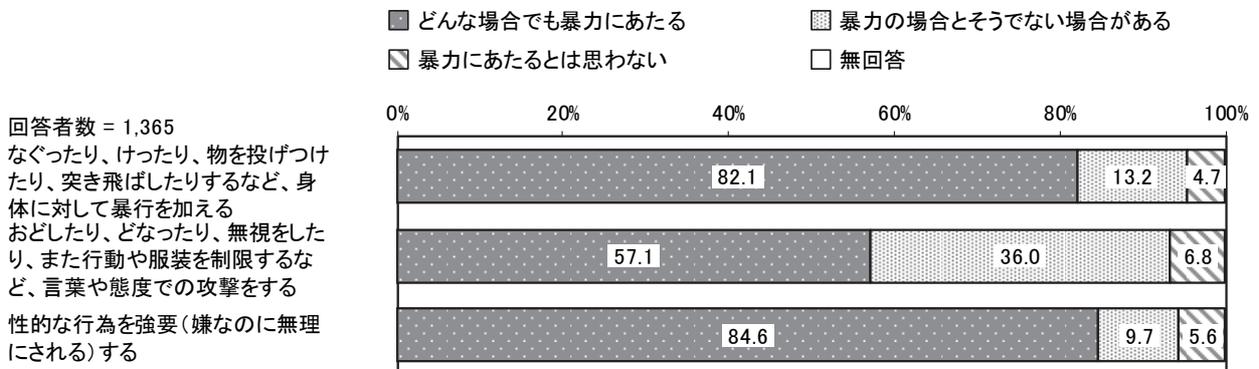
【前回調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、「する」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。



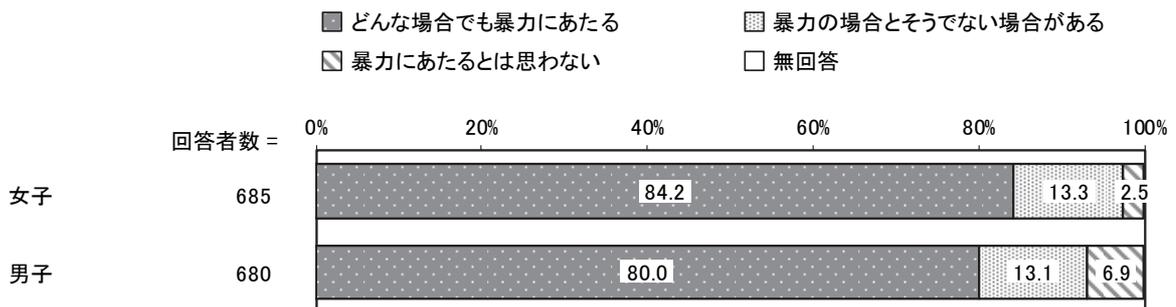
問4 あなたは、次のようなことが夫婦や恋人の間で行われた場合、それが暴力にあたると思いますか。

『おどしたり、どなったり、無視をしたり、また行動や服装を制限するなど、言葉や態度での攻撃をする』で「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が高くなっています。



なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなど、身体に対して暴行を加える

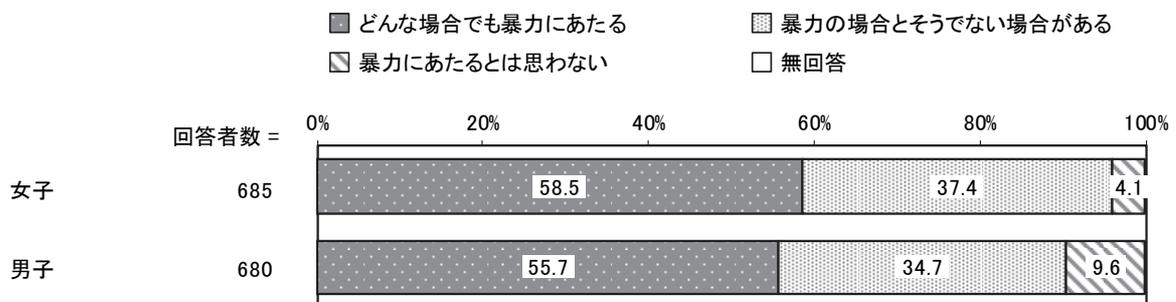
【性別】



おどしたり、どなったり、無視をしたり、また行動や服装を制限するなど、言葉や態度での攻撃をする

【性別】

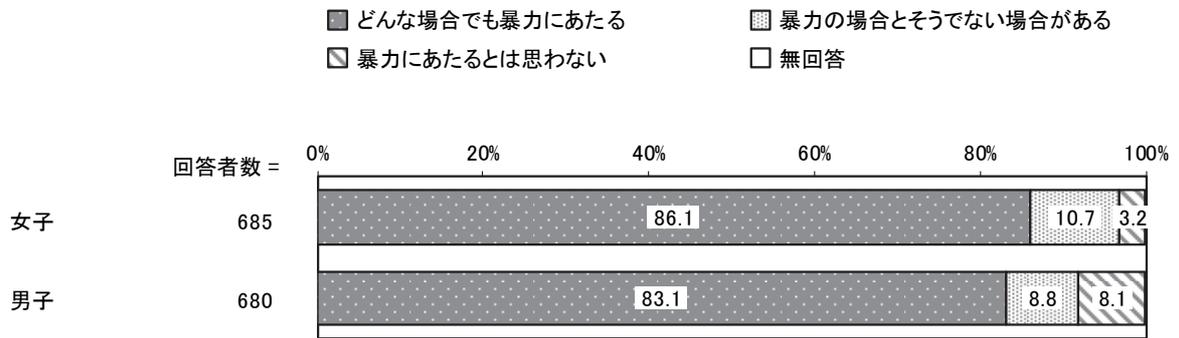
性別でみると、女子に比べ、男子で「暴力にあたるとは思わない」の割合が高くなっています。



性的な行為を強要（嫌なのに無理にされる）する

【性別】

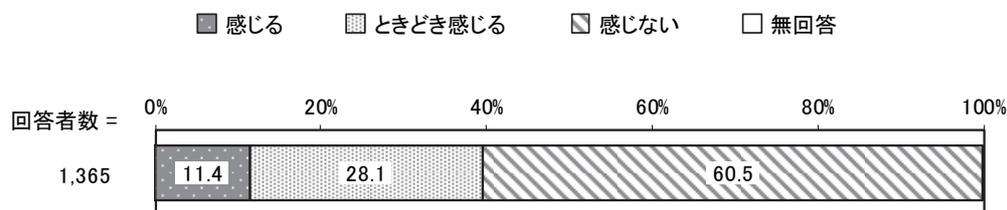
性別でみると、女子に比べ、男子で「暴力にあたるとは思わない」の割合が高くなっています。



(3) 学校生活と学校で学習したことについて

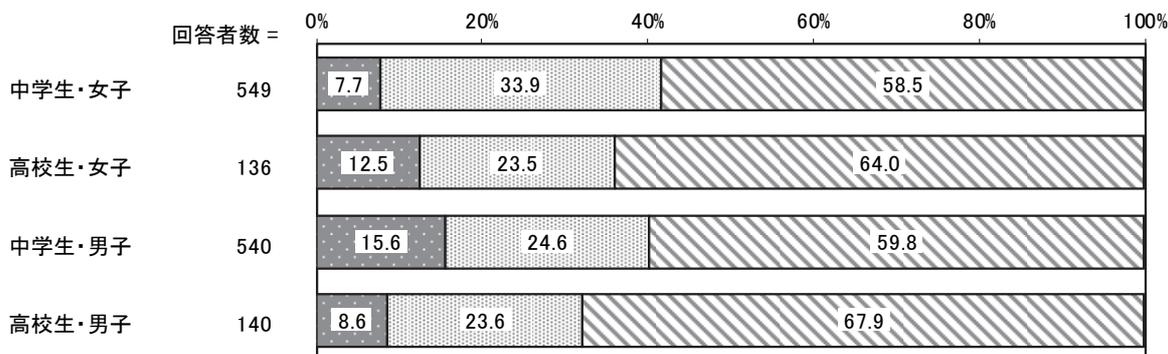
問5 あなたは、学校生活の中で、男女で扱われ方が異なり、それを差別と感ずることがありますか。(〇は1つ)

「感じない」の割合が60.5%と最も高く、次いで「ときどき感じる」の割合が28.1%、「感じる」の割合が11.4%となっています。



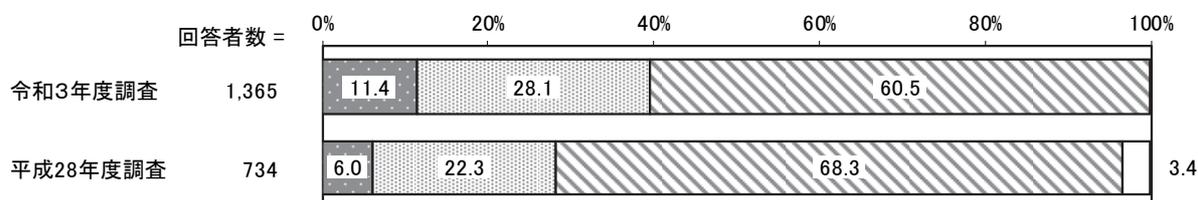
【性・中高生別】

性・中高生別で見ると、他に比べ、高校生・男子で「感じない」の割合が高くなっています。



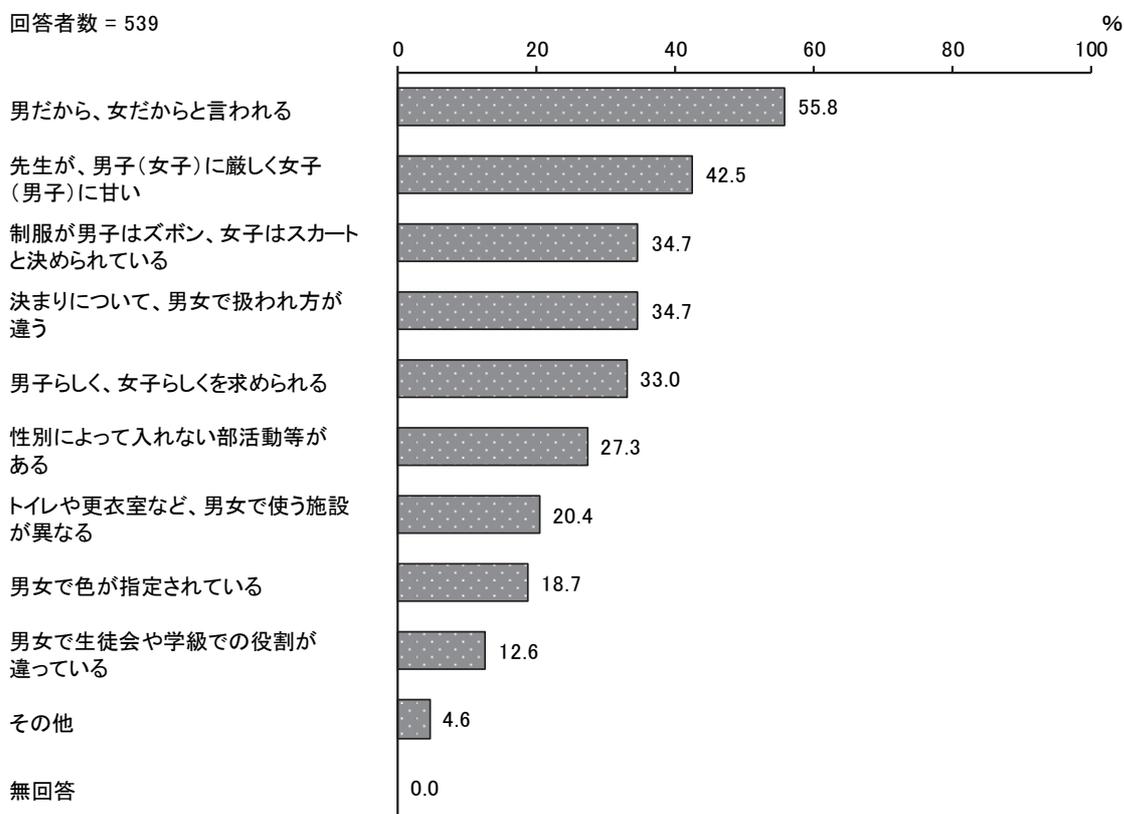
【前回調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、「感じる」と「ときどき感じる」を合わせた“感じる”の割合が増加しています。一方、「感じない」の割合が減少しています。



問6 それはどのような場面でしたか。(あてはまるものすべてに○)

「男だから、女だからと言われる」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「先生が、男子(女子)に厳しく女子(男子)に甘い」の割合が 42.5%、「制服が男子はズボン、女子はスカートと決められている」、「決まりについて、男女で扱われ方が違う」の割合が 34.7%となっています。

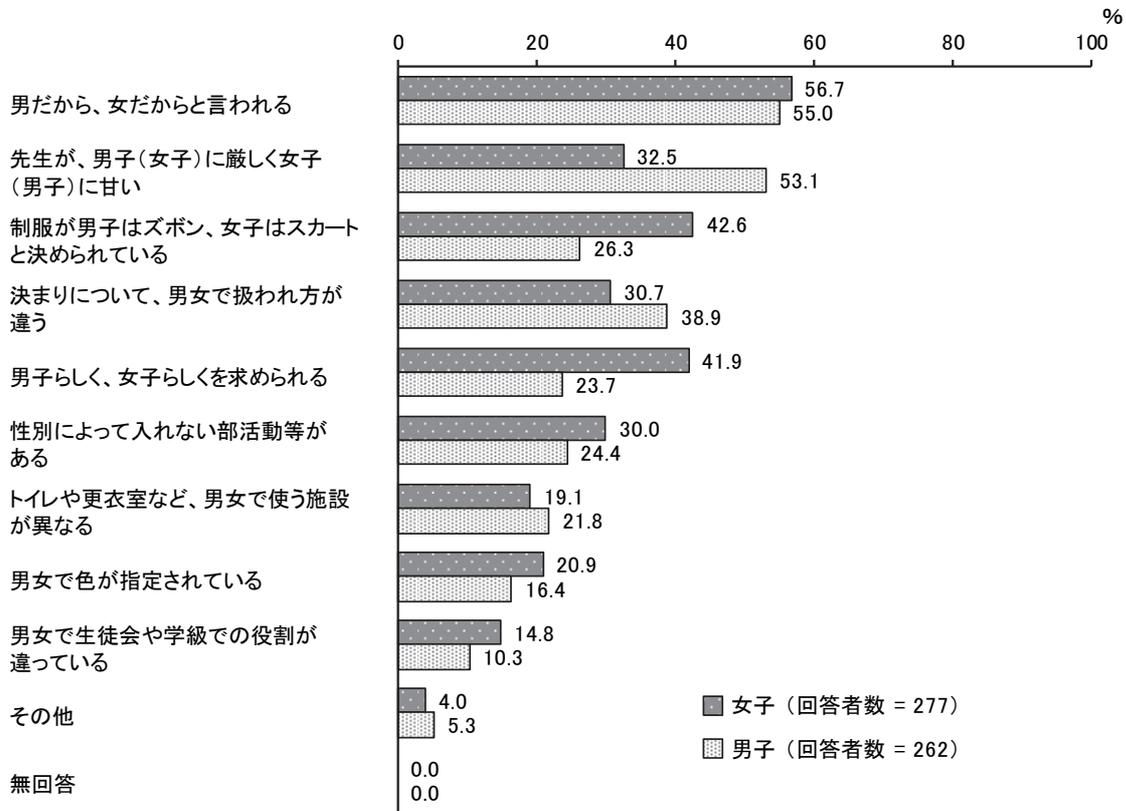


<「その他」の主な内容>

- ・ 教員の対応の違い (3件)
- ・ 女子が性の対象として見られる
- ・ 友達が男女で接し方が違う
- ・ レディーファーストがうざい
- ・ 呼ばれ方の違い
- ・ 男女で話しあったりするときに男女別々で話しているとき
- ・ 男子は階段しか使えないエレベーターは使えない
- ・ プールの授業で女子は更衣室を使っているのに男子は廊下などで着替えをしている
- ・ トイレなど仕方がないものもあるが工夫してほしい
- ・ 女子は、スラックスかスカートが選べるのに男子はズボンと決められていること
- ・ 男子、女子の他に LGBT の性があることを人権の時間に習うこと
- ・ 名札などを、男子には届けて女子に届けない
- ・ 生徒によって先生の接し方が違う
- ・ 女子は夜中外を歩いちゃダメ
- ・ 放送委員が女子しか放送しない
- ・ 女子だけ評価のつけ方が甘いと感じる
- ・ ジャージの着用の非許可など、扱いの差

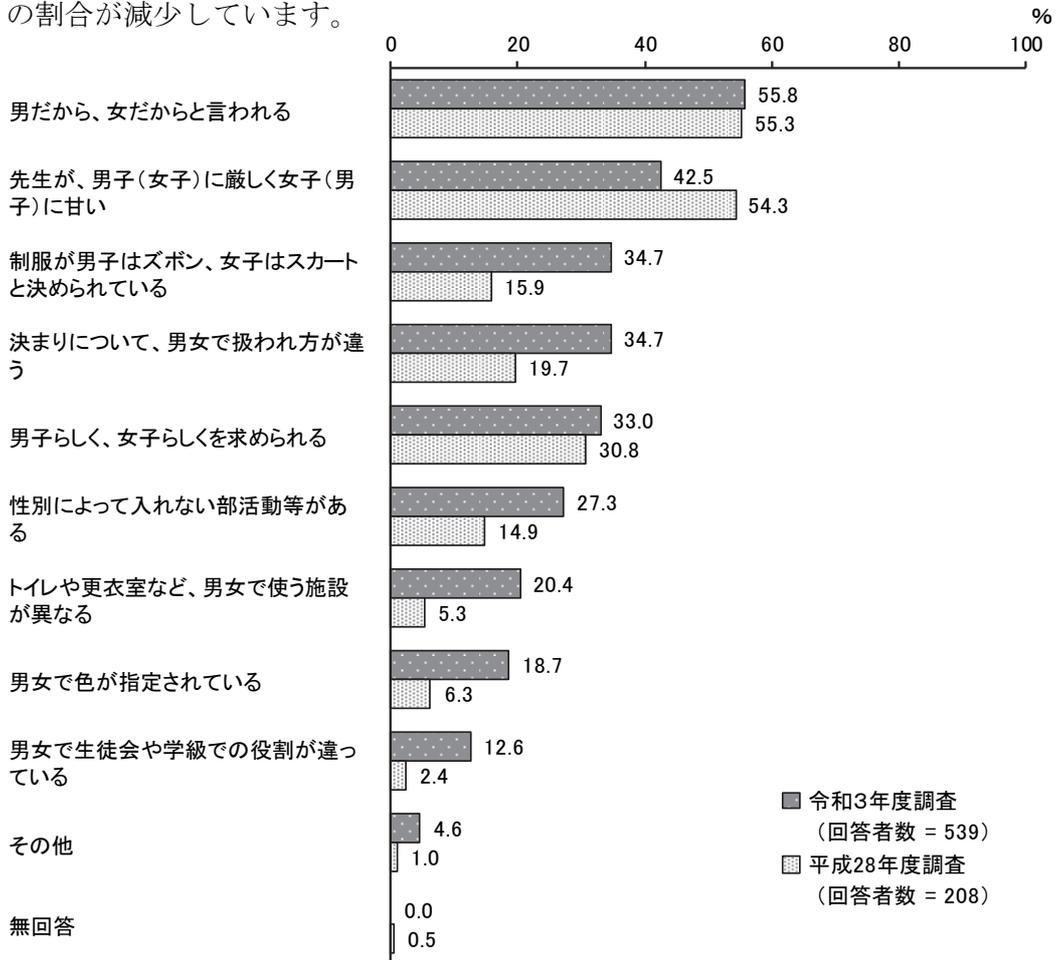
【性別】

性別でみると、女子に比べ、男子で「先生が、男子（女子）に厳しく女子（男子）に甘い」の割合が高くなっています。また、女子で「男子らしく、女子らしくを求められる」「制服が男子はズボン、女子はスカートと決められている」の割合が高くなっています。



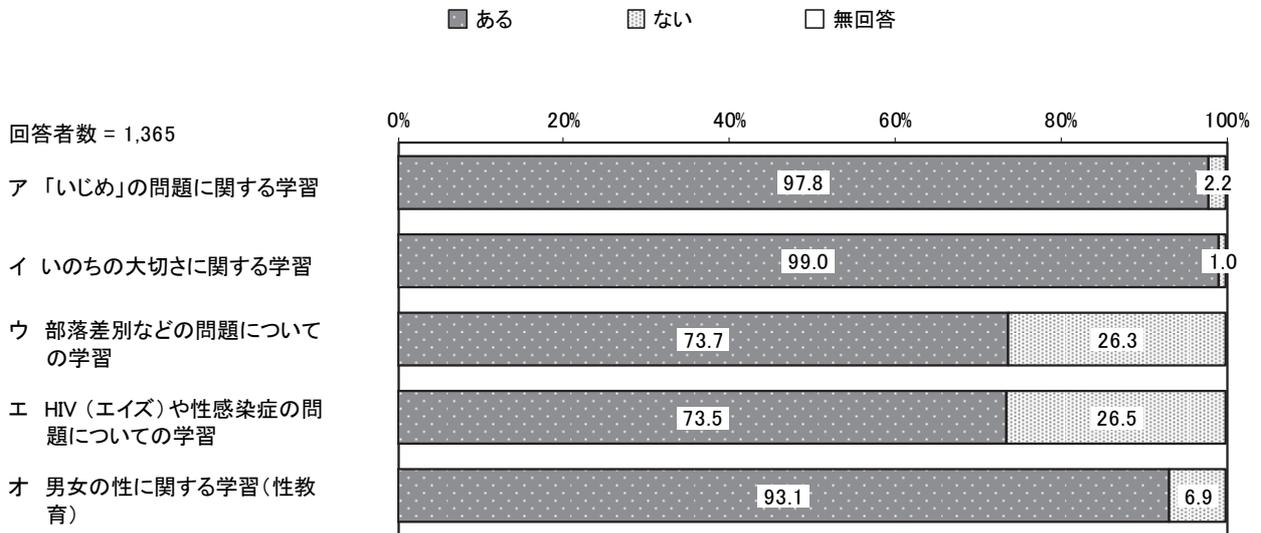
【前回調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、「制服が男子はズボン、女子はスカートと決められている」「性別によって入れない部活動等がある」「男女で色が指定されている」「男女で生徒会や学級での役割が違っている」「決まりについて、男女で扱われ方が違う」「トイレや更衣室など、男女で使う施設が異なる」の割合が増加しています。一方、「先生が、男子（女子）に厳しく女子（男子）に甘い」の割合が減少しています。

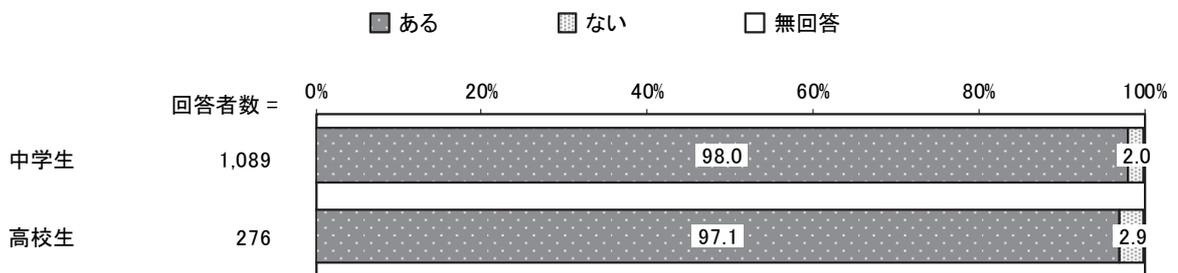


問7 あなたは、小・中学校や高校で、ア～オの問題について学習したことがありますか。(〇はそれぞれ1つ)

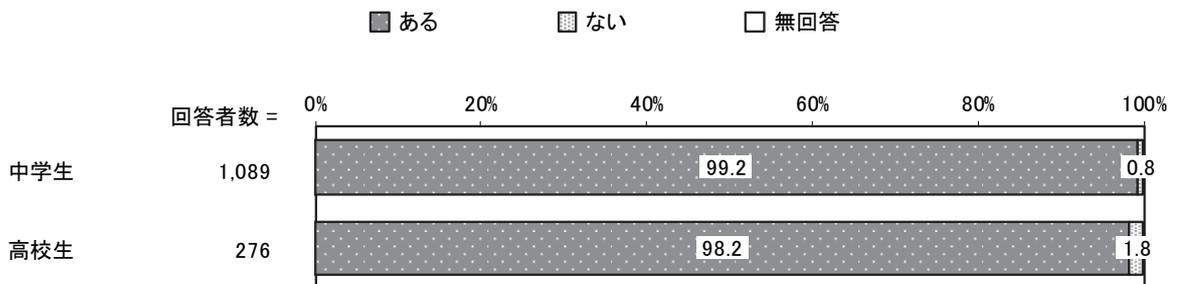
部落差別などの問題についての学習、HIV(エイズ)や性感染症の問題についての学習で「ない」の割合が高くなっています。



ア 「いじめ」の問題に関する学習
【中高生別】

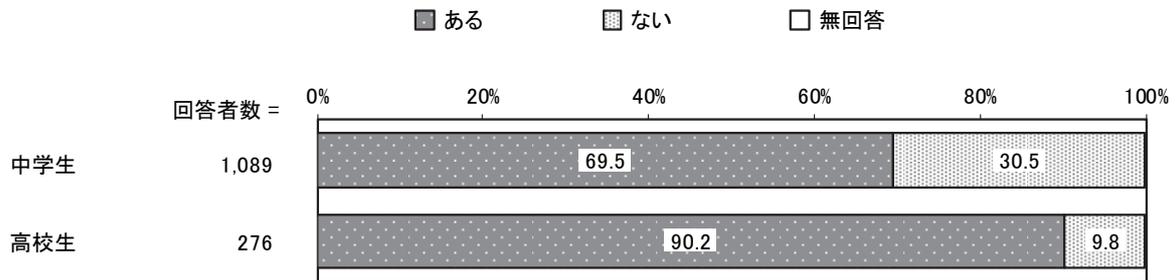


イ いのちの大切さに関する学習
【中高生別】



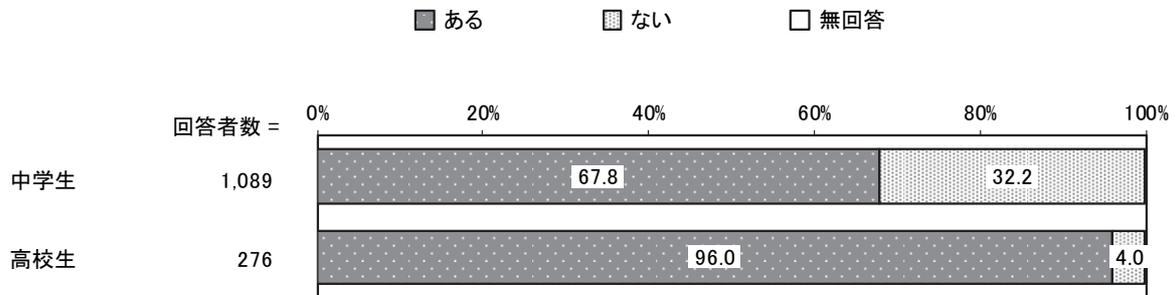
ウ 部落差別などの問題についての学習

【中高生別】



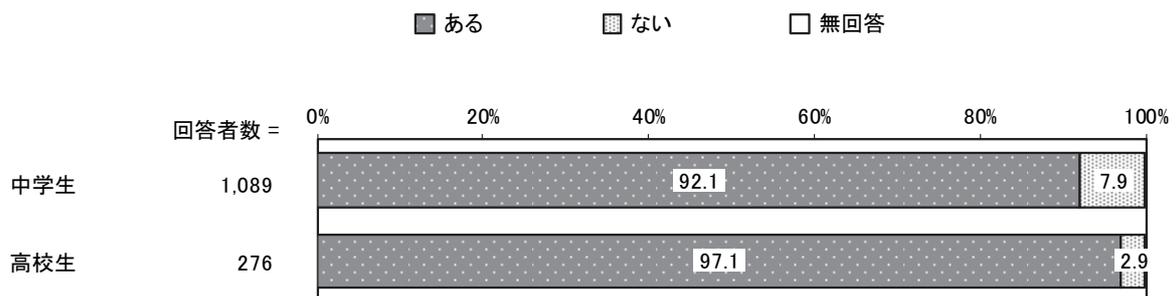
エ HIV（エイズ）や性感染症の問題についての学習

【中高生別】



オ 男女の性に関する学習（性教育）

【中高生別】

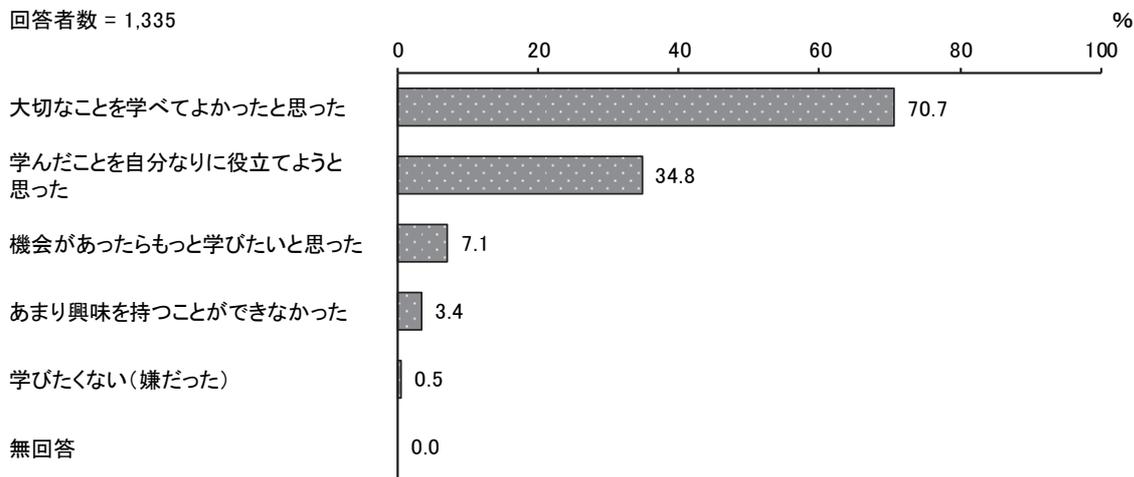


問8 あなたは、ア～オの問題についての学習をして、どのように思いましたか。
 (「ない」に○をつけた項目については記入の必要はありません。)
 (それぞれあてはまるものすべてに○)

ア 「いじめ」の問題に関する学習

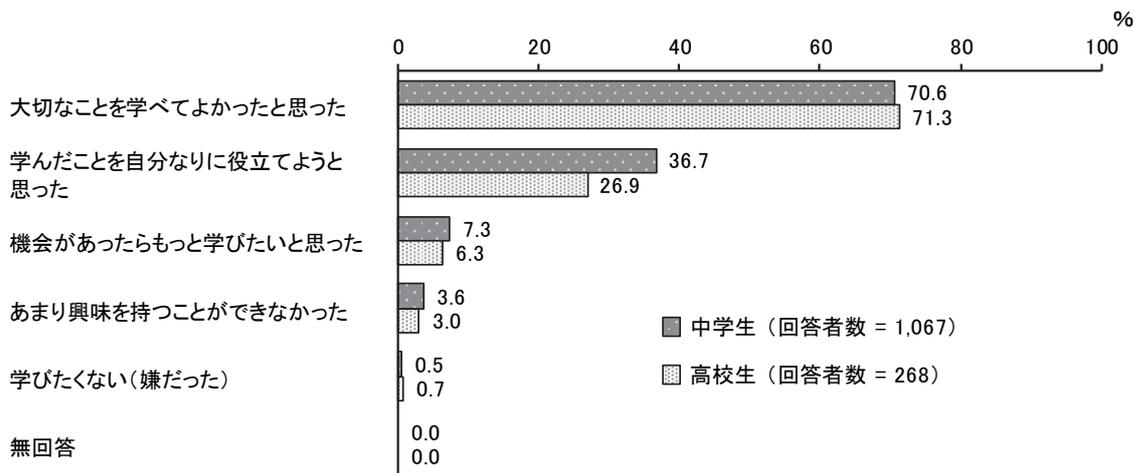
「大切なことを学べてよかったと思った」の割合が70.7%と最も高く、次いで「学んだことを自分なりに役立てようと思った」の割合が34.8%となっています。

回答者数 = 1,335

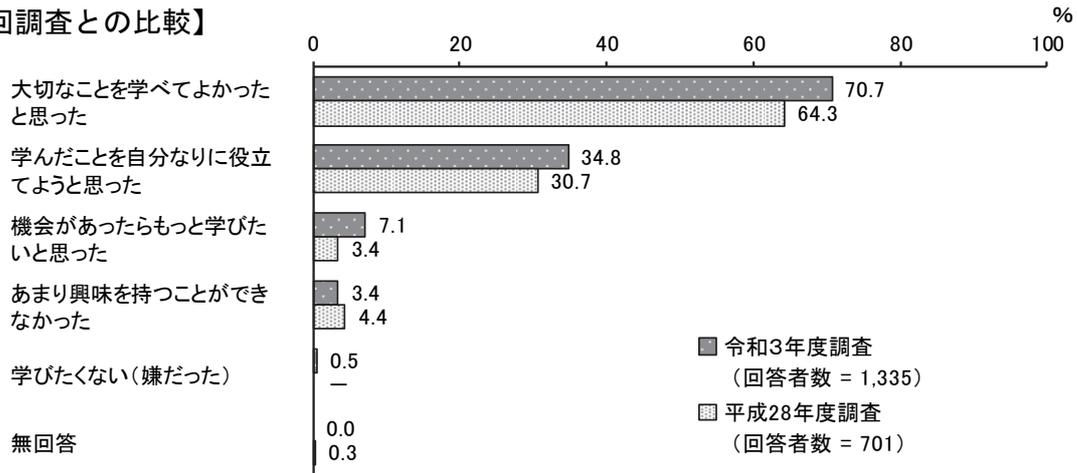


【中高生別】

中高生別でみると、高校生に比べ、中学生で「学んだことを自分なりに役立てようと思った」の割合が高くなっています。



【前回調査との比較】

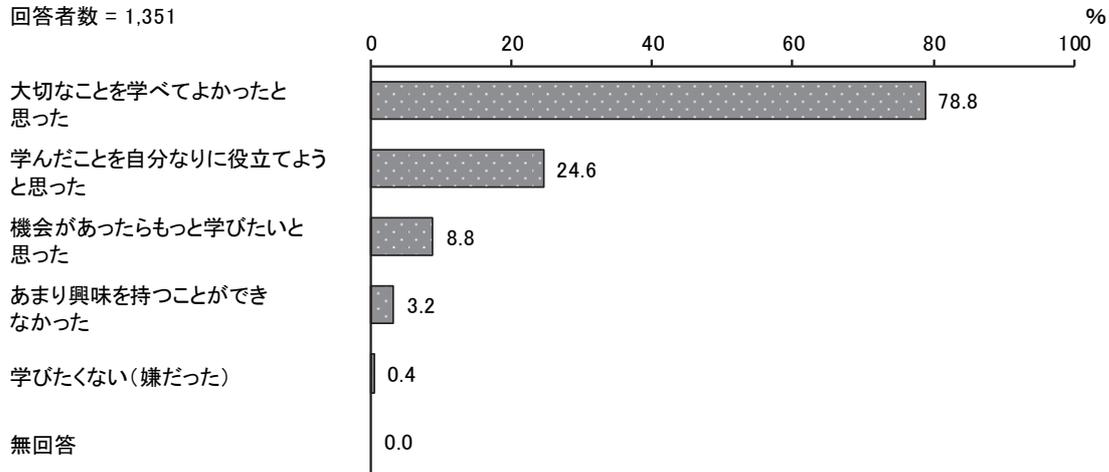


※「学びたくない(嫌だった)」の選択肢は、令和3年度調査で追加されました。

イ いのちの大切さに関する学習

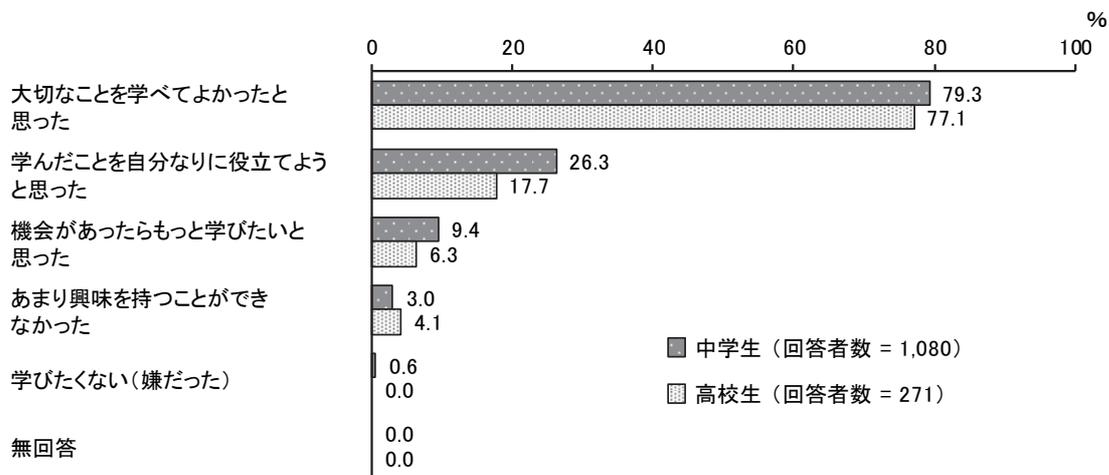
「大切なことを学べてよかったと思った」の割合が78.8%と最も高く、次いで「学んだことを自分なりに役立てようと思った」の割合が24.6%となっています。

回答者数 = 1,351

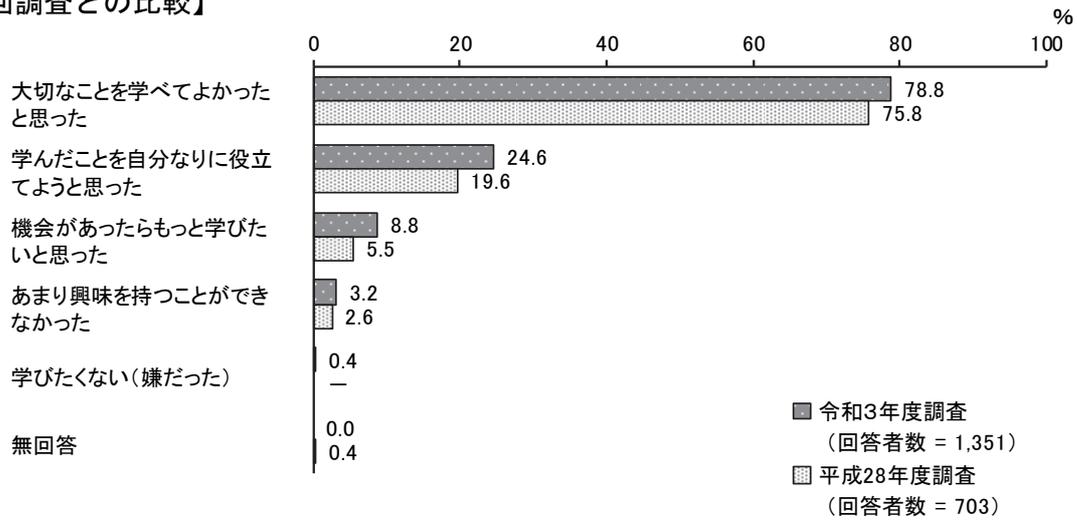


【中高生別】

中高生別で見ると、高校生に比べ、中学生で「学んだことを自分なりに役立てようと思った」の割合が高くなっています。



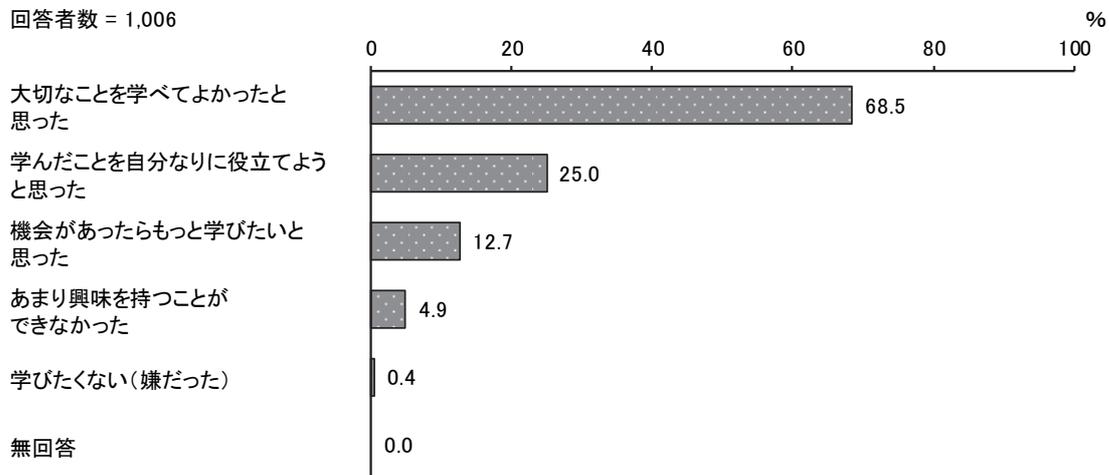
【前回調査との比較】



※「学びたくない(嫌だった)」の選択肢は、令和3年度調査で追加されました。

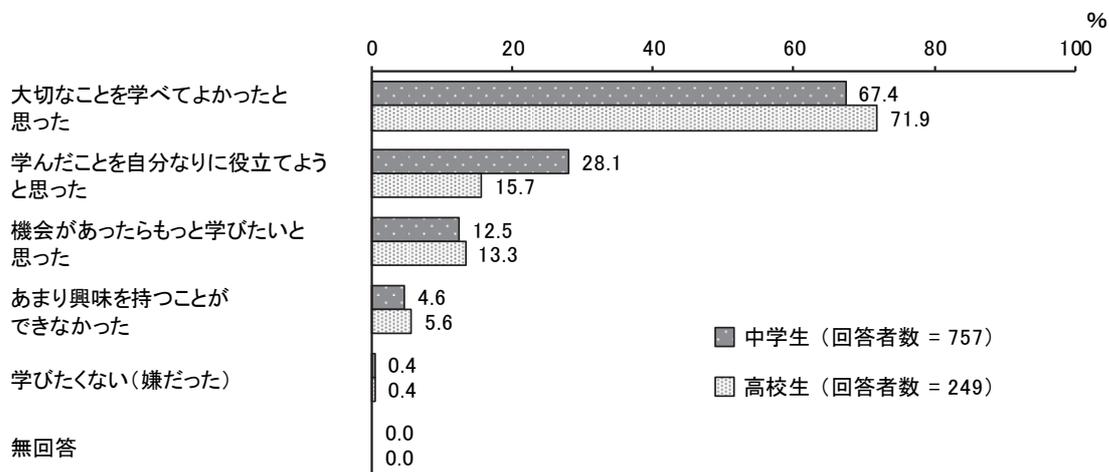
ウ 部落差別などの問題についての学習

「大切なことを学べてよかったと思った」の割合が68.5%と最も高く、次いで「学んだことを自分なりに役立てようと思った」の割合が25.0%、「機会があったらもっと学びたいと思った」の割合が12.7%となっています。

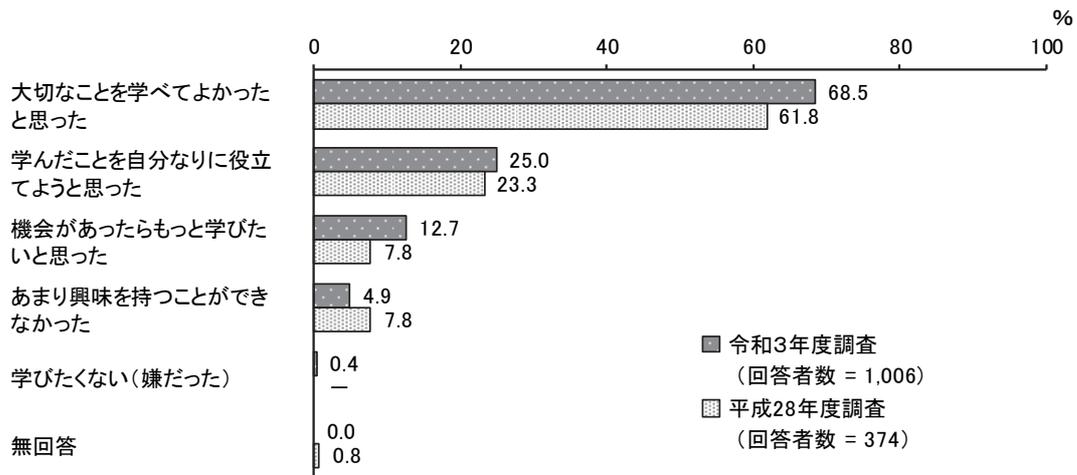


【中高生別】

中高生別でみると、高校生に比べ、中学生で「学んだことを自分なりに役立てようと思った」の割合が高くなっています。



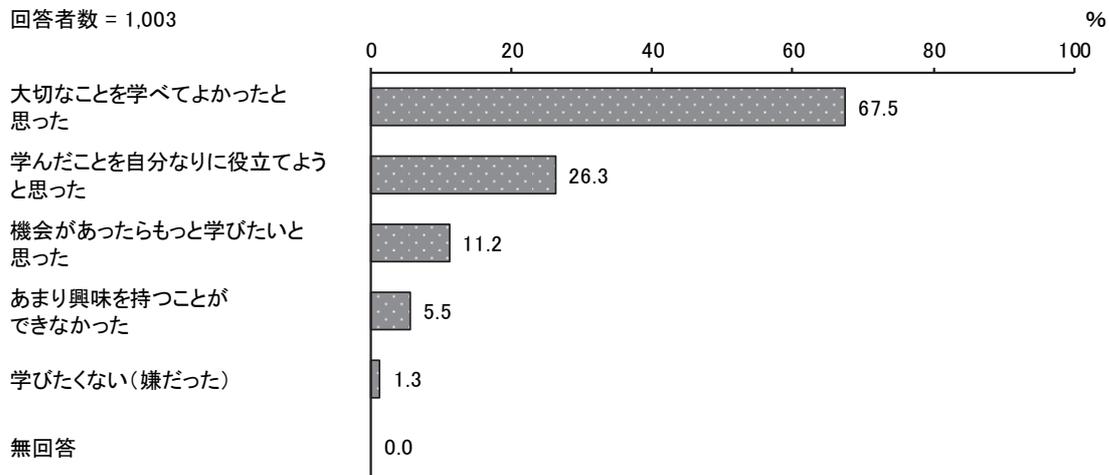
【前回調査との比較】



※「学びたくない(嫌だった)」の選択肢は、令和3年度調査で追加されました。

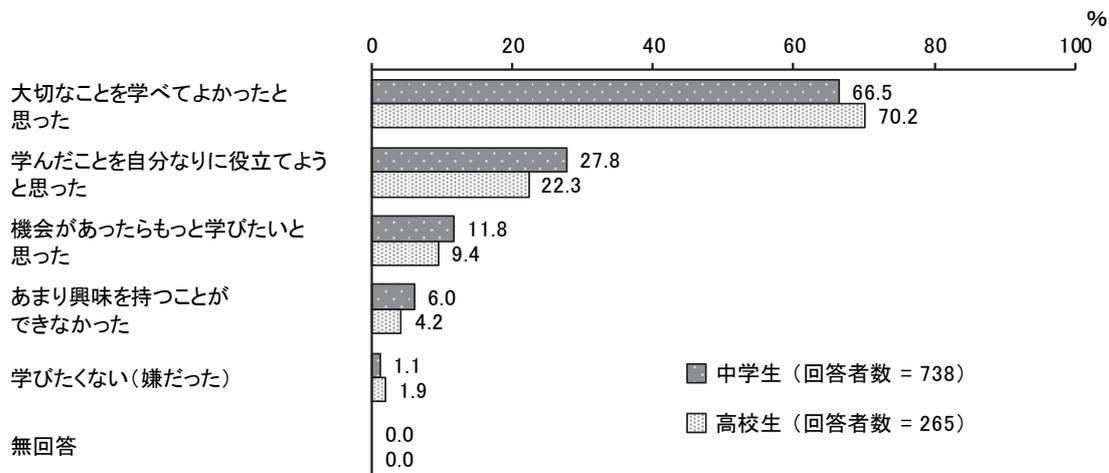
エ HIV（エイズ）や性感染症の問題についての学習

「大切なことを学べてよかったと思った」の割合が67.5%と最も高く、次いで「学んだことを自分なりに役立てようと思った」の割合が26.3%、「機会があったらもっと学びたいと思った」の割合が11.2%となっています。

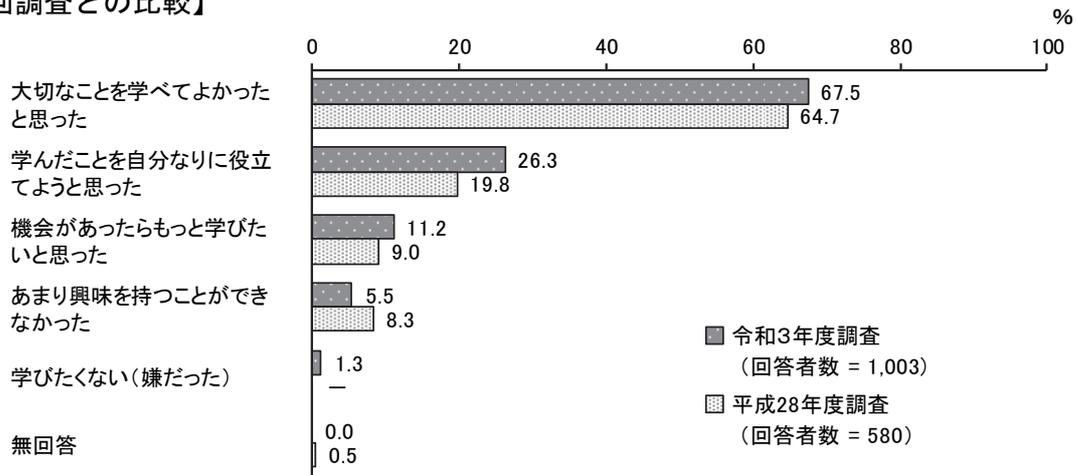


【中高生別】

中高生別でみると、高校生に比べ、中学生で「学んだことを自分なりに役立てようと思った」の割合が高くなっています。



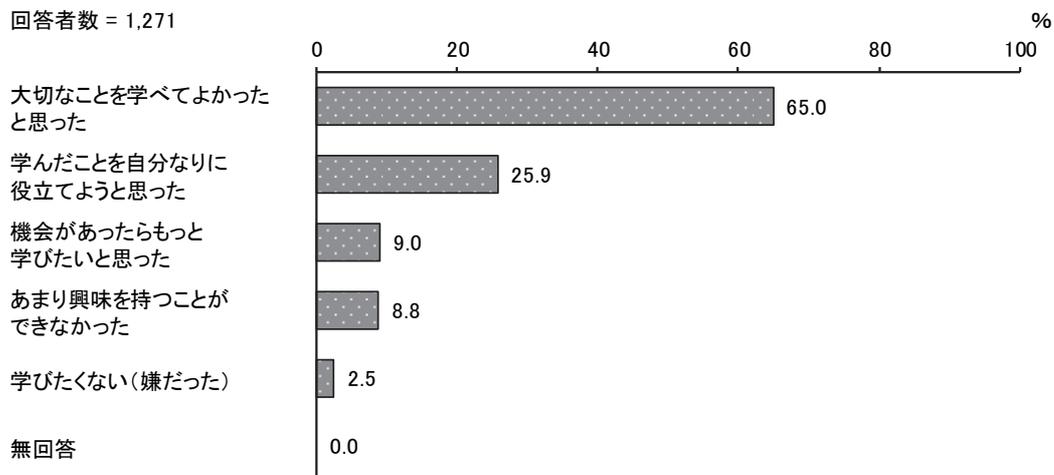
【前回調査との比較】



※「学びたくない(嫌だった)」の選択肢は、令和3年度調査で追加されました。

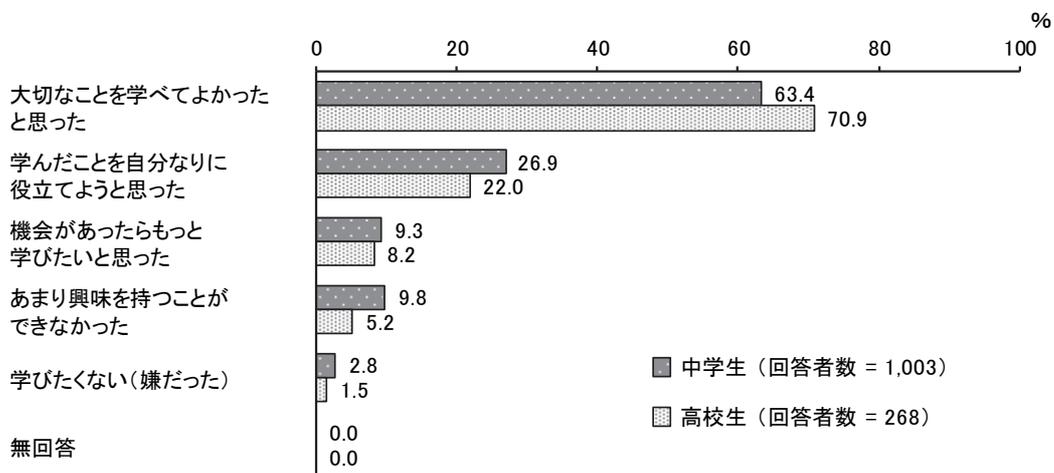
オ 男女の性に関する学習（性教育）

「大切なことを学べてよかったと思った」の割合が65.0%と最も高く、次いで「学んだことを自分なりに役立てようと思った」の割合が25.9%となっています。

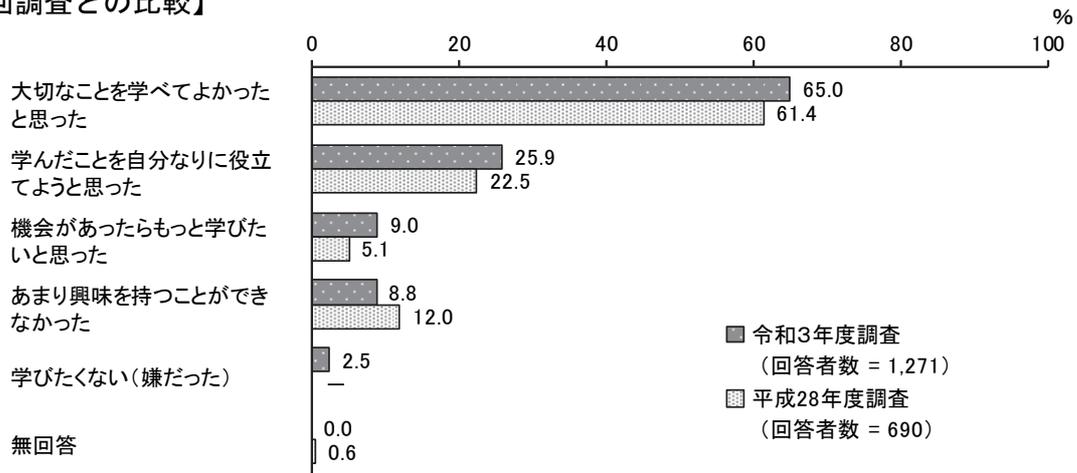


【中高生別】

中高生別でみると、中学生に比べ、高校生で「大切なことを学べてよかったと思った」の割合が高くなっています。



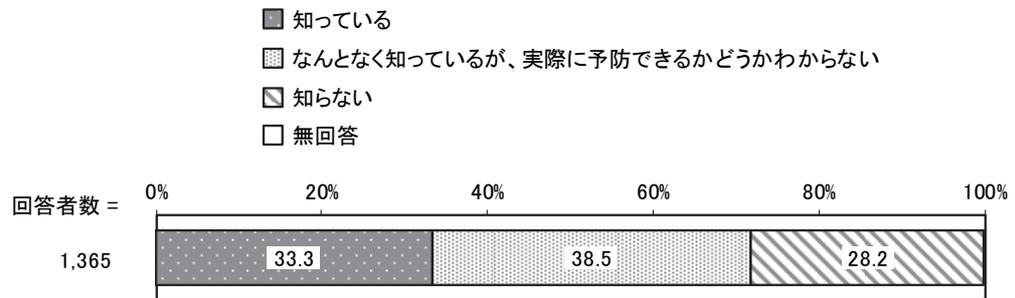
【前回調査との比較】



※「学びたくない(嫌だった)」の選択肢は、令和3年度調査で追加されました。

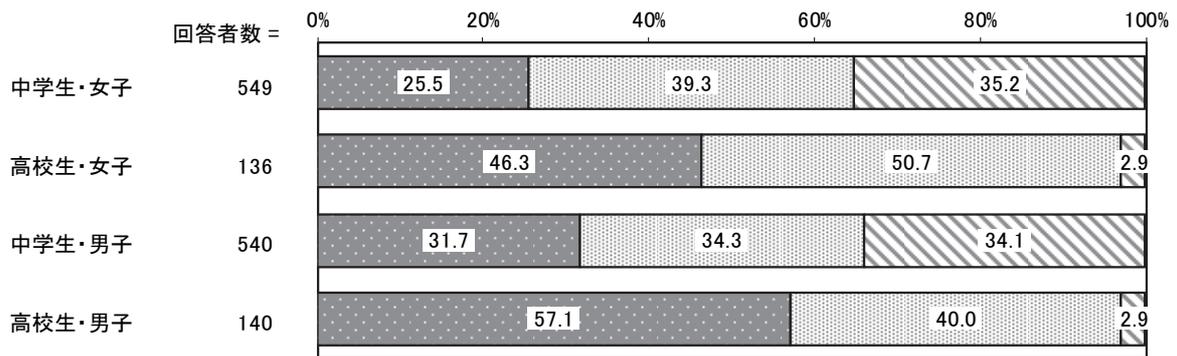
問9 あなたは、HIV（エイズ）や性感染症、その予防方法について知っていますか。
（〇は1つ）

「なんとなく知っているが、実際に予防できるかどうかわからない」の割合が38.5%と最も高く、次いで「知っている」の割合が33.3%、「知らない」の割合が28.2%となっています。



【性・中高生別】

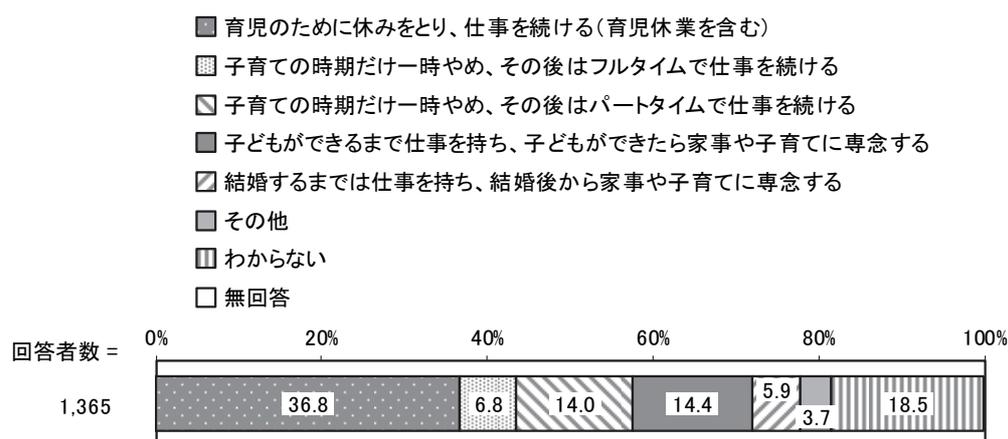
性・中高生別でみると、他に比べ、高校生・男子で「知っている」の割合が高くなっています。



(4) 働くことについて

問 10 女性の働き方についておたずねします。あなたは、結婚した場合どのような働き方が理想だと思いますか。結婚したと仮定して、女子はあなた自身の、男子はあなたの妻の理想の働き方について、最もあてはまるものを選んでください。
(○は1つ)

「育児のために休みをとり、仕事を続ける（育児休業を含む）」の割合が 36.8%と最も高く、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」を合わせた割合が 20.8%となり、子どもを産んでからも働き続けたいと考える割合が 57.6%となっています。

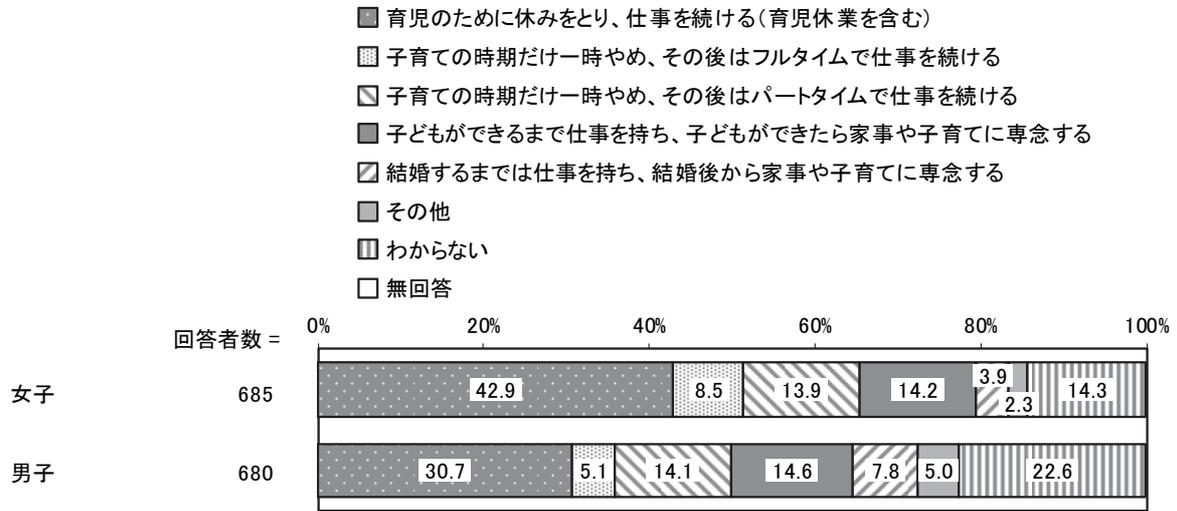


<「その他」の主な内容>

- ・自分がやりたいようにしてほしい (9 件)
- ・そもそも結婚願望がない (3 件)
- ・子どもを産むことは考えていないので、結婚しても仕事は続ける
- ・基本は結婚したら仕事を辞めて、金銭的に厳しくなったらパートなどに入ってもら
- ・子育ての時は、一時的に辞め、その後は妻が好きな仕事を適度にやってもらいたい
- ・育児休業を取り出産後は妻の意思を尊重して復帰するかしないかを決めてもらう
- ・仕事を続け、夫とともに子育てに専念する
- ・専業主婦
- ・子どもができるまで仕事をし、子どもができたならその子どもをベビーシッターに預け、自分は仕事をする
- ・夫婦二人で育児する片方だけに任せない
- ・その人が、苦痛にならない働き方をしてほしい
- ・子どもができたなら家でできる仕事をする
- ・子どもができては休みの取りやすい仕事をしてもらいたい
- ・夫の仕事の時間によると思う

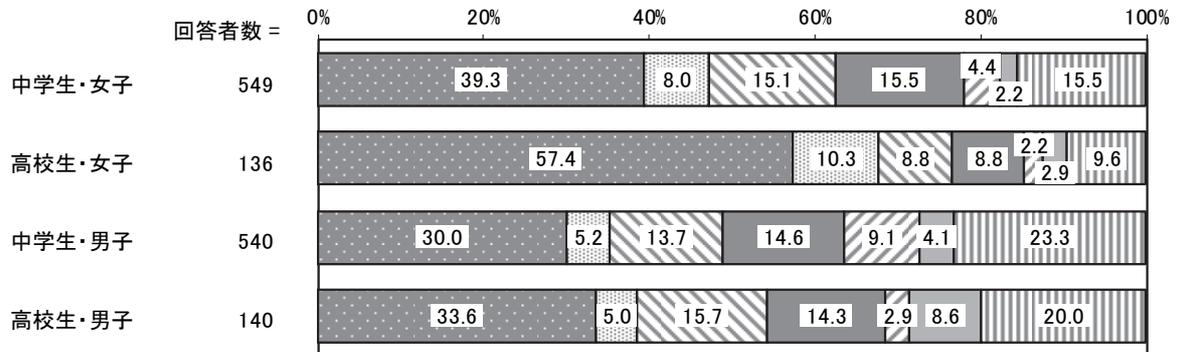
【性別】

性別でみると、男子に比べ、女子で「育児のために休みを取り、仕事を続ける(育児休業を含む)」の割合が高くなっています。



【性・中高生別】

性・中高生別でみると、他に比べ、高校生・女子で「育児のために休みを取り、仕事を続ける(育児休業を含む)」の割合が高くなっています。また中学生・男子で「結婚するまでは仕事をもち、結婚後から家事や子育てに専念する」の割合が高くなっています。

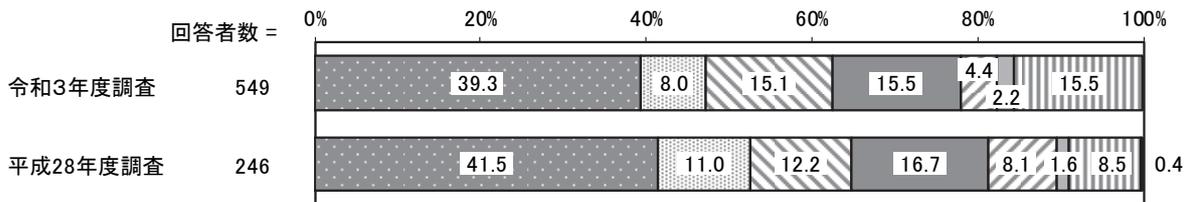


【前回調査との比較】

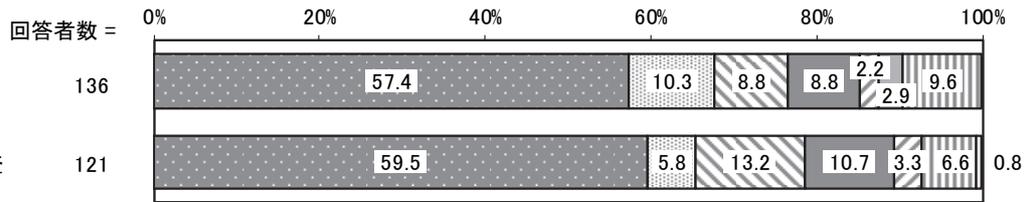
《中学生・女子》

平成 28 年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。

- 育児のために休みをとり、仕事を続ける(育児休業を含む)
- ▨ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける
- ▩ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける
- 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたら家事や子育てに専念する
- ▨ 結婚するまでは仕事を持ち、結婚後から家事や子育てに専念する
- その他
- ▨ わからない
- 無回答

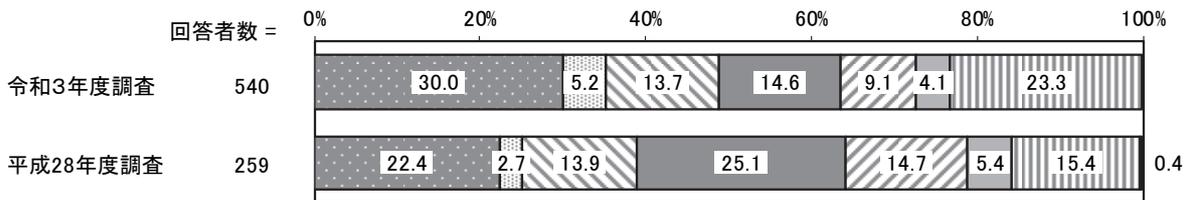


《高校生・女子》



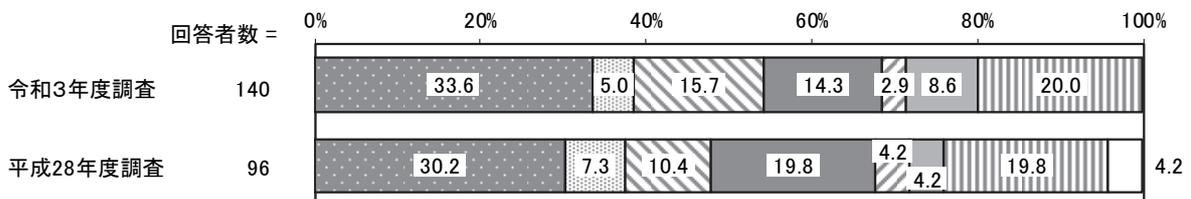
《中学生・男子》

平成 28 年度調査と比較すると、「育児のために休みをとり、仕事を続ける(育児休業を含む)」「わからない」の割合が増加しています。一方、「子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたら家事や子育てに専念する」「結婚するまでは仕事を持ち、結婚後から家事や子育てに専念する」の割合が減少しています。



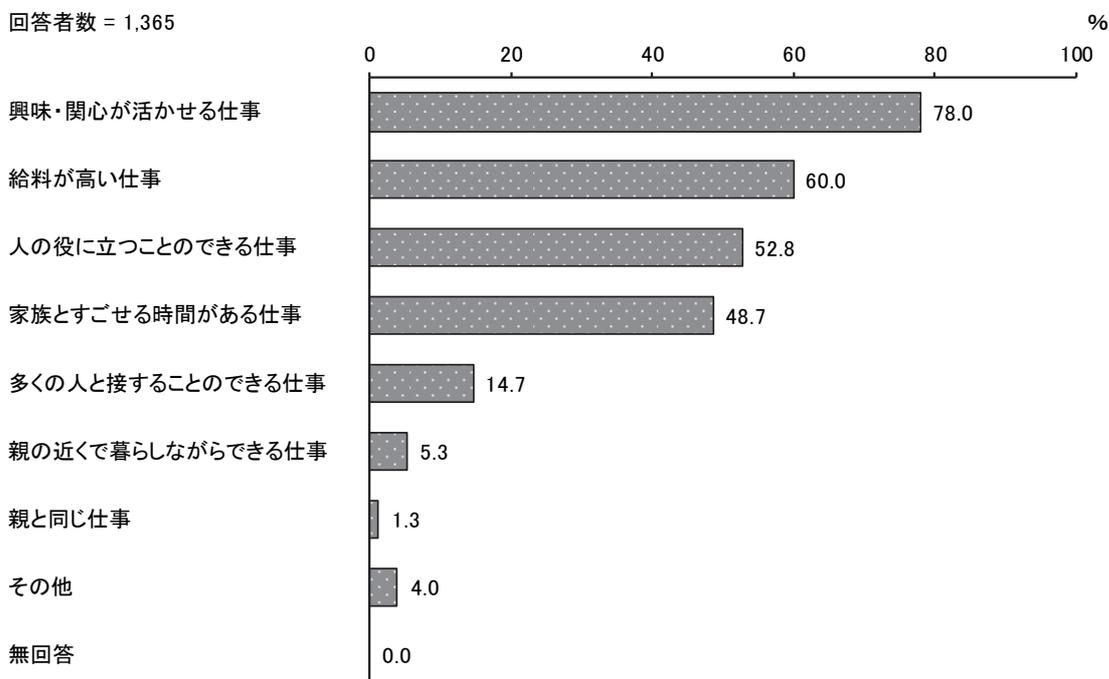
《高校生・男子》

平成 28 年度調査と比較すると、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」の割合が増加しています。一方、「子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたら家事や子育てに専念する」の割合が減少しています。



問11 あなたが仕事を選ぶ時、特に大切に考えたいことは、どんなことですか。
(あてはまるもの3つまで○)

「興味・関心が活かせる仕事」の割合が78.0%と最も高く、次いで「給料が高い仕事」の割合が60.0%、「人の役に立つことのできる仕事」の割合が52.8%となっています。

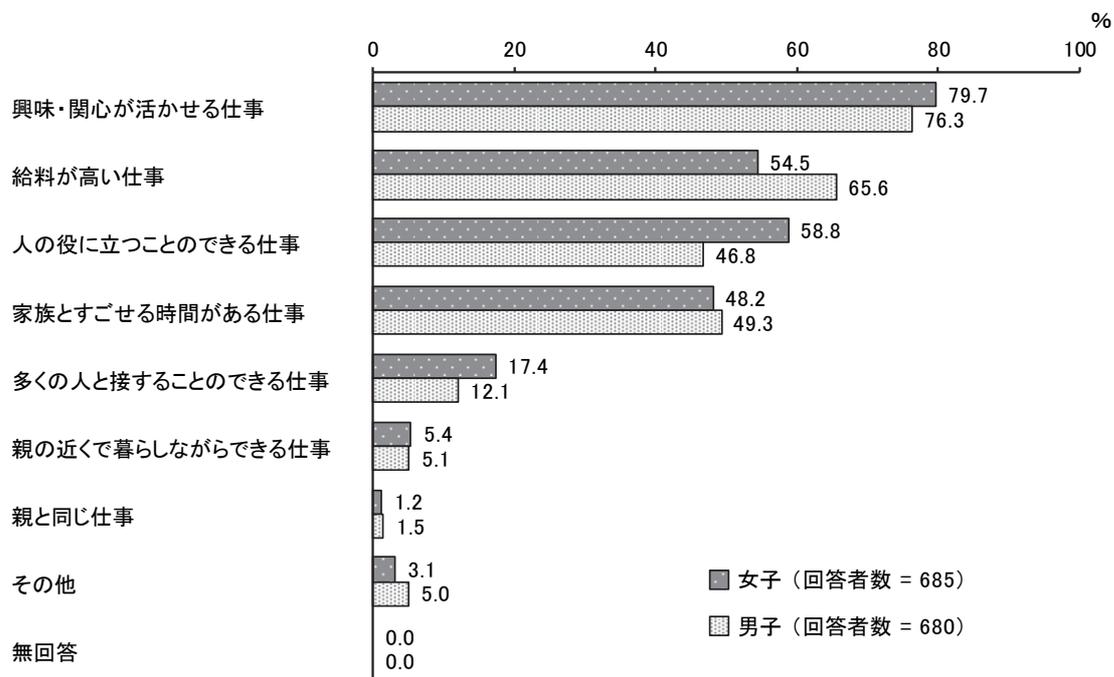


<「その他」の主な内容>

- ・休みがしっかりとれる仕事 (9件)
- ・働き甲斐のある仕事 (4件)
- ・自分の力が最大限に使える仕事 (3件)
- ・楽しい仕事 (2件)
- ・人とのかかわりが少ない仕事 (2件)
- ・不景気がない、給料が一定の職業 (2件)
- ・命を守る
- ・子供に夢や希望を与えられる仕事
- ・人に面白いや楽しいを届ける仕事をしたい
- ・笑顔が絶えない仕事
- ・姉がやっていて憧れている職業
- ・有名になれる仕事
- ・外国人などの自分たちと考え方(生まれた環境などによって変わるもの)と触れ合える仕事
- ・住んでいる場所から職場までの距離やその会社がどのように思われているのかなどの評価や評判など
- ・自分のための時間を残せる仕事 (5件)
- ・人を笑顔にできる仕事 (3件)
- ・ブラック企業ではない仕事 (2件)
- ・自然に関係がある仕事 (2件)
- ・給料が高い仕事 (2件)・楽な仕事 (2件)
- ・会社の雰囲気よさ (2件)
- ・人を助けられる仕事
- ・自分の好きな仕事ができる
- ・ヘマしても怒られない仕事
- ・自分のしたい仕事
- ・自分の得意な分野
- ・作業がしやすい環境がある仕事

【性別】

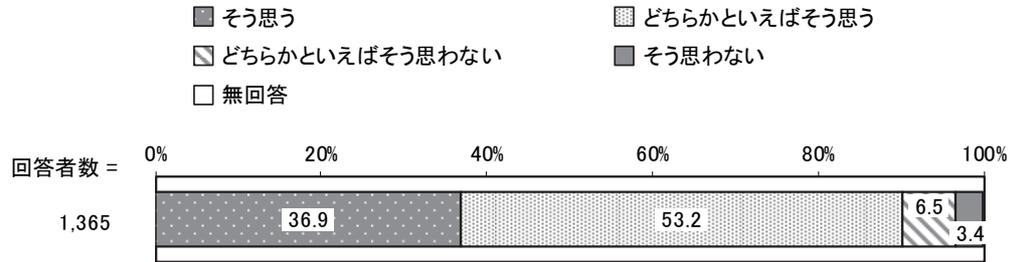
性別でみると、女子に比べ、男子で「給料が高い仕事」の割合が高くなっています。また、女子で「人の役に立つことのできる仕事」の割合が高くなっています。



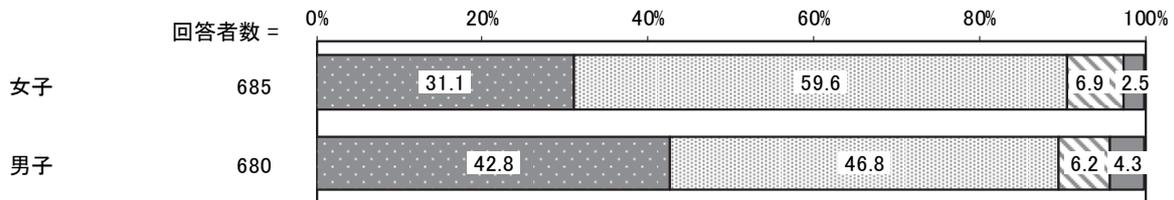
(5) 人権について

問 12 松本市の人権（尊重の）状況『松本市は、基本的な人権が尊重された市政が運営されている』について、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）

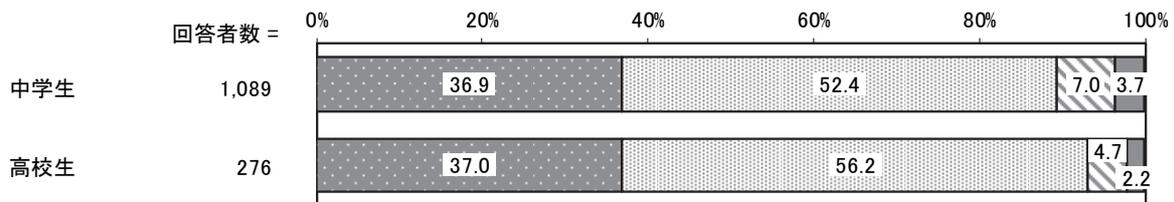
「どちらかといえばそう思う」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 36.9%となっています。



【性別】

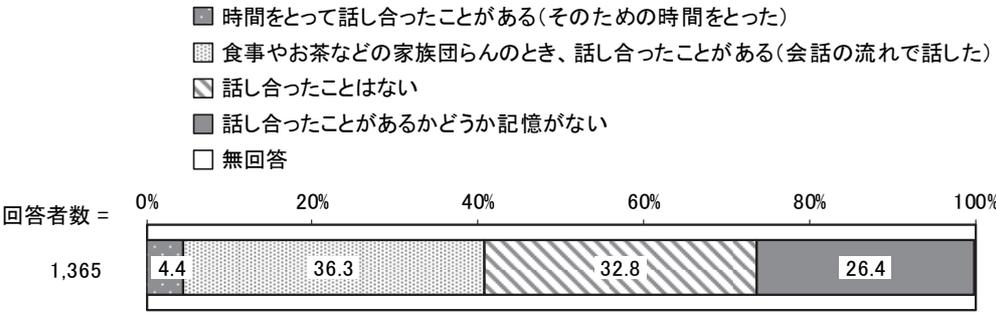


【中高生別】

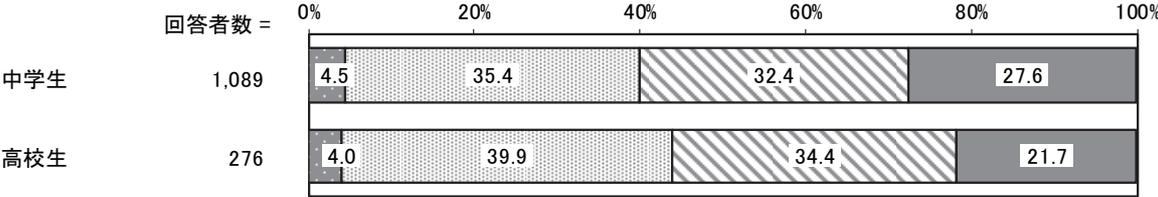


問 13 あなたは、過去 1 年間に差別の問題や人権問題について、家庭で話し合ったことがありますか。(○は1つ)

「食事やお茶などの家族団らんのとき、話し合ったことがある(会話の流れで話した)」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「話し合ったことはない」の割合が 32.8%、「話し合ったことがあるかどうか記憶がない」の割合が 26.4%となっています。

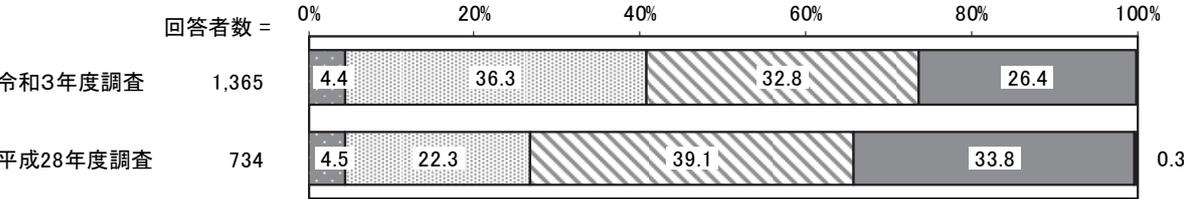


【中高生別】



【前回調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「食事やお茶などの家族団らんのとき、話し合ったことがある(会話の流れで話した)」の割合が増加しています。一方、「話し合ったことはない」「話し合ったことがあるかどうか記憶がない」の割合が減少しています。

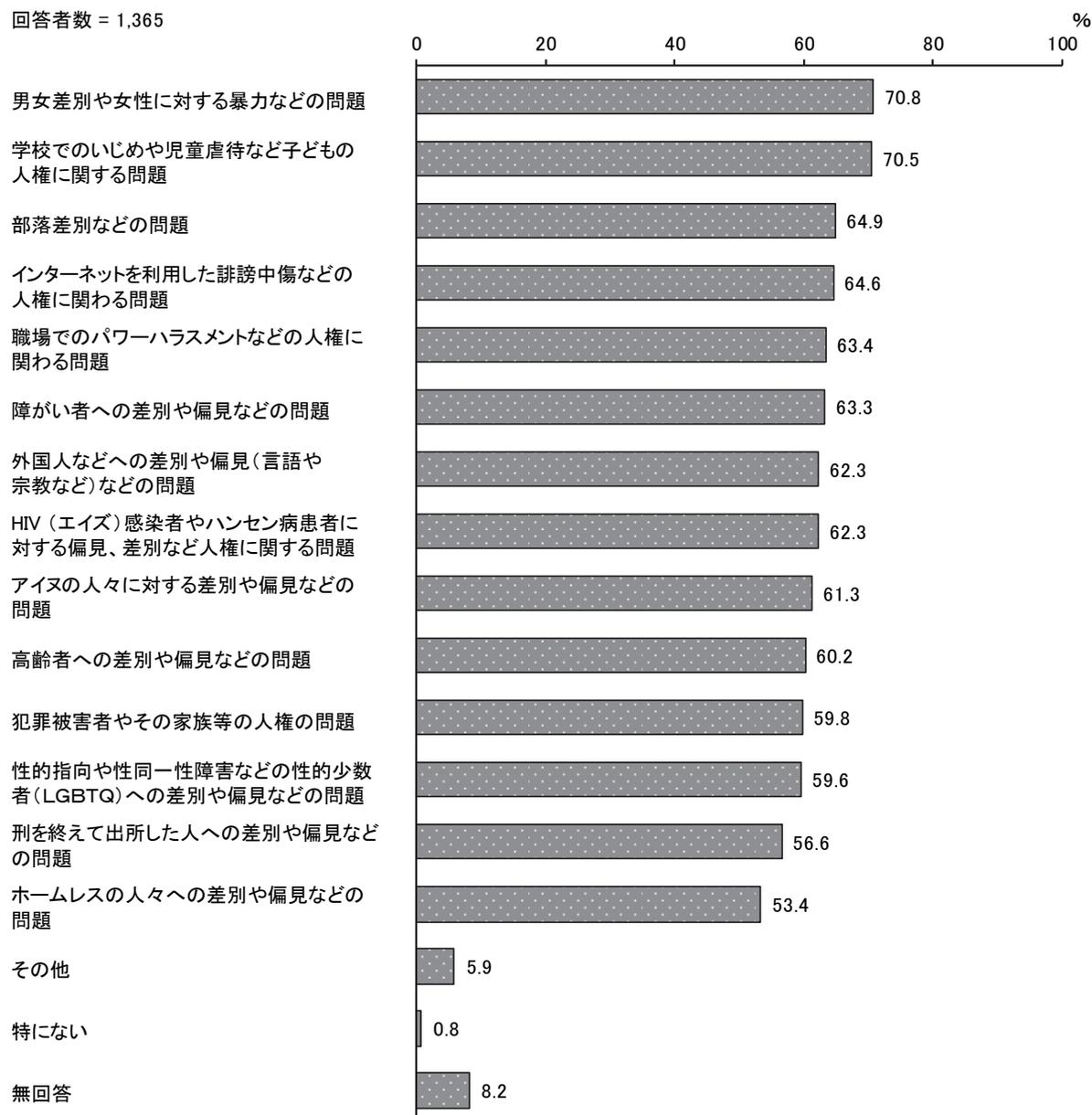


問 14 人権に関わるいろいろな問題についておたずねします。問 14-1 から問 14-3 について、選択肢の中からあてはまる番号をすべて選び、番号に○をしてください。

問 14-1 学んだり、聞いたりしたことがある人権問題

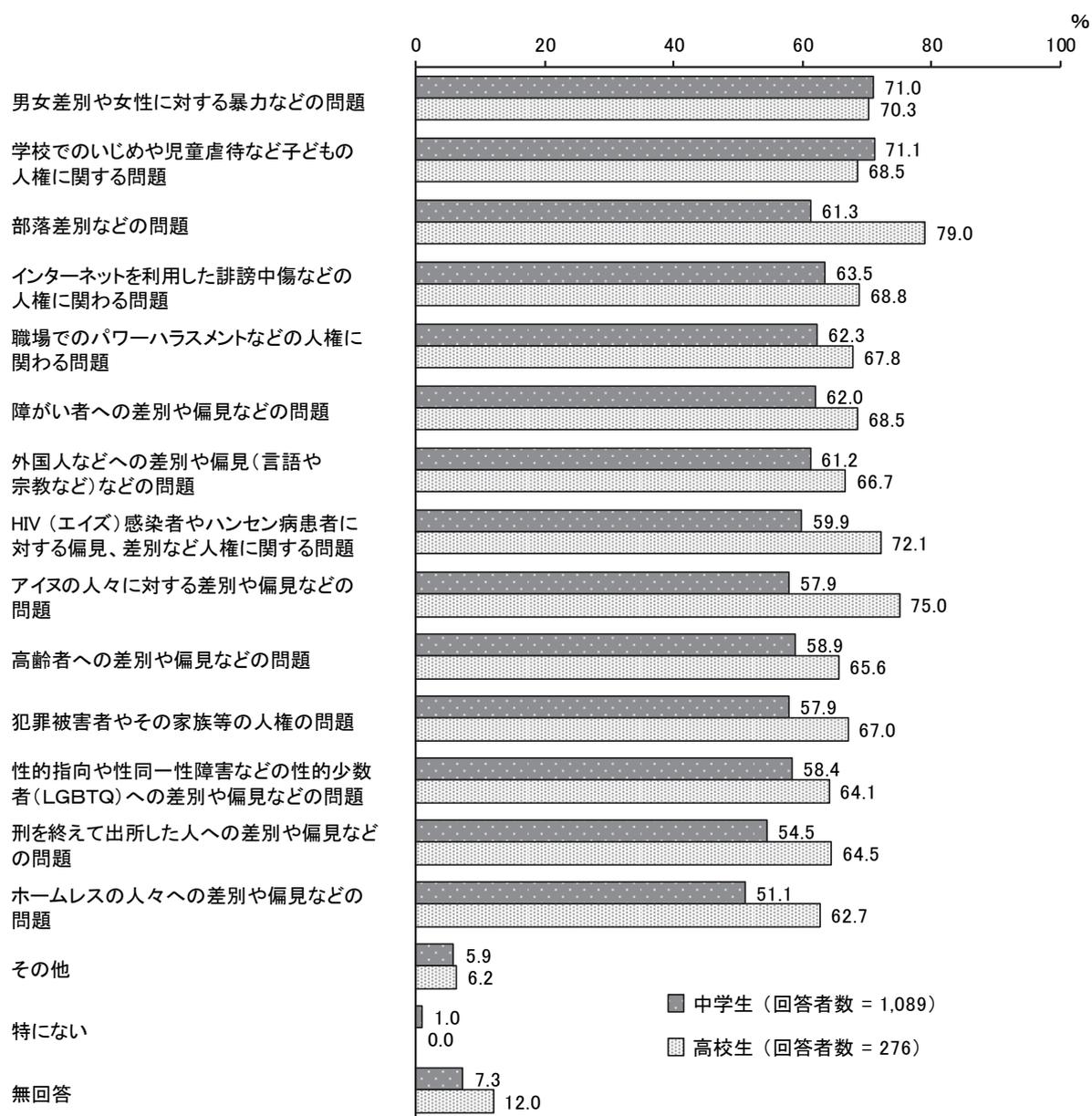
「男女差別や女性に対する暴力などの問題」の割合が 70.8%と最も高く、次いで「学校でのいじめや児童虐待など子どもの人権に関する問題」の割合が 70.5%、「部落差別などの問題」の割合が 64.9%、「インターネットを利用した誹謗中傷などの人種に関わる問題」が 64.6%となっています。

回答者数 = 1,365



【中高生別】

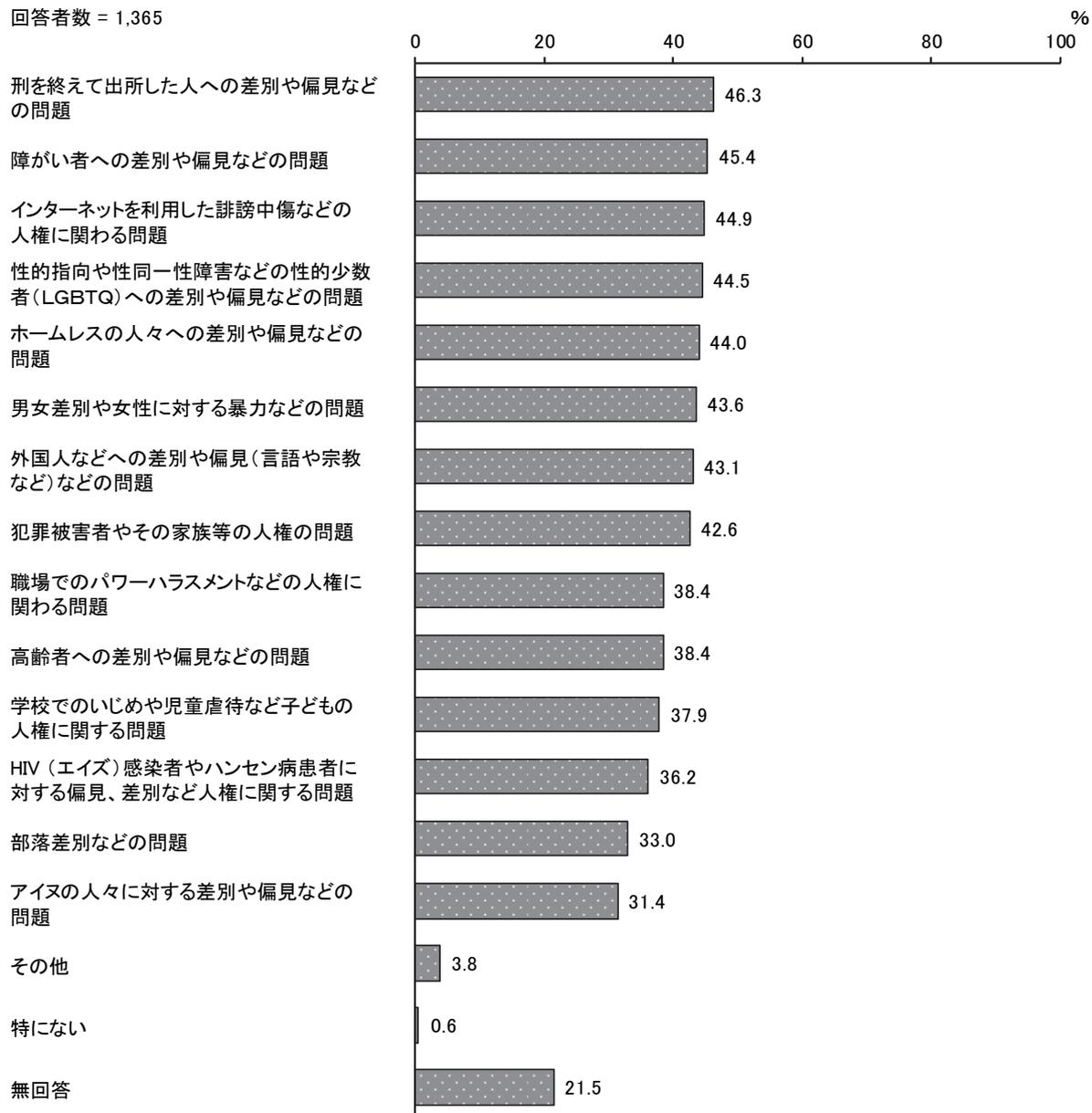
中高生別でみると、中学生に比べ、高校生で「部落差別などの問題」、「アイヌの人々に対する差別や偏見などの問題」、「HIV（エイズ）感染者やハンセン病患者に対する偏見、差別など人権に関する問題」の割合が高くなっています。



問 14-2 まだ差別や偏見があると感じている問題

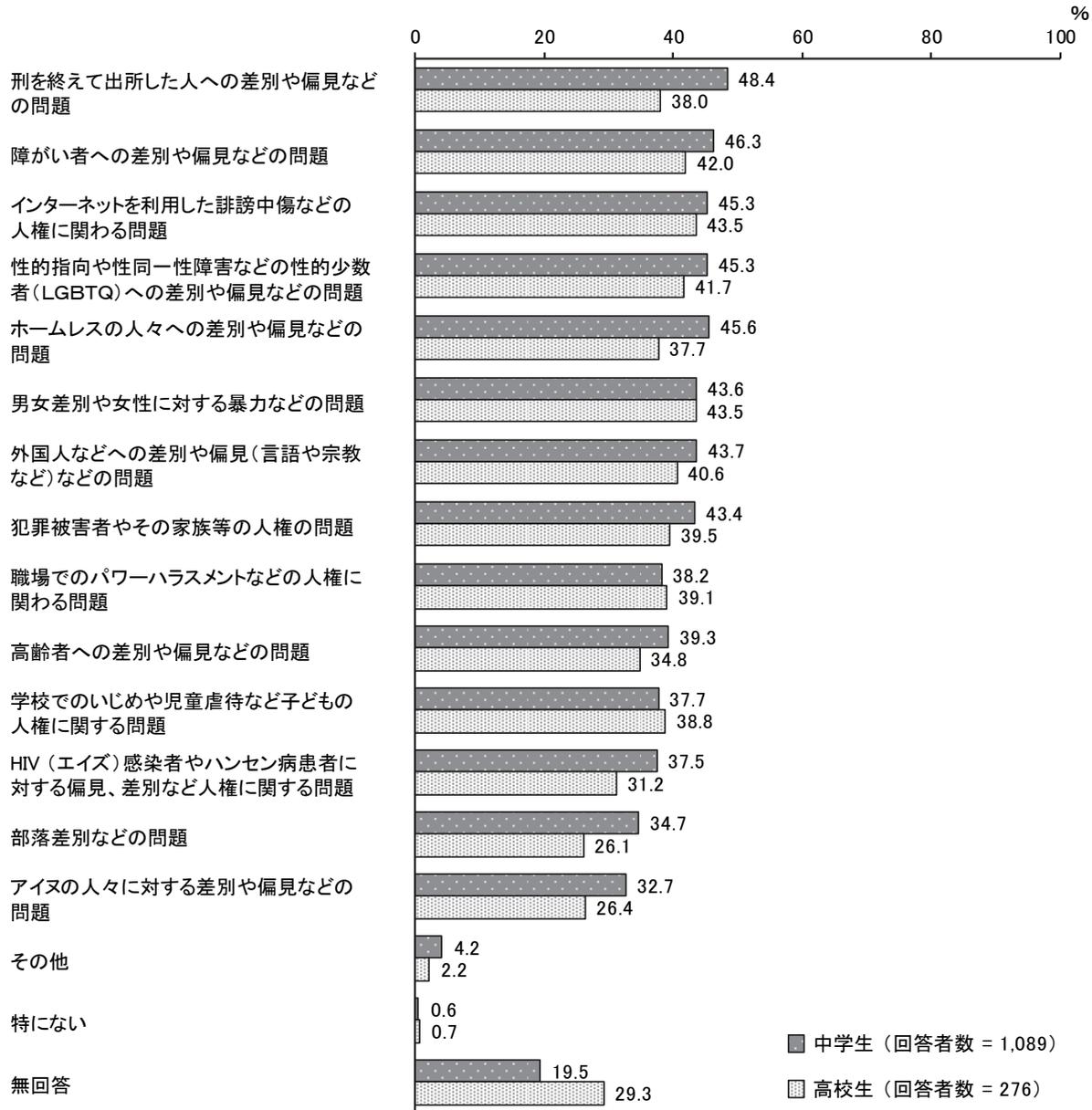
「刑を終えて出所した人への差別や偏見などの問題」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「障がい者への差別や偏見などの問題」の割合が 45.4%、「インターネットを利用した誹謗中傷などの人権に関わる問題」の割合が 44.9%となっています。

回答者数 = 1,365



【中高生別】

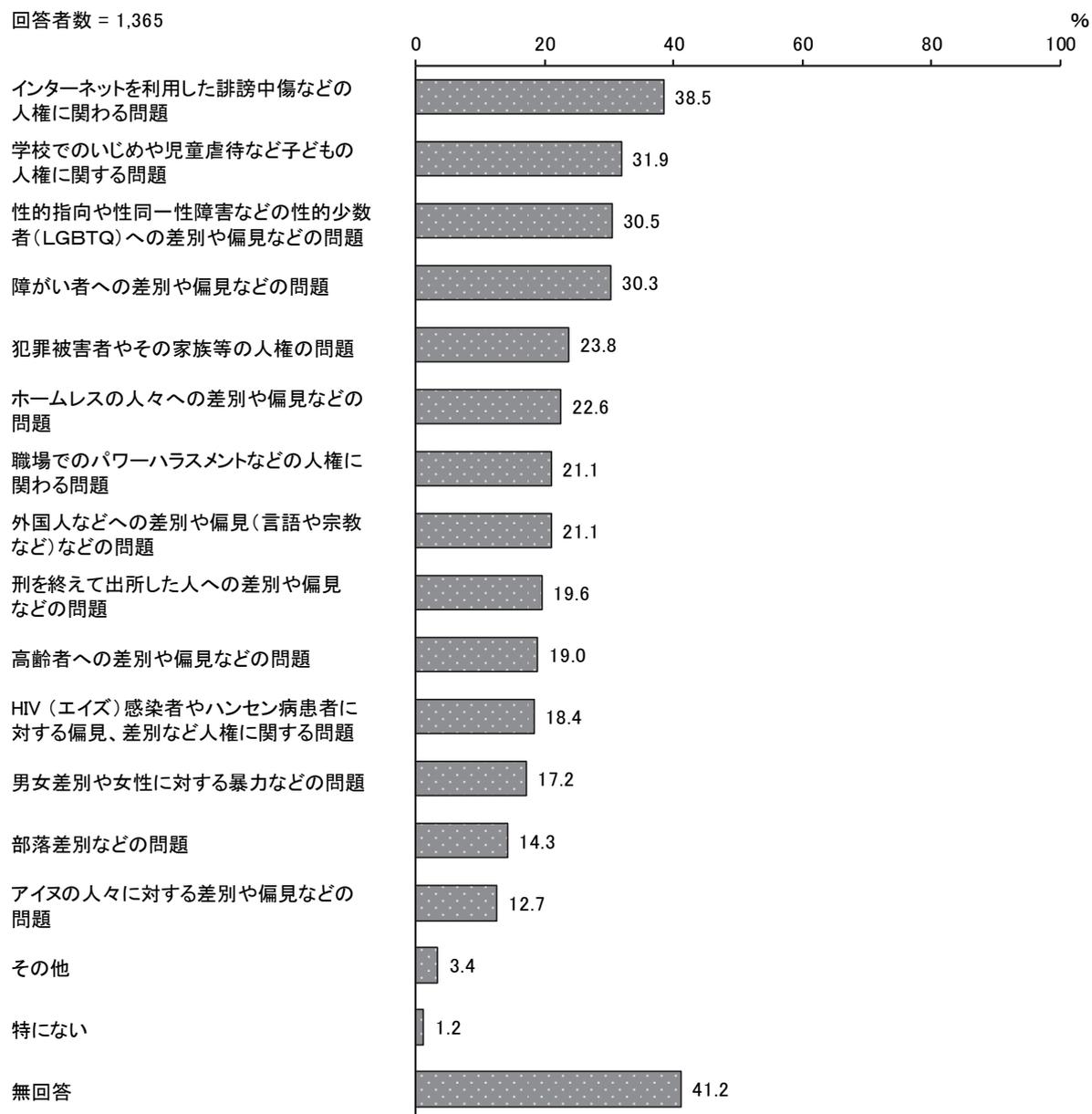
中高生別でみると、高校生に比べ、中学生で「部落差別などの問題」、「刑を終えて出所した人への差別や偏見などの問題」、「ホームレスの人々への差別や偏見などの問題」の割合が高くなっています。



問 14-3 松本市において、重点的に取り組んだ方が良いと思う問題

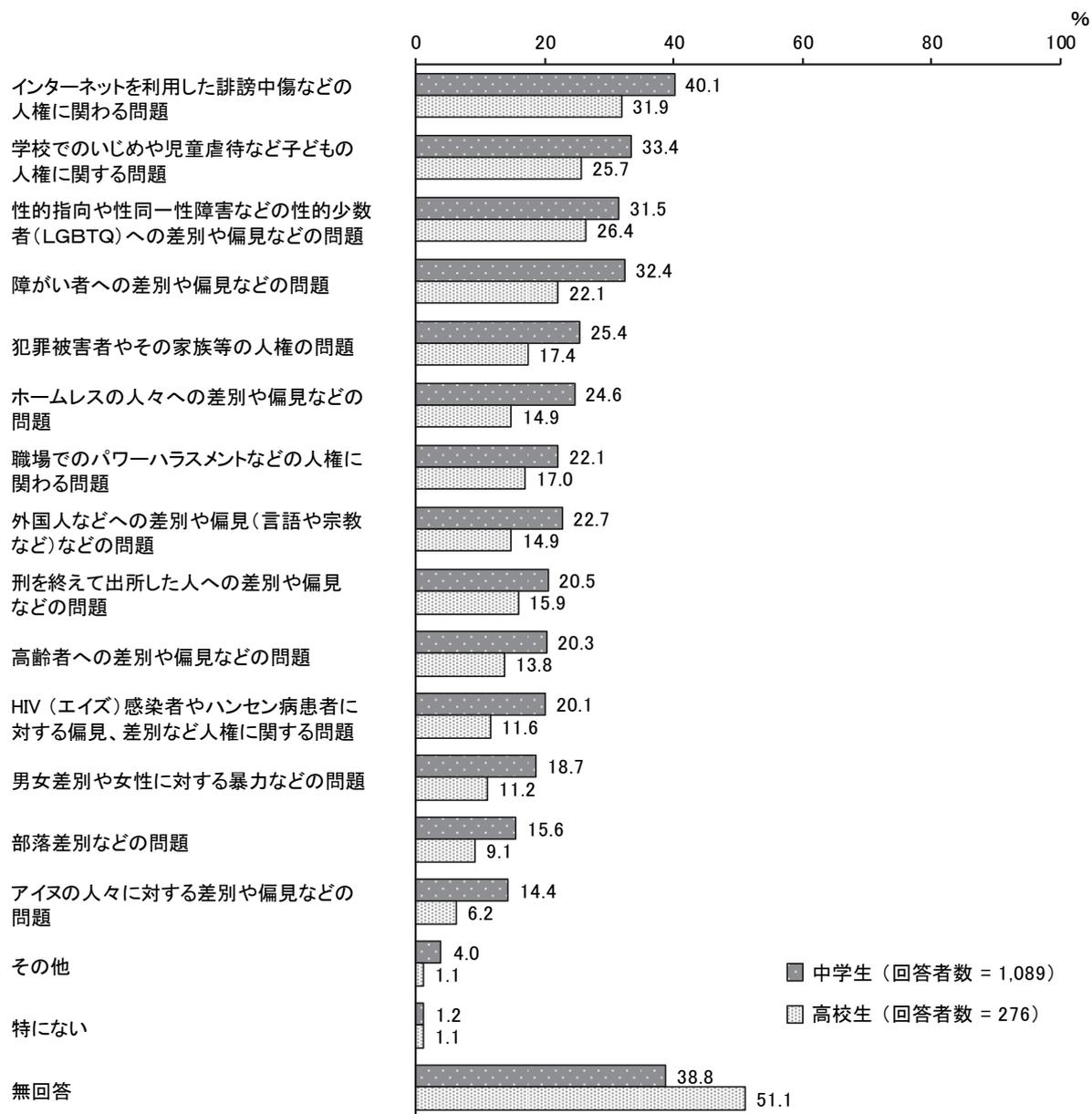
「インターネットを利用した誹謗中傷などの人権に関わる問題」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「学校でのいじめや児童虐待など子どもの人権に関する問題」の割合が 31.9%、「性的指向や性同一性障害などの性的少数者(LGBTQ)への差別や偏見などの問題」の割合が 30.5%、「障がい者への差別や偏見などの問題」の割合が 30.3%となっています。

回答者数 = 1,365



【中高生別】

中高生別でみると、高校生に比べ、中学生で「障がい者への差別や偏見などの問題」、「ホームレスの人々への差別や偏見などの問題」の割合が高くなっています。

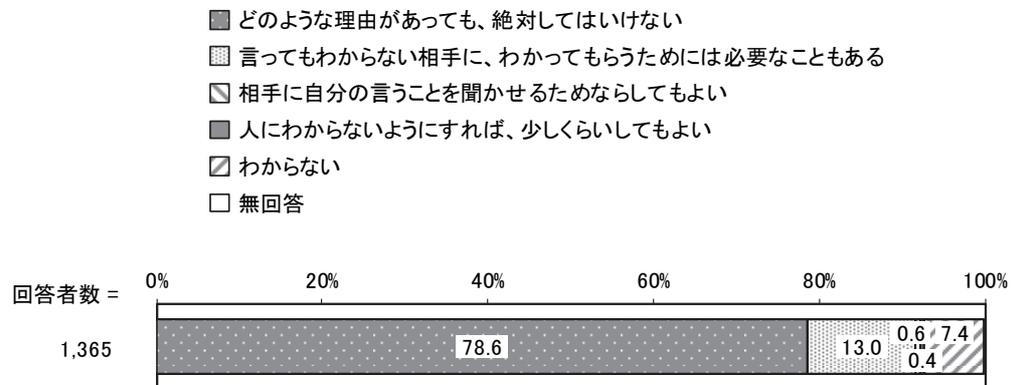


<問 14 「その他」の主な内容>

- ・ スクールカーストの問題
- ・ SDGs
- ・ いじめについての問題 (2 件)
- ・ 松本市は一生ここで暮らしたいと思えるよい街です
- ・ 男性の痴漢冤罪
- ・ コロナウイルスに関係している問題
- ・ 空気汚染
- ・ 同性愛

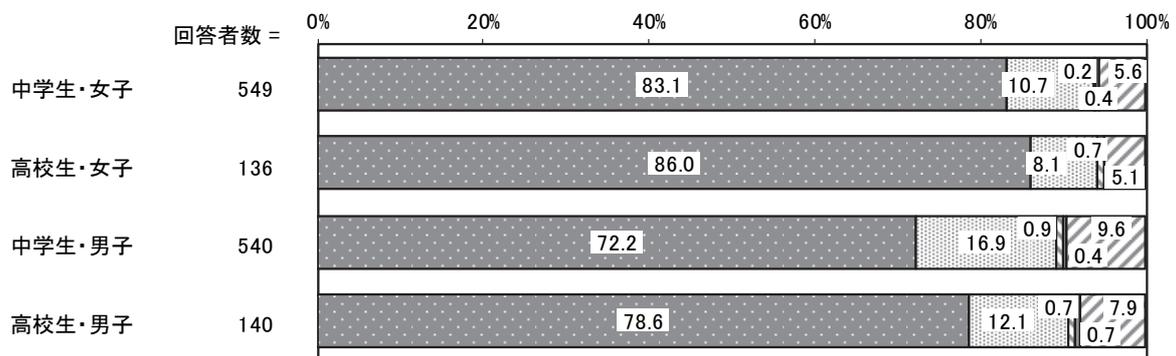
問 15 あなたは「暴力」についてどう思いますか。(〇は1つ)

「どのような理由があっても、絶対してはいけない」の割合が78.6%と最も高く、次いで「言ってもわからない相手に、わかってもらうためには必要なこともある」の割合が13.0%となっています。



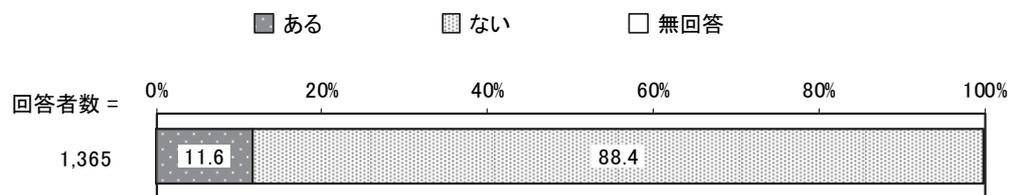
【性・中高生別】

性・中高生別でみると、他に比べ、高校生・女子で「どのような理由があっても、絶対してはいけない」の割合が高くなっています。また、中学生・男子で「言ってもわからない相手に、わかってもらうためには必要なこともある」の割合が高くなっています。



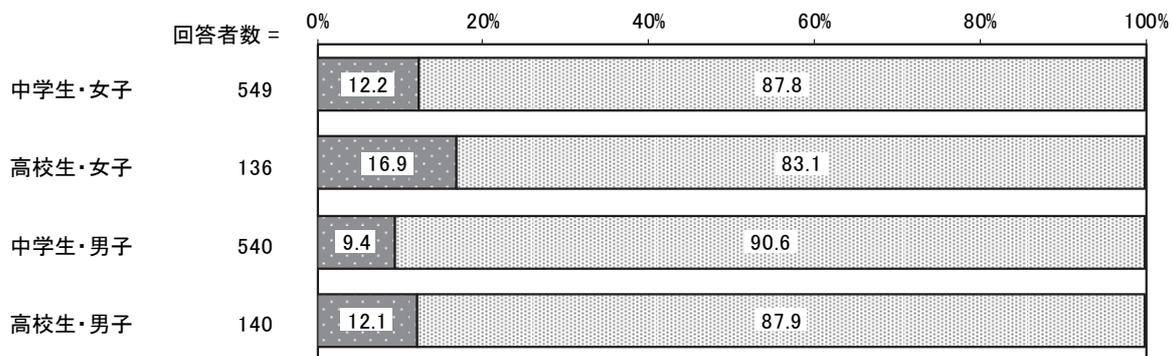
問 16 あなたの身近なところ（保護者や恋人の間）で、虐待やDV（ドメスティック・バイオレンス）を実際に見たり、聞いたり、されたりしたことがありますか。
（○は1つ）

「ある」の割合が11.6%、「ない」の割合が88.4%となっています。

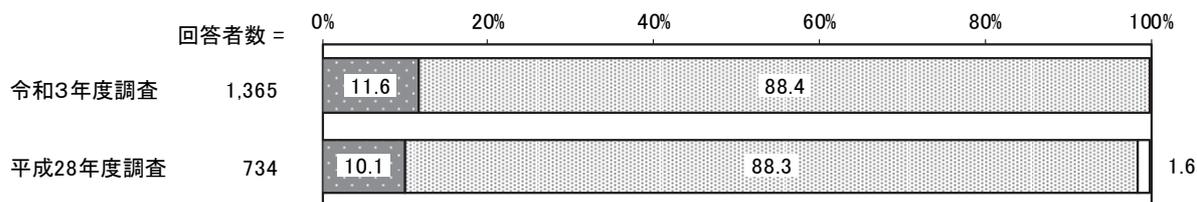


【性・中高生別】

性・中高生別で見ると、他に比べ、高校生・女子で「ある」の割合が高くなっています。また、中学生・男子で「ない」の割合が高くなっています。



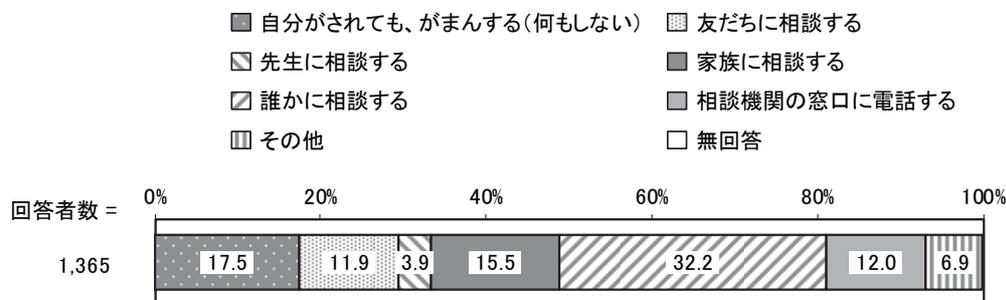
【前回調査との比較】



問17 あなたは、虐待やDVをされたり、見たりした時、どのようにしますか。今までにそのような経験のない方は、仮定してお答えください。(〇はそれぞれ1つ)

自分がされた時

「誰かに相談する」の割合が32.2%と最も高く、次いで「自分がされても、がまんする(何もしない)」の割合が17.5%、「家族に相談する」の割合が15.5%となっています。

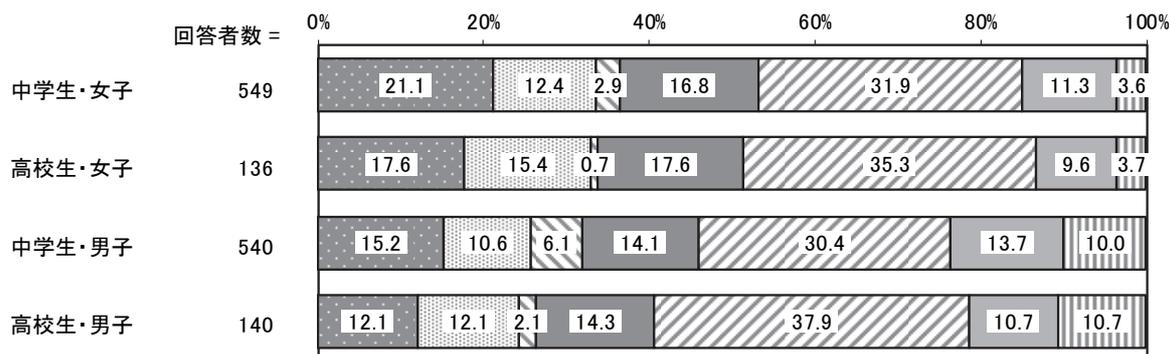


<「その他」の主な内容>

- ・警察に通報する (27件)
- ・やり返す (10件)
- ・訴える (7件)
- ・反撃する (9件)
- ・自分で解決する (3件)
- ・抵抗する (2件)
- ・別れる (3件)
- ・社会的に制裁を下す (2件)
- ・制裁を受けてもらう (2件)
- ・法律事務所に相談する (2件)
- ・自分の身を守る (2件)
- ・誰にも相談できない (2件)・逃げる
- ・児童相談所に相談する
- ・縄で縛って今までの苦痛を開放する
- ・ネットに書く
- ・決して手は出さないが反論する
- ・経済的に厳しく、何もしない
- ・場合による
- ・自分の存在を押し殺す
- ・確実に信用できる機関へ相談する
- ・脅されて「誰かに相談するな」と言われたら我慢すると思う
- ・最初は我慢するけど、度が過ぎると、信頼できる友達や、家族に相談する
- ・自分がされているときは我慢する友達がされているときは話を聞いてあげる
- ・溜め込む

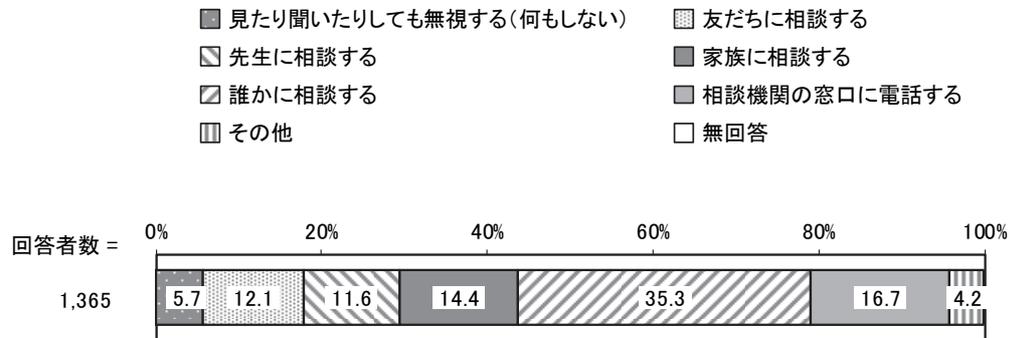
【性・中高生別】

性・中高生別でみると、他に比べ、中学生・女子で「自分がされても、がまんする(何もしない)」の割合が高くなっています。



見たり聞いたりした時

「誰かに相談する」の割合が35.3%と最も高く、次いで「相談機関の窓口に電話する」の割合が16.7%、「家族に相談する」の割合が14.4%となっています。

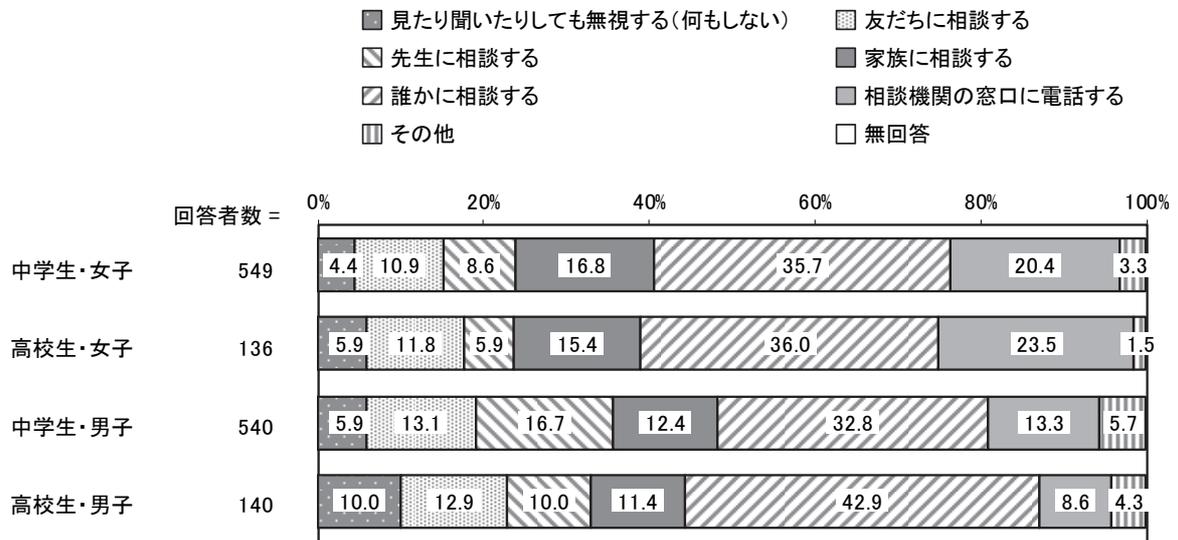


<「その他」の主な内容>

- ・警察署に通報する (18 件)
- ・反撃する (3 件)
- ・やめさせるようにする (2 件)
- ・脅す
- ・されている人による
- ・どうしようもない
- ・盗聴器などをプレゼントする
- ・その人が助けて欲しいように、周りの人に話す
- ・自分ならどうするかシミュレーションする
- ・家族間で行われてしまっていることならどうにも動けない
- ・被害者に話を聞いて必要だったら、どこかに相談したり、力になる
- ・聞いた人に自分が相談した方がよいか聞いてから相談窓口に電話する
- ・傷つかない程度に本人に聞いてみる
- ・助ける (6 件)
- ・DV 行為をされた人の相談を受ける (3 件)
- ・見て見ぬふりをする (2 件)
- ・止めに行く
- ・その家族の人に言う
- ・確実に信用できる機関へ相談する
- ・様子を見る
- ・場合による (3 件)
- ・訴える

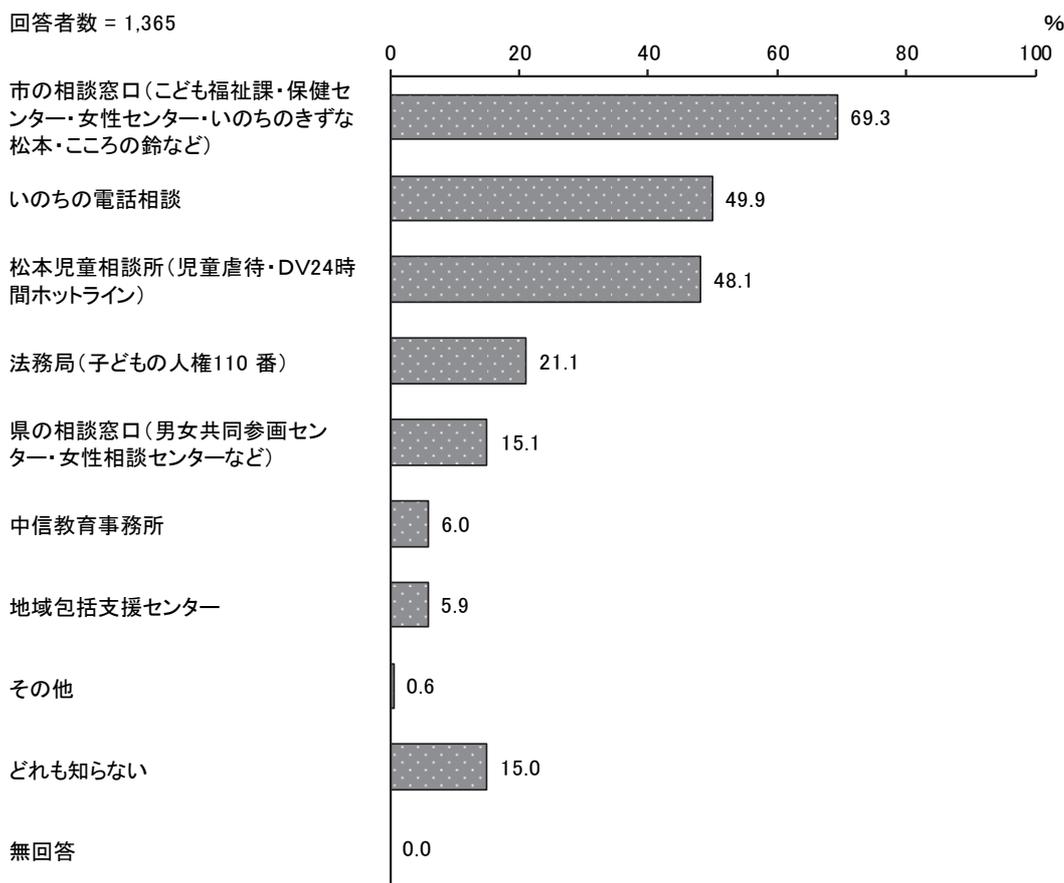
【性・中高生別】

性・中高生別で見ると、他に比べ、中学生・男子で「先生に相談する」の割合が高くなっています。また、高校生・男子で「誰かに相談する」の割合が高くなっています。



問 18 あなたは、家族の中での虐待や暴力などについての悩みを相談できる機関があることを知っていますか。ご存知のものをすべてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

「市の相談窓口（こども福祉課・保健センター・女性センター・いのちのきずな松本・こころの鈴など）」の割合が 69.3%と最も高く、次いで「いのちの電話相談」の割合が 49.9%、「松本児童相談所（児童虐待・DV24時間ホットライン）」の割合が 48.1%となっています。

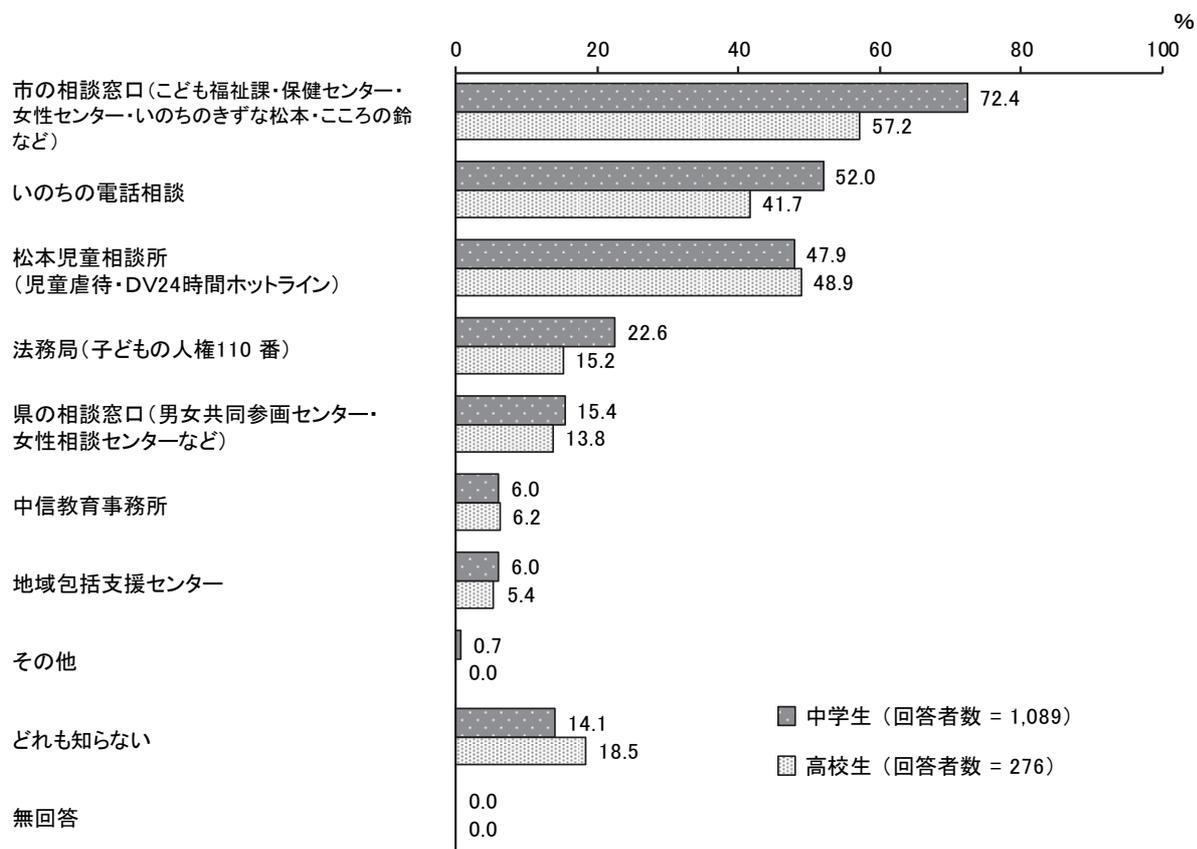


<「その他」の主な内容>

- ・心の鈴
- ・警察
- ・学校の先生
- ・知っている
- ・しようとは思わない
- ・はぐルッポ、チャイルドライン
- ・学校生活相談センター

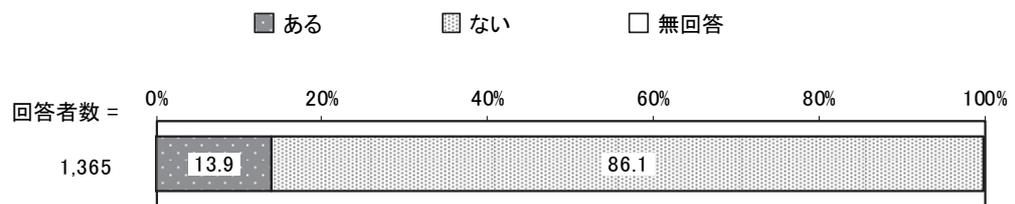
【中高生別】

中高生別でみると、高校生に比べ、中学生で「市の相談窓口（こども福祉課・保健センター・女性センター・いのちのきずな松本・こころの鈴など）」「いのちの電話相談」の割合が高くなっています。

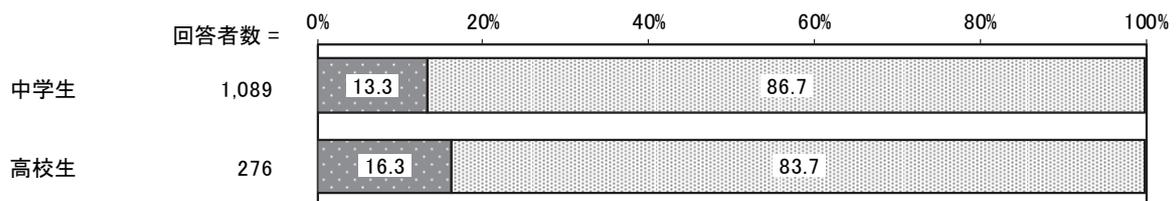


**問 19 あなたは今までに、ご自分の人権が侵害され、または誹謗中傷を受けたと
 ことがありますか。(○は1つ)**

「ある」の割合が13.9%、「ない」の割合が86.1%となっています。

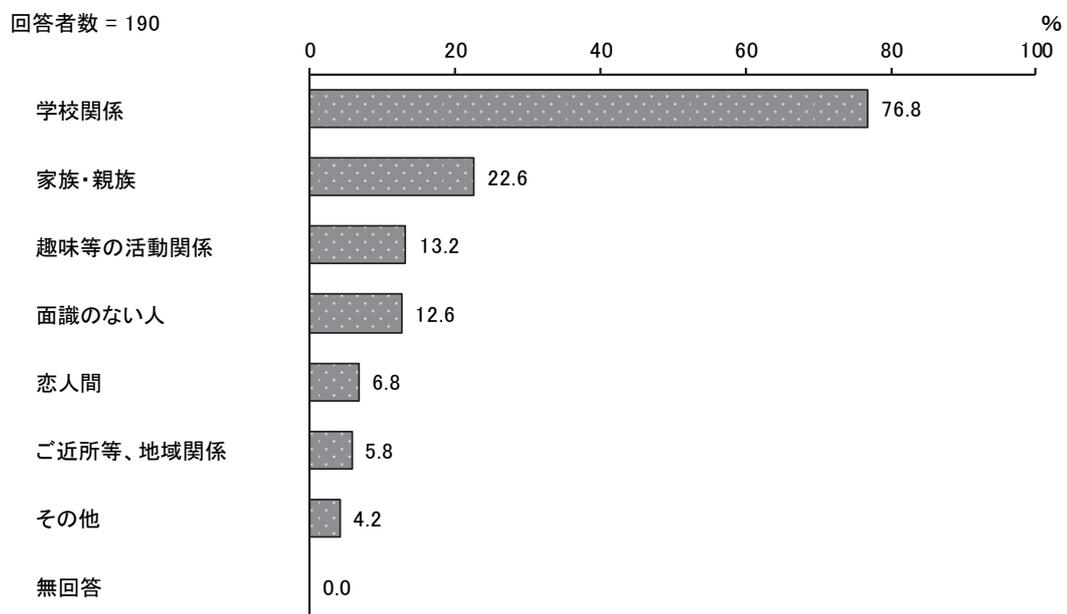


【中高生別】



**問 19-1 どのような関係の中で、人権侵害をされ、または誹謗中傷を受けたと思いま
 したか。(あてはまるものすべてに○)**

「学校関係」の割合が76.8%と最も高く、次いで「家族・親族」の割合が22.6%、「趣味等の活動関係」の割合が13.2%となっています。

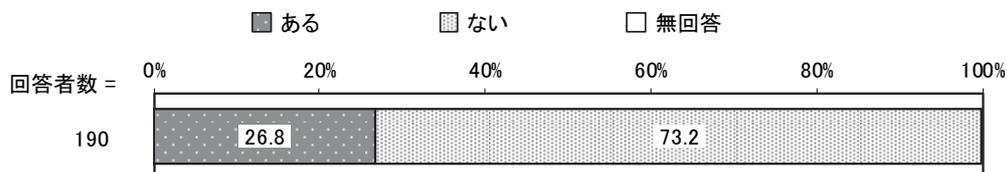


<「その他」の主な内容>

- ・知らない人 (2件)
- ・先生
- ・中学校の生徒
- ・インターネット
- ・SNS
- ・友達

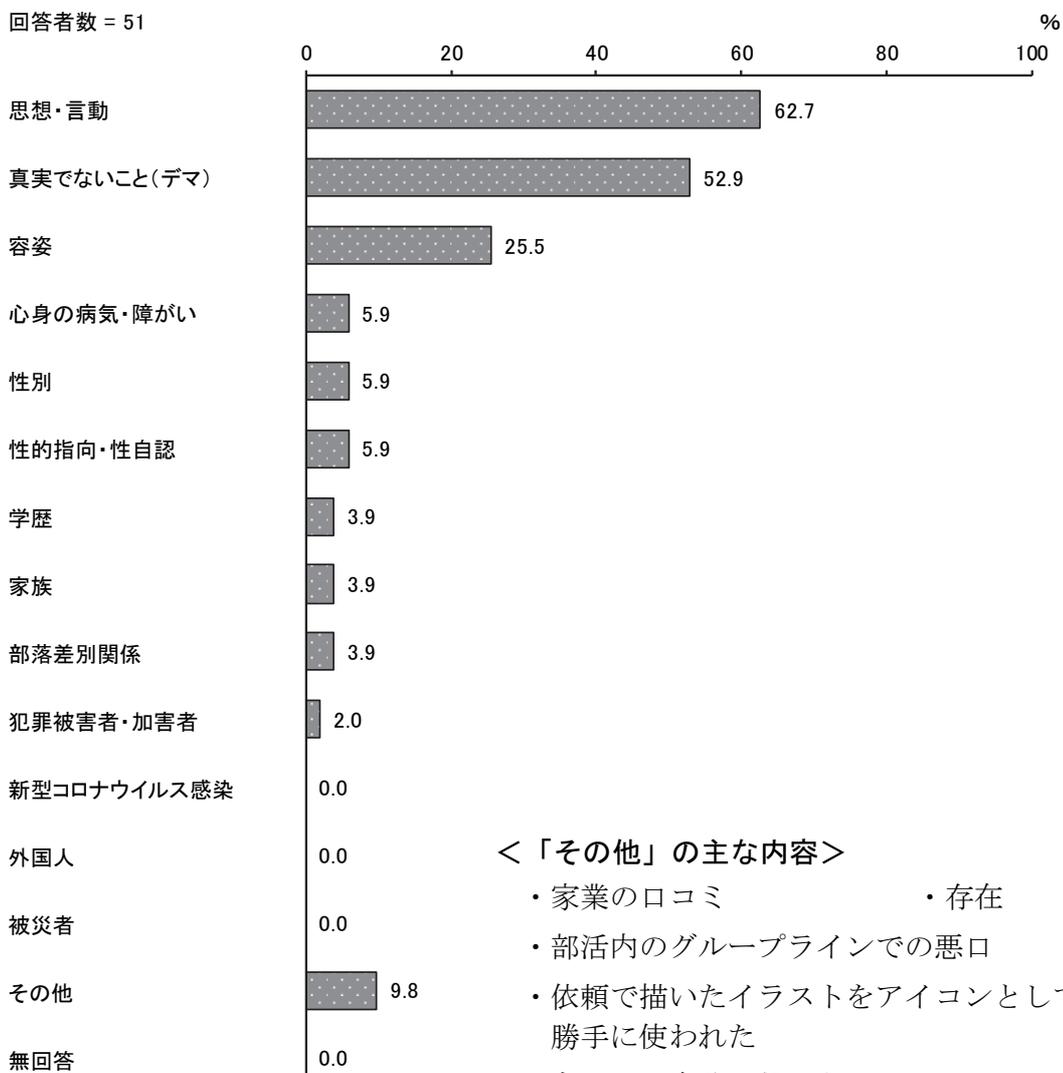
問 19-2 あなたは、インターネット（SNS（LINE、ツイッター、YouTube等）を通して、人権侵害をされ、または誹謗中傷を受けたと覚ったことがありますか。（○は1つ）

「ある」の割合が26.8%、「ない」の割合が73.2%となっています。



問 19-3 どのような内容で、インターネットを通して、人権侵害をされ、または誹謗中傷を受けたと覚ったことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

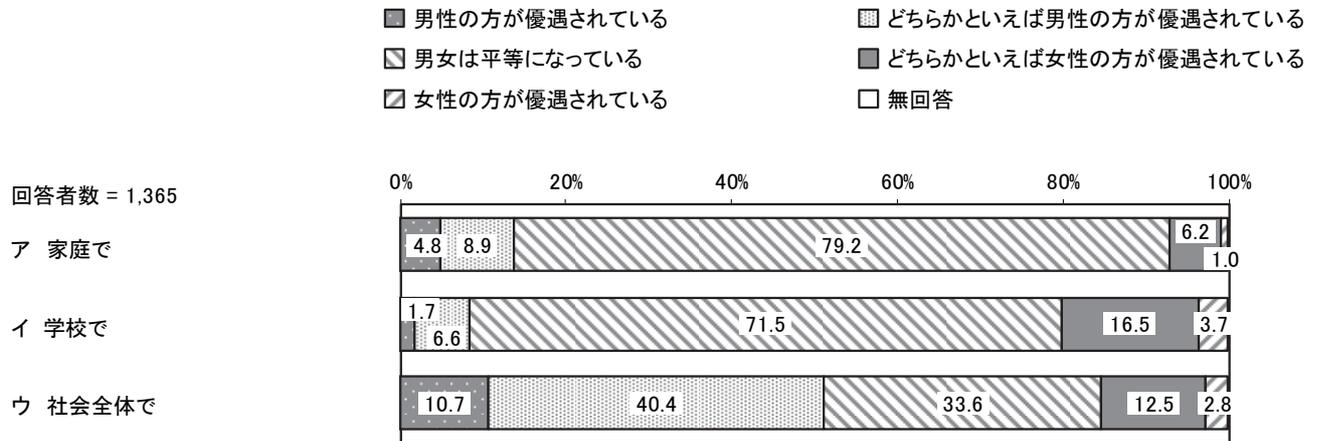
「思想・言動」の割合が62.7%と最も高く、次いで「真実でないこと(デマ)」の割合が52.9%、「容姿」の割合が25.5%となっています。



(6) 男女共同参画について

問 20 あなたは、以下ア～ウの分野で男女は平等な立場になっていると思いますか。

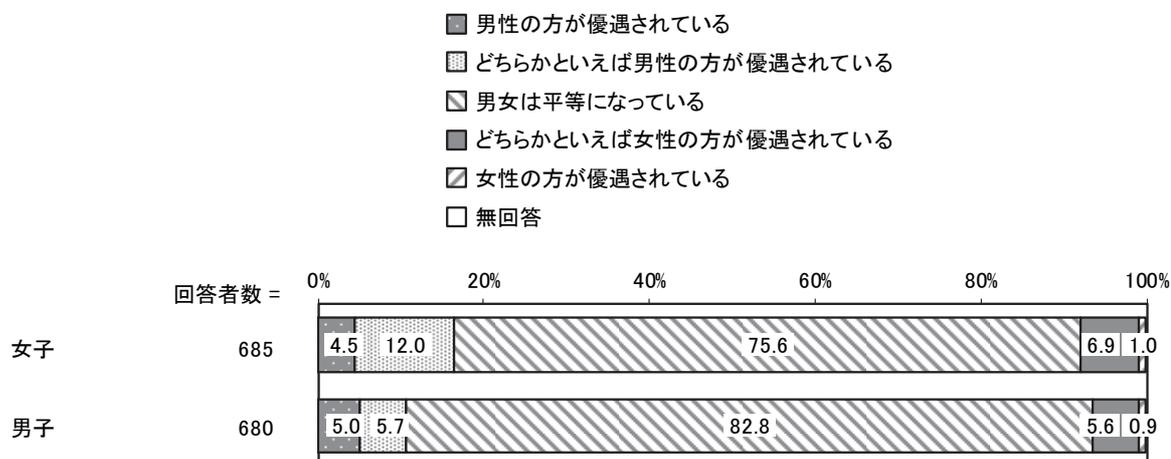
『社会全体』で「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた“男性の方が優遇されている”の割合が51.1%と高くなっています。



ア 家庭で

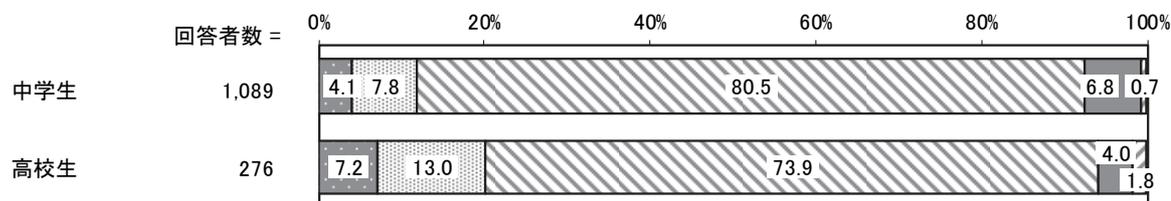
【性別】

性別でみると、女子に比べ、男子で「男女は平等になっている」の割合が高くなっています。また、女子で「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。



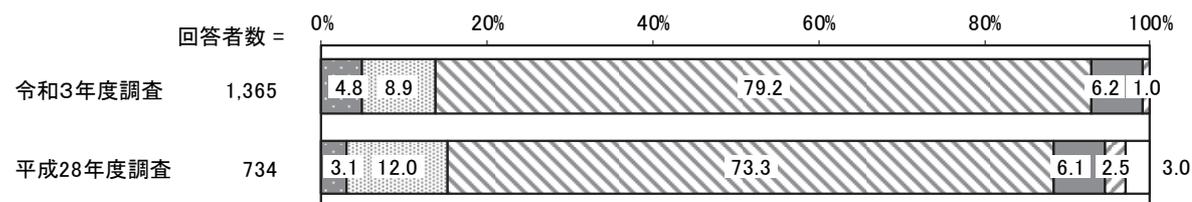
【中高生別】

中高生別でみると、高校生に比べ、中学生で「男女は平等になっている」の割合が高くなっています。また、高校生で「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。



【前回調査との比較】

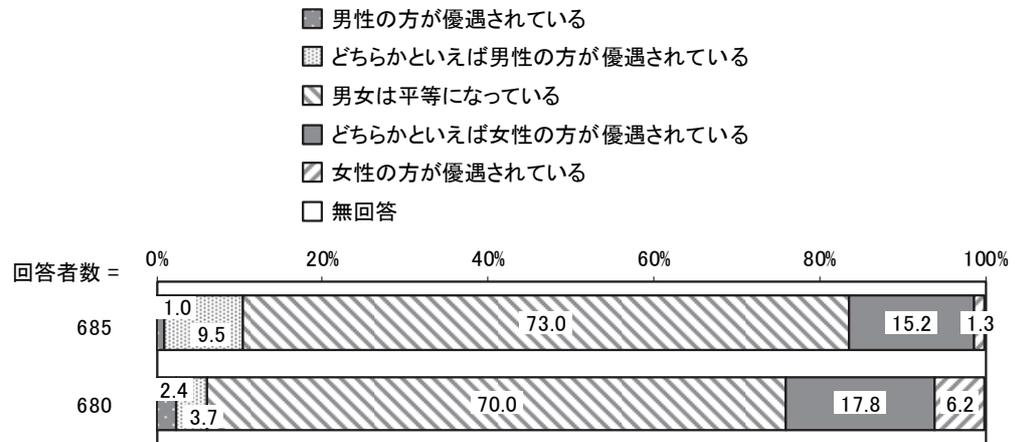
平成28年度調査と比較すると、「男女は平等になっている」の割合が増加しています。



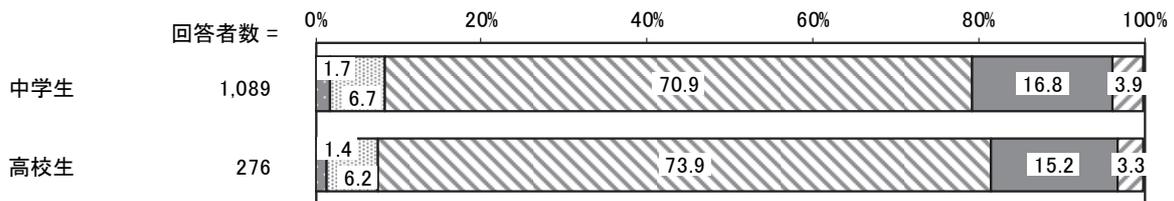
イ 学校で

【性別】

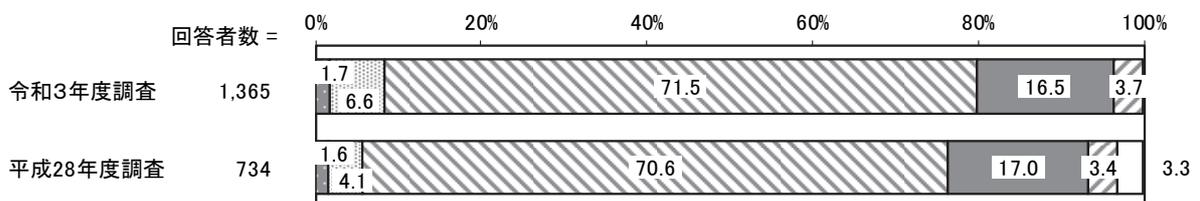
性別で見ると、男子に比べ、女子で「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。



【中高生別】



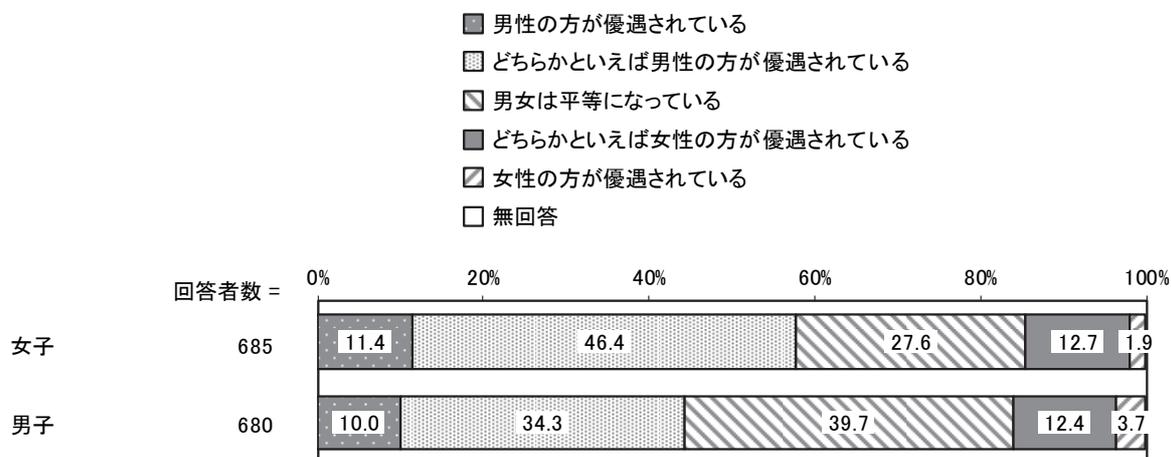
【前回調査との比較】



ウ 社会全体で

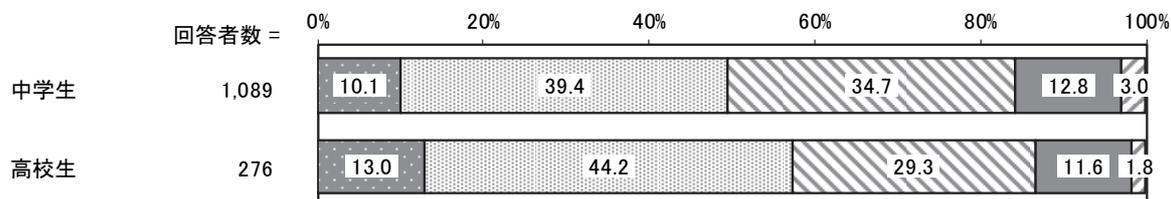
【性別】

性別でみると、男子に比べ、女子で「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。また、男子で「男女は平等になっている」の割合が高くなっています。



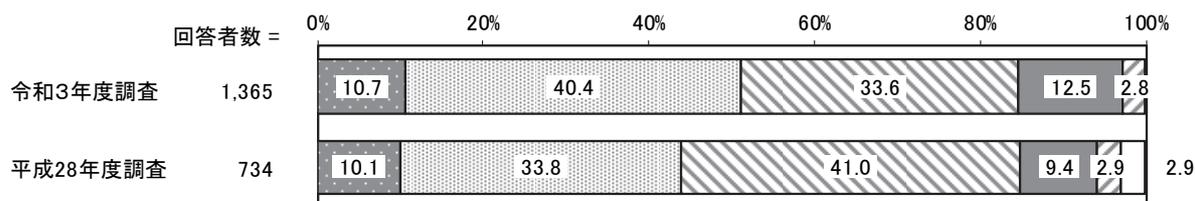
【中高生別】

中高生別でみると、中学生に比べ、高校生で「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。



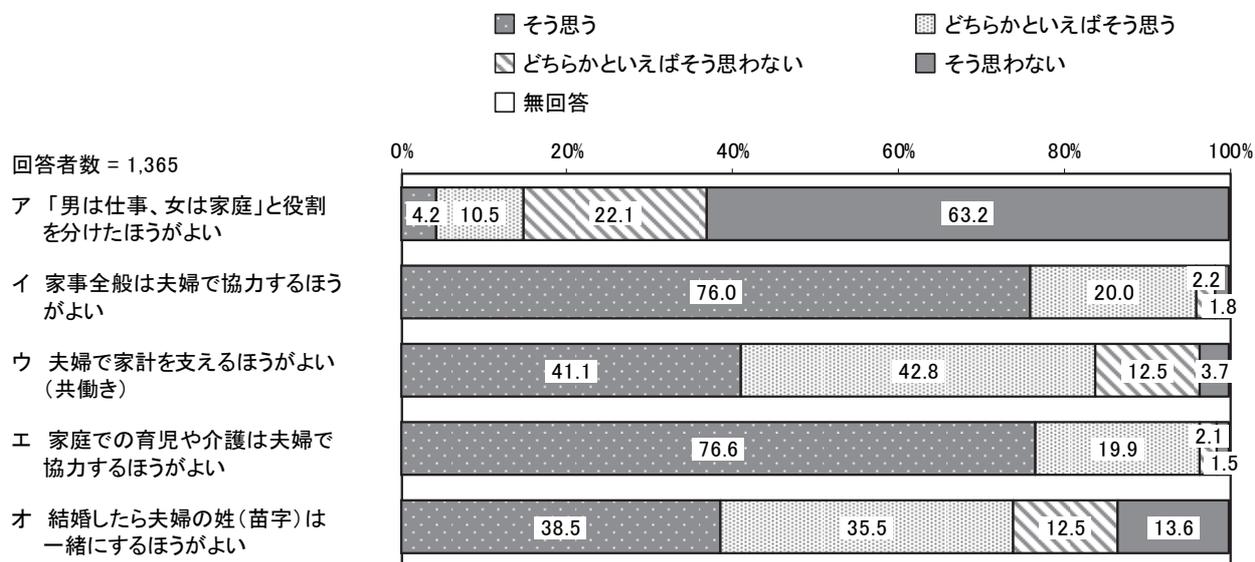
【前回調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた“男性の方が優遇されている”の割合が増加しています。一方、「男女は平等になっている」の割合が減少しています。



問 21 あなたは、以下のア～オの考え方についてどう思いますか。

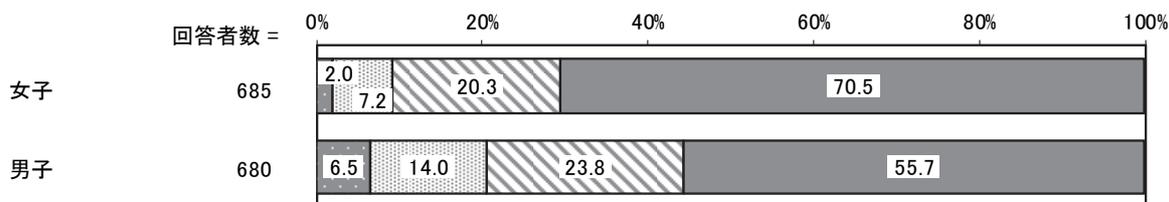
『家事全般は夫婦で協力するほうがよい』『家庭での育児や介護は夫婦で協力するほうがよい』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が高くなっています。また、『「男は仕事、女は家庭」と役割を分けたほうがよい』で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合が高くなっています。



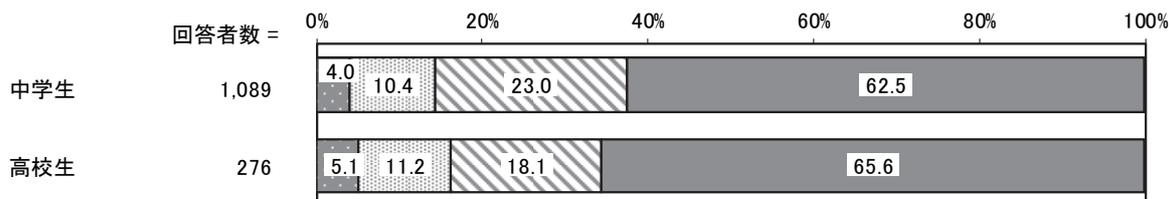
ア 「男は仕事、女は家庭」と役割を分けたほうがよい

【性別】

性別でみると、男子に比べ、女子で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合が高くなっています。

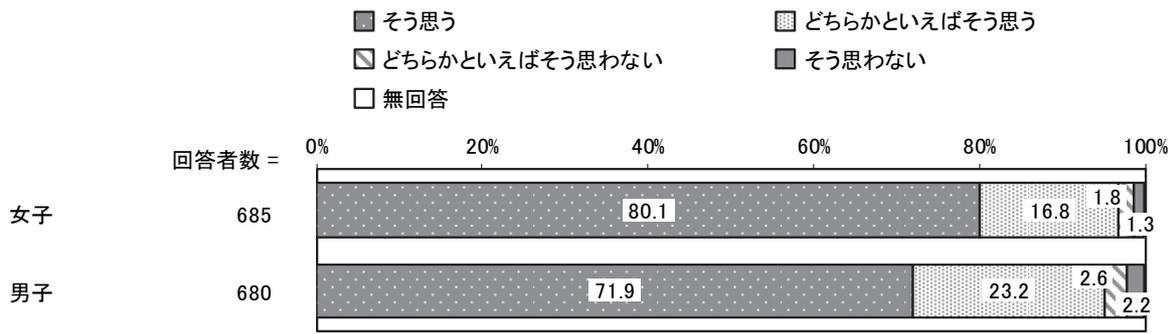


【中高生別】

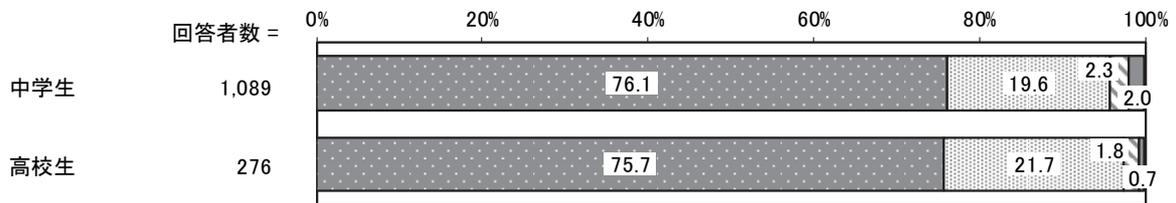


イ 家事全般は夫婦で協力するほうがよい

【性別】



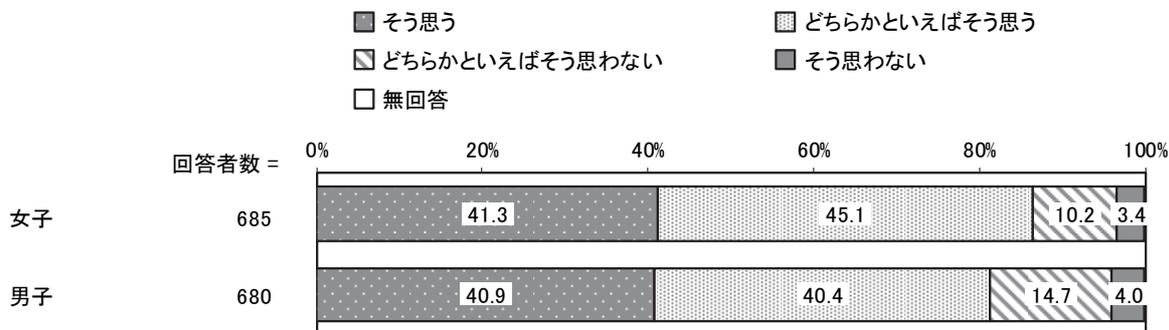
【中高生別】



ウ 夫婦で家計を支えるほうがよい（共働き）

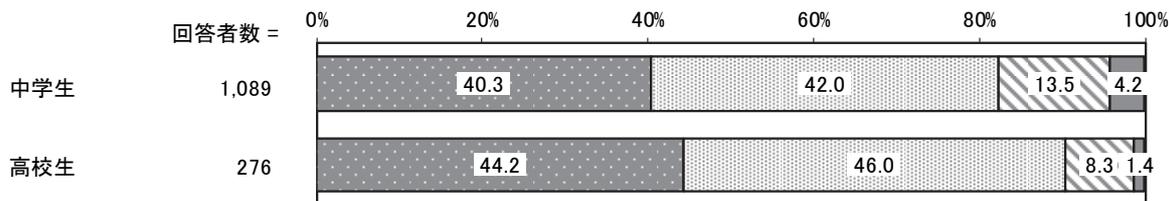
【性別】

性別でみると、男子に比べ、女子で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が高くなっています。



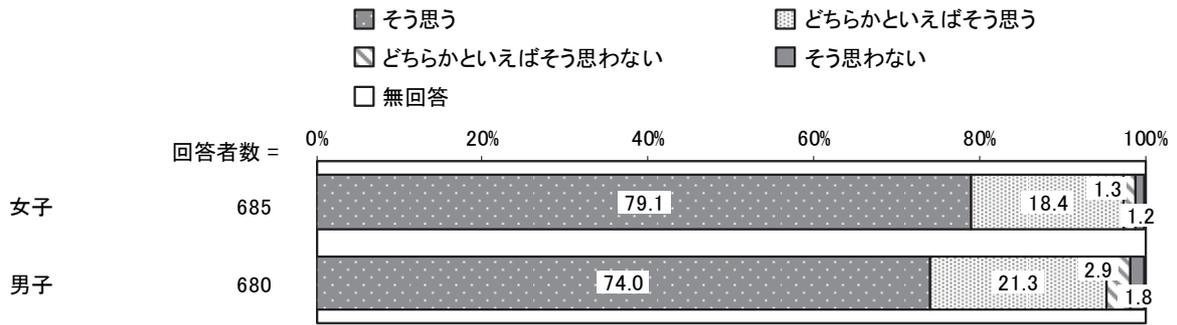
【中高生別】

中高生別でみると、中学生に比べ、高校生で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が高くなっています。

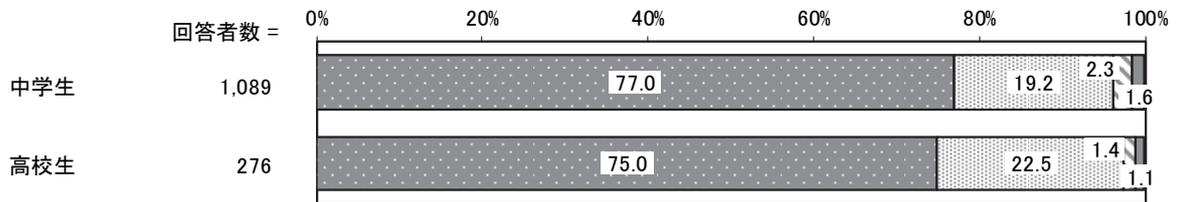


エ 家庭での育児や介護は夫婦で協力するほうがよい

【性別】



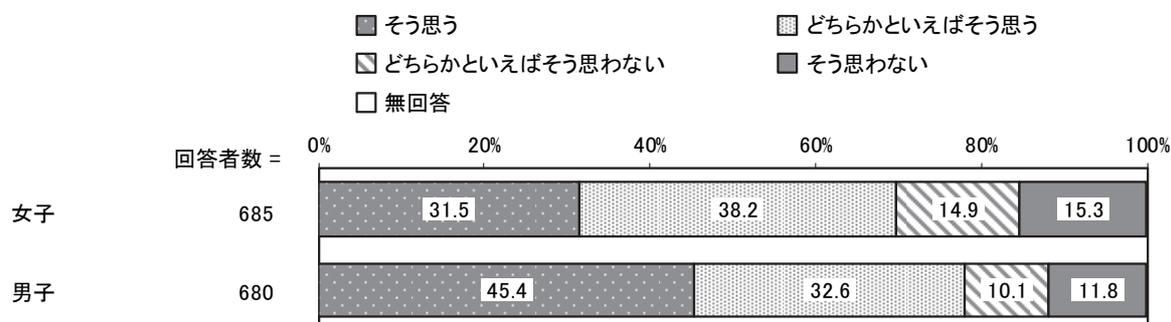
【中高生別】



オ 結婚したら夫婦の姓（苗字）は一緒にするほうがよい

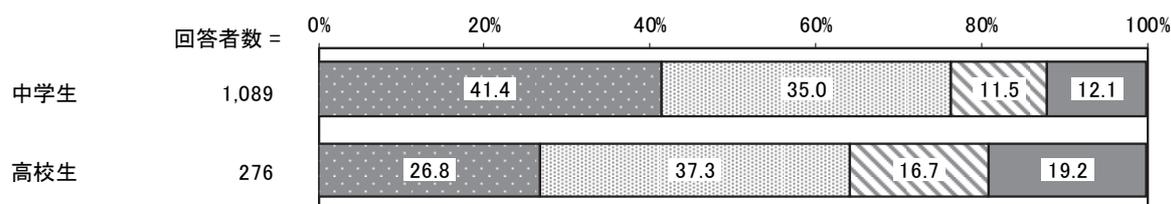
【性別】

性別でみると、女子に比べ、男子で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が高くなっています。



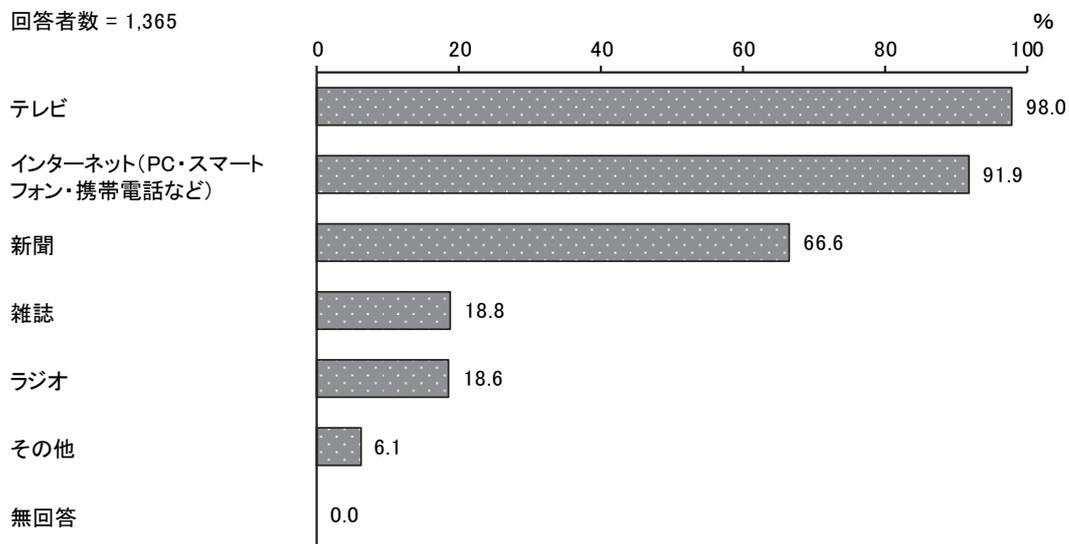
【中高生別】

中高生別でみると、高校生に比べ、中学生で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が高くなっています。



問 22 あなたは、社会の出来事や事件などを知るために、次のどれをよく利用していますか。選択肢の中から利用の多い順に3つあげ、回答欄にあてはまる数字を記入してください。

「テレビ」の割合が98.0%と最も高く、次いで「インターネット(PC・スマートフォン・携帯電話など)」の割合が91.9%、「新聞」の割合が66.6%となっています。

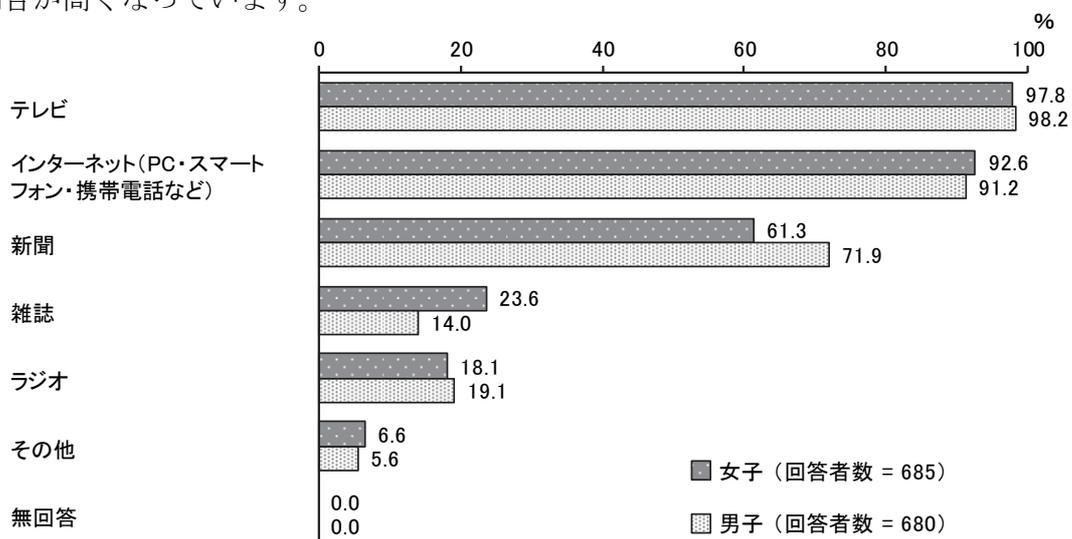


＜「その他」の主な内容＞

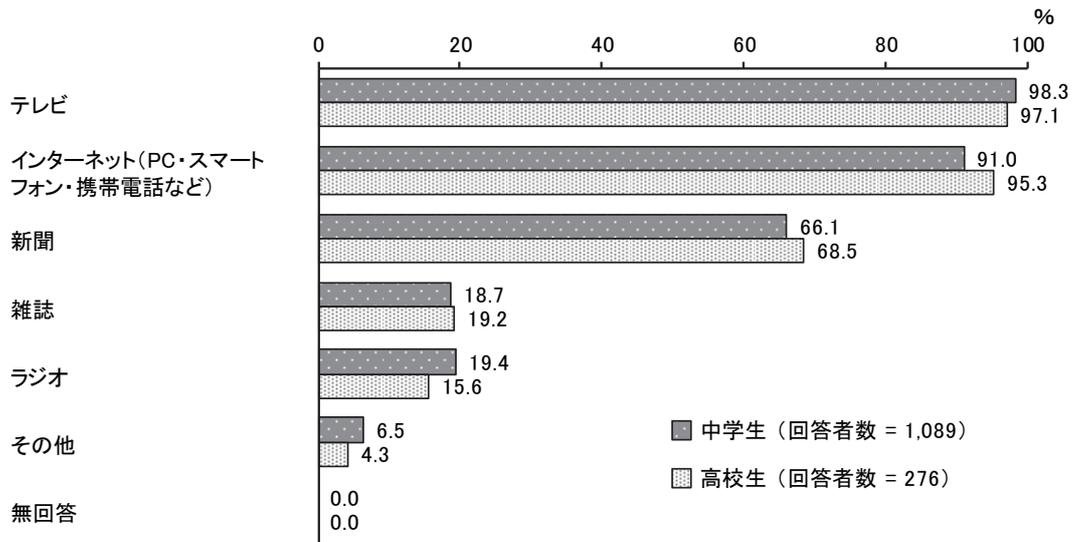
- ・ 親などの家族から (19 件)
- ・ 特にない (7 件)
- ・ 誰かから聞く (3 件)
- ・ スマホ、携帯電話 (2 件)
- ・ インターネット
- ・ 会話
- ・ 周りの会話
- ・ 人から聞く (15 件)
- ・ YouTube (4 件)
- ・ ゲーム (2 件)
- ・ Linenews
- ・ ボウリング 囲碁
- ・ 教科書
- ・ 新聞
- ・ 友達から (15 件)
- ・ 家族から (3 件)
- ・ SNS
- ・ 噂
- ・ 授業

【性別】

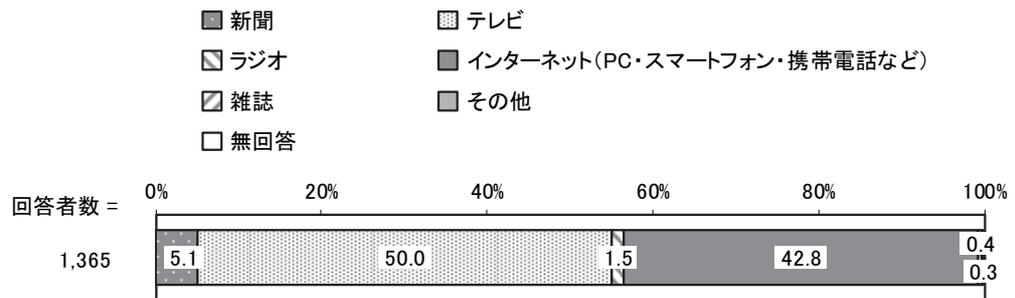
性別でみると、女子に比べ、男子で「新聞」の割合が高くなっています。また、女子で「雑誌」の割合が高くなっています。



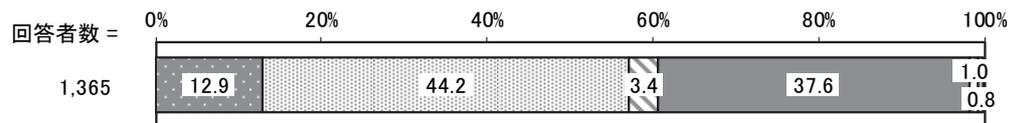
【中高生別】



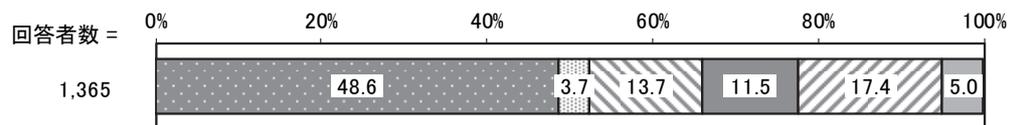
【利用の多い順 1 位の内訳】



【利用の多い順 2 位の内訳】

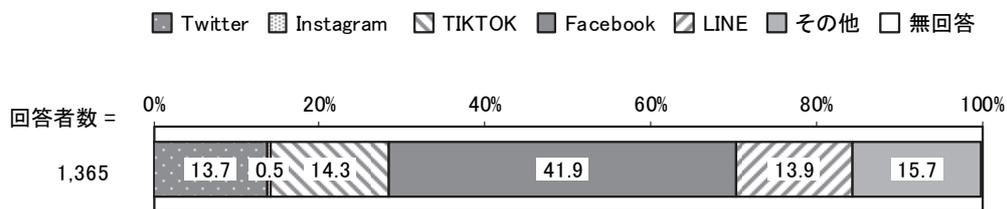


【利用の多い順 3 位の内訳】



問 22-1 次のどのSNSアプリを一番よく利用しますか？

「Facebook」の割合が41.9%と最も高く、次いで「TIKTOK」の割合が14.3%、「LINE」の割合が13.9%となっています。

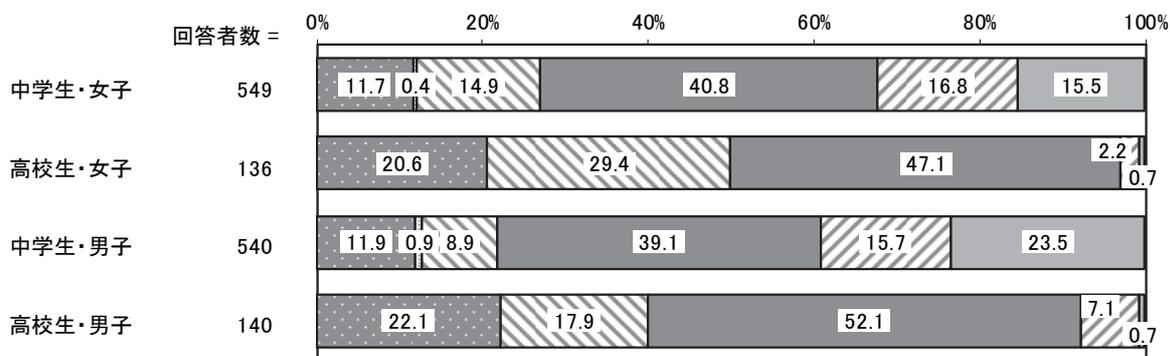


<「その他」の主な内容>

- ・利用していない (80 件)
- ・YouTube (75 件)
- ・特になし (30 件)
- ・Google (12 件)
- ・Discord (4 件)
- ・分からない (2 件)
- ・yahoo!ニュース (2 件)
- ・nasi
- ・AuDee
- ・Roblox
- ・アマゾンプライム
- ・Facebook 以外全部
- ・全部
- ・game
- ・tinder

【性・中高生別】

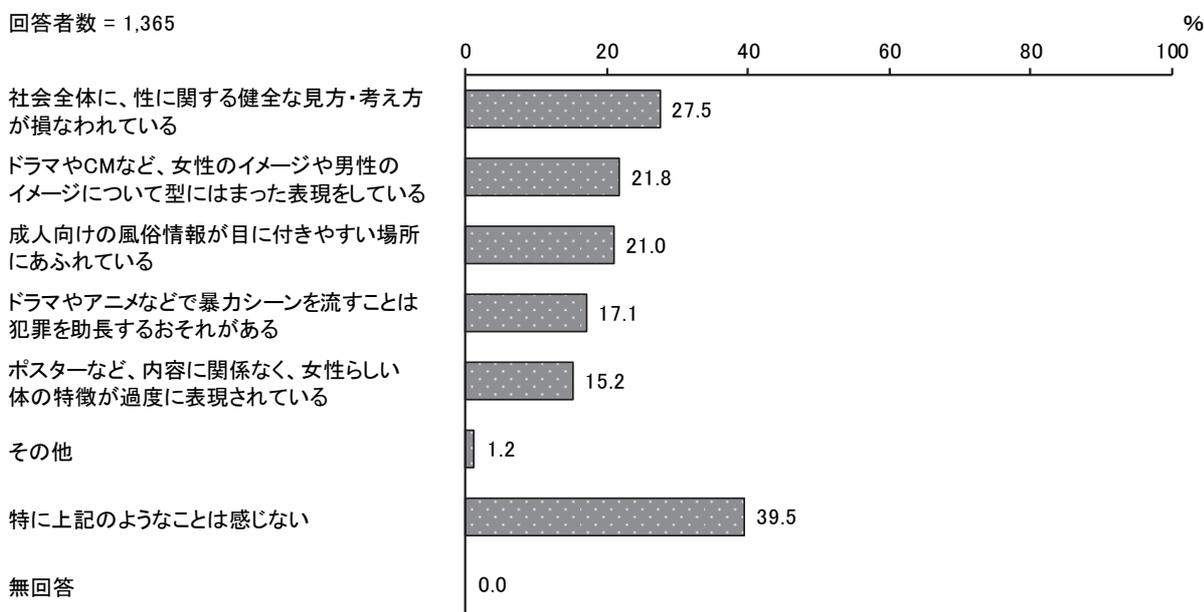
性・中高生別で見ると、他に比べ、高校生・男子で「Facebook」の割合が高くなっています。また、高校生・女子で「TIKTOK」の割合が高くなっています。



問 23 メディア（新聞・テレビ・インターネットなど）における性・暴力表現について、あなたはどのように感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

「特に上記のようなことは感じない」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「社会全体に、性に関する健全な見方・考え方が損なわれている」の割合が 27.5%、「ドラマやCMなど、女性のイメージや男性のイメージについて型にはまった表現をしている」の割合が 21.8%となっています。

回答者数 = 1,365

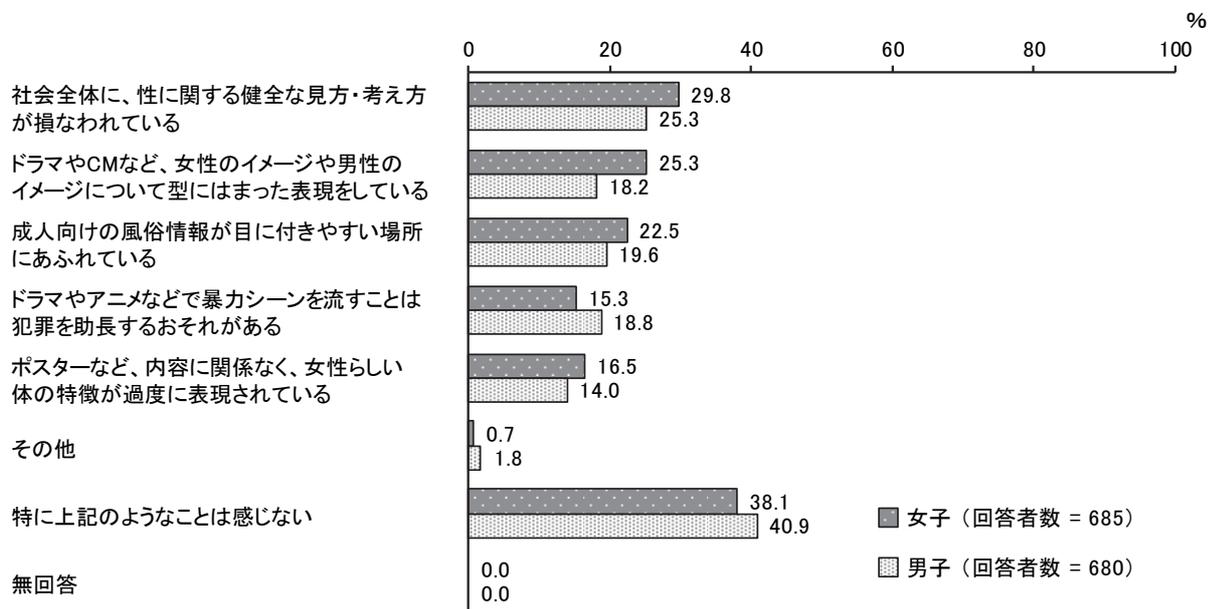


<「その他」の主な内容>

- ・気まづくなる（2件）
- ・過度に反応しすぎだと思う（2件）
- ・YouTube の広告で興味もないのに性的な動画のお勧めがあったり性的な広告が表示されることがありとても不快
- ・見る人次第であると考える ・表現の自由はある程度守ってほしい
- ・差別を無くそうと言う割には無意識に特徴を使って人の目を集めている
- ・作品の美や歴史・文化を表現するためには必要だし、慰安婦問題のような忘れてはいけない問題は、若い人にも伝わるべきだと思うため多少の性的な表現はリアリティがあったほうが良いと思う

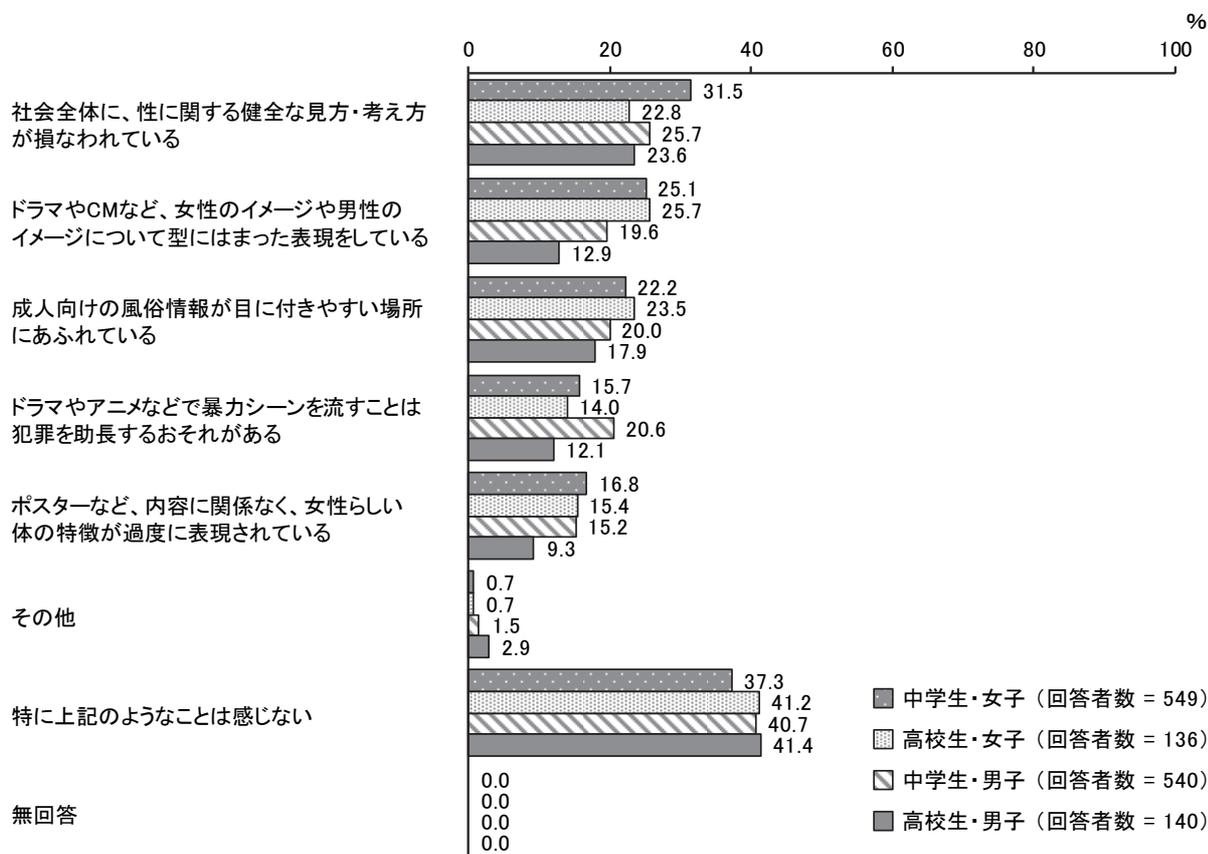
【性別】

性別でみると、男子に比べ、女子で「ドラマやCMなど、女子のイメージや男性のイメージについて型にはまった表現をしている」の割合が高くなっています。



【性・中高生別】

性・中高生別で見ると、他に比べ、中学生・女子で「社会全体に、性に関する健全な見方・考え方が損なわれている」の割合が高くなっています。また、中学生・男子で「ドラマやアニメなどで暴力シーンを流すことは犯罪を助長するおそれがある」の割合が高くなっています。



自由記述まとめ

1 男女共同参画について

分類回答	件数
1 男女平等に関する意識について	229
2 家庭生活について	1
3 就業について	9
4 社会参画について	7
5 配偶者などからの暴力について	2
6 性について	48
7 市の男女共同参画の推進に関する施策について	29
8 アンケートについて	13
9 その他	19
回答者数	357

※ 自由記述については、調査票に記載された原文のまま掲載

(1) 男女平等に関する意識について

意見	性別	年齢
・ 男女差別がなくなればいいと思う。	女子	中学1年生
・ 男女差別について考えることができていると思う。	女子	中学1年生
・ 差別はよくない。あと、相手の意見を尊重することも大切だと思います。	女子	中学1年生
・ 男女の差別なく、みんな平等に協力したい。	女子	中学1年生
・ 良いとは思いますが差別などのことをもう少し注目したほうが良いと思います。	女子	中学1年生
・ 男女共同参画は、男女関係なく差別もなしにかかわることは、悪いことではないのでいいと思います。	女子	中学1年生
・ 一番は、男女平等がいいと思う。	女子	中学1年生
・ 男女平等であることを忘れないようにしていきたいです。	女子	中学1年生
・ 政治に関しては男女平等をあまり感じないが、他には男女不平等だと感じることはあまりない。	女子	中学1年生
・ 男女の関係に特別な決まりはつける必要がないと思います。また、その人一人一人の自由な考えを尊重することが大切だと思います。それに、男女は平等であるべきだと思います。	女子	中学1年生
・ 男女平等な世の中にしようといっているけど、具体的に個人を尊重することがあまりされていない気がする。	女子	中学1年生
・ そう簡単では無いと思うけど、男女は平等であったほうが、私的にはたぶん過ごしやすかったりするんじゃないかと思いました。女の子だからとか、男の子だからとかそういうのは私は正直嫌です。	女子	中学1年生
・ 平等がいいと思います。	女子	中学1年生
・ 平等が1番!!!	女子	中学1年生
・ 平等。	女子	中学1年生
・ 平等に。	女子	中学1年生
・ 平等。	女子	中学1年生
・ 皆、平等になればいいと思う。	女子	中学1年生
・ 男女平等になったらいいと思います。	女子	中学1年生
・ 男女平等は大切だと思います。	女子	中学1年生
・ 男女平等に生活し、男女で協力することが大切だと思います。	女子	中学1年生
・ 男女平等は大切なことだと思う。	女子	中学1年生
・ 男女平等の世の中になって欲しいと思いました。	女子	中学1年生
・ みんな平等にしたほうがいい。	女子	中学1年生
・ もっと男女平等な社会にするべきだと思う。	女子	中学1年生
・ 性別に関係なく、平等に能力を発揮する機会が与えられるような社会になれば良いと思います。	女子	中学1年生
・ 男女が楽しく過ごせるように男女平等!	女子	中学1年生
・ いいと思います!	女子	中学1年生
・ いいと思います。	女子	中学1年生
・ いいと思います。	女子	中学1年生

・ 男女関係なく、誰もが気持ちの良い町に少しでも早く近づければいいと思います。	女子	中学1年生
・ まだ社会全体では男女で差があったり、偏見や型にはまったやり方を続けている場面が多いのかなと思います。そして、周りの目も気にしてしまう事も多いと思います。	女子	中学1年生
・ 男女関係なく過ごしていけるのがやっぱり良いと思います。	女子	中学1年生
・ 大切なこと。	女子	中学1年生
・ 大事にしたい。	女子	中学1年生
・ 大切だと思いました。	女子	中学1年生
・ 男女仲良く。	女子	中学1年生
・ みんなが仲良く暮らしたほうがよい。	女子	中学1年生
・ 本当に実現するといい。	女子	中学1年生
・ 女子より男子のほうが立場が上だと感じる事がたまにある。	女子	中学1年生
・ 大切なことだと思う。	女子	中学1年生
・ 男女差別を感じる気持ちが男女差別だと思う。みんな気にしすぎ。気にするから差別が起こる。	女子	中学2年生
・ 差別はいけない。	女子	中学2年生
・ 昔と比べると、男女の差別はなくなったと思うけどまだ男性のほうが偉いという感覚がある人がいると思う。	女子	中学2年生
・ 男女で性別は違うとしても、差別をするのは良くないと思う。男尊女卑はなくなってきてるからいいとおもう。	女子	中学2年生
・ 男女が平等すぎるのも逆に生きづらいと思う。男子だから～女子だから～じゃない差別も少しは大事だと思う。	女子	中学2年生
・ 人々がきにしないで楽しく生きられるとおもうのでいいと思います。	女子	中学2年生
・ 男女で多少は差があると思うけど、女子は～ができないとか決めつけなくてその人それぞれの意見を尊重してなにも否定しないほうがいいと思います。	女子	中学2年生
・ 男女平等になればいいと思いました。	女子	中学2年生
・ 男女平等に生きたいですね。	女子	中学2年生
・ 現段階では、男女平等に近づいていると思う。	女子	中学2年生
・ いいと思います。	女子	中学2年生
・ もっと正しい知識をいろんな人がしたほうがいいと思う。	女子	中学2年生
・ びょうどうに。	女子	中学2年生
・ 良い考えだと思う。	女子	中学2年生
・ 共同に社会を生きていくことが、大切なんだなと思いました。	女子	中学2年生
・ 偏見を無くしたい。	女子	中学2年生
・ お互い助け合うことが大切だ。	女子	中学2年生
・ 男女関係なく仲良くできたらいい。	女子	中学2年生
・ まだまだ男女の差別があると思う。	女子	中学3年生
・ まだまだ、男女の差別のようなものがあると思います。	女子	中学3年生

<ul style="list-style-type: none"> ・ おーいお茶のc mについて家族が差別的だと言っていて、たしかにそうかもしれないと思ったけれど、社会に根付いてしまっているものもおおく、すぐになくすのは大変だとおもった。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校は男女に差がないと思う。 社会全体でみたほうが差別があると感じる。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平等に見えて平等じゃない世界をまずは日本から些細な事でいいので変えていってほしいし、一人一人が それについての考えを持つことが大切だと思います。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の社会は男女平等ではないと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ まだ男女平等とは言い切れない部分があるから学校内や松本市全体で考えていけたらいいなと思います。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 程々に生きやすい社会なんじゃないかなと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女らしい扱いを受けたい人もいるし受けたくない人もいるので男女平等は必ずしもすべてにおいていいことではないと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本では意識している人が多いと思うが、海外に行くと意識すらしていない国があるという事実が悲しい。 みんなが平等になってほしい。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平等にしたほうがいい。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平等にみんな自由に暮らせる社会。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平等な社会は生きやすい。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆平等が一番。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女平等が一番大切なことだと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女平等に社会参画する必要があると思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女は平等であるべきだと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女は平等であるべきだと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女は必ず平等であるべきだと思います。 親の世代にそのことを伝えたとしても、改善されにくいと思うので、今人権について学んでいる私たちの世代から、男女共同参画の考えを確立したいと思いました。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての人が平等に、のびのび暮らせる社会にしていきたいと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと男女が平等な社会をつくるべき。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ どんな状況においても、男女の権利は平等にするべきだと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ いいと思います。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ いいと思う。そのまま無くならずずっと続いてほしいし一生かけて取り組んでほしい。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ いいと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ まだ一部の人、男性は働いて女性は家事をするという考えが残っていると思うので、その考えをなくしていったほうがいいとおもった。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画社会を実現するためには、一人一人が意識して生活することが大切だと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 良いと思います。 	女子	中学3年生

<ul style="list-style-type: none"> ・ 未だに男女の格差というのは社会に存在していて、人々の意識の中に根強く残ってしまっているのが、その人々の意識変革が最重要課題だと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大事だとおもう。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ とてもいいことだと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと取り組むべきだが、男性がそこで悪役のようなイメージをもたれるのは防止するべきだと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大事。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会全体で取り組むべきことだと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画は大事だと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性は男性よりも劣っていると思っている人は、表に出さなくても感じるし、そういう人は必ずボロが出るものだから、そういう人たちをまずあぶりだして、思考の矯正が必要だと思う。そして、それはどんなに偉い人でも行うべきだと感じる。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の差別を無くすことを意識しすぎて逆に優遇されすぎてしまうこともまたそれはそれで女性差別だと思う。 	女子	高校1年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女は違うところもあるので、全てが平等には行かないと思う。でも、扱いは平等にして欲しい。 	女子	高校1年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画社会は、まだまだたくさんの課題点があるので、その解決のためにもっと周りへの協力を促すべきだと思います。また、高校では道徳の時間がないのでそのようなことに対する意識が下がります。なので、高校や職場でもそれに触れる機会があれば良いと思います。 	女子	高校1年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実現に向けて協力したい。 	女子	高校1年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画社会をぜひ目指していきたいと思いました。 	女子	高校1年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女は平等に協力し合い、共にこれからの社会を担っていくべきだとおもいます。 	女子	高校2年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性だけが生きやすい世の中になっている。 	女子	高校2年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性も女性も尊重するのは良いが、尊重しすぎて逆に溝を深めていると思う。 	女子	高校2年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと改善していくことが大切だなと感じた。 	女子	高校2年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人思うことや感じることは人それぞれだと思うので、尊重しあって考えながら生きていきたい。 	女子	高校3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ みんな一つに世界がひとつになるまでずっと手を繋いでいければ良いと思いました。 	女子	高校3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女差別が、なくなれば良いと思う。 	男子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと男女差別がなくなれば良いと思う。 	男子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の知らないところで少しずつれている所があるんじゃないかなと思います。 	男子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性にしかできない事もあるし女性にしか出来ない事もあるから男女平等な社会にしていければいいんじゃないかなと思います。 	男子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平等大事。 	男子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平等な扱いを受けることがいいなと思った。 	男子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女平等の取り組みはいいと思います。 	男子	中学1年生

・ 男女平等にすると知っているが、最近は女性を優遇しすぎていると感じる。	男子	中学1年生
・ 男女平等は世界的な問題なので、男女共同参画はこれからの時代とても大事だと思う。	男子	中学1年生
・ 男女平等な社会を作ってほしい。	男子	中学1年生
・ 男女が平等に暮らせる社会がいいと思います。	男子	中学1年生
・ 本当に平等な社会が作られればいいと思います。	男子	中学1年生
・ 男女が平等であり同じように生活できればいいと思う。	男子	中学1年生
・ 人々は平等だから男女関係なく安全に暮らしていける社会。	男子	中学1年生
・ みんな平等に。	男子	中学1年生
・ 男性も女性も平等に分かち合う機会が増えていいと思った。	男子	中学1年生
・ 社会的には男性の方が優遇されてるから平等になればいいと思う。	男子	中学1年生
・ いいと思います。	男子	中学1年生
・ いいと思います。	男子	中学1年生
・ いいと思います。	男子	中学1年生
・ いいと思います、今のままで。	男子	中学1年生
・ いいと思う。	男子	中学1年生
・ いいと思う。	男子	中学1年生
・ いいと思います。	男子	中学1年生
・ すごくいいと思います。	男子	中学1年生
・ 男女関係なくできていていいと思う。	男子	中学1年生
・ 女性の方が優遇されやすい。	男子	中学1年生
・ 今のままでいい。	男子	中学1年生
・ いいですね！	男子	中学1年生
・ なるべく男女共同で動くと、やりやすいと思います。	男子	中学1年生
・ 今のままでいい。	男子	中学1年生
・ 最近は女性が有利になっている気がする。	男子	中学1年生
・ 大切だと思う。	男子	中学1年生
・ しっかり考えれたので、続けていこうと思います。	男子	中学1年生
・ ぜったいにしたほうがいい。	男子	中学1年生
・ 仲が良い方がいいよね。	男子	中学1年生
・ とても良いと思う。	男子	中学1年生
・ この男女共同参画は人権を尊重するいいものだと思います。	男子	中学1年生
・ 誰でも、(男性や女性)同じような生活を安心して、過ごしていけるような社会がいいです!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!	男子	中学1年生
・ 男性女性関係なく共に生きていくこと。	男子	中学1年生
・ 普通のことだと思う。	男子	中学1年生
・ どちらも異なる面で優遇されている。	男子	中学1年生
・ 前より男女差別は減っていると思う。自民党総裁選でも女性候補がいたし、中学校の生徒会選挙でも女子の候補がいるので、男女平等の考え方は広まっていると思う。	男子	中学2年生
・ 差別はいけないがなんでも差別と言うのは、それもダメだと思う。	男子	中学2年生

・ 差別を自分がしないようにしたい。	男子	中学2年生
・ 差別をする人を絶対に許さない。女性も男性も平等な世の中になってほしい。	男子	中学2年生
・ 差別無く男女が平等になればいいと思いますよ。	男子	中学2年生
・ 差別や偏見があるのでそれを解決するまでに時間がかかると思った。	男子	中学2年生
・ もっと差別をなくしてほしい。	男子	中学2年生
・ まだ少し差別はあると思います。	男子	中学2年生
・ 社会をよりよくするためにはいいと思うが理想通りにいくとは思わない。	男子	中学2年生
・ 平等に生活していけたらいいと思う。	男子	中学2年生
・ 男女平等な社会になればいいと思っている。	男子	中学2年生
・ 男女平等はすごく良いことだと思います。	男子	中学2年生
・ 男女平等になってきていると思います。	男子	中学2年生
・ みんな平等に、暮らせる。	男子	中学2年生
・ 男女は平等であるべき。	男子	中学2年生
・ もっと社会で男女共同参画の意識が高まると平等意識もおのずと高まると思う。	男子	中学2年生
・ いいと思う。	男子	中学2年生
・ いいと思います。	男子	中学2年生
・ いいと思う。	男子	中学2年生
・ 僕は今のままでいいと思います。	男子	中学2年生
・ 全員で協力すればいいと思う。	男子	中学2年生
・ 良いと思う。	男子	中学2年生
・ 良いと思います。	男子	中学2年生
・ 頑張ります。	男子	中学2年生
・ いい事だと思う。	男子	中学2年生
・ いろんなことを考えるいい機会だと思う。	男子	中学2年生
・ 性に関係なく男女共に協力したほうが良い。	男子	中学2年生
・ いいことだと思う。	男子	中学2年生
・ より良い社会を実現するために 必要なことだと思います。	男子	中学2年生
・ 大事だと思う。	男子	中学2年生
・ もっと多くの人に知ってほしいと思う。	男子	中学2年生
・ もっと視野を広げてほしい。	男子	中学2年生
・ 女性の生き方男性の生き方が確立されているし、そのような型にはまった考えをもつ人がいる以上、男女共同参画は難しいのではと思ってしまう。	男子	中学2年生
・ 今は学校だと男子のほうが厳しく、仕事だとできる人=男、結婚すると男は仕事女は家事という風に一生男と女のイメージがついているので改善していく必要があると思う。	男子	中学2年生
・ あまり何でもかんでも差別差別と言うのもどうかと思う。	男子	中学3年生
・ 平等ではないので、世の中の雰囲気が変わればいいなと思います。	男子	中学3年生

・ 男女が一緒に行動したって何か悪いことでもないから協力しあうべき。	男子	中学3年生
・ 男女平等になっている地域はあるけど、まだ足りていないところがあるのではっきり理解出来るようにする。	男子	中学3年生
・ 男性と女性を平等に扱えるように何かしらの対策がなければ現在から進歩はできないと思います。	男子	中学3年生
・ 確かに男女の権利は平等であるべきだと思うが、性別により筋肉の付き方や体つきが異なるため、あくまで精神的なことだけ分けるべきだと思う。あとアニメを見ただけで人を殺そうとする人はいないと思うので暴力シーンは別にありだと思う(深夜に放送するなどの気配りは必要。)	男子	中学3年生
・ 平等になるべきだと思います。	男子	中学3年生
・ 平等。	男子	中学3年生
・ 男女平等が一番なり。	男子	中学3年生
・ 男女平等のために大切なことだと思います。	男子	中学3年生
・ みんな平等に暮らすそうね。	男子	中学3年生
・ 男も女も平等に生きよう!	男子	中学3年生
・ みんなが平等になるのが1番だと思います。	男子	中学3年生
・ もっと男女平等にしたほうがいいと思う。	男子	中学3年生
・ 誰もが自由で平等であることが大切だと思います。	男子	中学3年生
・ もっと男女が平等になればいいなと思います。	男子	中学3年生
・ 人間は みんな平等であるべき。	男子	中学3年生
・ 最近になって男女の扱いが平等になった気がする。	男子	中学3年生
・ 昔は圧倒的に男のほうが優遇されていたけど今は昔に比べて平等になってきて昔よりはお互いに生活しやすくなっていると思う。	男子	中学3年生
・ いいと思います。	男子	中学3年生
・ いいと思います。	男子	中学3年生
・ 別にいいと思う。	男子	中学3年生
・ 男性と女性が仲良くできる機会だからいいと思う。	男子	中学3年生
・ 大事だと思う。	男子	中学3年生
・ 大切なこと。	男子	中学3年生
・ 良いこと。	男子	中学3年生
・ 男女関係なく生きてゆー男女均等。	男子	中学3年生
・ 良いと僕は良いと思っています。	男子	中学3年生
・ 大切にすべきことだと思う。	男子	中学3年生
・ Good。	男子	中学3年生
・ 全員の意見を尊重することが1番大切だと思います。	男子	中学3年生
・ 大切なことだと思います。	男子	中学3年生
・ とても大事だと思う。	男子	中学3年生
・ すでにできていることだと思う。	男子	中学3年生
・ 男女共同参画について自分は賛成です。	男子	中学3年生
・ 男女ともに協力することは大切だと思う。	男子	中学3年生

・ 男女で協力して世界を作っていく方が良いと思う。	男子	中学3年生
・ 実現するべき。	男子	中学3年生
・ これからの社会に必要なことだと思う。	男子	中学3年生
・ よく分かってない。平等になれば良いと思っている。	男子	高校1年生
・ 実現するべきだと思うし、自分も協力したいと思うが、正直『男女共同参画』という言葉は好きではなくて、『万人共同参画』など、性の表現をこういった道徳的な問題で出すのをなくし、さも違いが、生物的にしかないというように、表現しなければ、実現などできるはずがないと思っている。	男子	高校1年生
・ いいと思う。	男子	高校1年生
・ 差別がないようにしてほしい。	男子	高校2年生
・ まだ十分には男女共同参画社会が松本市でも全国でも実施できていないと思うので、男女の平等を実現するべきだと思う。	男子	高校2年生
・ 必要なことだし、大切だと思う。	男子	高校2年生
・ あまり男性だから、女性だからというのは松本であまり聞いたことはないです。	男子	高校3年生
・ 男女平等が1番だと思います。	男子	高校3年生

(2) 家庭生活について

意見	性別	年齢
・ 私の家庭ではよく男女平等について意見が分かれている。ついでの言うと、私の家族は子供は口を出すべきじゃないと会話に入るのを止める時がある。でも、それはいつもじゃなくて、ほんとに家族がいて幸せと感じることもあるから、こういうのを書いていいのかよく悩む。	女子	中学3年生

(3) 就業について

意見	性別	年齢
・ もっと仕事や役割などの面で男女関係なく働くことができる社会になればいいなと思います。	女子	中学1年生
・ プライベートのことまで共有とかまでは言わないけどなるべく対等に同じに働けるのはいいと思う	女子	中学2年生
・ 今でもまだ男性のほうが優遇されているように感じます。男女関係なく働いたりできる世界になってほしいです。	女子	中学2年生
・ 女性らしくない仕事、男性らしくない仕事という偏見がまだなくなっておらず、自由に職が選べない、過ごしづらいという人がいると思う。	女子	中学3年生
・ 自分が生まれた当時よりは男女が平等になってきたと思うが、国会議員などの公職ではまだ差別が残っていると思う。	女子	高校1年生
・ 将来社会に出る時に職場で男女平等な働き方ができるといいです。	女子	高校1年生
・ 男とか女とか性別関係なしに働けたり、古くからの根強く残っている性差の考えが少しずつ薄れていくと良いなと思います。	女子	高校1年生
・ 平等に働けたり、選択の自由があること	男子	中学2年生

<ul style="list-style-type: none"> 性別に関係なく誰もが平等に働けたり生活することができるということはとても重要なことであり、当たり前のことだと思います。 	男子	中学3年生
---	----	-------

(4) 社会参画について

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> いつか楽しいと思える社会にしたい。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 男性も女性もあらゆる分野で活躍できる社会という考え方はとてもいい考えだと思う。しかし、その考えを押し進めすぎた場合、反対派の方の意見に耳を傾けないという問題もあると思った。また、学校みたいな施設の中で生活している私たちのような学生は活躍できる機会が限られてしまったり、人の性格によってうまく自分の考えなどを表現できない人もいるので、多様化との両立も問題だと思う。それに伴って、男性も女性も意欲に応じて活躍できる社会を創造するために、多面的な機会を多く創ったり、活躍できる社会へ羽ばたくための手助けなども必要になると思った。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> 男女が平等になっている感じがしていいと思います。昔よりも女性も男性も同じように活躍ができる社会になってきていいと思います。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> 男女関係なく仕事をしたり、社会に協力することでより良い世界になるとおもいます。あと、いじめや暴力を無くすといいと思います。 	男子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 男女関係なく社会に貢献できるようにすべきだと思う。 	男子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 男女協力をしてより良い社会を作ること 	男子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 未だに男女での役割や立場で差別を感じるので、引き続き改善していくことが要求されていると思う。 	男子	中学3年生

(5) 配偶者などからの暴力について

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> 男女平等にいじめや差別、暴力のない世の中にして安心して住める世の中がいいと思いました。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 暴力を使うときは、時と場合を考える。 	男子	中学1年生

(6) 性について

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> 女性と男性との差別や偏見は無くすべきだと思うが、トイレ・更衣室などは一緒にしない方がいいのではと思う。学校の制服については、スラックスはあるが、男子のズボンとは色が違うので少し履きづらいのではと思う。また、女子はリボン、男子はネクタイではないほうが良いと思う。交通の面では女性専用車両だけでなく、男性専用車両も作るべきだと思う。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> やっぱり女だから男だからって差別はしてはいけないことだと思います。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 今の時代には、色んな性別があると思うので、絶対に差別はダメだと思う。 	女子	中学1年生

<ul style="list-style-type: none"> 私は性別にとらわれたくないと思うことがあります。私の尊敬している人が「性別なんてそれぞれの自由でいいと思う。だから僕は中性でいたい。」そう言っていました。両性愛者なので男子でも女子でも好きになることがあります。なので、「男だから」「女だから」そういう差別や偏見をなくしてほしいと思うし、どんな人でも認められるような松本市にしてほしいと思います。なるべく男女の壁をなくしてほしいです。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 私は性別について話すところをあまり見ることがないし、多くの人もあまり考えたこともないことなので、とてもいいことだと思います。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 女性らしいとか男性らしいとか私にはまだどうしていいかわかんないけれど、いつかその人が安心して自分のことに誇りをもって出生時と違う性でも堂々と言えるような世の中になってほしい。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参加が何かはあまり分かりませんが、LGBTQについて認知している人が少ないのが少し問題だと思います。私はそういう事に興味があるので、理解があるつもりです。もっと大勢の人たちのLGBTQについての理解が深まり、多様性のある社会が出来ていくことを願います。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 女性がプロポーズをすることを逆プロポーズっていうのも今まで当たり前のことだと思っていたけれど、当たり前にはいけないことなのかなと思いました。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 男だから女だからと決めつけずにすればいいと思った。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> LGBTをもっと早くから勉強したほうがいいと思う。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 特に、性別関係なく、好きなことを楽しめばいいと思います。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 学校では男子のグループ、女子のグループに分かれているところがある感じがあるけど、自分は関係なく仲良く出来るといいと思います。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 男子・女子と、分けられてしまうことがなくなればいいなと思いました。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> LGBTQの人に偏見の無い社会をつくる事が大事。女だから男だからという偏見はなくすべき。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> この活動を通して、性や人権についてへの理解が高まると共に、犯罪の抑止やトラブルの防止が進むことを願います。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 体と心の性別が違う人が受け入れられるようにしてほしい。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 今は男女の間での力の差や偏見、差別が多くありそれで辛い思いをしている人がたくさんいると思う。 	女子	中学2年生
<ul style="list-style-type: none"> 男性と女性しかいないのだから誰を好きになっても愛しても、それを偏見な目で見るとおかしな人とおかしいと思います。 	女子	中学2年生
<ul style="list-style-type: none"> 松本の同性婚を認めたことが素敵だと思います。もっと当たり前になって欲しいです。 	女子	中学2年生
<ul style="list-style-type: none"> もっと性別関係なく過ごせる社会になってほしい。 	女子	中学2年生
<ul style="list-style-type: none"> 男女差別についても考えなければならぬことだとおもうけど、LGBTQなどのこと考えなければならぬと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> 差別と区別の違いが何かわからないのでバイセクシャルなどの性についてどのように接したらいいかわからない。 	女子	中学3年生

<ul style="list-style-type: none"> 女性差別について問題にすることに特に疑問は抱かないけれど、男性が差別してるばかりではなく女性にも固定概念が間違いなくあり、女性らしくないものは異常だ、少なくとも通常とは違うものとして認識している節があるから、男女どちらともが認識を改める必要があると思う。ただ、確かに男女で分けなければいけないものはあるにしても、その他の性自認をする人に関して必要以上に言及したり、あるいはその逆であったり、そういうものは人間としての配慮に欠けていると思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> 女性と男性という分け方をなくしてもいいのではないか、また古い考えを持つのは自由だが強要しなくてもいいと思う。性について意見を出すのは自由だし良いことだとは思うけどいろんな人の目線にたって考えながら意見を発信してほしい。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> 性についてや男女平等について、違和感なく『問題ない』と即答できるような社会が必要だと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> もう少し性別による壁がなくなれば社会全体がやさしくなると思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> 男だから、女だからという考え方がなくなってほしいと思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> 最近はずいぶん考え方が変わっているが、男性が優先という昔の考え方を持った人がいると思う。特に長野県では高齢者が多く昔の考え方を今の社会に当てはめているという人も少なからずいると思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ジェンダーレスの制服や、夫婦別姓への取り組みなど、まだまだ男女共同参画に向けてやることはたくさんあると思う。 	女子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> 最近ではジェンダー問題が多いが、昔からあったのか。果たして男女平等にすべきなのか。天皇を女ができない事に差別を感じる。ヨーロッパの王室は女王が多いので、女性天皇は認めるべきだ。 	女子	高校1年生
<ul style="list-style-type: none"> 男性の被害（男らしさを求められることで弱さを出しづらそう）や、無意識の偏見（女子の代わりに荷物を持つ男子はモテるよ、など）が見えづらいと思います。松本の人はシャイ（奥ゆかしいと変に肯定されることもあるが）だから、と中学校でよく言われていて声を上げるのがノーマルではないという雰囲気できてしまっているのが、見えづらい問題について余計難しくしていると思います。 	女子	高校1年生
<ul style="list-style-type: none"> 女だから、男だからと言う考えをなくしていくべきだと思う。 	女子	高校1年生
<ul style="list-style-type: none"> サラッと自分の性別が言える社会に慣れればなって思う。 	女子	高校1年生
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画以前にジェンダーについての理解が乏しいと思う。古い考えはやめて欲しい。 	女子	高校1年生
<ul style="list-style-type: none"> 現在は、女性がどうしても所得や政治参加の点で弱い立場になることから女性に配慮した仕組みがいくつかあります。しかしLGBTQ+が話題として取り上げられることが多くなってきたことで男女という区別にとらわれずにどんな人も自己発信が積極的になれる環境になり、一人で抱え込んだり、自分一人だけの問題にしてしまうことがないようにしていけるといいと思います。 	女子	高校3年生
<ul style="list-style-type: none"> 男女に関係なく生活していくことが必要だと思うので、男女共同参画はいいと思う。 	男子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 男性と女性では、体つきにちがいがあ、むずかしいと思う。 	男子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 長野県全体の傾向として、通学鞆などで男女の区別をつけようとしており現在でも改善されていないこと。 	男子	中学2年生

<ul style="list-style-type: none"> 女性が女性を好きになる、男性が男性を好きになるのは当たり前で、そういうことを違う、などとせず、普通にそういう人が生きやすい社会づくりが大切だと思う。 	男子	中学2年生
<ul style="list-style-type: none"> SDGs等で男女差別がない、性的嗜好を問わない社会が求められていたり、女性の月経とかの異性に対する理解だったりをここ1~2年でよく耳にする。今頃そこに重点を置き始めているのは遅かったのではないかと思う。もっと小学生のうちから正しい知識を持っておけば性犯罪等の抑制にもなるし、男女が平等になると思う。ただ、性別には違いがあるし、一番思うのは性別だけの区画で理不尽に分けられてしまうのがよくないし、まだ考えが固い大人の言う頑固な考えが足を引っ張っていると感じる。社会人にも改めて性教育の場を設けてみたほうがいいのではないかと感じる。 	男子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> 男だからとか女だからとかなどの差別は無くしていかなければならない問題だと思った。 	男子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> インターネットでよく自称フェミニストを名乗るアカウントが過度な男性嫌悪だつたりを訴えているのをよく目にするがフェミニズムも大切だし、進むべきだとは思っているが、一部の偏った考えをする人が偏った発言をすることで全体のイメージを悪くすると思うし、いつまでたっても日本の考え方は変わらないと思う。 	男子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ありのままが出せる社会になればいいと思う。 	男子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> 性別に関係なく、生きられる社会になってほしいと思う。 	男子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> みんな女性が生んでくれた。女性を一番に考え、リスペクトすることが大切。 	男子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> 特に学校で女子にやさしい。 	男子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> 男性は仕事、女性は家事という考え方がまだ薄く残っているとおもうので、そのような考え方がなくなるようにしてほしい。 	男子	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> 現在の社会では女性が過度に平等を謳い上げたがためにジェンダーはセンシティブな話題となっているが、すでに男女共同参画はしっかりと整備されたものになったので、これ以上の措置は必要ないと感じる。この状況で未だ愚直に女性差別を訴える女性はおそらく社会で生きていくにあたって必要な能力が致命的に欠如しているほか考えられないので、そのような者に救済を与える必要はない。また、アニメ等の娯楽と社会の住み分けもできずに、ひたすら粗探しを続け、必要以上に蔑視を訴える愚か者には憤りをこえ、もはや呆れてしまう。このような者が男女共同参画を、また女性蔑視、差別を訴る資格があるのか否か、今一度考え直し、取捨選択をしていくべきだと感じる。 	男子	高校2年生

(7) 市の男女共同参画の推進に関する施策について

意見	性別	年齢
<ul style="list-style-type: none"> 現代は、様々な男女差別が身近にあるので、市内で差別をなくそうとする取り組みは大切だと思う。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 平等な世の中になることはとても大事だと思うので、良い政策だと思います。 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> 男女平等をなくそうと昔から言っていますが変わっているの又はどの様な対策をしているのですか？ 	女子	中学1年生
<ul style="list-style-type: none"> もっとたくさんの人に聞いたりすると、もっと良くなると思います。 	女子	中学1年生

・ 頑張ってください	女子	中学1年生
・ 頑張って実現してほしい。	女子	中学1年生
・ 頑張ってほしいと思う	女子	中学1年生
・ 頑張ってほしいと思います	女子	中学1年生
・ 楽しいと思えるようによろしくお願いいたします。	女子	中学1年生
・ 松本市をより良い市にできるならいいともう	女子	中学2年生
・ 男女共同参画社会を実現させるための5本柱をもう少し具体的に提示したほうがいいと思う。	女子	中学2年生
・ 昔よりは男女共同参画ができていると思う	女子	中学2年生
・ とても良い活動だと思います。	女子	中学2年生
・ 地域内でも男女平等に生活できるような政策をするべきだと思う。	女子	中学3年生
・ 育児に関する男女共同参画をもっと改革すべきだと思う。	女子	中学3年生
・ 積極的に進めるべきだと思う。	女子	中学3年生
・ ただこうするのが正しいと押し付けるのではなく、男女平等にするべき理由を説明すべきだと思います。	女子	高校1年生
・ 男女平等に接することが出来るようにする松本市をめざしたほうが良いとおもう。	男子	中学1年生
・ いろいろな人に聞いてからやったほうが良いと思います	男子	中学1年生
・ 取り組みをつづけてほしい	男子	中学1年生
・ よいと思うので是非続けた方がよいと思う	男子	中学1年生
・ とても良い取り組みだと思います。	男子	中学1年生
・ いい活動だと思う	男子	中学1年生
・ もっと多くの人に知らせた方がよいと思う	男子	中学2年生
・ 社会的な関わり以前に人権的な意味でまだまだ男女間に隔たりが生じており、その隙間の埋め合わせができていないのが問題だと思う。自分の趣味嗜好を異性に対して強引に向け、さらっと受け流している（性的被害や生徒・学生への接し方など）ことがメディアからの情報だけでなく学校生活でもちょくちょく見受けられているので、それらを相談する場所のアピールをより行い、セミナーも大きな会場で開くなどして中核市である松本市から動いていくことが大切だと考えます。	男子	中学3年生
・ しっかり行ってほしい	男子	中学3年生
・ 進んで行うべき	男子	高校1年生
・ これからも頑張ってください	男子	高校2年生
・ 改善すべきところは多いと思うがそれを理由に規制を増やすとそれはそれで縛り付けられたものが破裂して犯罪が増える気もするのでなかなか難しい問題だと思う	男子	高校3年生

(8) アンケートについて

意見	性別	年齢
・ どんなことがあんまりよくないのかを知ることができたので、良かったです。	女子	中学1年生

・ 松本市をもっとより良い場所にするためにアンケートをとったりしていいと思います。	女子	中学1年生
・ 日頃感じていることを、アンケートで答えるのは、最初は、少しいやな気持だったけど今思っている気持ちを聞いてもらえたのでよかったです。	女子	中学1年生
・ 相談ができてよかったです	女子	中学1年生
・ 男女が平等に扱われていたり、あまり自分が考えたことがないことを考えられたり 出来たのでよかった。	女子	中学2年生
・ 興味深いアンケートでした	女子	高校3年生
・ 考える機会になって良かったです。	男子	中学1年生
・ おおすぎ	男子	中学1年生
・ こういう事も定期的に行った方が良くと思います	男子	中学1年生
・ このアンケートに何の意味があるのか	男子	中学1年生
・ 改めて考えられて良かった	男子	中学1年生
・ アンケートがあっても国民全員が気持ちを入れ替えないかぎり差別など起こる	男子	中学3年生
・ このアンケートには賛同。	男子	中学3年生

(9) その他

意見	性別	年齢
・ 男女共同参画の意味がそもそも理解できていません。	女子	中学1年生
・ 一人一人自由に過ごせるからいいと思う。	女子	中学2年生
・ 学校で文化祭など応援したり、喜びあえる事。	女子	中学2年生
・ 差別と区別の違いができていない。	女子	中学3年生
・ 固定概念は捨てたほうがいいと思う。	女子	中学3年生
・ 言うだけ言えていいですね。	女子	高校3年生
・ 絶対にしてはいけないと思う。	男子	中学1年生
・ 性的なものはあまり見ないほうがいい。	男子	中学1年生
・ 時に人々を傷つけることがあるので気を付けておきたいです。	男子	中学1年生
・ 男女共同参画って何ですか。	男子	中学1年生
・ 男女共同参画とは。	男子	中学1年生
・ 仲良くしてください。	男子	中学1年生
・ 男女共同参画って何ですか???	男子	中学1年生
・ 我々は自由であるべき。	男子	中学1年生
・ 差別おやじいらん。	男子	中学3年生
・ 法律にあるが、あまりできていないのでしてもらいたい。	男子	中学3年生
・ 男女共同参画に関して言えば自分が思ったことを自分なりに、書けばいいと思う。	男子	中学3年生
・ 血、地、そして知。	男子	中学3年生
・ 世界平和を願います。	男子	中学3年生

Ⅲ 資料編（各調査票）

あなたの声をお聴かせください！

松本市男女共同参画・人権市民意識調査

調査についてお願い

市民の皆様には、日ごろから市政へご協力いただき、心からお礼申し上げます。

松本市では、平成15年6月に松本市男女共同参画^{※1}推進条例を施行し、市民、事業者の皆様とともに男女共同参画社会の実現に向けて計画的に施策を進めています。

その取組みの一つとして、このたび、市内にお住まいの皆様を意識と実態を把握するため、18歳以上の市民の方1,500人を無作為に選ばせていただき、「松本市男女共同参画・人権市民意識調査」を5年おきに実施することといたしました。

この調査は、松本市における男女共同参画施策の基本的指針である「第4次松本市男女共同参画計画・女性活躍推進計画」を見直すための基礎資料にするものであり、また、松本市における人権問題の現状を把握するものです。本調査の結果につきましては、前回調査との変化等を把握し、今後の男女共同参画社会の実現のための施策等に反映していきたいと考えております。

皆様には、大変お忙しいところお手数をおかけしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年11月

松本市長 臥雲 義尚

《問い合わせ先》松本市住民自治局 人権共生課
〒390-0811 松本市中央1丁目18番1号 TEL 39-1105 (直通) FAX 37-1153
E-MAIL kyousei@city.matsumoto.lg.jp

ご記入にあたって

このアンケートの回答は、A か B いずれかの方法で1回のみご回答ください。

A この回答用紙を使って回答する場合

- 1 アンケートの記入は、**封筒のあて名のご本人**をお願いします。
- 2 質問ごとにあてはまる回答の番号を選び、○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は（ ）内にその内容を具体的にご記入ください。
- 3 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、【 】内の注意書きをよくお読みください。また、矢印(→)のあるところは、矢印に従ってお進みください。
- 4 記入は、鉛筆又は黒・青のボールペンをお願いします。
- 5 すべてのご記入が終わりましたら、お手数ですが記入もれがないかお確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は必要ありません）に入れて、**12月13日(月)まで**にご投函ください。

B WEB（インターネット）を使って回答する場合

- 1 インターネットに接続することが可能な環境で、下記のQRコードを読み取り、回答してください。
- 2 アンケートの回答は、**封筒のあて名のご本人**をお願いします。

<https://questant.jp/q/YCYDW8PF>

ID : ●●●●

パスワード : ●●●●



回答用 QR コード

調査は、無記名であり、個人が特定されることは一切ありません。また、調査結果を前ページの目的以外に利用することはありません。

【参考】

※1 男女共同参画・・・男性も女性もすべての個人が、性別に関わりなく喜びも責任も分かち合い、その能力・個性を十分に発揮すること

はじめに、あなたご自身のことについてお答えください。

F 1-1 あなたの出生時の性(sex)は何ですか。

1	女性	2	男性
---	----	---	----



F 1-2 あなた自身が認識する自分の性(gender)は何ですか。(回答は任意です。)

1	女性	2	男性	3	(gender を記入してください)
---	----	---	----	---	--------------------

F 2 あなたの年齢は。(〇は1つ)

1	18~19 歳	2	20 歳代	3	30 歳代	4	40 歳代
5	50 歳代	6	60 歳代	7	70 歳代以上		

F 3 現在、何世代で同居されていますか。家族構成についてお答えください。(〇は1つ)

1	単身世帯(一人暮らし)	5	二世世代世帯(自分と子ども)
2	一世世代世帯(自分と配偶者) ^{※2} 事実婚含む	6	三世世代世帯(自分と子どもと孫)
3	二世世代世帯(親と自分)	7	三世世代世帯(親と自分と子ども)
4	三世世代世帯(祖父母と親と自分)	8	その他()

※2 事実婚・・・戸籍上は婚姻関係にないが、事実上婚姻関係にあること

【F 3で「5 二世世代世帯(自分と子ども)」「6 三世世代世帯(自分と子どもと孫)」「7 三世世代世帯(親と自分と子ども)」と回答した方のみにおたずねします。】

F3-1 現在同居している(あなたの)一番下のお子さんほどれに当てはまりますか。

(お孫さんは含みません) (〇は1つ)

1	乳幼児(3歳未満)	4	中学生
2	未就学児(3歳以上小学校入学前の子ども)	5	高校生(その年齢にあたる方を含む)
3	小学生	6	19歳以上の子ども

F 4 あなたの職業は何ですか。(〇は1つ)

1	会社員・団体職員	4	自由業(著述・芸術家業など)	7	無職
2	公務員	5	派遣・パート・アルバイト	8	その他()
3	自営業(農業・会社経営など)	6	学生		

F 5 あなたは結婚されていますか(事実婚を含む)。(〇は1つ)

1	結婚している	2	結婚していない	3	結婚していたが、離・死別した
---	--------	---	---------	---	----------------

【F 5で「1 結婚している」と回答した方のみにおたずねします。】

F5-1 あなたの配偶者・パートナーの職業は何ですか。(〇は1つ)

1	会社員・団体職員	4	自由業(著述・芸術家業など)	7	無職
2	公務員	5	派遣・パート・アルバイト	8	その他()
3	自営業(農業・会社経営など)	6	学生		

家庭生活についてお答えください。

問1 あなたの家庭では、次にあげるようなことは、現在どなたが担当されていますか。
「該当しない」は、家族に高齢者や病気の人がないなど、記入できないときに○をつけてください。



(○はそれぞれ1つ)

	主にあなた	パートナー	あなたと配偶者・パートナーが同じくらいに	主にあなたの子ども	主にその他の人	該当しない
ア 食事の支度	1	2	3	4	5	/
イ 食事の後片付け	1	2	3	4	5	
ウ 掃除	1	2	3	4	5	
エ 洗濯	1	2	3	4	5	
オ 買物(日用品)	1	2	3	4	5	
カ 家計の管理	1	2	3	4	5	
キ 子どもの世話やしつけ	1	2	3	4	5	6
ク 高齢者や病人の介護	1	2	3	4	5	6
ケ 自治会などの地域活動	1	2	3	4	5	6

問2 あなたが平日や休日に、家事(子育てや介護も含む)にかかわる時間はどのくらいですか。
おおよその時間に○をつけてください。(○は平日・休日1つずつ)

平日 : 30分以内 1時間 2時間 2時間以上 休日 : 30分以内 1時間 2時間 2時間以上

就労についてお答えください。

問3 女性の働き方についておたずねします。

問3-1 女性の方はあなた自身の、男性の方はあなたの妻の実際の働き方について

問3-2 あなたが望ましいと思う女性の働き方について

それぞれ、次の頁の選択肢の中から最もあてはまるものを1つずつ選び、回答欄に番号を記入してください。(未婚の方は結婚したと仮定してお答えください。)

問3-1 実際の働き方	問3-2 理想の働き方

<選択肢>

- 1 結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている(いた) <育児休業含む>
- 2 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている(いた)
- 3 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている(いた)
- 4 結婚するまでは仕事を持たず、結婚後または子育て終了後から仕事を持っている(いた)
- 5 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたなら家事や子育てに専念している(いた)
- 6 結婚するまでは仕事を持ち、結婚後から家事や子育てに専念している(いた)
- 7 仕事は持っていない(いなかった)
- 8 その他 ()
- 9 わからない

問4 一般的に、行政や企業がすべき、女性が働き続けるために必要な支援は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 企業等における給与や時間外労働等の男女格差の実態を把握し、廃止にむけて働きかける
- 2 在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度の導入を促進する
- 3 セクシュアル/マタニティ・ハラスメント等のない職場環境づくりを推進する
- 4 女性の知識・技術等の研修機会を充実させる
- 5 女性の昇進等の機会が男性と平等になるよう企業へ働きかける
- 6 女性自身が意欲・能力を高めるための意識啓発を行う
- 7 企業の育児休業や介護休業を取得しやすい環境づくりを支援する
- 8 育児休業・介護休業中の賃金その他の経済的保障を充実させる
- 9 育児等のために退職した人の再雇用制度の導入を促進する
- 10 保育サービスを充実する
- 11 介護サービスを充実する
- 12 家族の理解・協力を促すための意識啓発を行う
- 13 その他 ()
- 14 特に必要な支援はない

問5 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)

- 1 家事などへの男性自身の抵抗感をなくすこと
- 2 男性が家事などを行うことに対する女性の抵抗感をなくすこと
- 3 夫婦や家族間で家事分担や育児・介護について頻繁に話し合うこと
- 4 周囲の性別役割分担意識を解消すること
- 5 男性の家事や子育て、介護について、社会的評価を高めること
- 6 労働時間短縮や育児・介護休暇制度の普及
- 7 男性の家事や子育て、介護に関心を高めること
- 8 講座等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること
- 9 パパ会など、男性の仲間(ネットワーク)作りをすすめること
- 10 家庭と仕事の両立について、男性が相談しやすい窓口を設けること
- 11 その他 ()
- 12 特に必要なことはない

現在、働いていらっしゃる方・学生の方は、問7へお進みください。



【F4 職業で、「7 無職」と回答された方のみにおたずねします。】

問6 あなたは、今後働きたいと思いますか。(〇は1つ)

- 1 働きたい 2 働きたくない 3 働ける状況にない

【問6で「1 働きたい」と回答された方のみにおたずねします。】

問6-1 あなたは、キャリア・アップ※3や自己啓発などのために、どのような講座・能力取得に興味がありますか。(あてはまるもの3つまで〇)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1 ビジスマナーやコミュニケーション能力等の習得 | 8 自分自身の適性へのアドバイス |
| 2 パソコン操作の技能習得 | 9 履歴書・職務経歴書等の書き方の知識 |
| 3 パソコン等の専門的な資格等の取得 | 10 会社などでの職場体験 |
| 4 介護等に関する専門的な資格等の取得 | 11 職業訓練など実践的な研修 |
| 5 法律等に関する専門的な資格等の取得 | 12 マネジメント能力向上にむけた講座 |
| 6 会計等に関する専門的な資格等の取得 | 13 その他 () |
| 7 語学等に関する専門的な資格等の取得 | 14 どれにも興味はない |

※3 キャリア・アップ・・・より高い資格・能力を身に付けること。経歴を高めること。

社会参加についてお答えください。

問7 あなたは、過去1年間に次のような活動に参加したことがありますか。また、今後参加してみたいですか。(それぞれあてはまるものすべてに〇)

	地域活動 自治会や町内会、商店街等の	保育園・幼稚園等の保護者 会、学校のPTA活動	子ども会や少年スポーツ チームの指導や世話	趣味やスポーツの活動	強会や研究会	地域の仲間が集って行う勉 強や研究会	環境問題、消費者問題、リサ イクル等の市民活動	高齢者や障がい者の介護・介 助等のボランティア活動	審議会・委員会等の政策決定 にかかわる活動	その他の活動	どれにも参加していない・ 参加したいとは思わない
過去1年間参加した	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
今後参加してみたい	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

問8 現在、自治会や町内会、PTA(会長)などの役職、議員や行政委員における女性の参画が低い傾向にあります。その理由は何だと思えますか。(あてはまるもの3つまで〇)

- | | |
|---|--|
| 1 役員決定をはじめとして、男性主体の組織運営がされているから | |
| 2 自治会などの団体の代表者は、男性が担うことが慣習やしきたりになっているから | |
| 3 家族の支援、協力が得られないから | |
| 4 家庭・職場・地域における性別役割分担意識や性差別の意識があるから | |
| 5 女性自身が責任ある役職に就くことに消極的であるから | |
| 6 女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ないから | |
| 7 その他 () | |

教育についてお答えください。

問9 あなたは以下の「A」「B」の意見のうち、どちらの考えに近いですか。(〇はそれぞれ1つ)

Aの意見	Aに近い	どちらかとい うとAに近い	どちらかとい うとBに近い	Bに近い	Bの意見
性教育は <u>学校</u> でしっかり行うべきだ	1	2	3	4	性教育は <u>家庭</u> でしっかり行うべきだ
いのちの大切さや人権の尊重につ いては <u>学校</u> でしっかりと教育すべきだ	1	2	3	4	いのちの大切さや人権の尊重につ いては <u>家庭</u> でしっかりと教育すべきだ

問10 以下の男女に関する事柄のうち、あなたが関心のあるものはどれですか。
(あてはまるものすべてに〇)

1 いまどきの結婚事情	12 護身術、セルフ・ディフェンス(自己防衛)
2 男女の協力関係の成功の秘訣	13 出産後、子育て後の再就職先の見つけ方
3 コミュニケーション能力向上のための自己 表現トレーニング	14 仕事と家庭を両立させる方法
4 海外の子育てや介護事情の紹介	15 セクハラ対処法・予防法
5 男性の子育てノウハウ・子育て体験談	16 農林業で働く女性の地位向上
6 親子の性教育	17 女性が政治の場で活躍する方法・体験談
7 性差を考慮した健康づくり	18 世界における女性の立場、男女差
8 退職後の夫婦円満の秘訣	19 科学技術分野における女性の活躍
9 男性の介護技術習得・介護体験談	20 女性の視点を踏まえた防災体制の整備
10 高齢期の男女の性	21 その他()
11 家庭内暴力の防止・暴力克服の取り組み	22 特になし

ドメスティック・バイオレンス(DV^{※4}、配偶者などからの暴力)等についてお答えください。

問11 あなたは、「暴力」についてどう思いますか。(〇は1つ)

- | |
|------------------------------------|
| 1 どのような理由があっても、絶対してはいけない |
| 2 言ってもわからない相手に、わかってもらうためには必要なこともある |
| 3 相手に自分の言うことを聞かせるためならしてもよい |
| 4 人にわからないようにすれば、少しぐらいしてもよい |
| 5 わからない |

※4 DV・・・なぐる、けるなどの身体的暴力や言葉による脅かし、無視などの心理的暴力、家に閉じ込める、食事をさせない、性的な行為を強要することなど

問12 あなたは、次のようなことが夫婦や恋人の間で行われた場合、それが暴力にあたると思いますか。

	どんな場合でも暴力にあたると思う	場合がある	暴力にあたる場合とそうでない場合	暴力にあたるとは思わない
(○はそれぞれ1つ)				
なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなど、身体に対して暴行を加える	1	2	3	
おどしたり、どなったり、非難したり、また無視をしたり、また行動や服装を制限するなど、言葉や態度での攻撃をする	1	2	3	
性的な行為を強要する	1	2	3	

【配偶者・パートナーや恋人がいらっしゃる方（過去にいらっしゃった方）におたずねします。】

問13 これまでに、配偶者・パートナーや恋人に以下のようなことをされたこと、あなたがしたことがありますか。（事実婚、別居中、離婚後や元恋人からも含みます）



(○は各項目で、されたこと/したこと、それぞれ1つずつ)

	あなたがされたこと			あなたがしたこと		
	何度も受けた	1、2度受けた	まったくくない	何度もあった	1、2度あった	まったくくない
命の危険を感じるほどの暴行	1	2	3	1	2	3
医師の治療が必要となるほどの暴行	1	2	3	1	2	3
あなたもしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫	1	2	3	1	2	3
いやがっているのに性的な行為を強要	1	2	3	1	2	3
何を言っても長時間無視	1	2	3	1	2	3
交友関係や電話を細かく監視	1	2	3	1	2	3
「誰のおかげで、生活できるんだ」とか「かいしょうなし」などと言う行為	1	2	3	1	2	3
大声でどなる行為	1	2	3	1	2	3

【問13の「あなたがされたこと」の項目で、1つでも「何度も受けた」あるいは「1、2度受けた」と回答された方のみにおたずねします。】

問13-1 あなたは問13の「あなたがされたこと」で1か2に○を付けたことについて、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。(○は1つ)

1 相談した 2 相談できなかった 3 相談しようとは思わなかった

問13-3へ（次ページ）

【問13-1で「1 相談した」と回答された方のみにおたずねします。】

問13-2 実際に誰（どこ）に相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）

1 家族・親せき	5 市の相談窓口（こども福祉課・保健センター・女性センターなど）	8 民生・児童委員
2 友人・知人	6 県の相談窓口（男女共同参画センター・女性相談センター・児童相談所など）	9 医療機関
3 同じような経験をした人	7 家庭裁判所・弁護士など	10 その他（ ）
4 警察		

【問 13-1 で「2 相談できなかった」「3 相談しようとは思わなかった」と回答された方におたずねします。】

問 13-3 誰（どこ）にも相談しなかったのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|--------------------------------|
| 1 誰に相談してよいかわからなかったから | 7 他人を巻きこみたくなかったから |
| 2 相談する人がいなかったから | 8 子どもに危害がおよぶと思ったから |
| 3 恥ずかしくて誰にも言えなかったから | 9 自分にも悪いところがあると思ったから |
| 4 相談してもむだだと思ったから | 10 相談するほどのことではないと思ったから |
| 5 相談をしたことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから | 11 相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをと思ったから |
| 6 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっているとと思ったから | 12 その他（ ） |

問 14 あなたは、家族の中での虐待や暴力などについての悩みを相談できる機関があることを知っていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|--------------|
| 1 市の相談窓口
（こども福祉課・保健センター・女性センター・いのちのきずな松本など） | 4 いのちの電話相談 |
| 2 松本児童相談所
（児童虐待・DV24 時間ホットライン） | 5 地域包括支援センター |
| 3 県の相談窓口
（男女共同参画センター・女性相談センターなど） | 6 その他（ ） |
| | 7 どれも知らない |

基本的人権についてお答えください。

問 15 あなたは今までに、ご自分の人権が侵害され、または誹謗中傷を受けたと思ったことがありますか。（○は1つ）

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

↓ 問 16 へ（次ページ）

【問 15 で「1 ある」と回答した方のみにおたずねします。】

問 15-1 どのような関係の中で、人権侵害をされ、または誹謗中傷を受けたと思いましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-------------|------------|----------|
| 1 夫婦・恋人間 | 4 職場・仕事関係 | 7 面識のない人 |
| 2 家族・親族 | 5 学校関係 | 8 その他 |
| 3 ご近所等、地域関係 | 6 趣味等の活動関係 | （ ） |

問 15-2 あなたは、インターネット（SNS（LINE、Twitter、YouTube 等）を通して、人権侵害をされ、または誹謗中傷を受けたと思ったことがありますか。（○は1つ）

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

↓ 問 16 へ（次ページ）

【問 15-2 で「1 ある」と回答した方のみにおたずねします。】

問 15-3 どのような内容で、インターネットを通して、人権侵害をされ、または誹謗中傷を受けたと思ったことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1 容姿	6 性別	11 被災者
2 思想・言動	7 性的指向・性自認	12 犯罪被害者・加害者
3 学歴	8 家族	13 真実でないこと（デマ）
4 心身の病気・障がい	9 部落差別	14 その他
5 新型コロナウイルス感染症	10 外国人	（ ）

問16 松本市の人権（尊重の）状況

『松本市は、基本的な人権が尊重された市政が運営されている』
 について、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない

問17 基本的人権にかかわるいろいろな問題についておたずねします。

問 17-1 から問 17-3 について、選択肢の中からあてはまる番号をすべて選び、番号に○をしてください。（各設問、縦の方向にお答えください。）



（各問、縦方向にあてはまるものすべてに○）

	問 17-1	問 17-2	問 17-3
	関心がある人権問題	まだ差別や偏見があると感じている問題	松本市において、重点的に取り組んだ方がよいと思う問題
男女差別や女性に対する暴力などの問題	1	1	1
学校でのいじめや児童虐待など子どもの人権に関する問題	2	2	2
職場でのパワーハラスメントなどの人権に関わる問題	3	3	3
高齢者への差別や偏見などの問題	4	4	4
障がい者への差別や偏見などの問題	5	5	5
部落差別問題	6	6	6
外国人などへの差別や偏見（言語や宗教など）などの問題	7	7	7
アイヌの人々に対する差別や偏見などの問題	8	8	8
HIV（エイズ）感染者やハンセン病患者に対する偏見、差別など人権に関する問題	9	9	9
刑を終えて出所した人への差別や偏見などの問題	10	10	10
犯罪被害者やその家族等の人権の問題	11	11	11
インターネットを利用した誹謗中傷などの人権に関わる問題	12	12	12
ホームレスの人々への差別や偏見などの問題	13	13	13
性的指向*5や性同一性障害などの性的少数者（LGBTQ）への差別や偏見などの問題	14	14	14
その他（ ）	15	15	15
特になし	16	16	16

*5 性的指向・・・人の恋愛・性愛がどうい対象に向かうのかを示す概念。異性に向かう異性愛（ヘテロセクシュアル）、同性に向かう同性愛（ホモセクシュアル）、男女両方に向かう両性愛（バイセクシュアル）等に分類される。

問 18 あなたは、今でも部落差別問題があると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1 まだある(少なくない) | 3 ない |
| 2 だいぶ解消されてきているが、少しはある | 4 わからない |

▶ 問 18-1 どのような場合にあると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------|---------------|----------|
| 1 結婚 | 4 職場や職業上のつきあい | 7 その他() |
| 2 近所づきあい | 5 住宅などの生活環境 | |
| 3 就職 | 6 学歴や教育水準 | |

問 19 あなたは、過去1年間に差別の問題や人権問題について、家庭等で話し合ったことがありますか。(○は1つ)

- | |
|-----------------------|
| 1 時間をとって話し合ったことがある |
| 2 食事やお茶などのとき、時折話し合う |
| 3 話し合ったことはない |
| 4 話し合ったことがあるかどうか記憶がない |

男女共同参画についてお答えください。

問 20 あなたは、以下のア～キの分野で男女は平等な立場になっていると思いますか。

		男性の方が 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が優遇されている	男女の地位は 平等になっている	どちらかといえば 女性の方が優遇されている	女性の方が 優遇されている
ア 家庭で	(○はそれぞれ1つ)	1	2	3	4	5
イ 職場で		1	2	3	4	5
ウ 地域で		1	2	3	4	5
エ 学校で		1	2	3	4	5
オ 法律や制度で		1	2	3	4	5
カ 社会通念・慣習などで		1	2	3	4	5
キ 社会全体で		1	2	3	4	5

問 21 あなたは、以下のア～キの考え方についてどう思いますか。



(○はそれぞれ1つ)

	そう思う	どちらかとい えはそう思う	ない えはそう思わ ない	どちらかとい えはそう思わ ない	そう思わない
ア 「男は仕事、女は家庭」と役割を分けたほうがよい	1	2	3	4	4
イ 家事全般は夫婦で協力するほうがよい	1	2	3	4	4
ウ 夫婦で家族を養うほうがよい	1	2	3	4	4
エ 家庭での育児や介護は夫婦で協力するほうがよい	1	2	3	4	4
オ 女性の能力が正当に評価されないから女性の役職(管理職)が増えない	1	2	3	4	4
カ 女性が役職(管理職)に就くことに消極的だから役職(管理職)が増えない	1	2	3	4	4
キ 結婚したら夫婦の姓は一緒にするほうがよい	1	2	3	4	4

問 22 メディア(新聞・テレビ・インターネットなど)における性・暴力表現について、あなたはどのように感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 ポスターなど、内容に関係なく、女性や男性の体の特徴が過度に表現されている
- 2 社会全体に、性に関する健全な見方・考え方が損なわれている
- 3 成人向けの風俗情報が目に付きやすい場所にあふれている
- 4 ドラマやCMなど、女性のイメージや男性のイメージについて型にはまった表現をしている
- 5 ドラマやアニメなどで暴力シーンを流すことは犯罪を助長するおそれがある
- 6 その他 ()
- 7 特に上記のようなことは感じない

問 23 男女共同参画の推進に向けて行われている以下の事柄等を知っていますか。ご存知のものをすべてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 女子差別撤廃条約 | 9 松本市女性センター |
| 2 男女共同参画社会基本法 | 10 トライあい・松本 |
| 3 配偶者などからの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(通称:DV防止法) | 11 「広報まつもと」特集(年2回(6月、1月)) |
| 4 男女雇用機会均等法 | 12 イクメンプロジェクト |
| 5 育児・介護休業法 | 13 ワーク・ライフ・バランス ^{※6} |
| 6 男女共同参画計画(松本市) | 14 ポジティブ・アクション ^{※7} |
| 7 男女共同参画計画(長野県) | 15 女性活躍推進法 |
| 8 男女共同参画基本計画(国) | 16 どれも知らない |

※6 ワーク・ライフ・バランス・・・仕事と生活の調和。誰もがやりがいや充実感を感じながら働く一方で、子育て・介護の時間や家庭、地域、自己啓発にかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活。

※7 ポジティブ・アクション・・・働く事や仕事に対する意欲の高い女性を積極的に登用し、能力を発揮してもらおうという企業の自主的な取組み、または制度。

問 24 男女共同参画を進めるために、松本市ではどのような施策を重点的に進めたらよいと思いますか。

(あてはまるもの3つまで○)

- | | |
|------------------------|--|
| 1 学校教育における男女共同参画の推進 | 7 高齢者施策の充実 |
| 2 男女共同参画の意識啓発の充実 | 8 配偶者・パートナーや恋人などによる暴力の根絶 |
| 3 地域における男女共同参画の推進 | 9 男女共同参画に関する拠点施設
(女性センター、トライあい・松本)の充実 |
| 4 政策等の立案・決定への男女共同参画の推進 | 10 防災・災害復興における男女共同参画の推進 |
| 5 就労の場における男女共同参画の推進 | 11 その他 |
| 6 子育て支援の充実 | () |

問 25 松本市では、男女共同参画を進めるために、「女性センター（Mウイング3階）」と「トライあい・松本（松本勤労者福祉センター南）」を開設し、さまざまな事業を実施しています。

この施設機能を活かした取組みとして充実してほしいものはどれですか。

(あてはまるもの3つまで○)

- | |
|-------------------------------|
| 1 男女共同参画の課題を専門的に学習できる講座 |
| 2 女性の力を高めるリーダー養成講座 |
| 3 男性が生活や意識を見直し、変えていくための講座 |
| 4 女性の再就職や起業を支援する講座 |
| 5 男女共同参画についての出前講座 |
| 6 女性も男性も気軽に参加できる講演会やシンポジウムの開催 |
| 7 グループ活動の支援※8 |
| 8 生き方や悩みなどの相談事業 |
| 9 女性弁護士による法律相談 |
| 10 男女共同参画に関する図書やビデオ、資料の収集・貸出 |
| 11 その他 () |
| 12 特になし |

※8 グループ活動の内容・・・男女共同参画の推進を目的とした学習会や研修会等の開催。また、ワークライフバランスの実践等を目的とした文化活動（ウォーキングや合唱、俳句など）。

◎ 最後に、松本市の男女共同参画や人権に関する取組みについて、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

【男女共同参画について】

【人権について】

※ご記入もれがないかご確認のうえ、返信用封筒にて **12月13日(月)まで**にご投函ください。



アンケートへのご協力
ありがとうございました！

あなたの声をお聞かせください!

松本市男女共同参画・人権市民意識調査

調査についてお願い

松本市では、男女がお互いにその人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別に関わりなく、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会をめざして、さまざまな取組みを進めています。

そうした取組みをさらに進めるために、次世代を担う松本市の中学生・高校生約2,200名を対象に、男女がつくるのぞましい社会にむけて、「松本市男女共同参画・人権アンケート」を実施することになりました。

皆さんが日頃、感じていること、思っていることなどをお聞かせください。

令和3年11月

松本市長 臥雲 義尚

ご記入にあたって

アンケートの回答は、インターネットに接続できる環境で、下記のURLかQRコードを読み取り、1人1回のみご回答ください。

<https://questant.jp/q/WGD51TSD>

ID ; ●●●●

パスワード ; ●●●●



回答用 QR コード

調査は、無記名であり、個人が特定されることは一切ありません。また、調査結果は、計画策定以外の目的に利用することはありません。

《問い合わせ先》松本市住民自治局 人権共生課

〒390-0811 松本市中央1丁目18番1号 TEL 39-1105 (直通) FAX 37-1153

E-MAIL kyousei@city.matsumoto.lg.jp

《以下は、WEB画面で作成》

はじめに、あなたご自身のことについてお答えください。

F 1 - 1 あなたの出生時の性 (sex) は何ですか。

1	女性	2	男性
---	----	---	----



F 1 - 2 あなた自身が認識する自分の性 (gender) は何ですか。(回答は任意です。)

1	女性	2	男性	3	(gender を記入してください。)
---	----	---	----	---	---------------------

F 2 あなたの学年は。(○は1つ)

1	中学1年生	3	中学3年生	5	高校2年生
2	中学2年生	4	高校1年生	6	高校3年生

F 3 あなたの家族構成は。(現在同居されているご家族についてお答えください。)(○は1つ)
(※ふだん「寮生活」をされている方は、ご自宅(実家)での状況をお答えください。)

1	二世帯世帯(親と自分(きょうだい含む))
2	三世帯世帯(祖父母と親と自分(きょうだい含む))
3	単身世帯(一人暮らし)
4	その他()

F 4 あなたはきょうだいがいますか。(○は1つ)

1	いない(一人っ子)	2	いる → ()人きょうだい
---	-----------	---	----------------

F4-1 きょうだいがいる場合は、あてはまる番号に○をつけ、その人数を教えてください。

1	姉 ()人	3	兄 ()人
2	妹 ()人	4	弟 ()人

家庭生活についてお答えください。

問1 あなたは、あなたの家庭で、次にあげるようなことにどの程度協力していますか。
「該当しない」は、家族に高齢者や病気の人がいないなど、当てはまるものがないときに○をつけてください。



(○はそれぞれ1つ)

	毎日する	週に1・2度はする	月に1度程度はする	ほとんどしない	したことがない	該当しない
ア 食事の支度	1	2	3	4	5	/
イ 食事の後片付け	1	2	3	4	5	
ウ 掃除	1	2	3	4	5	
エ 洗濯	1	2	3	4	5	
オ 買物(日用品)	1	2	3	4	5	
カ 高齢者や病人の介護	1	2	3	4	5	6
キ 幼い弟や妹の世話	1	2	3	4	5	6
ク 自分の家の仕事(家業)	1	2	3	4	5	6

問2 あなたが平日や休日に、家事(弟や妹の世話や介護も含む)を手伝う時間はどのくらいですか。
おおよその時間に○をつけてください。(○は平日・休日1つずつ)

平日： 30分以内 1時間 2時間 2時間以上	休日： 30分以内 1時間 2時間 2時間以上
-------------------------	-------------------------

問3 あなたは将来、自分が結婚や子どもを持つこと、親が歳をとった時の介護についてどのように考えますか。(○はそれぞれ1つ)

ア 結婚	→	1 したい	2 したくない	3 わからない
イ 子ども	→	1 持ちたい	2 持ちたくない	3 わからない
ウ 親の介護	→	1 する	2 しない	3 わからない

問4 あなたは、次のようなことが夫婦や恋人の間で行われた場合、それが暴力にあたると思いますか。

	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない
(○はそれぞれ1つ)			
なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなど、身体に対して暴行を加える	1	2	3
おどしたり、どなったり、無視をしたり、また行動や服装を制限するなど、言葉や態度での攻撃をする	1	2	3
性的な行為を強要(嫌なのに無理にされる)する	1	2	3

学校生活と学校で学習したことについてお答えください。

問5 あなたは、学校生活の中で、男女で扱われ方が異なり、それを差別と感じることがありますか。(〇は1つ)

1 感じる 2 ときどき感じる 3 感じない

→ 問7へ

【問5で、「1 感じる」と「2 ときどき感じる」に〇をつけた方におたずねします。】

問6 それはどのような場面でしたか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1 制服が男子はズボン、女子はスカートと決められている | 6 男だから、女だからと言われる |
| 2 性別によって入れない部活動等がある | 7 先生が、男子(女子)に厳しく女子(男子)に甘い |
| 3 男女で色が指定されている | 8 男子らしく、女子らしくを求められる |
| 4 男女で生徒会や学級での役割が違っている | 9 トイレや更衣室など、男女で使う施設が異なる |
| 5 決まりについて、男女で扱われ方が違う | 10 その他() |

問7 あなたは、小・中学校や高校で、ア～オの問題について学習したことがありますか。

(〇はそれぞれ1つ)

	ある	ない
ア 「いじめ」の問題に関する学習	1	2
イ いのちの大切さに関する学習	1	2
ウ 部落差別などの問題についての学習	1	2
エ HIV(エイズ)や性感染症の問題についての学習	1	2
オ 男女の性に関する学習(性教育)	1	2

↓ 問8へ

→ 問9へ
(次ページ)

【問7のア～オで、「1 ある」に〇をつけた項目についておたずねします。】

問8 あなたは、ア～オの問題についての学習をして、どのように思いましたか。(「ない」に〇をつけた項目については記入の必要はありません。)



(それぞれあてはまるものすべてに〇)

	大切なことを学べてよかったと思った	自分なりに役立てようと思った	学んだことを自分なりに役立てようと思った	機会があったらもっと学びたいと思った	なかつた	あまり興味を持つことができなかった	学びたくない(嫌だった)
ア 「いじめ」の問題に関する学習	1	2	3	4	5		
イ いのちの大切さに関する学習	1	2	3	4	5		
ウ 部落差別などの問題についての学習	1	2	3	4	5		
エ HIV(エイズ)や性感染症の問題についての学習	1	2	3	4	5		
オ 男女の性に関する学習(性教育)	1	2	3	4	5		

問9 あなたは、HIV（エイズ）や性感染症、その予防方法について知っていますか。（○は1つ）

- 1 知っている
- 2 なんとなく知っているが、実際に予防できるかどうかわからない
- 3 知らない

働くことについてお答えください。

問10 女性の働き方についておたずねします。
あなたは、結婚した場合どのような働き方が理想だと思いますか。
結婚したと仮定して、女子はあなた自身の、男子はあなたの妻の理想の働き方について、最もあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

- 1 育児のために休みをとり、仕事を続ける（育児休業※1を含む）
- 2 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイム※2で仕事を続ける
- 3 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイム※3で仕事を続ける
- 4 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたなら家事や子育てに専念する
- 5 結婚するまでは仕事を持ち、結婚後から家事や子育てに専念する
- 6 その他（ ）
- 7 わからない

※1 育児休業・・・子どもを育てるために休むことができる制度

※2 フルタイム・・・職場で定められている正規の勤務時間帯をフルに勤務する人

※3 パートタイム・・・フルタイムの労働者に比べて短時間勤務の人

問11 あなたが仕事を選ぶ時、特に大切に考えたいことは、どんなことですか。
（あてはまるもの3つまで○）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 興味・関心が活かせる仕事 | 5 多くの人と接することのできる仕事 |
| 2 給料が高い仕事 | 6 人の役に立つことのできる仕事 |
| 3 家族とすごせる時間がある仕事 | 7 親と同じ仕事 |
| 4 親の近くで暮らしながらできる仕事 | 8 その他（ ） |

人権についてお答えください。

問12 松本市の人権（尊重の）状況
『松本市は、基本的な人権が尊重された市政が運営されている』
について、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない |



問13 あなたは、過去1年間に差別の問題や人権問題について、家庭で話し合ったことがありますか。(〇は1つ)

- 1 時間をとって話し合ったことがある(そのための時間をとった)
- 2 食事やお茶などの家族団らんのとき、話し合ったことがある(会話の流れで話した)
- 3 話し合ったことはない
- 4 話し合ったことがあるかどうか記憶がない

問14 人権に関わるいろいろな問題についておたずねします。

問14-1から問14-3について、選択肢の中からあてはまる番号をすべて選び、番号に〇をしてください。(各設問、縦の方向にお答えください。)



(各問、縦方向にあてはまるものすべてに〇)

	問14-1	問14-2	問14-3
学んだり、聞いたことがある人権問題	まだ差別や偏見があると感じている問題	松本市において、重点的に取り組んだ方がよいと思う問題	
男女差別や女性に対する暴力などの問題	1	1	1
学校でのいじめや児童虐待など子どもの人権に関する問題	2	2	2
職場でのパワーハラスメントなどの人権に関わる問題	3	3	3
高齢者への差別や偏見などの問題	4	4	4
障がい者への差別や偏見などの問題	5	5	5
部落差別などの問題	6	6	6
外国人などへの差別や偏見(言語や宗教など)などの問題	7	7	7
アイヌの人々に対する差別や偏見などの問題	8	8	8
HIV(エイズ)感染者やハンセン病患者に対する偏見、差別など人権に関する問題	9	9	9
刑を終えて出所した人への差別や偏見などの問題	10	10	10
犯罪被害者やその家族等の人権の問題	11	11	11
インターネットを利用した誹謗中傷 ^{ひろうちゆうしやう} などの人権に関わる問題	12	12	12
ホームレスの人々への差別や偏見などの問題	13	13	13
性的指向※4や性同一性障害などの性的少数者(LGBTQ)への差別や偏見などの問題	14	14	14
その他()	15	15	15
特になし	16	16	16

※4 性的指向・・・人の恋愛・性愛がどういふ対象に向かうのかを示す概念。異性に向かう異性愛(ヘテロセクシュアル)、同性に向かう同性愛(ホモセクシュアル)、男女両方に向かう両性愛(バイセクシュアル)等に分類される。

問15 あなたは「暴力」についてどう思いますか。(〇は1つ)

- 1 どのような理由があっても、絶対してはいけない
- 2 言ってもわからない相手に、わかってもらうためには必要なこともある
- 3 相手に自分の言うことを聞かせるためならしてもよい
- 4 人にわからないようにすれば、少しくらいしてもよい
- 5 わからない



問16 あなたの身近なところ（保護者や恋人の間）で、虐待やDV※5（ドメスティック・バイオレンス）を実際に見たり、聞いたり、されたりしたことがありますか。（○は1つ）

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

※5 DV・・・なぐる、けるなどの身体的暴力や言葉による脅かし、無視などの心理的暴力、家に閉じ込める、食事をさせない、性的な行為を強要（嫌なのに無理にされる）することなど

問17 あなたは、虐待やDVをされたり、見たりした時、どのようにしますか。
今までにそのような経験のない方は、仮定してお答えください。（○はそれぞれ1つ）

自分がされた時	見たり聞いたりした時
1 自分がされても、がまんする（何もしない）	1 見たり聞いたりしても無視する（何もしない）
2 友だちに相談する	2 友だちに相談する
3 先生に相談する	3 先生に相談する
4 家族に相談する	4 家族に相談する
5 誰かに相談する	5 誰かに相談する
6 相談機関の窓口に電話する	6 相談機関の窓口に電話する
7 その他（ ）	7 その他（ ）

問18 あなたは、家族の中での虐待や暴力などについての悩みを相談できる機関があることを知っていますか。ご存知のものをすべてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1 市の相談窓口 （子ども福祉課・保健センター・女性センター・いのちのきずな松本・こころの鈴など）	5 法務局 （子どもの人権110番）
2 松本児童相談所 （児童虐待・DV24時間ホットライン）	6 いのちの電話相談
3 中信教育事務所	7 地域包括支援センター
4 県の相談窓口 （男女共同参画センター・女性相談センターなど）	8 その他 （ ）
	9 どれも知らない

問19 あなたは今までに、ご自分の人権が侵害され、または誹謗中傷を受けたとありましたか。（○は1つ）

1 ある

2 ない

問20へ（次ページ）

【問19で「1 ある」と回答した方のみにおたずねします。】

問19-1 どのような関係の中で、人権侵害をされ、または誹謗中傷を受けたと思われましたか。
（あてはまるものすべてに○）

1 恋人間	4 学校関係	7 その他
2 家族・親族	5 趣味等の活動関係	（ ）
3 ご近所等、地域関係	6 面識のない人	

問 19-2 あなたは、インターネット（SNS（LINE、ツイッター、YouTube等）を通して、人権侵害をされ、または誹謗中傷を受けたと思ったことがありますか。（〇は1つ）

1 ある	2 ない
------	------

問 20 へ（次ページ）

【問 19-2 で「1 ある」と回答した方のみにおたずねします。】

問 19-3 どのような内容で、インターネットを通して、人権侵害をされ、または誹謗中傷を受けたと思ったことがありますか。（あてはまるものすべてに〇）

1 容姿	6 性別	11 被災者
2 思想・言動	7 性的指向・性自認	12 犯罪被害者・加害者
3 学歴	8 家族	13 真実でないこと（デマ）
4 心身の病気・障がい	9 同和関係	14 その他
5 新型コロナウイルス感染症	10 外国人	()

男女共同参画についてお答えください。

※6 男女共同参画・・・男性も女性もすべての個人が、性別に関わりなく喜びも責任も分かち合い、その能力・個性を十分に発揮すること

問 20 あなたは、以下ア～ウの分野で男女は平等な立場になっていると思いますか。

 (〇はそれぞれ1つ)	男性の方が 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が優遇されている	男女は 平等になっている	どちらかといえば 女性の方が優遇されている	女性の方が 優遇されている
	ア 家庭で	1	2	3	4
イ 学校で	1	2	3	4	5
ウ 社会全体で	1	2	3	4	5

問 21 あなたは、以下のア～オの考え方についてどう思いますか。

 (〇はそれぞれ1つ)	そう思う	どちらかといえ はそう思う	どちらかといえ はそう思わない	そう思わない
	ア 「男は仕事、女は家庭」と役割を分けたほうがよい	1	2	3
イ 家事全般は夫婦で協力するほうがよい	1	2	3	4
ウ 夫婦で家計を支えるほうがよい（共働き）	1	2	3	4
エ 家庭での育児や介護は夫婦で協力するほうがよい	1	2	3	4
オ 結婚したら夫婦の姓（苗字）は一緒にするほうがよい	1	2	3	4

問 22 あなたは、社会の出来事や事件などを知るために、次のどれをよく利用していますか。
 選択肢の中から利用の多い順に3つあげ、回答欄にあてはまる数字を記入してください。

<選択肢>

1	新聞	3	ラジオ	5	雑誌
2	テレビ	4	インターネット (PC・スマートフォン・携帯電話など)	6	その他 ()

<回答欄>

1位		2位		3位	
----	--	----	--	----	--

問 22-1 次のどのSNSアプリを一番よく利用しますか？

<選択肢>

1	Twitter	3	Instagram	5	TIKTOK
2	Facebook	4	LINE	6	その他 ()

問 23 メディア（新聞・テレビ・インターネットなど）における性・暴力表現について、あなたはどの
 ように感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|---|
| 1 | ポスターなど、内容に関係なく、女性らしい体の特徴が過度に表現されている |
| 2 | 社会全体に、性に関する健全な見方・考え方が損なわれている |
| 3 | 成人向けの風俗情報が目に付きやすい場所にあふれている |
| 4 | ドラマやCMなど、女性のイメージや男性のイメージについて型にはまった表現をしている |
| 5 | ドラマやアニメなどで暴力シーンを流すことは犯罪を助長するおそれがある |
| 6 | その他 () |
| 7 | 特に上記のようなことは感じない |

◎ 最後に、あなたが男女共同参画※6について思うことをご自由にお書きください。



アンケートへのご協力
 ありがとうございました！

松本市男女共同参画・人権意識調査 調査報告書
令和4年 2月 発行

松本市住民自治局 人権共生課
〒390-0811 松本市中央1丁目18番1号
